
摂津市
介護予防・日常生活圏域二一ス調査
報告書

(案)

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
2. 回答者の属性	3
3. ご家族や生活状況について	5
4. からだを動かすことについて	23
5. 食べることについて.....	42
6. 毎日の生活について	49
7. 地域での活動について	64
8. たすけあいについて	73
9. 健康について.....	88
10. 認知症支援について	112
11. 人生会議について.....	121
12. 災害時の対応について.....	131
13. ICT の活用について	138
14. その他について.....	143

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、第9期せつつ高齢者かがやきプラン（第9期摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）の策定を行うにあたり、高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズなどを把握するとともに、計画に反映させる基礎資料として活用することを目的としています。

(2) 調査の実施について

	調査区分	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象	令和4年11月1日現在、50歳以上を無作為抽出（要介護認定を除く）	令和4年11月1日現在、要支援・要介護認定を受けている方から無作為抽出
調査期間	令和4年12月13日（火）～令和5年1月13日（金）	
調査方法	郵送配布・郵送回収	
配布数	2,000件 (65歳以上1,500人、50～64歳500人を対象)	1,200件
有効回収数 [有効回収率]	1,309件 [65.5%]	734件 [61.2%]

(3) 報告書の見方

1. 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
2. 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第2位以下で四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、単数回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）の場合でも、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に「MA (Multiple Answer)」「3LA (3 Limited Answer)」「5LA (5 Limited Answer)」と記載しています。
 - ・ MA (Multiple Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3LA (3 Limited Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・ 5LA (5 Limited Answer)：回答選択肢の中からあてはまるものを5つ以内で選択する場合また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。特に断りが無い限り、単数回答形式の設問となっています。
4. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、一部の調査項目により、運動器の低下などの各種リスクの判定を行います。リスク該当者の割合の算出にあたり、該当する設問の無回答により判定・評価が困難な場合は、母数から除いています。

5. 一部の設問について、前回調査（令和元年度）の結果を掲載し、比較を行っています。「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」については、前回調査の配布数は 3,000 件（65 歳以上 2,200 人、50～64 歳 800 人）です。
6. クロス集計に対する本文中の説明の中で、「区分」は同じ列での比較に対する説明、「項目」は同じ行での比較に対する説明となっています。

〈クロス集計表の見方〉

【例文】
 ○ 75歳以上では、「近隣」を除くほとんどの項目で74歳以下に比べて少なくなっています。
 …75歳以上では、「近隣」以外の「配偶者」「友人」等のほとんどの項目で75歳未満と比べて少なくなっていることを示しています。

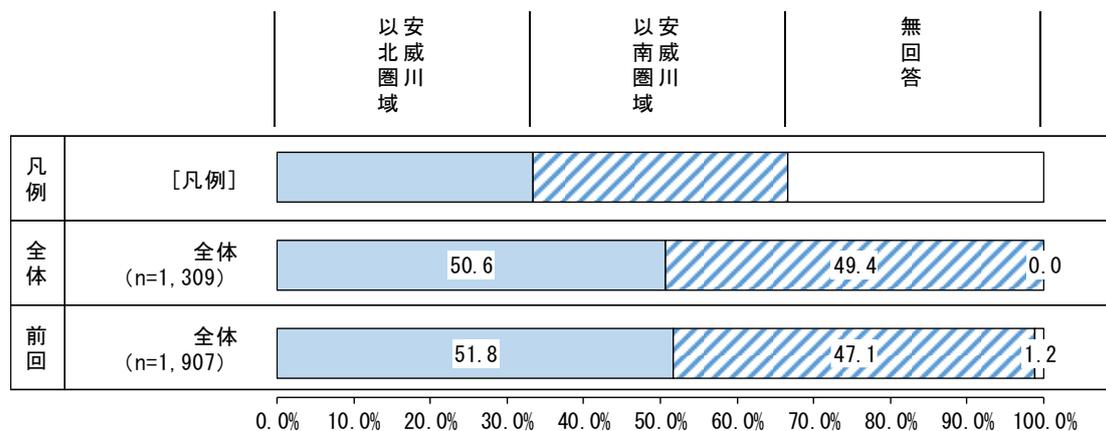
		母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								無回答	
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟・姉妹・孫・親戚	近隣	友人	その他	は その よう な 人		
全体		1,309	55.1	18.6	33.6	29.0	7.9	46.5	2.7	4.5	1.7	
↑ 「 区分 」 ↓	性・年齢	男性 50～64歳	116	70.7	15.5	17.2	26.7	0.9	41.4	5.2	4.3	0.9
		65～74歳	245	67.3	11.0	20.0	17.1	4.1	36.3	1.6	9.0	2.4
		75歳以上	230	71.3	10.9	31.3	19.6	5.2	29.1	2.6	4.3	0.9
	女性	50～64歳	127	50.4	37.0	29.1	42.5	5.5	67.7	4.7	6.3	0.8
		65～74歳	286	52.8	25.9	49.3	41.3	11.5	61.9	1.0	1.4	0.3
		75歳以上	305	31.1	17.4	39.7	29.5	13.1	46.6	3.3	3.3	3.6
↑ 「 区分 」 ↓	家族構成	1人暮らし	260	2.3	0.8	37.7	30.0	12.3	55.8	3.1	13.5	2.7
		夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	81.9	2.1	40.3	26.7	8.4	42.4	1.5	1.3	2.1
		夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	91.3	5.2	28.7	23.5	3.5	37.4	2.6	2.6	0.9
		息子・娘との2世帯	172	50.6	61.6	28.5	27.3	7.0	45.9	3.5	4.1	-
		その他	258	46.1	43.4	23.6	34.5	5.0	51.6	4.3	2.3	1.6

【例文】
 ○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が13.5%と他の区分に比べて多くなっています。
 …1人暮らしは、他の家族構成と比べて「そのような人はいない」が多くなっていることを示しています。

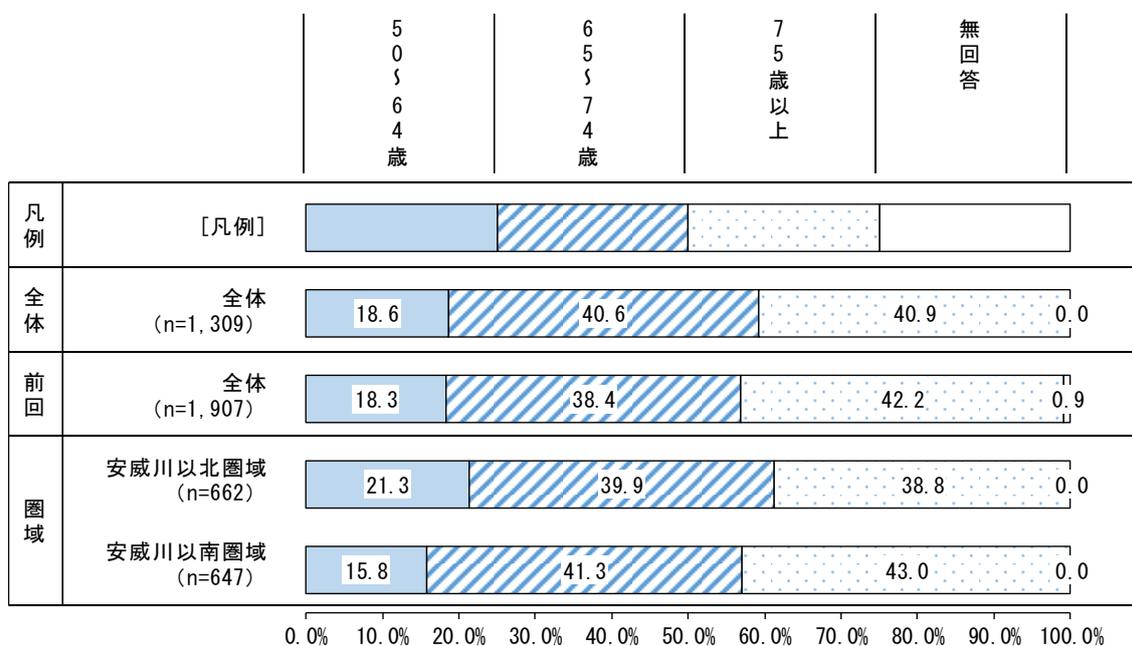
2. 回答者の属性

(1) 回答者

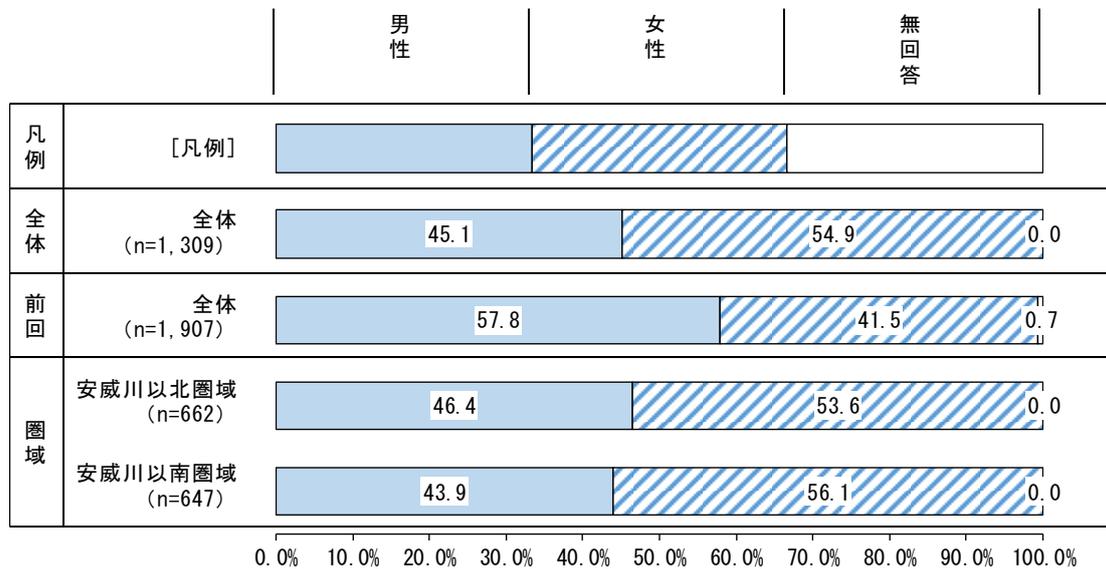
① 圏域



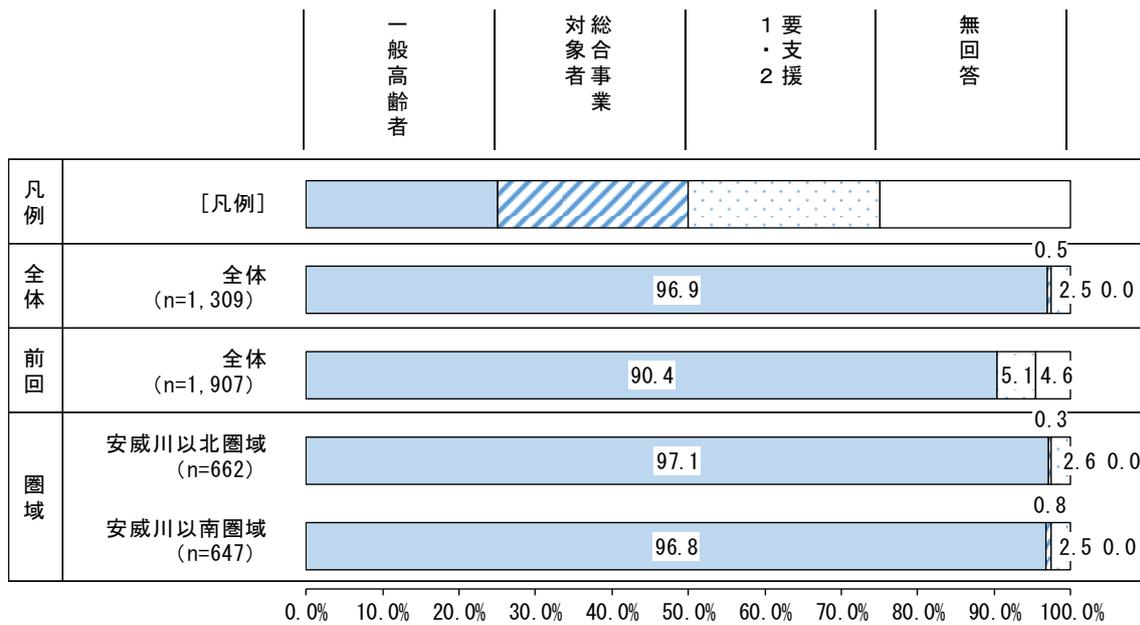
② 年齢



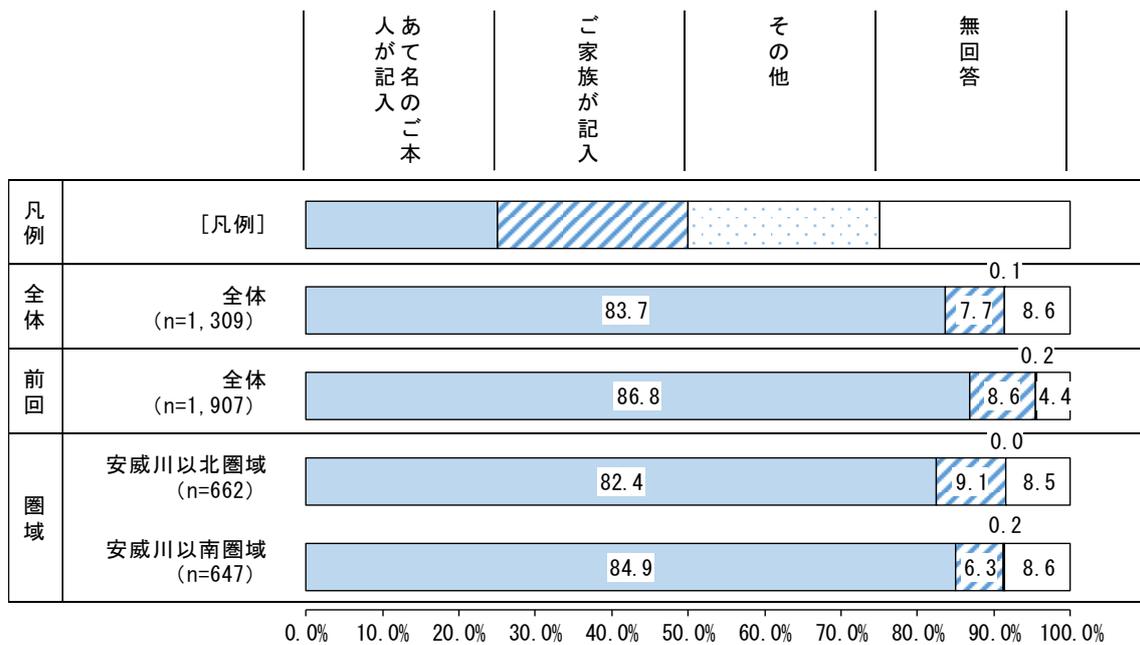
③ 性別



④ 認定該当状況



(2) 回答の記入者



3. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

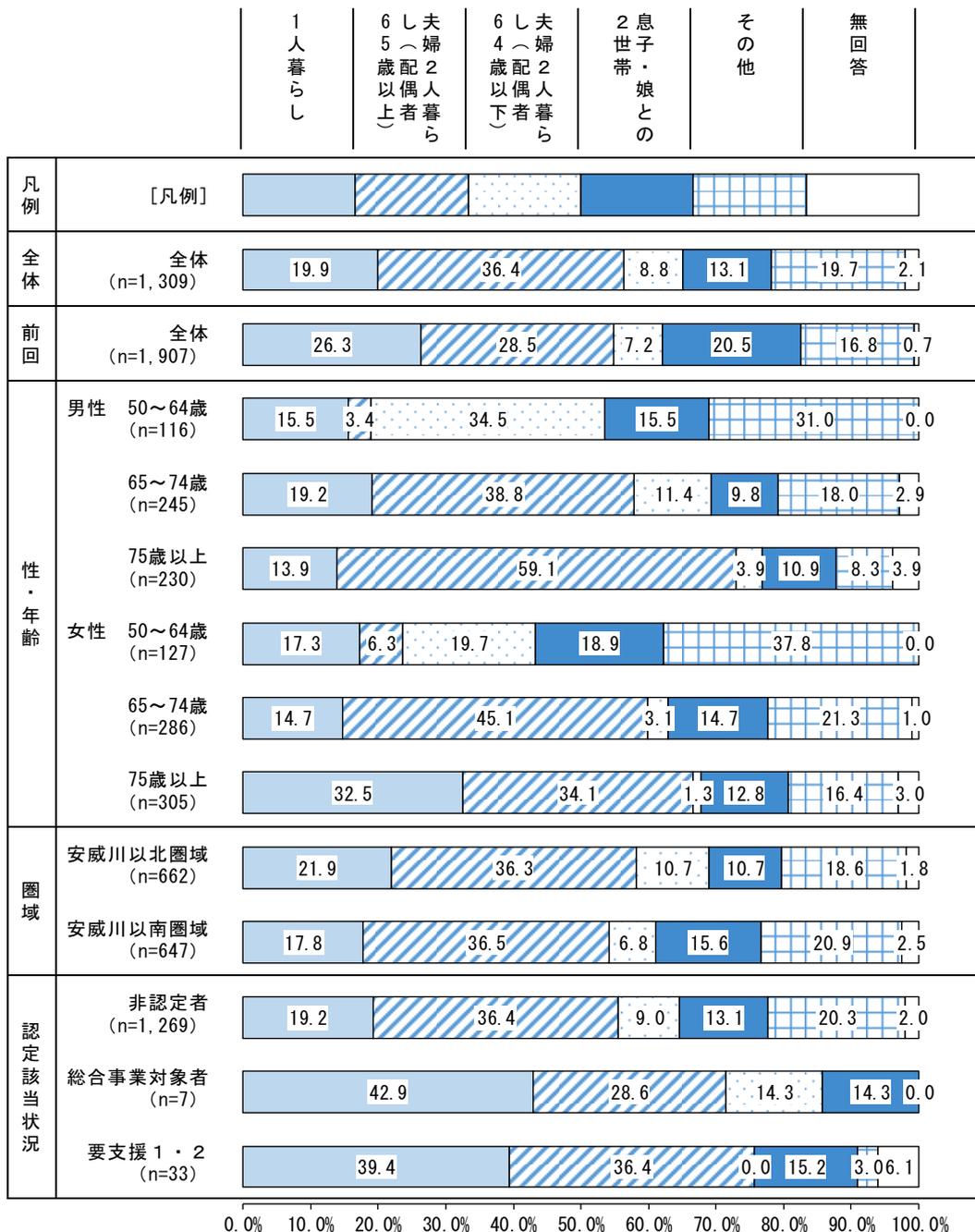
●問1.1 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

【全体】
 ○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が36.4%で最も多く、次いで「1人暮らし」が19.9%、「その他」が19.7%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「1人暮らし」は女性（75歳以上）が32.5%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 要支援1・2では、「1人暮らし」が39.4%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が36.4%、「息子・娘との2世帯」が15.2%となっています。

【家族構成】



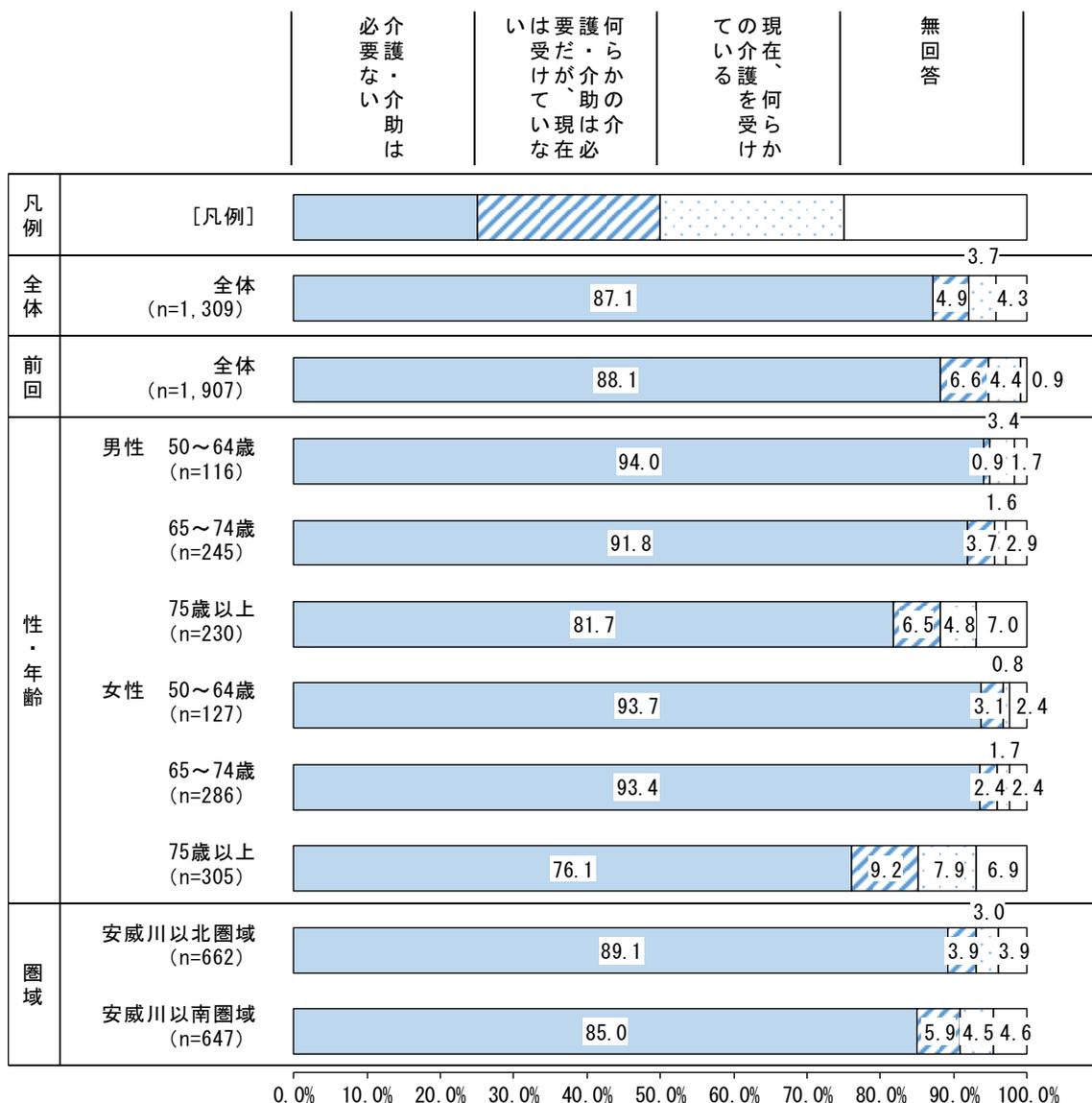
(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

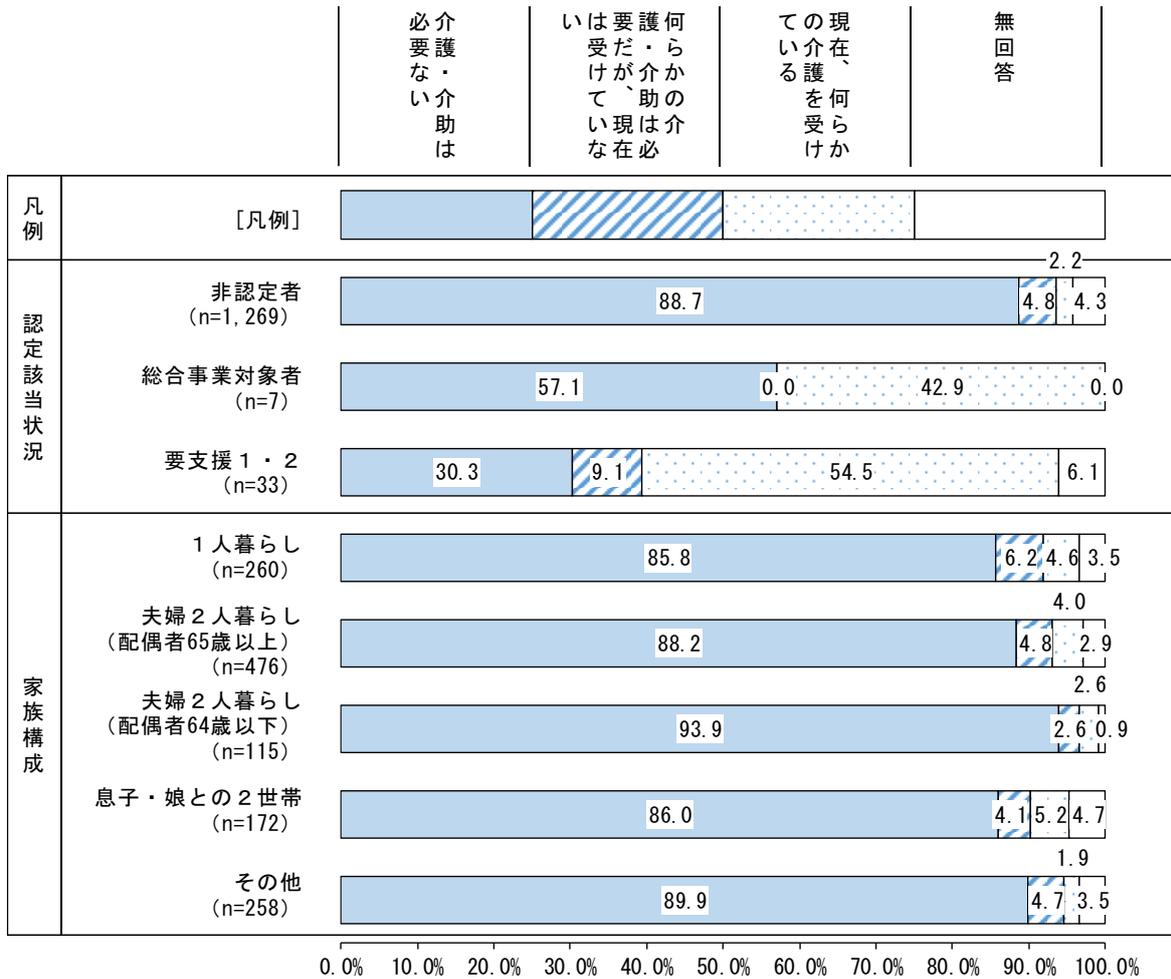
【全体】
○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が87.1%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.7%となっています。
○ 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた“介護・介助が必要”は8.6%となっています。
【性・年齢】
○ “介護・介助が必要”は男性(75歳以上)が11.3%、女性(75歳以上)が17.1%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて“介護・介助が必要”が10.4%と多くなっています。

【介護・介助の必要性】



【家族構成】

○ 1人暮らし、息子・娘との2世帯では、他の家族構成区分に比べて“介護・介助が必要”が多くなっています。

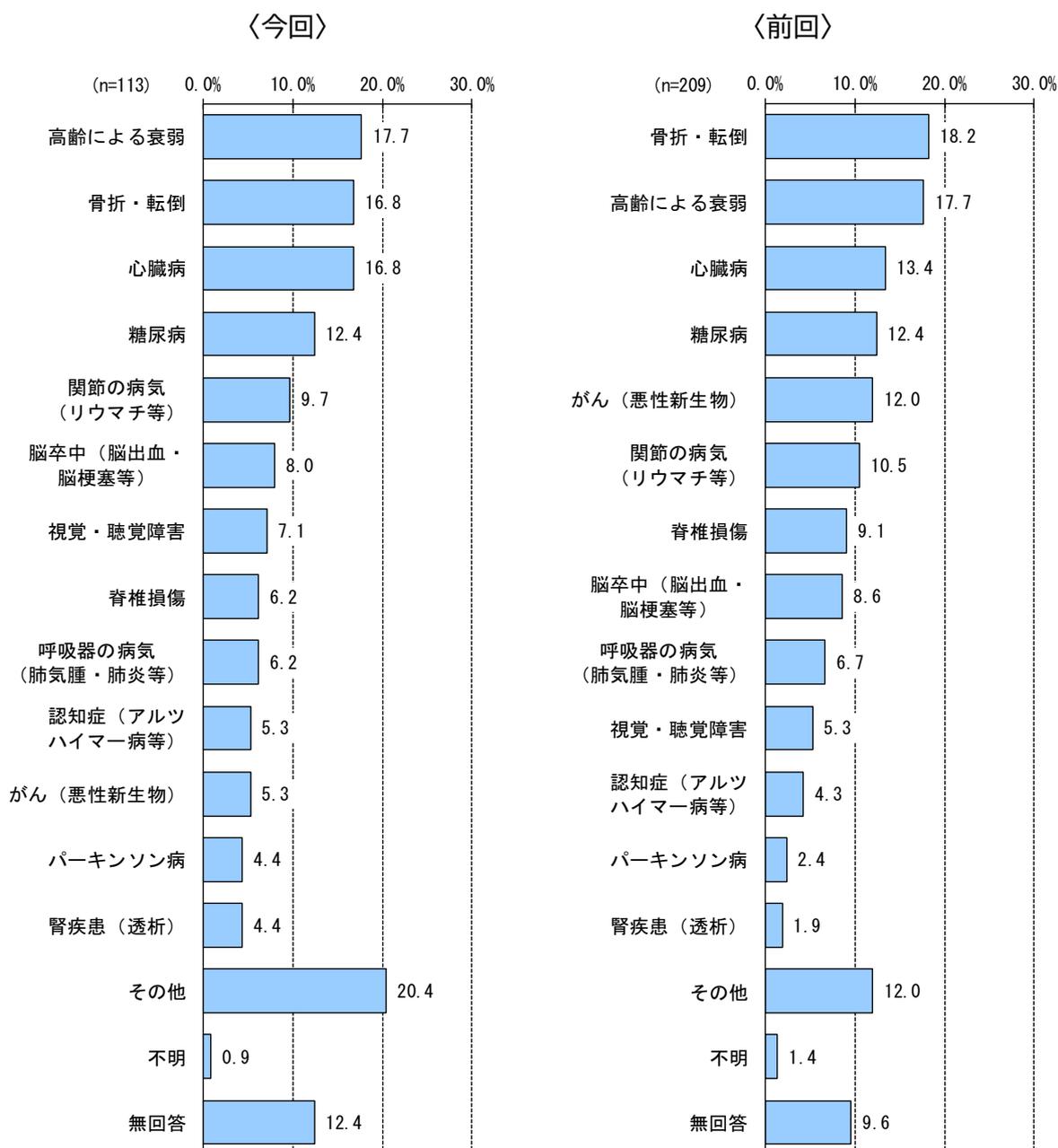


●問1.2-1 【介護・介助が必要な方のみ】介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。
(いくつでも)

【全体】

- 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が17.7%で最も多く、次いで「心臓病」「骨折・転倒」が16.8%となっています。
- 前回調査に比べて、「心臓病」が3.4ポイント多く、「がん（悪性新生物）」が6.7ポイント少なくなっています。

【介護・介助が必要になった主な原因(MA)】



【性・年齢】

- 男性では、74歳以下では「糖尿病」、65～74歳では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」が他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 女性（65～74歳）では「骨折・転倒」が25.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 安威川以北圏域では安威川以南圏域に比べて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「がん（悪性新生物）」が多くなっています。一方で、安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」「糖尿病」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「骨折・転倒」が33.3%で最も多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								
		血 脳 卒 中 (脳 梗 塞 等)	心 臓 病	物 が ん (悪 性 新 生 物)	等 (呼 吸 器 の 病 気 ・ 肺 気 腫 ・ 肺 炎)	ウ 関 節 の 病 気 (リ ウ マ チ 等)	ハ 認 知 症 (ア ル ツ イ マ ー 病 等)	パ ー キ ン ソ ン 病	糖 尿 病	
全体	113	8.0	16.8	5.3	6.2	9.7	5.3	4.4	12.4	
性・年齢	男性 50～64歳	5	-	-	-	20.0	-	-	40.0	
	65～74歳	13	23.1	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	38.5	
	75歳以上	26	11.5	19.2	3.8	-	7.7	7.7	7.7	
	女性 50～64歳	5	-	20.0	-	-	20.0	60.0	-	
	65～74歳	12	-	16.7	8.3	8.3	-	8.3	8.3	
75歳以上	52	5.8	19.2	5.8	7.7	11.5	3.8	1.9	7.7	
圏域	安威川以北圏域	46	10.9	17.4	8.7	2.2	10.9	4.3	4.3	8.7
	安威川以南圏域	67	6.0	16.4	3.0	9.0	9.0	6.0	4.5	14.9
当認定状況	非認定者	89	5.6	16.9	4.5	6.7	10.1	6.7	4.5	12.4
	総合事業対象者	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-
	要支援1・2	21	14.3	14.3	9.5	4.8	4.8	-	4.8	14.3

単位：%

	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								
		腎 疾 患 (透 析)	視 覚 ・ 聴 覚 障 害	骨 折 ・ 転 倒	脊 椎 損 傷	高 齢 に よ る 衰 弱	そ の 他	不 明	無 回 答	
全体	113	4.4	7.1	16.8	6.2	17.7	20.4	0.9	12.4	
性・年齢	男性 50～64歳	5	-	20.0	20.0	-	-	-	-	
	65～74歳	13	-	15.4	15.4	7.7	23.1	15.4	15.4	
	75歳以上	26	11.5	3.8	19.2	3.8	15.4	19.2	15.4	
	女性 50～64歳	5	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	
	65～74歳	12	8.3	-	25.0	8.3	-	33.3	8.3	
75歳以上	52	1.9	5.8	13.5	7.7	23.1	21.2	1.9	13.5	
圏域	安威川以北圏域	46	6.5	8.7	17.4	4.3	17.4	28.3	6.5	
	安威川以南圏域	67	3.0	6.0	16.4	7.5	17.9	14.9	1.5	16.4
当認定状況	非認定者	89	2.2	7.9	13.5	4.5	20.2	20.2	1.1	14.6
	総合事業対象者	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	
	要支援1・2	21	9.5	4.8	33.3	9.5	9.5	23.8	-	4.8

② 主な介護者

●問1.2-2 [介護を受けている方のみ] 主にどなたの介護・介助を受けていますか。
(いくつでも)

【全体】

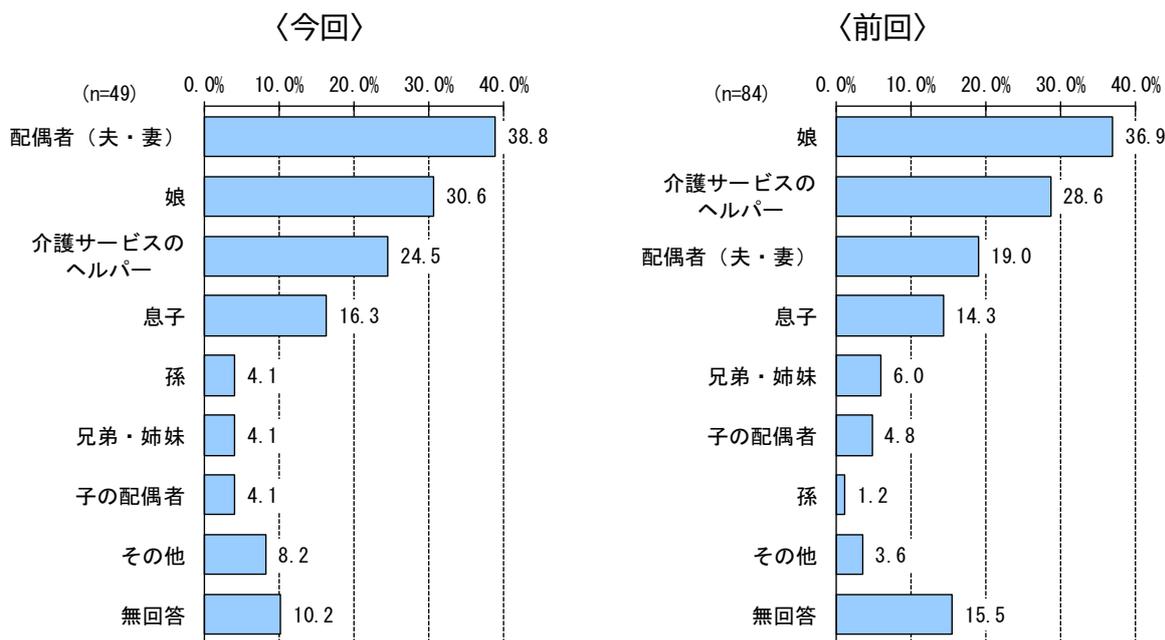
○ 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」が 38.8%で最も多く、次いで「娘」が 30.6%、「介護サービスのヘルパー」が 24.5%となっています。

○ 前回調査に比べて、「配偶者（夫・妻）」が 19.8 ポイント多くなっています。

【性・年齢】

○ 女性（75 歳以上）では、男性（75 歳以上）に比べて「配偶者（夫・妻）」が少なく、「介護サービスのヘルパー」が多くなっています。

【主な介護者(MA)】



単位：%

		母数 (n)	主な介護者(MA)								
			妻 配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	の介 護サ ーバ ー ピ ス	そ の 他	無 回 答
全体		49	38.8	16.3	30.6	4.1	4.1	4.1	24.5	8.2	10.2
性・ 年 齢	男性 50～64歳	4	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0
	65～74歳	4	25.0	-	25.0	-	-	25.0	75.0	-	-
	75歳以上	11	45.5	27.3	54.5	9.1	-	-	18.2	-	9.1
	女性 50～64歳	1	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-
	65～74歳	5	80.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0
	75歳以上	24	29.2	12.5	29.2	4.2	4.2	-	29.2	8.3	8.3
圏 域	安威川以北圏域	20	40.0	10.0	30.0	5.0	-	-	40.0	5.0	5.0
	安威川以南圏域	29	37.9	20.7	31.0	3.4	6.9	6.9	13.8	10.3	13.8
当 認 状 定 該	非認定者	28	46.4	21.4	35.7	-	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1
	総合事業対象者	3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3
	要支援1・2	18	27.8	11.1	22.2	11.1	-	-	50.0	-	11.1

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「介護サービスのヘルパー」が50.0%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らしでは、「配偶者（夫・妻）」が約7割となっています。

単位：%

		母数 (n)	主な介護者(MA)								
			妻 配偶者 (夫・ 妻)	息子	娘	子 の 配 偶 者	孫	兄 弟 ・ 姉 妹	の 介 護 サ ー ビ ス の ヘ ル パ ー	そ の 他	無 回 答
全体		49	38.8	16.3	30.6	4.1	4.1	4.1	24.5	8.2	10.2
家 族 構 成	1人暮らし	12	-	8.3	33.3	8.3	8.3	-	50.0	8.3	16.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	19	68.4	10.5	15.8	-	-	5.3	21.1	-	10.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	3	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	息子・娘との2世帯	9	22.2	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1
	その他	5	20.0	40.0	60.0	-	-	-	-	20.0	-

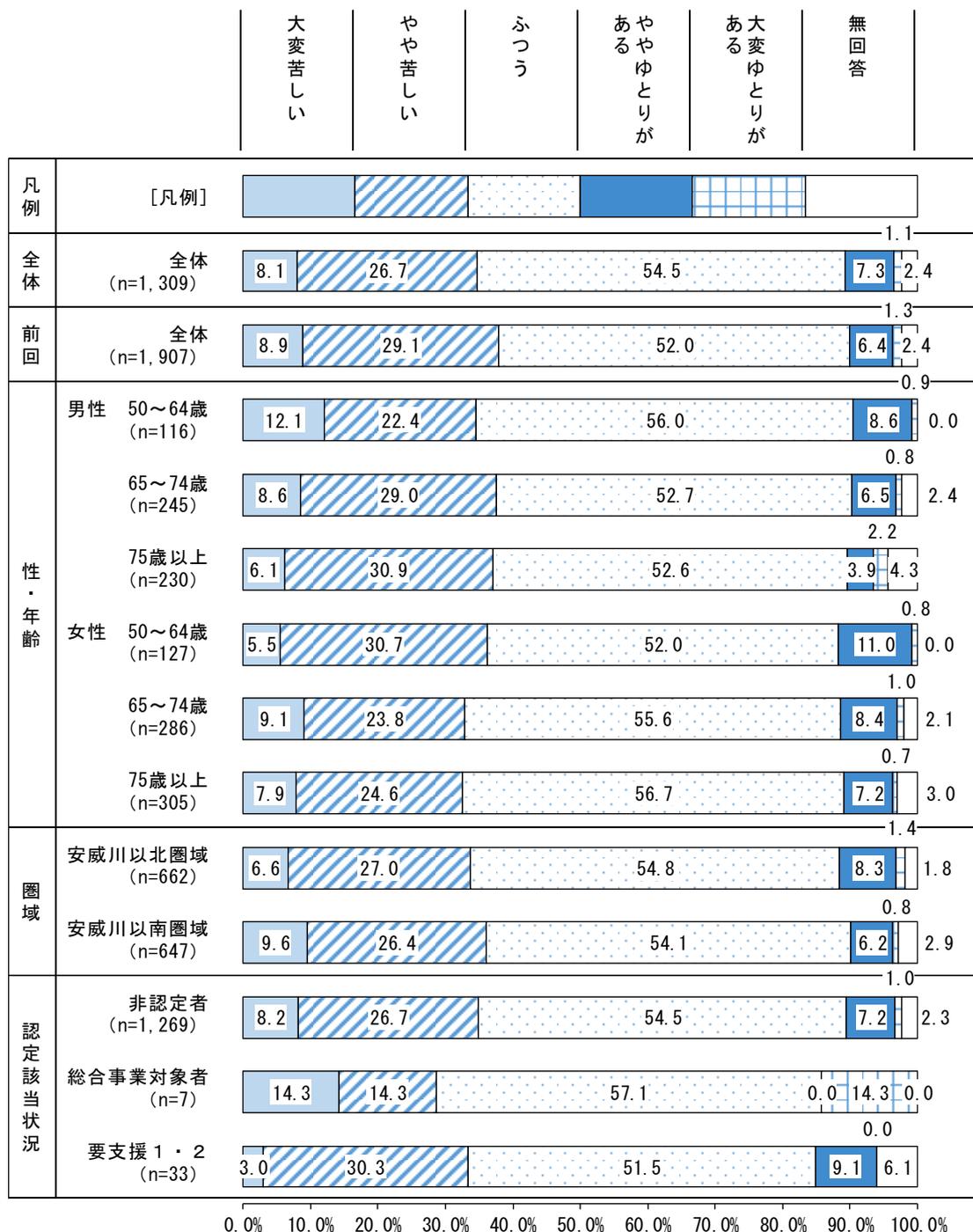
③ 経済状況

●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

【全体】

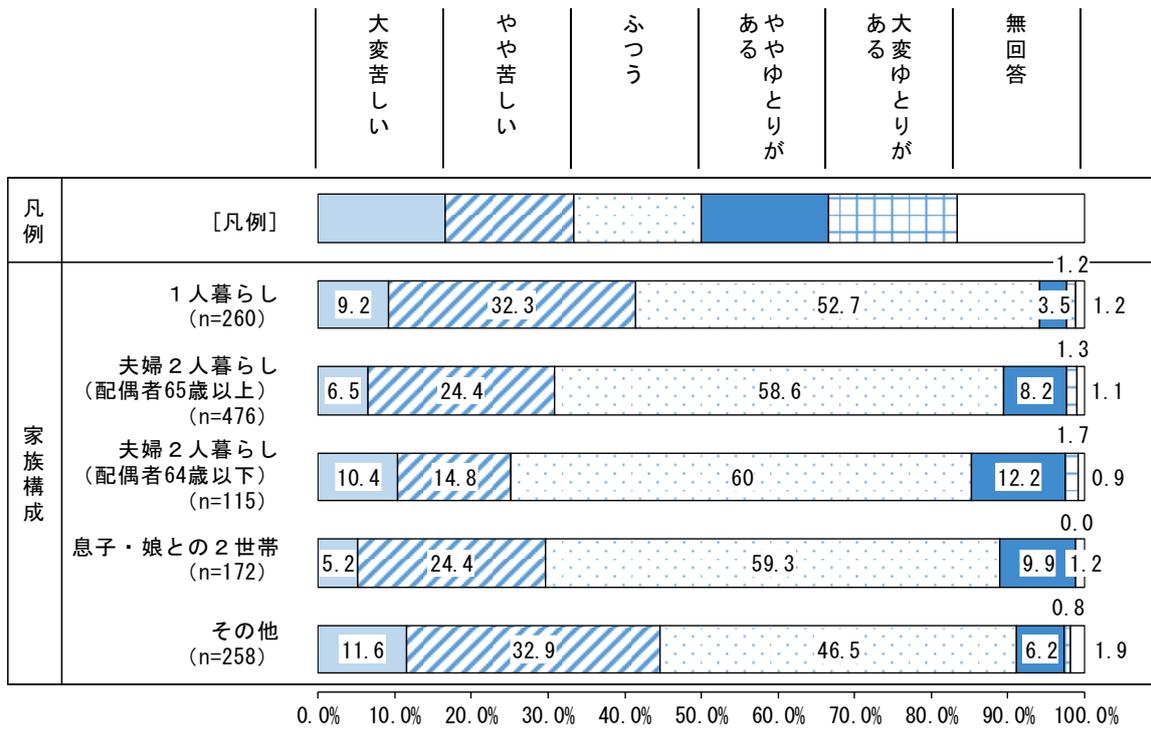
- 経済状況について、「ふつう」が54.5%で最も多く、次いで「やや苦しい」が26.7%、「大変苦しい」が8.1%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”は34.8%となっています。

【経済状況】



【家族構成】

○ 1人暮らしでは、“苦しい”が41.5%と夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯に比べて多くなっています。



④ 住まいの状況

●問1.4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

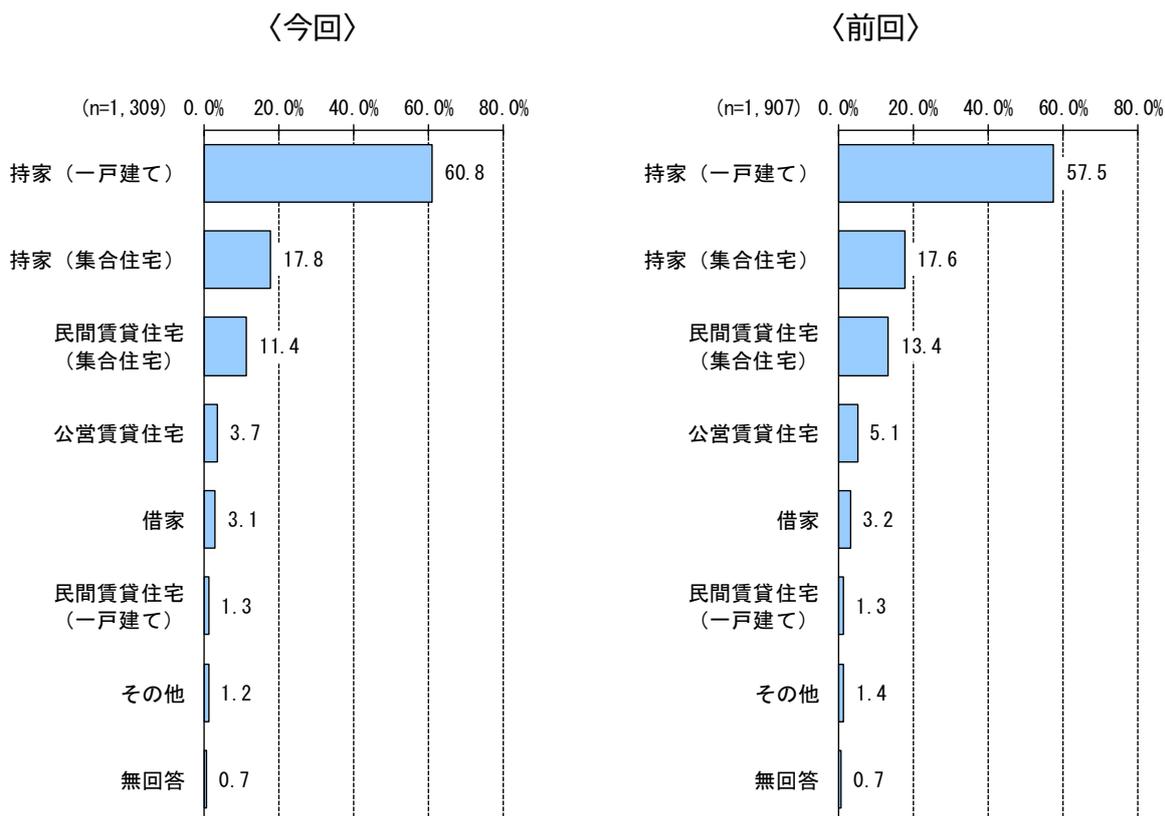
【全体】

○ 住まいについて、「持家（一戸建て）」が60.8%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が17.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が11.4%となっています。

【圏域】

○ 安威川以北圏域では安威川以南圏域と比べて「持家（集合住宅）」「民間賃貸住宅（集合住宅）」が多くなっています。

【住まい】



単位：%

	母数 (n)	住まい								
		戸持 建て（一 戸）	合持 家（集 合住宅）	住公 宅営 賃貸	戸住 民間 賃貸 （一 戸）	合住 民間 賃貸 （集 合住宅）	借家	そ の 他	無 回 答	
全体	1,309	60.8	17.8	3.7	1.3	11.4	3.1	1.2	0.7	
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	56.0	17.2	-	-	19.8	4.3	2.6	-
	65～74歳	245	56.3	20.0	4.1	1.2	14.3	3.7	-	0.4
	75歳以上	230	66.1	13.0	6.1	0.9	10.0	2.2	0.9	0.9
	女性 50～64歳	127	55.1	22.8	0.8	0.8	13.4	2.4	3.1	1.6
	65～74歳	286	64.3	19.6	2.8	1.4	7.3	2.4	1.4	0.7
75歳以上	305	61.3	16.1	5.2	2.3	9.8	3.6	1.0	0.7	
圏 域	安威川以北圏域	662	49.5	26.3	2.4	1.7	14.7	3.5	1.1	0.9
	安威川以南圏域	647	72.3	9.1	5.1	0.9	8.0	2.6	1.4	0.5
当認 状況 該	非認定者	1,269	61.1	17.5	3.7	1.3	11.3	3.1	1.3	0.7
	総合事業対象者	7	42.9	42.9	-	-	14.3	-	-	-
	要支援1・2	33	54.5	24.2	6.1	-	12.1	3.0	-	-

●問1.5 ご自宅にお風呂はありますか。(1つだけ)

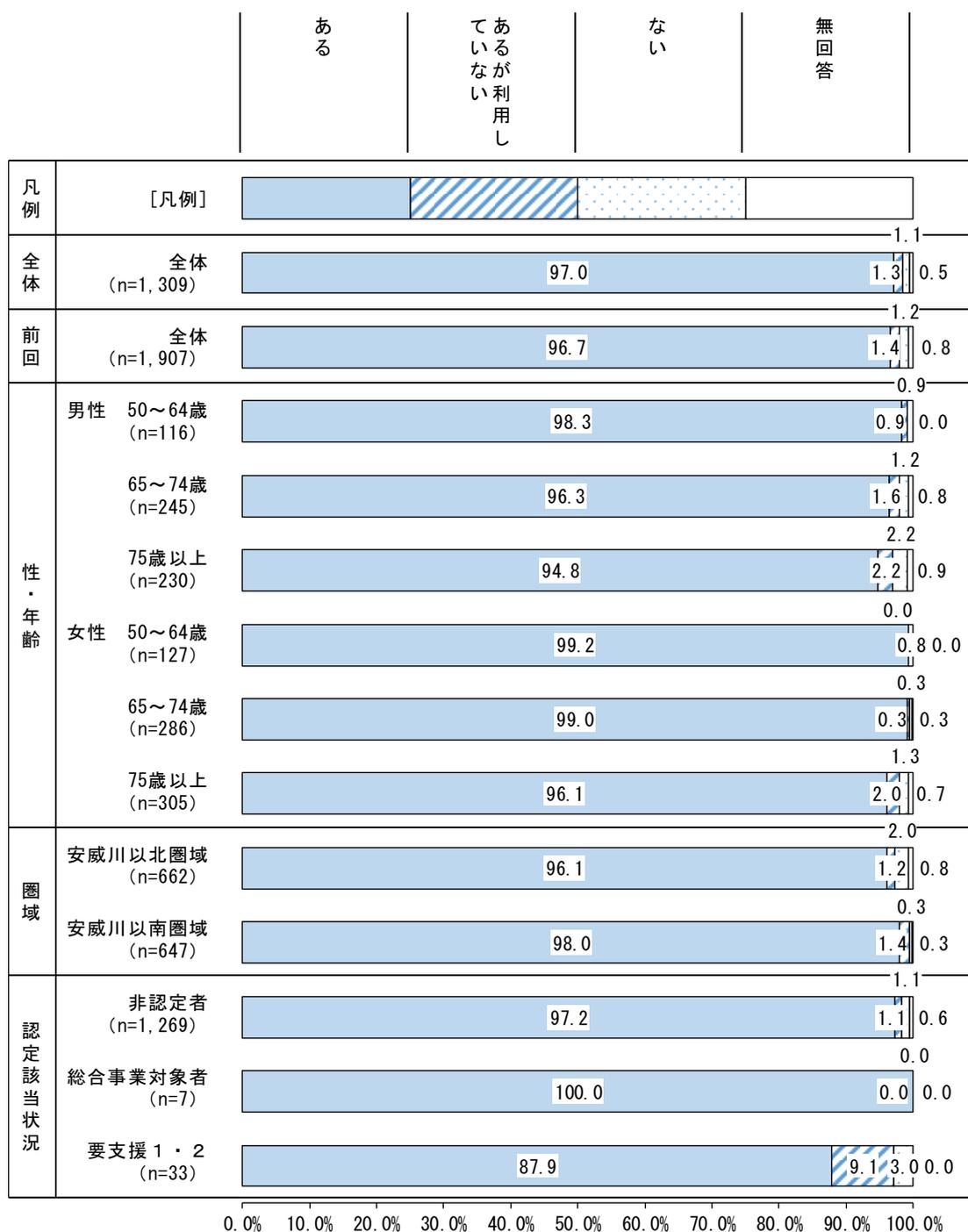
【全体】

- 自宅のお風呂の有無について、「ある」が97.0%で最も多く、次いで「あるが利用していない」が1.3%、「ない」が1.1%となっています。

【圏域】

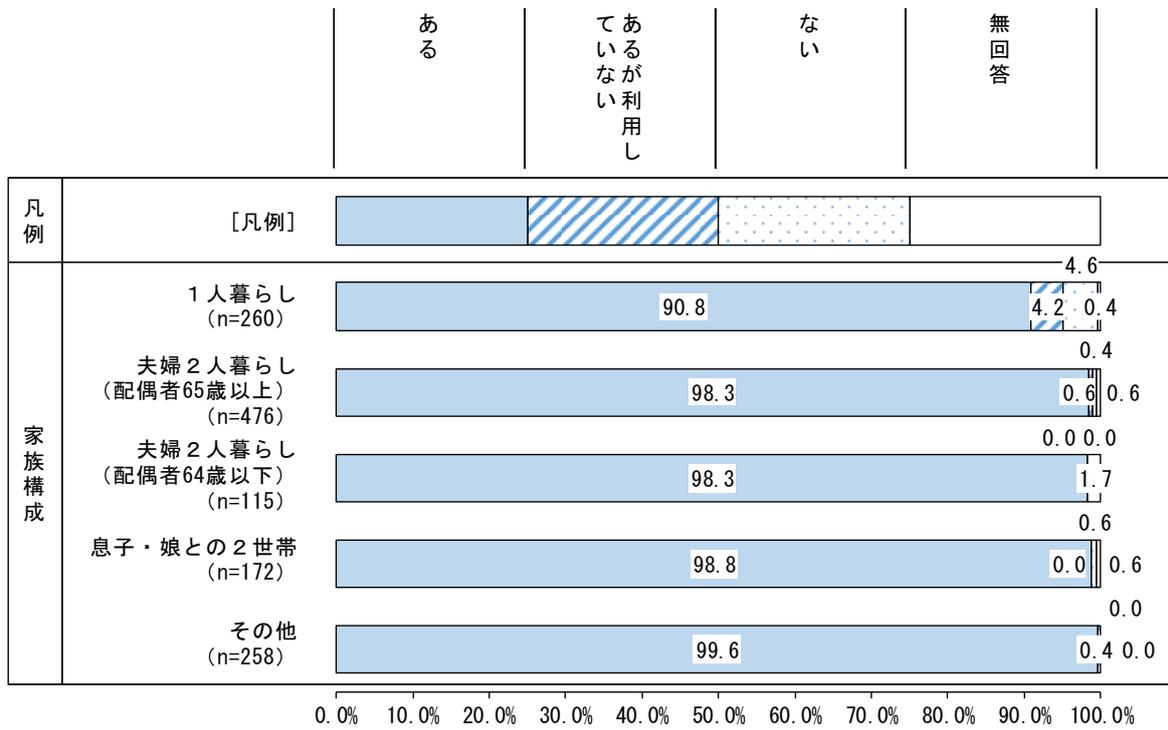
- 安威川以北圏域では、「あるが利用していない」が1.2%、「ない」が2.0%となっています。
- 安威川以南圏域では、「あるが利用していない」が1.4%、「ない」が0.3%となっています。

【自宅のお風呂の有無】



【家族構成】

○ 1人暮らしでは、他の家族構成区分に比べて「ある」が少なく、「あるが利用していない」が4.2%、「ない」が4.6%と多くなっています。



●問1.5-1 【自宅にあるが利用していない方・ない方のみ】お風呂はどこに入っていますか。(いくつでも)

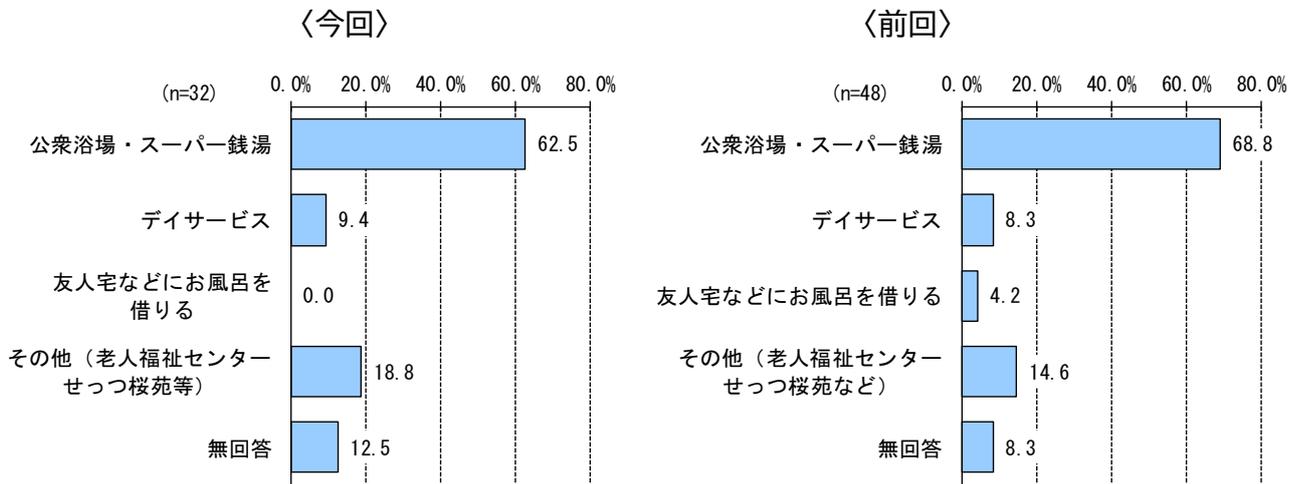
【全体】

- どこでお風呂に入っているかについて、「公衆浴場・スーパー銭湯」が 62.5%で最も多く、次いで「その他（老人福祉センターせつつ桜苑等）」が 18.8%、「デイサービス」が 9.4%となっています。
- 前回調査に比べて、「公衆浴場・スーパー銭湯」が 6.3 ポイント少なく、「その他（老人福祉センターせつつ桜苑等）」が 4.2 ポイント多くなっています。

【圏域】

- 安威川以北圏域では、「公衆浴場・スーパー銭湯」が 81.0%で最も多く、次いで「その他（老人福祉センターせつつ桜苑等）」が 9.5%、「デイサービス」が 4.8%となっています。
- 安威川以南圏域では、「その他（老人福祉センターせつつ桜苑等）」が 36.4%で最も多く、次いで「公衆浴場・スーパー銭湯」が 27.3%、「デイサービス」が 18.2%となっています。

【どこでお風呂に入っているか(MA)】



単位：%

		母数 (n)	どこでお風呂に入っているか(MA)				
			デイサービス	公衆浴場・スーパー銭湯	友人宅などお風呂を借りる	その他（老人福祉センターせつつ桜苑等）	無回答
全体		32	9.4	62.5	-	18.8	12.5
性・年齢	男性 50～64歳	2	-	50.0	-	50.0	-
	65～74歳	7	-	71.4	-	-	28.6
	75歳以上	10	-	70.0	-	20.0	10.0
	女性 50～64歳	1	-	100.0	-	-	-
	65～74歳	2	-	100.0	-	-	-
	75歳以上	10	30.0	40.0	-	30.0	10.0
圏域	安威川以北圏域	21	4.8	81.0	-	9.5	9.5
	安威川以南圏域	11	18.2	27.3	-	36.4	18.2
当認状況該	非認定者	28	3.6	64.3	-	17.9	14.3
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	4	50.0	50.0	-	25.0	-

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「公衆浴場・スーパー銭湯」が69.6%で最も多く、次いで「その他（老人福祉センターせつつ桜苑等）」が17.4%となっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では、「公衆浴場・スーパー銭湯」が60.0%で最も多く、次いで「デイサービス」が40.0%、「その他（老人福祉センターせつつ桜苑等）」が20.0%となっています。

単位：%

		母数 (n)	どこでお風呂に入っているか(MA)					無 回 答
			デ イ サ ー ビ ス	ス ー パ ー 銭 湯	公 衆 浴 場	お 友 人 宅 を 借 り に	等 せ つ つ 桜 苑 等	
全体		32	9.4	62.5	-	-	18.8	12.5
家 族 構 成	1人暮らし	23	4.3	69.6	-	-	17.4	8.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	5	40.0	60.0	-	-	20.0	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	-	-	-	-	-	-	-
	息子・娘との2世帯	1	-	-	-	-	100.0	-
	その他	1	-	-	-	-	-	100.0

⑤ 勤務状況

●問1.6 あなたの現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ)

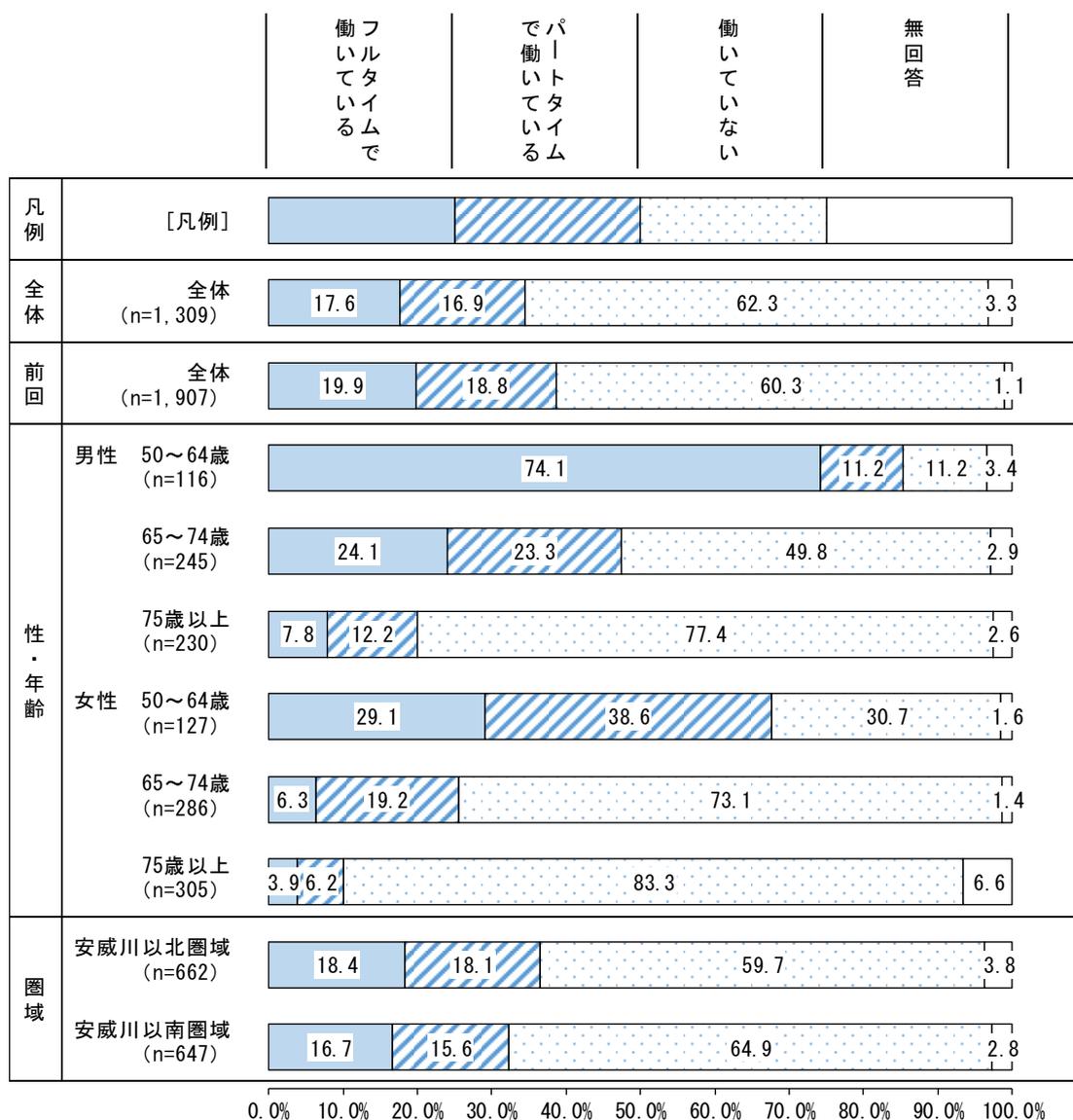
【全体】

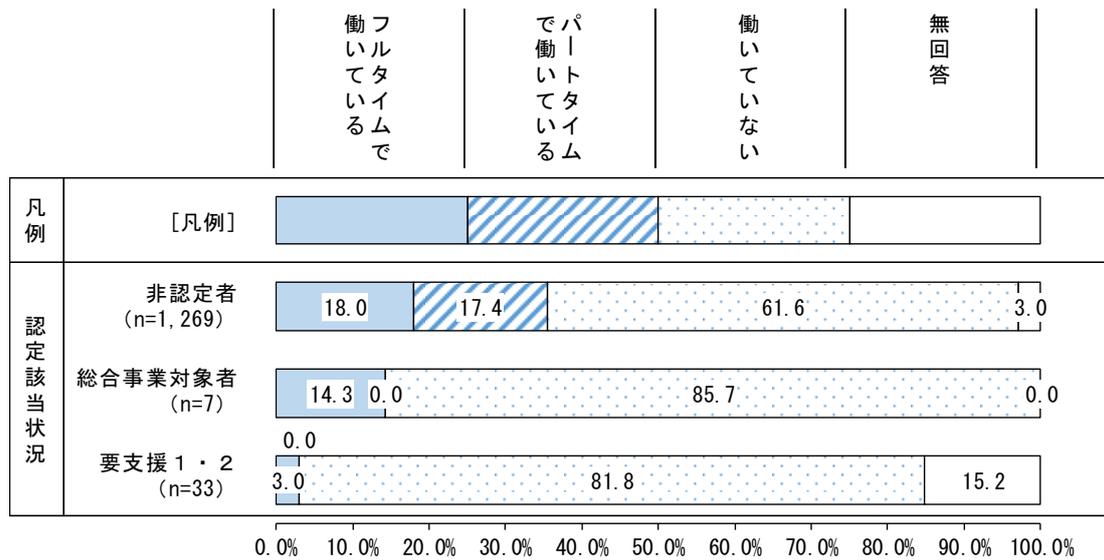
- 現在の勤務形態について、「働いていない」が62.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が17.6%、「パートタイムで働いている」が16.9%となっています。
- 「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を合わせた“働いている”は34.5%となっています。

【性・年齢】

- いずれの年代でも男性では女性に比べて“働いている”が多くなっています。
- 男性では、50～64歳では「フルタイムで働いている」が74.1%となっていますが、65～74歳では24.1%と大きな差がみられます。75歳以上では、「働いていない」が7割以上となっています。
- 女性（50～64歳）では「パートタイムで働いている」が38.6%と最も多くなっています。また、65歳以上になると「働いていない」が7～8割となっています。

【現在の勤務形態】





●問1.6-1 【働いている方のみ】働いている理由は何ですか。(いくつでも)

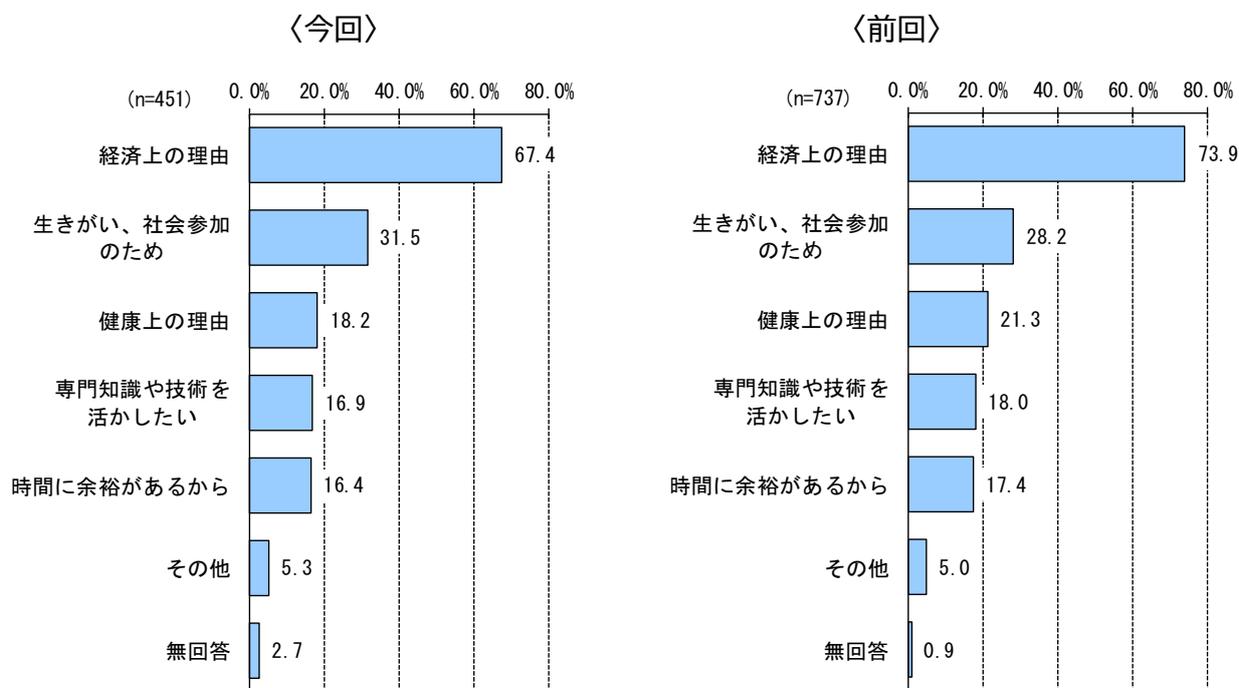
【全体】

- 働いている理由について、「経済上の理由」が 67.4%で最も多く、次いで「生きがい、社会参加のため」が31.5%、「健康上の理由」が18.2%となっています。
- 前回調査に比べて、「経済上の理由」が 6.5 ポイント、「健康上の理由」が 3.1 ポイント少なく、「生きがい、社会参加のため」が 3.3 ポイント多くなっています。

【性・年齢】

- 男女ともに 74 歳以下では「経済上の理由」が多くなっていますが、65 歳以上では「健康上の理由」も多くなっています。
- 男性（65 歳以上）では女性に比べて「専門知識や技術を活かしたい」が多くなっています。
- 女性（65～74 歳）では男性に比べて「時間に余裕があるから」が多くなっています。また、女性（50～64 歳）では「生きがい、社会参加のため」が 39.5%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【働いている理由(MA)】



単位：%

		母数 (n)	働いている理由 (MA)						
			由経済上の理由	由健康上の理由	た社会参加のため	が時間あるに余裕	し技術的知識を活かす	その他	無回答
全体		451	67.4	18.2	31.5	16.4	16.9	5.3	2.7
性・年齢	男性 50～64歳	99	81.8	8.1	23.2	6.1	16.2	2.0	4.0
	65～74歳	116	62.9	24.1	28.4	19.0	20.7	2.6	2.6
	75歳以上	46	47.8	34.8	37.0	13.0	19.6	13.0	2.2
	女性 50～64歳	86	72.1	7.0	39.5	18.6	18.6	8.1	2.3
	65～74歳	73	72.6	23.3	32.9	26.0	9.6	2.7	1.4
	75歳以上	31	41.9	22.6	35.5	16.1	12.9	12.9	3.2

【経済状況】

- 経済状況にゆとりがあるほど、「生きがい、社会参加のため」「専門知識や技術を活かしたい」が多くなる傾向がみられます。

単位：%

		母数 (n)	働いている理由(MA)						無回答
			由経済上の理	由健康上の理	た社生 め会き 参加の	が時 あ間 るに か余 ら裕	し技専 た術門 いを知 活識 かや	その他	
全体		451	67.4	18.2	31.5	16.4	16.9	5.3	2.7
圏 域	安威川以北圏域	242	69.0	17.4	35.5	18.6	15.7	3.7	2.9
	安威川以南圏域	209	65.6	19.1	26.8	13.9	18.2	7.2	2.4
当認 状定 況該	非認定者	449	67.7	18.3	31.6	16.5	16.9	4.9	2.7
	総合事業対象者	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	要支援1・2	1	-	-	-	-	-	100.0	-
経 済 状 況	大変苦しい	44	84.1	4.5	9.1	2.3	9.1	9.1	2.3
	やや苦しい	115	87.0	17.4	27.8	13.0	8.7	1.7	2.6
	ふつう	236	61.9	22.0	34.3	19.1	17.4	5.9	3.0
	ややゆとりがある	43	37.2	9.3	46.5	27.9	39.5	7.0	-
	大変ゆとりがある	5	-	40.0	80.0	-	60.0	20.0	-

4. からだを動かすことについて

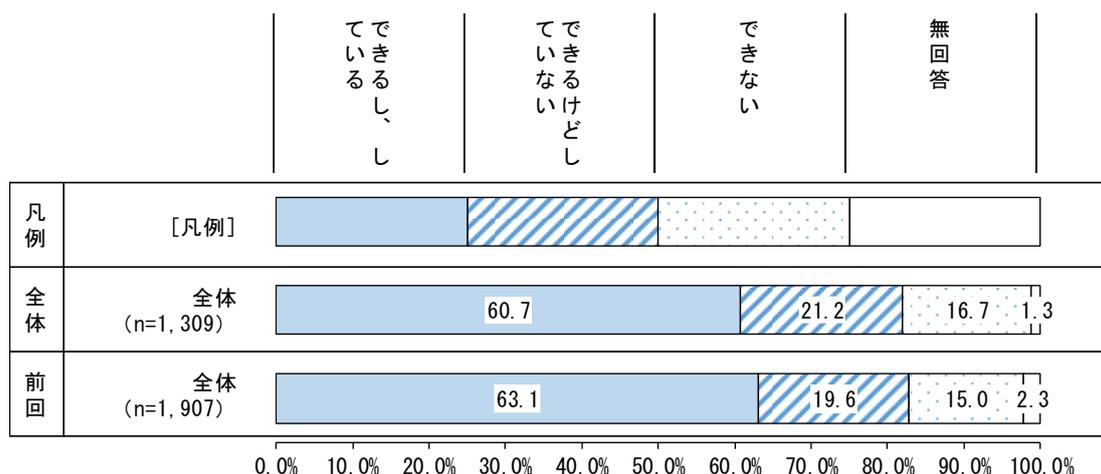
(1) 運動・転倒の状況

●問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)

【全体】

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が60.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が16.7%となっています。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】

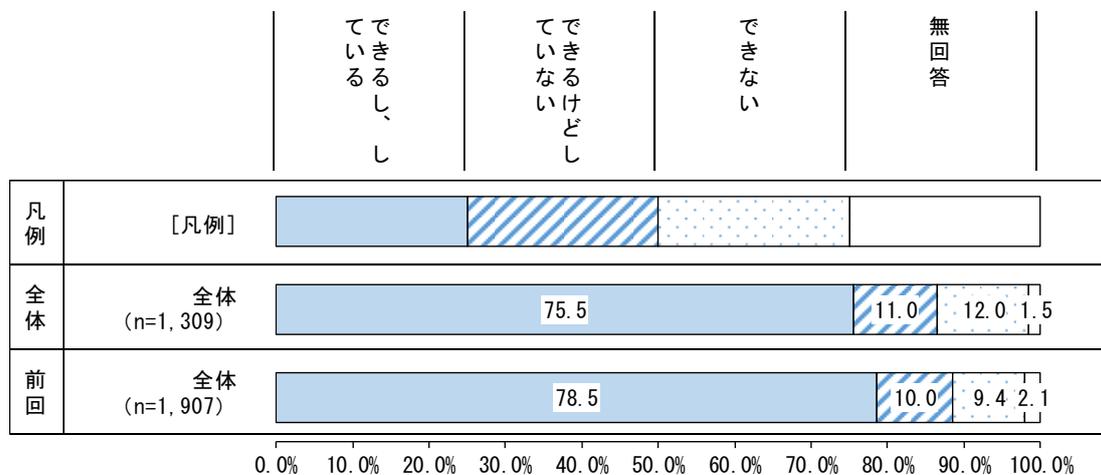


●問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)

【全体】

- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が75.5%で最も多く、次いで「できない」が12.0%、「できるけどしていない」が11.0%となっています。

【椅子に座った状態からの立ち上がり】

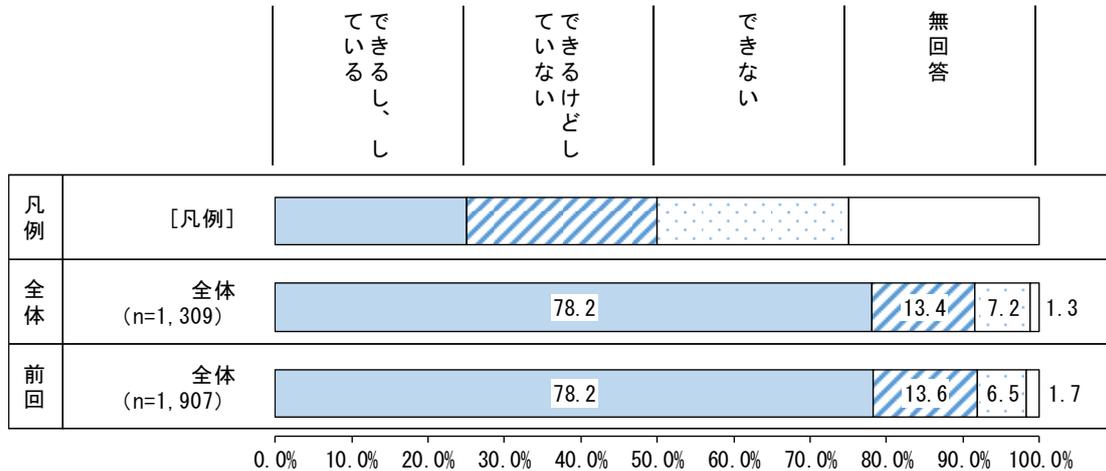


●問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

【全体】

○ 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が78.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が7.2%となっています。

【15分位続けての歩行】

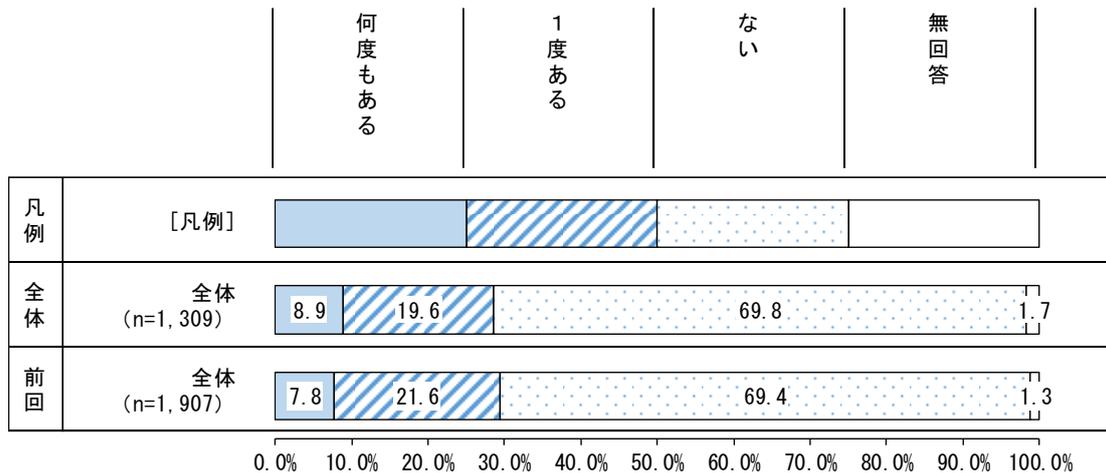


●問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

【全体】

○ 転倒経験について、「ない」が69.8%で最も多く、次いで「1度ある」が19.6%、「何度もある」が8.9%となっています。

【転倒経験】

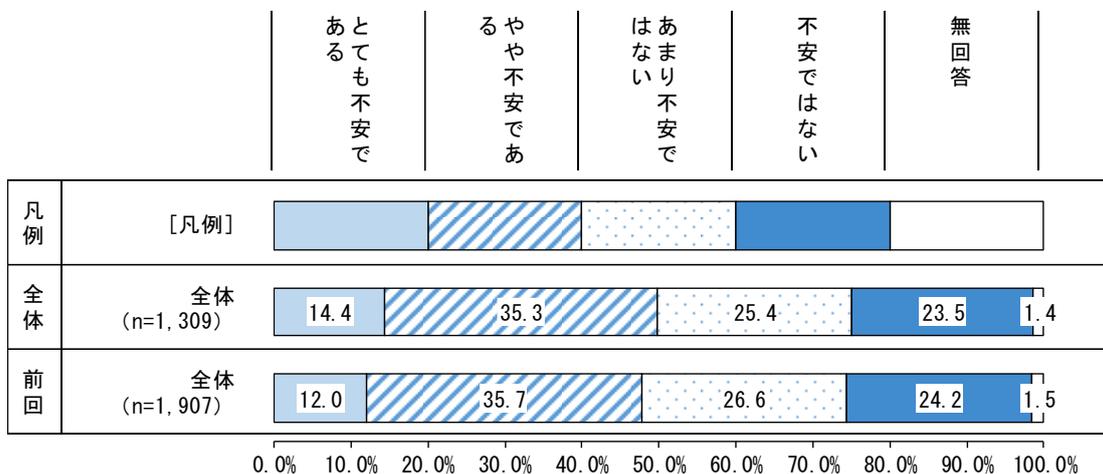


●問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

【全体】

○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が 35.3%で最も多く、次いで「あまり不安ではない」が 25.4%、「不安ではない」が 23.5%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”は 49.7%となっています。

【転倒に対する不安】



◆運動器の機能低下リスクの判定

●リスク判定方法

5項目のうち3項目以上に該当する場合、「運動器の機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
2.1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
2.2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
2.3	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
2.4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
2.5	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

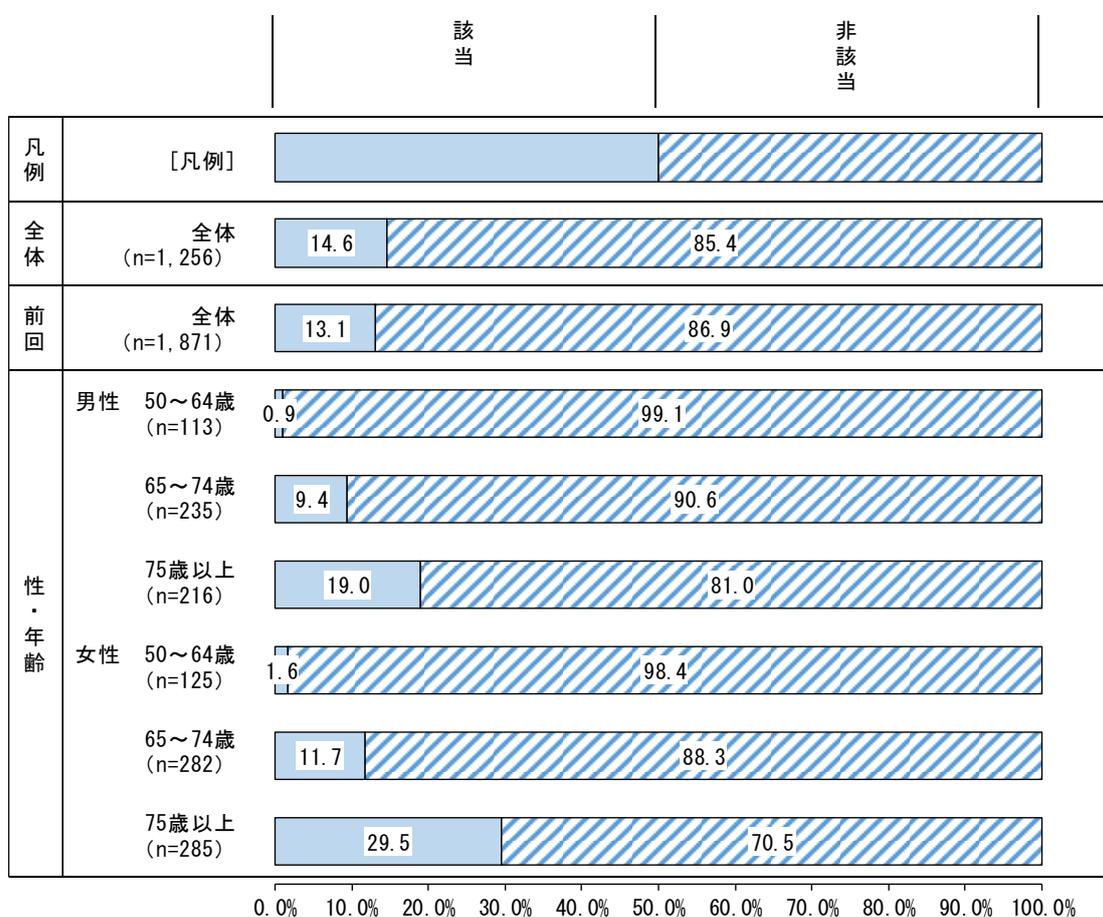
【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が14.6%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに年代が上がるほど「該当」が多くなる傾向がみられます。特に、女性（75歳以上）では29.5%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】



【圏域】

○ 安威川以南圏域では、安威川以北圏域に比べて「該当」が 17.2%と多くなっています。

【認定該当状況】

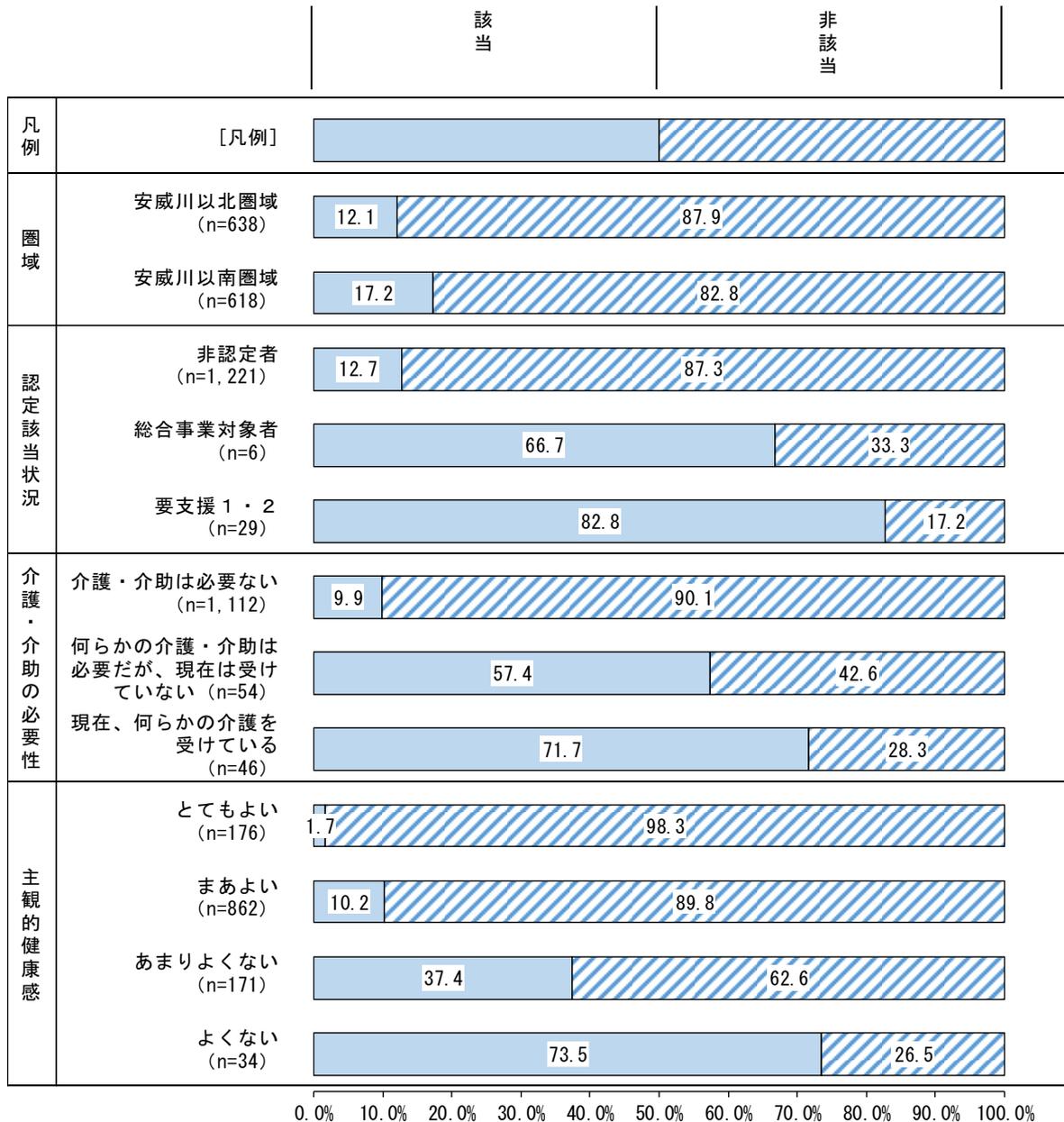
○ 「該当」は、非認定者では 12.7%、総合事業対象者では 66.7%、要支援 1・2 では 82.8%となっています。

【介護・介助の必要性】

○ 介護・介助は必要ない人では、「該当」が 9.9%となっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



◆転倒リスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「転倒リスクがある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
2.4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

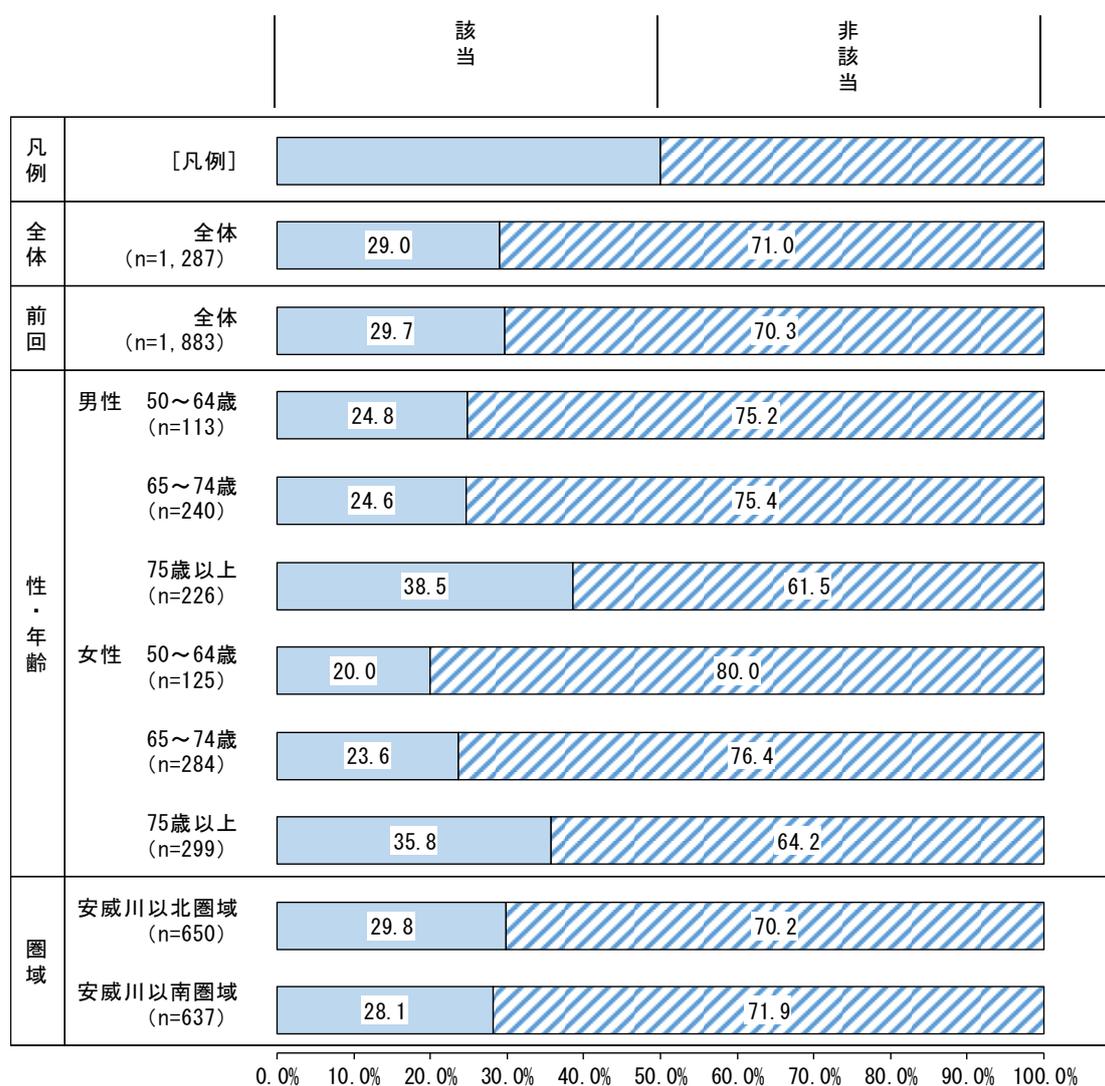
【全体】

○ 転倒リスクについて、「該当」が29.0%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに74歳以下では「該当」は約2割であるのに対し、75歳以上では約4割と多くなっています。

【転倒リスク】



【認定該当状況】

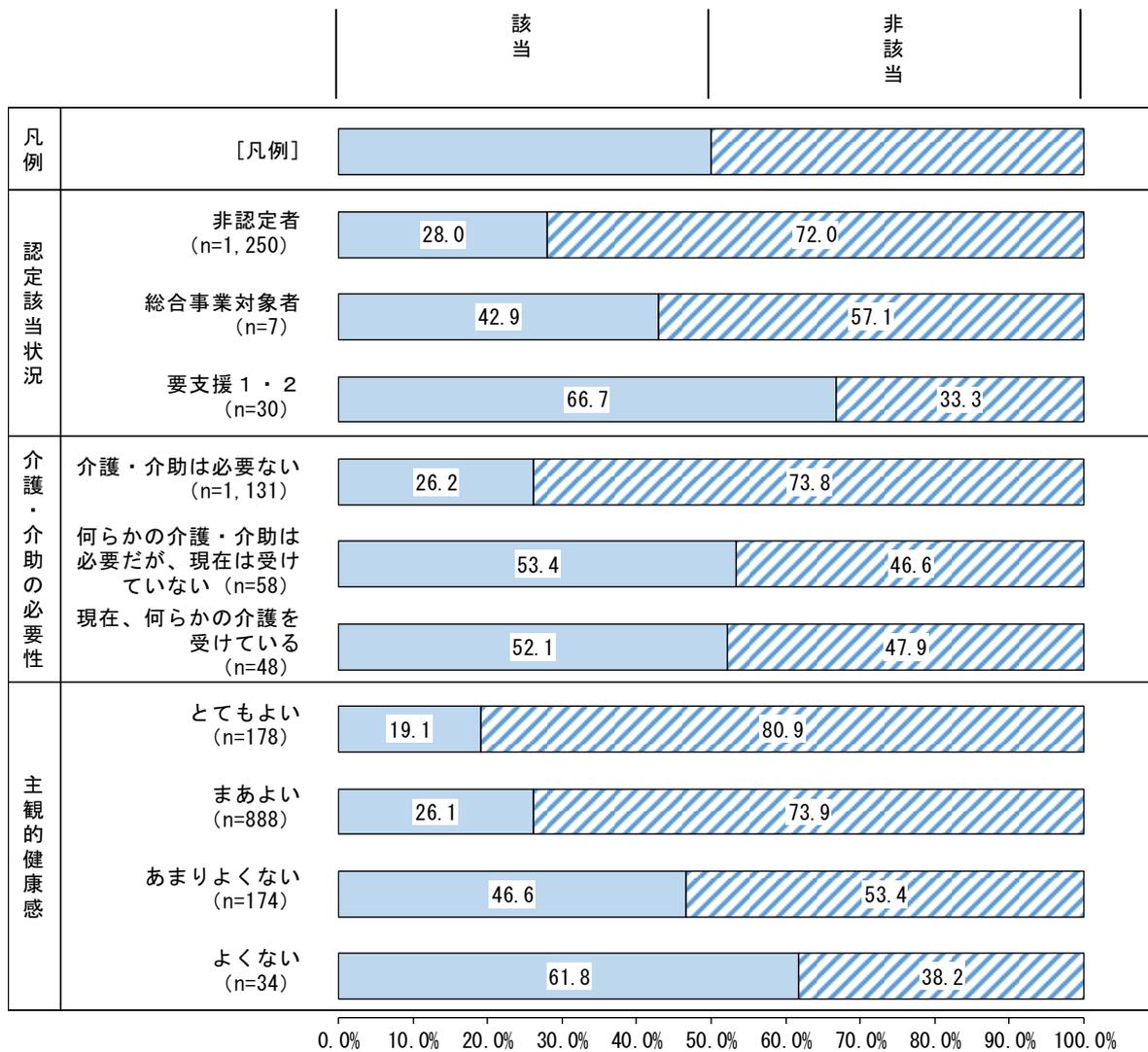
○ 「該当」は、非認定者では 28.0%、総合事業対象者では 42.9%、要支援 1・2 では 66.7%となっています。

【介護・介助の必要性】

○ 介護・介助は必要ない人では、「該当」が 26.2%となっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



(2) 外出の状況

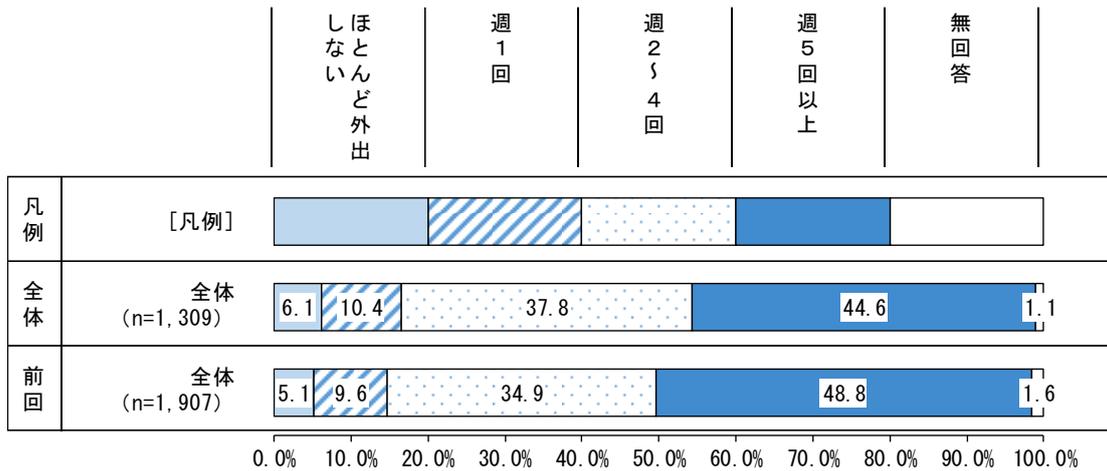
① 外出の頻度

●問2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

【全体】

○ 外出頻度について、「週5回以上」が44.6%で最も多く、次いで「週2～4回」が37.8%、「週1回」が10.4%となっています。

【外出頻度】



◆閉じこもりのリスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「閉じこもり傾向がある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
2.6	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【全体】

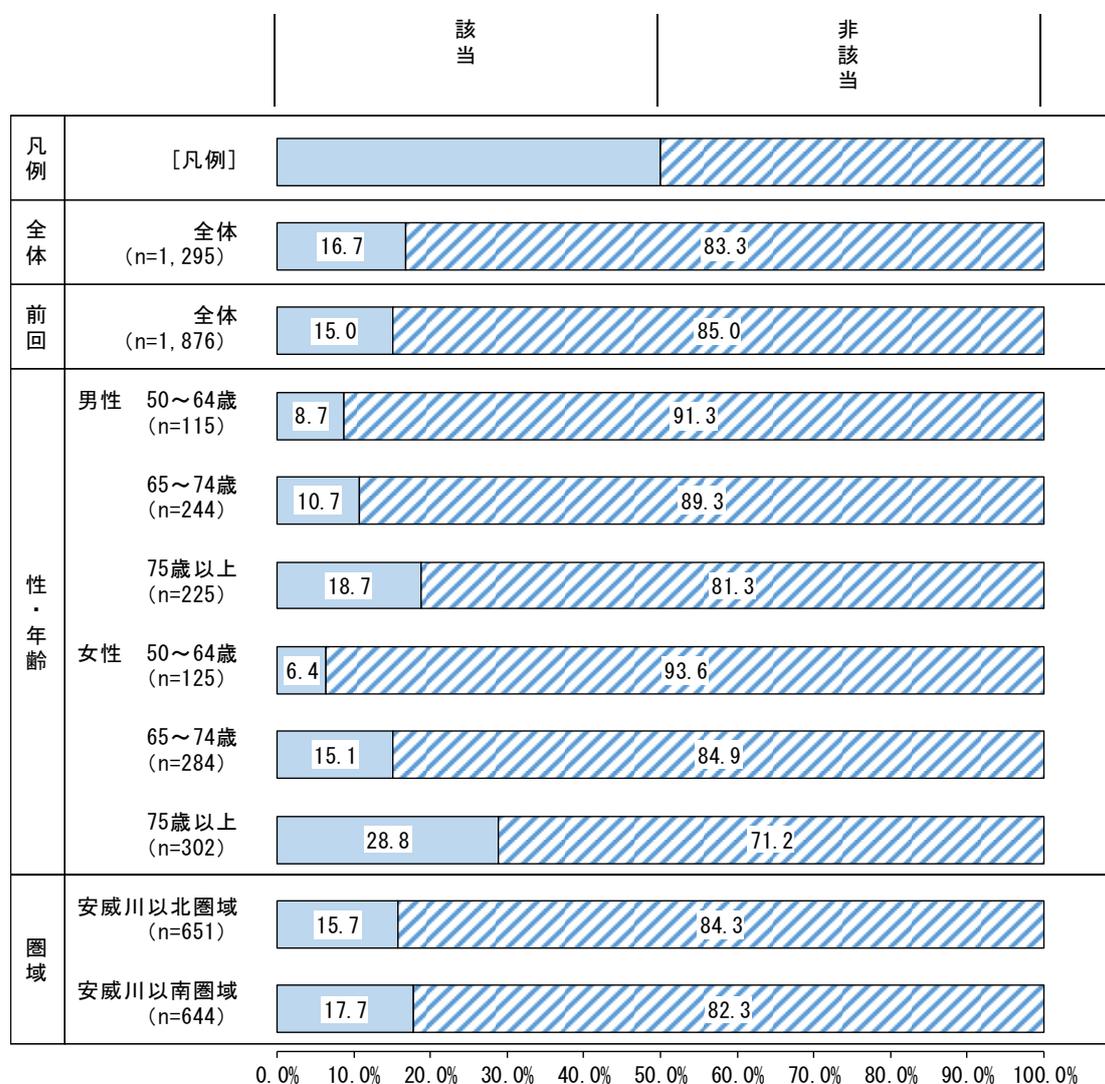
○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が16.7%となっています。

【性・年齢】

○ 男性では、74歳以下では「該当」は約1割であるのに対し、75歳以上では18.7%と多くなっています。

○ 女性では、年代が上がるほど「該当」が多くなる傾向がみられ、75歳以上では28.8%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【閉じこもりのリスク】



【認定該当状況】

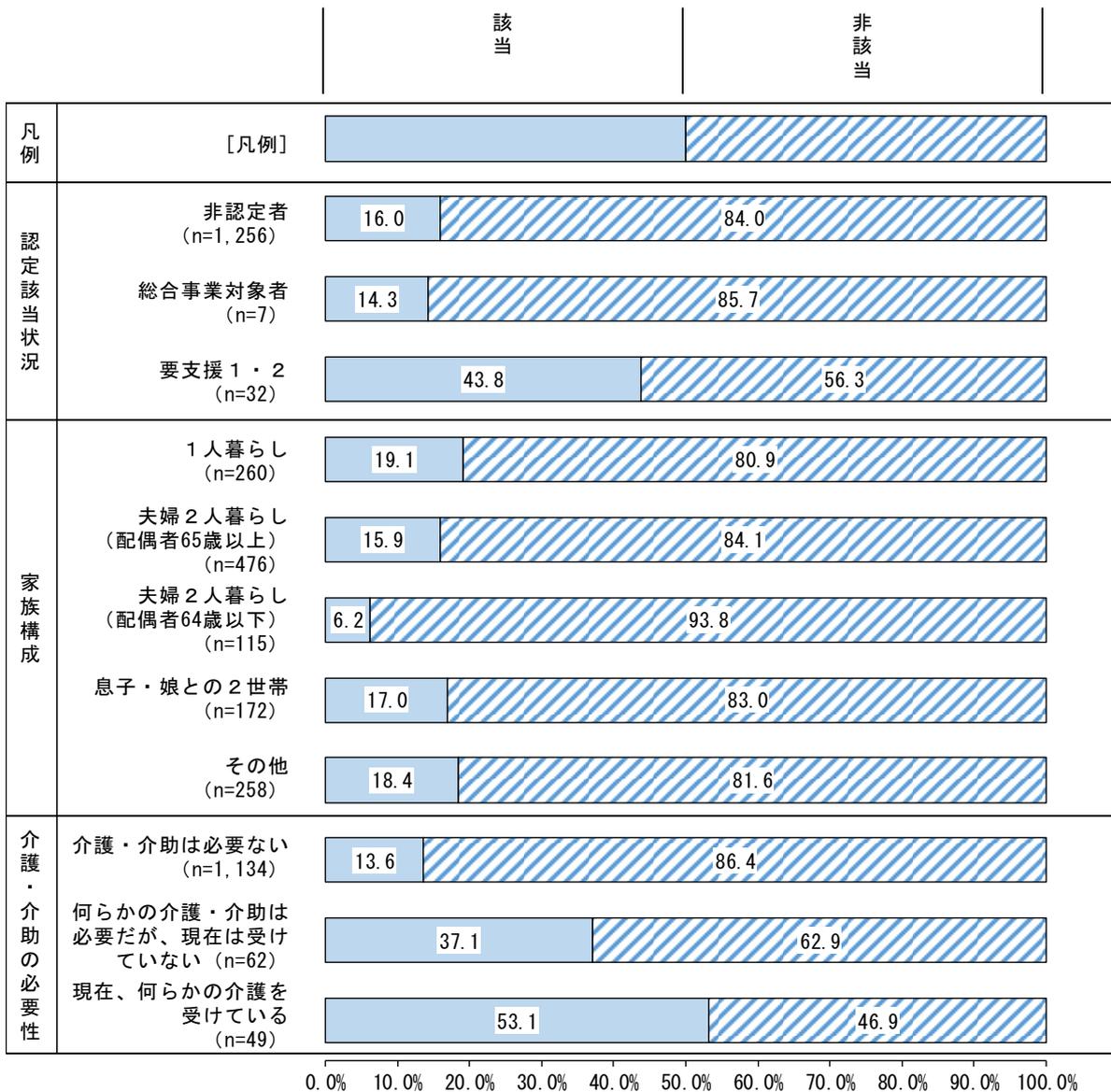
○ 「該当」は、非認定者では 16.0%、総合事業対象者では 14.3%であるのに対し、要支援1・2では 43.8%となっています。

【家族構成】

○ 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）では、「該当」が 6.2%と他の家族構成区分に比べて少なくなっています。

【介護・介助の必要性】

○ 介護・介助は必要ない人では、「該当」が 13.6%となっています。

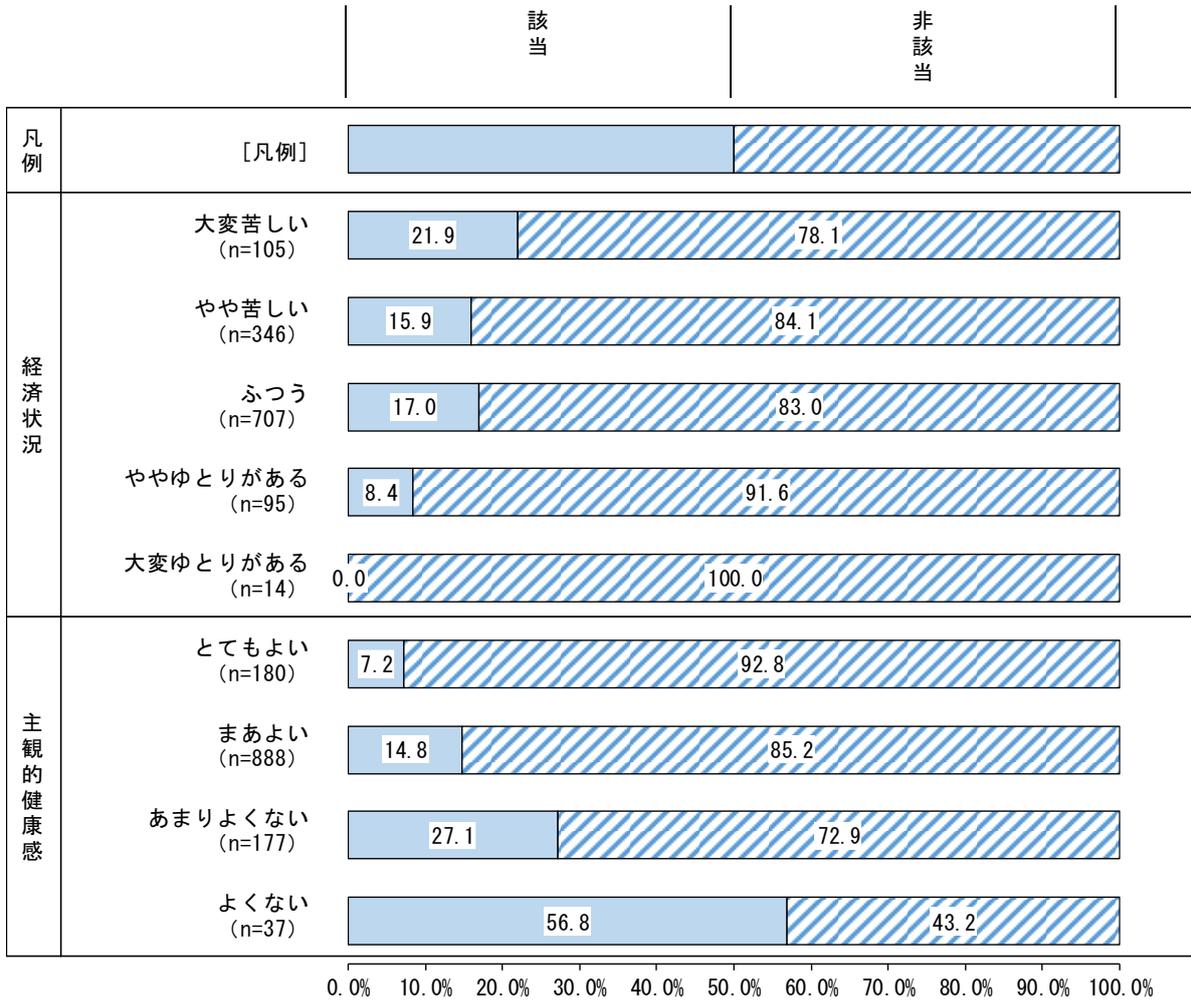


【経済状況】

○ 経済状況が苦しいほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



●問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

【全体】

- 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が35.8%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が29.6%、「減っている」が28.8%となっています。
- 「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”は34.0%となっています。
- 前回調査に比べて、“減っている”が9.7ポイント多くなっています。

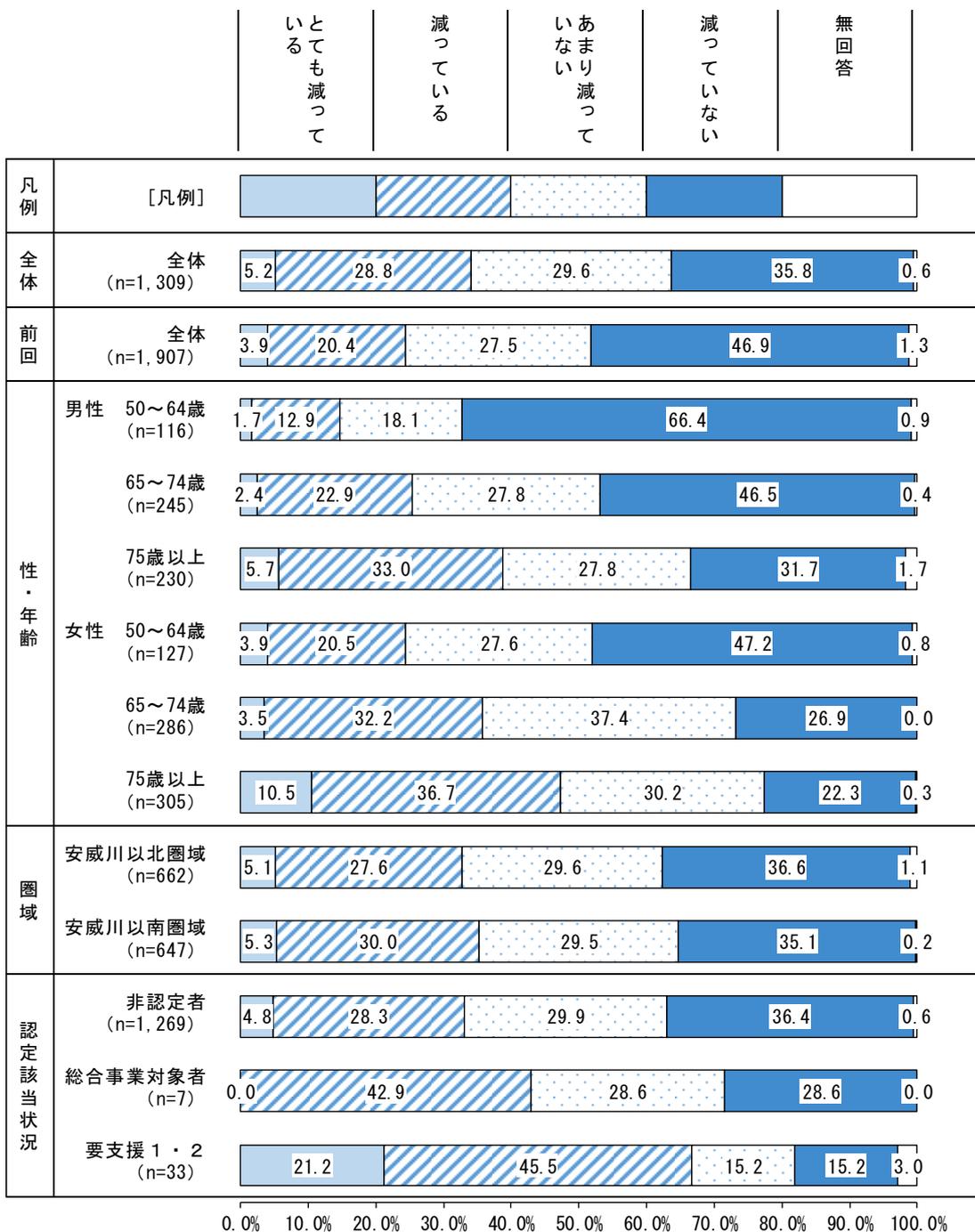
【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど“減っている”が多くなる傾向がみられます。
- 女性(50~64歳)では男性(50~64歳)に比べて“減っている”が多くなっています。

【認定該当状況】

- 非認定者では、“減っている”が33.1%となっています。

【昨年と比べて外出の回数】



② 外出を控えているか

●問2.8 外出を控えていますか。(1つだけ)

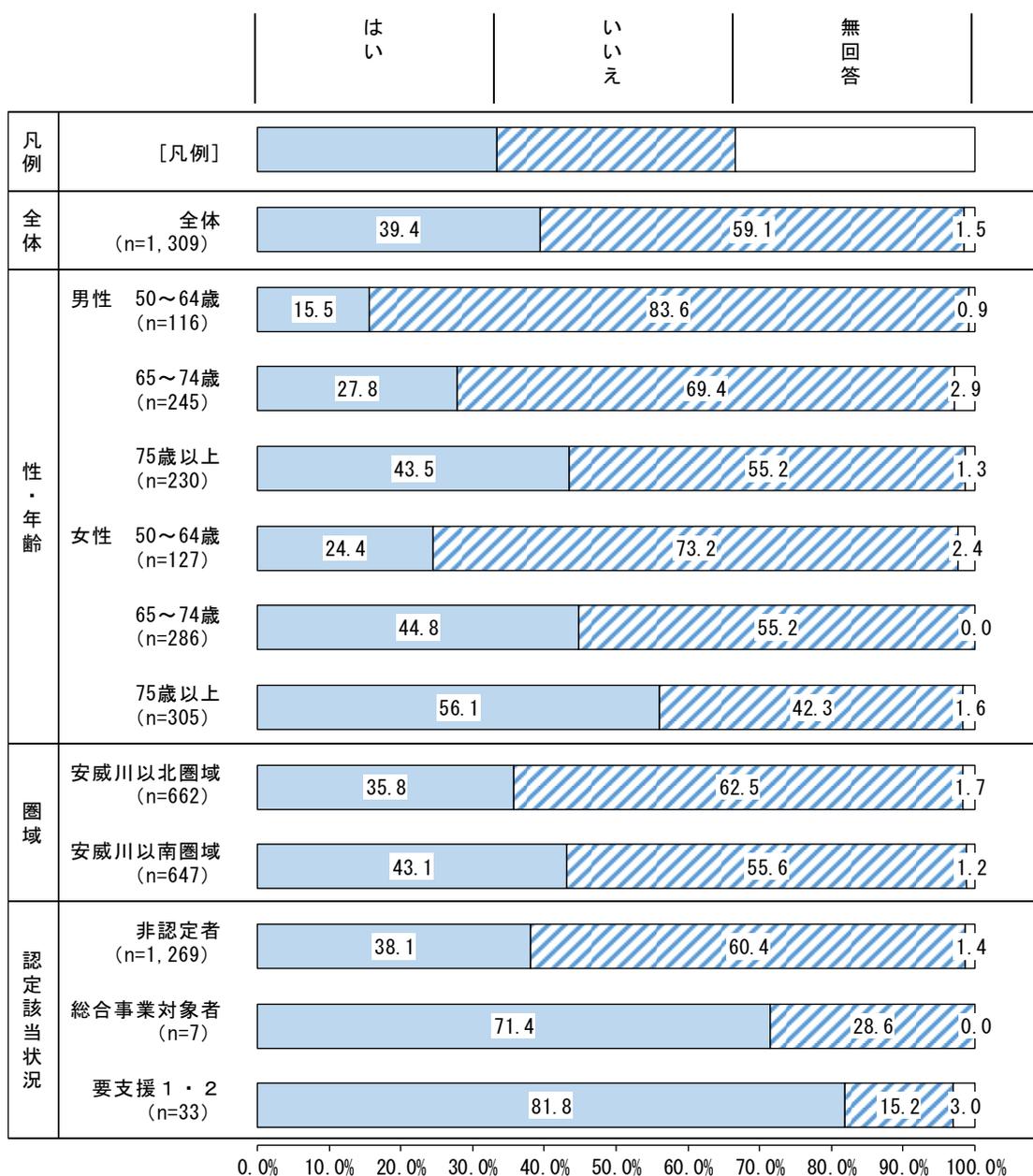
【全体】
 ○ 外出を控えているかについて、「はい」が39.4%、「いいえ」が59.1%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「はい」が多くなる傾向がみられます。
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 安威川以南圏域では、「はい」が43.1%と安威川以北圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 非認定者では、「はい」が38.1%となっています。

【外出を控えているか】

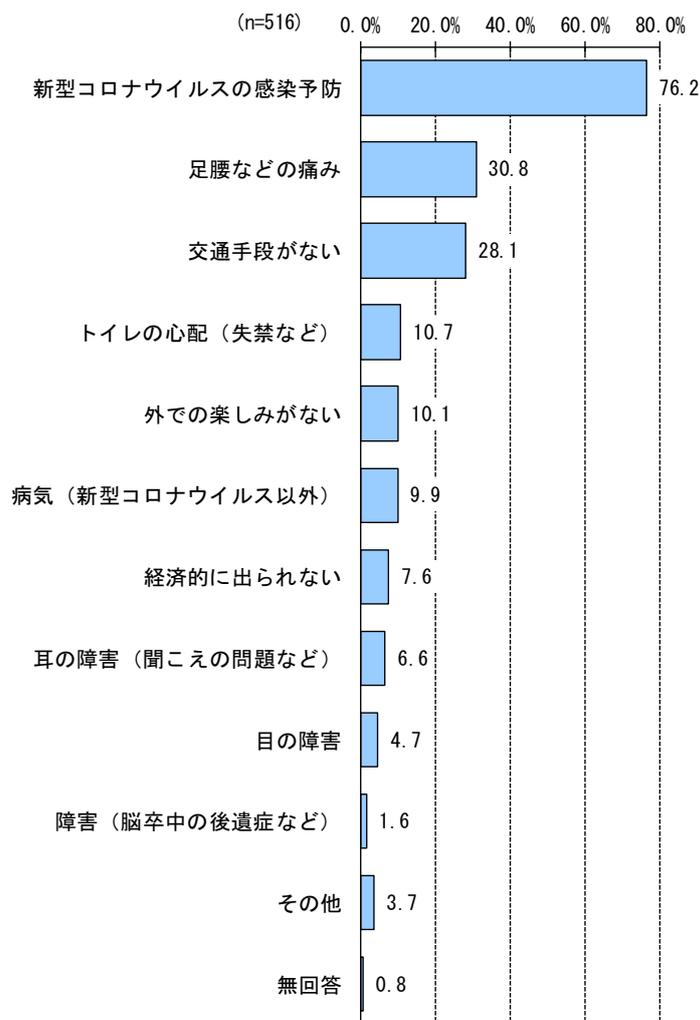


- 問2.8-1 【外出を控えている方のみ】外出を控えている理由は、次のどれですか。
(いくつでも)

【全体】

- 外出を控えている理由について、「新型コロナウイルスの感染予防」が76.2%で最も多く、次いで「足腰などの痛み」が30.8%、「交通手段がない」が28.1%となっています。

【外出を控えている理由(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど「足腰などの痛み」が多くなる傾向がみられ、75歳以上では約4割となっています。
- 男性（65歳以上）では女性（65歳以上）に比べて「外での楽しみがない」が多くなっています。
- 男性（75歳以上）では「交通手段がない」が40.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 安威川以南圏域では「交通手段がない」が33.0%と安威川以北圏域に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					トイ レの 心配 (失 禁 な ど)	え 耳 の 問 題 な ど (聞 こ)
			外 (ナ ウ イ ル ス 以 コ)	病 気 (新 型 コ ロ ナ ウ イ)	ル 新 型 の コ ロ ナ ウ イ 防 イ	後 遺 害 (脳 卒 中 の)	足 腰 な ど の 痛 み		
全体		516	9.9	76.2	1.6	30.8	10.7	6.6	
性・ 年 齢	男性 50～64歳	18	11.1	72.2	5.6	16.7	5.6	11.1	
	65～74歳	68	11.8	76.5	2.9	25.0	13.2	-	
	75歳以上	100	13.0	69.0	2.0	38.0	15.0	14.0	
	女性 50～64歳	31	9.7	93.5	3.2	19.4	6.5	3.2	
	65～74歳	128	8.6	89.1	0.8	21.1	7.8	0.8	
	75歳以上	171	8.2	67.8	0.6	39.8	10.5	9.4	
圏 域	安威川以北圏域	237	9.3	75.1	1.3	29.5	9.7	4.2	
	安威川以南圏域	279	10.4	77.1	1.8	31.9	11.5	8.6	

単位：%

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					無 回 答
			目 の 障 害	な 外 で の 楽 し み が	な 経 済 的 に 出 ら れ	交 通 手 段 が な い	そ の 他	
全体		516	4.7	10.1	7.6	28.1	3.7	0.8
性・ 年 齢	男性 50～64歳	18	5.6	-	5.6	27.8	-	-
	65～74歳	68	1.5	13.2	16.2	25.0	2.9	-
	75歳以上	100	6.0	16.0	7.0	40.0	5.0	2.0
	女性 50～64歳	31	-	12.9	12.9	22.6	9.7	-
	65～74歳	128	3.1	5.5	4.7	22.7	2.3	-
	75歳以上	171	7.0	9.4	5.8	27.5	3.5	1.2
圏 域	安威川以北圏域	237	5.9	12.7	7.2	22.4	2.1	1.3
	安威川以南圏域	279	3.6	7.9	7.9	33.0	5.0	0.4

【認定該当状況】

- 非認定者では、「新型コロナウイルスの感染予防」が78.3%となっています。
- 総合事業対象者では、「新型コロナウイルスの感染予防」「足腰などの痛み」が60.0%で最も多く、次いで「交通手段がない」が40.0%となっています。
- 要支援1・2では、「足腰などの痛み」が70.4%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスの感染予防」「交通手段がない」が40.7%となっています。

単位：％

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					え耳 の障 害な ど(聞 こ)
			外 (ナ 病 ウ 気 イ ル 新 ス 以 コ 口	ル 新 ス の 感 染 予 防 イ	後 障 害 症 (脳 卒 中 の	足 腰 な ど の 痛 み	(失 禁 な ど の 心 配	
全体		516	9.9	76.2	1.6	30.8	10.7	6.6
当 認 状 定 況 該	非認定者	484	9.1	78.3	1.2	28.3	9.5	6.0
	総合事業対象者	5	20.0	60.0	20.0	60.0	20.0	-
	要支援1・2	27	22.2	40.7	3.7	70.4	29.6	18.5

単位：％

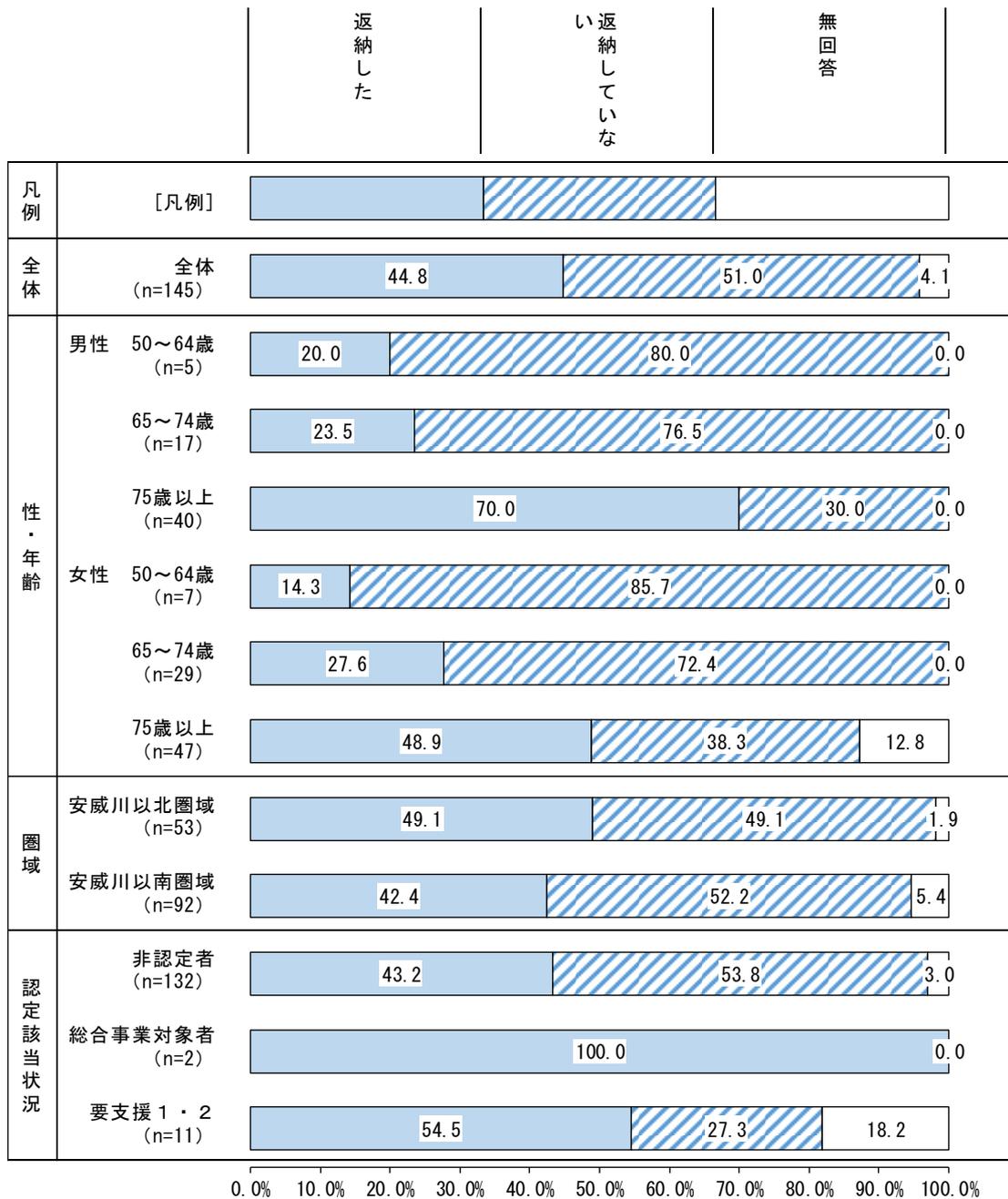
		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					無 回 答
			目 の 障 害	な 外 い で の 楽 し み が	な 経 い 済 的 に 出 ら れ	交 通 手 段 が な い	そ の 他	
全体		516	4.7	10.1	7.6	28.1	3.7	0.8
当 認 状 定 況 該	非認定者	484	4.1	10.3	7.9	27.3	3.7	0.8
	総合事業対象者	5	-	-	-	40.0	-	-
	要支援1・2	27	14.8	7.4	3.7	40.7	3.7	-

●問2.8-1① 【交通手段がないために外出を控えている方のみ】（本人または家族が）車の運転免許を返納しましたか。（1つだけ）

【全体】
 ○ 運転免許の返納状況について、「返納した」が44.8%、「返納していない」が51.0%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男性（75歳以上）では、「返納した」が70.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【運転免許の返納状況】



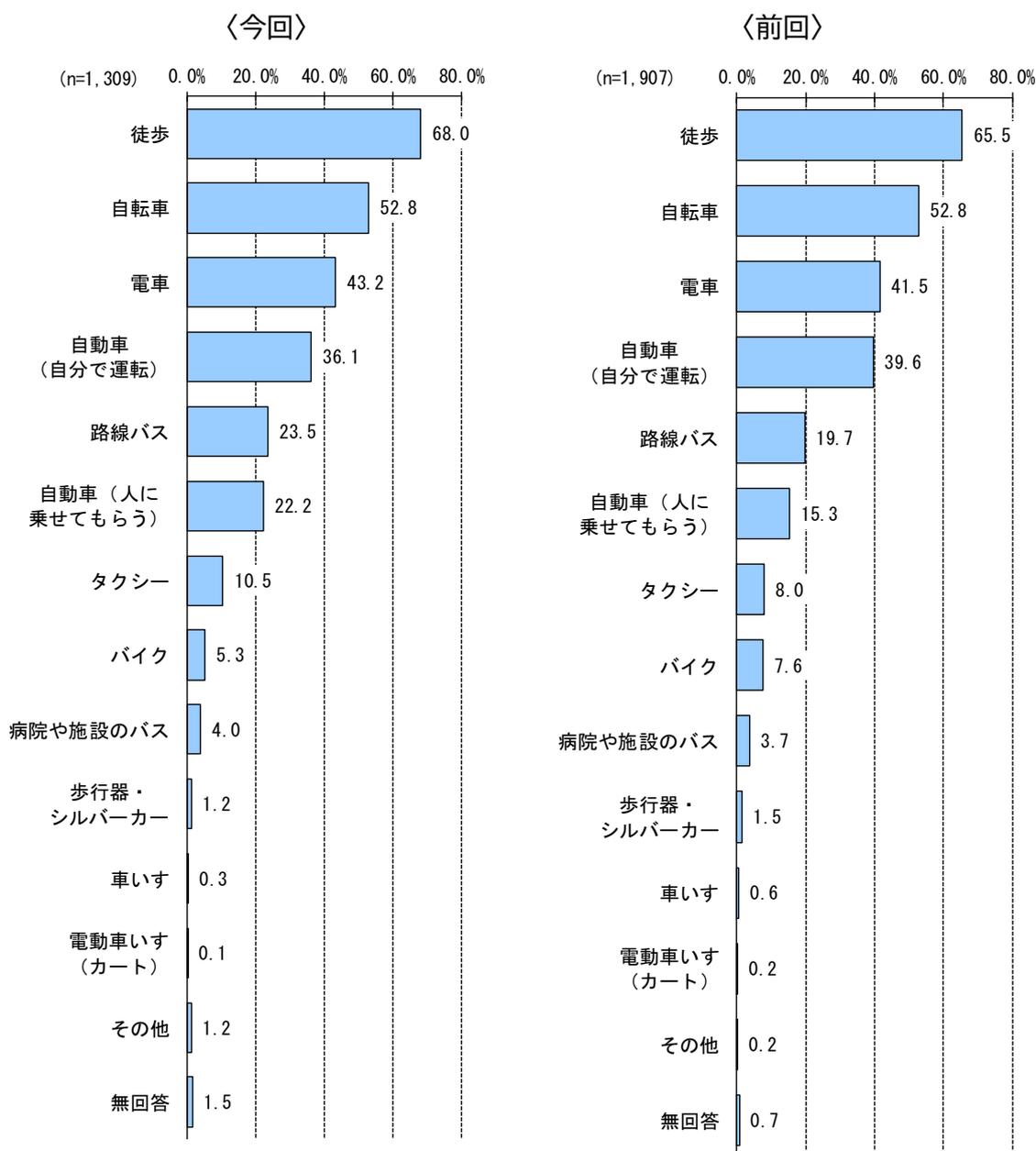
③ 外出の際の移動手段

●問2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

【全体】

- 外出する際の移動手段について、「徒歩」が 68.0%で最も多く、次いで「自転車」が 52.8%、「電車」が 43.2%となっています。
- 前回調査に比べて、「路線バス」が 3.8 ポイント、「自動車（人に乗せてもらう）」が 6.9 ポイント多くなっています。

【外出する際の移動手段(MA)】



【性・年齢】

- いずれの年代でも、男性では「自動車（自分で運転）」が多いのに対し、女性では「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。
- 男性では、50～64歳、65～74歳では「自動車（自分で運転）」がそれぞれ79.3%、61.2%と主要な移動手段であるのに対し、75歳以上では41.7%と少なく、代わって「自転車」が主要となっています。そのほか「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」などが74歳以下に比べて多くなっています。
- 女性では、年代が上がるほど「自転車」「自動車（自分で運転）」「自動車（人に乗せてもらう）」「電車」が少なくなる傾向がみられますが、そのほかの移動手段をみても「路線バス」を除いて年代による大きな差はみられません。

【圏域】

- 安威川以北圏域では安威川以南圏域に比べて「徒歩」「電車」「タクシー」が多くなっています。
- 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「自動車（自分で運転）」「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」が多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						
			徒歩	自転車	バイク	運転 自動車 (自分で)	自 せ て も ら う 乗	電車	路線 バス
全体		1,309	68.0	52.8	5.3	36.1	22.2	43.2	23.5
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	72.4	44.0	14.7	79.3	7.8	51.7	14.7
	65～74歳	245	67.3	51.0	6.9	61.2	5.7	40.4	15.9
	75歳以上	230	60.4	53.0	3.0	41.7	14.3	32.6	19.1
	女性 50～64歳	127	74.8	64.6	7.1	43.3	38.6	57.5	19.7
	65～74歳	286	69.2	65.0	4.5	22.0	36.0	50.7	30.4
	75歳以上	305	68.5	41.0	2.3	5.6	26.9	37.4	31.1
圏 域	安威川以北圏域	662	76.4	53.5	4.4	32.8	19.0	53.5	12.5
	安威川以南圏域	647	59.4	52.1	6.3	39.6	25.3	32.8	34.6
当 認 状 定 況 該	非認定者	1,269	68.8	53.9	5.4	37.1	21.7	43.8	23.6
	総合事業対象者	7	57.1	57.1	14.3	-	28.6	28.6	28.6
	要支援1・2	33	39.4	9.1	-	6.1	39.4	24.2	18.2

単位：%

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						
			ス 病 院 や 施 設 の バ	車 い す	(電 動 車 い す カ ー ト)	バ 歩 ー 行 カ ー シ ル	タ ク シ ー	そ の 他	無 回 答
全体		1,309	4.0	0.3	0.1	1.2	10.5	1.2	1.5
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	1.7	-	-	0.9	8.6	-	0.9
	65～74歳	245	2.4	0.4	-	-	5.3	-	2.0
	75歳以上	230	4.8	0.9	-	0.9	13.5	2.2	2.6
	女性 50～64歳	127	1.6	-	-	-	11.8	0.8	-
	65～74歳	286	3.8	0.3	-	0.7	7.0	0.7	0.3
	75歳以上	305	6.6	-	0.3	3.6	15.7	2.6	2.0
圏 域	安威川以北圏域	662	4.7	0.3	-	1.2	12.1	1.4	1.2
	安威川以南圏域	647	3.2	0.3	0.2	1.2	8.8	1.1	1.7
当 認 状 定 況 該	非認定者	1,269	3.7	0.2	-	0.6	9.7	1.1	1.4
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	42.9	14.3	-
	要支援1・2	33	15.2	3.0	3.0	24.2	33.3	3.0	3.0

5. 食べることについて

(1) 栄養

① BMI

●問3.1 身長・体重を教えてください。

【全体】

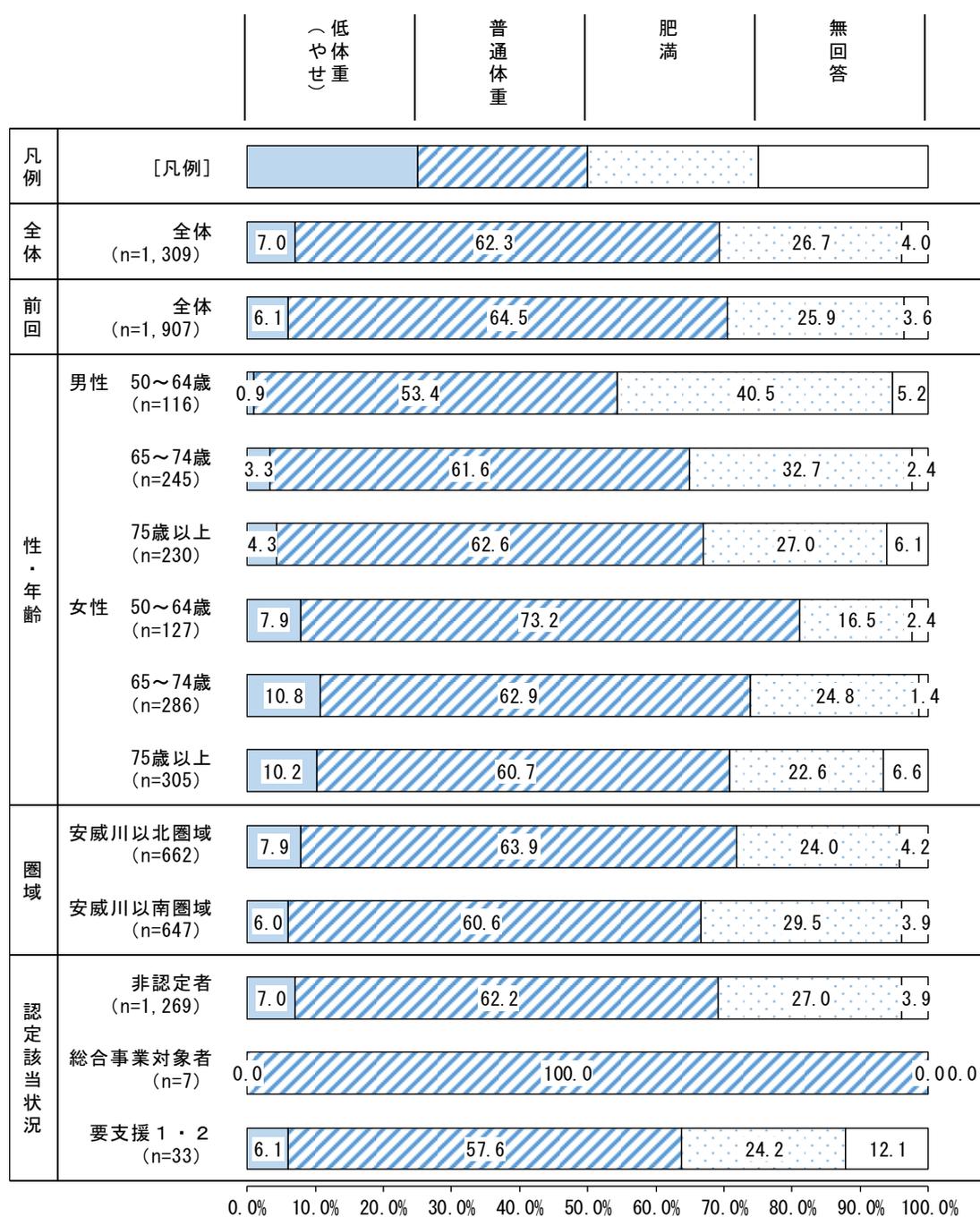
○ BMI について、「普通体重」が 62.3%で最も多く、次いで「肥満」が 26.7%、「低体重（やせ）」が 7.0%となっています。

【性・年齢】

○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「やせ（低体重）」が多く、「肥満」が少なくなっています。

○ 男性では、年代が上がるほど「肥満」が少なくなる傾向がみられます。

【BMI】



◆栄養改善のリスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「栄養改善が必要な可能性がある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する場合
3.1	BMI：体重 (kg) ÷ {身長 (m) ×身長 (m) }	18.5 以下

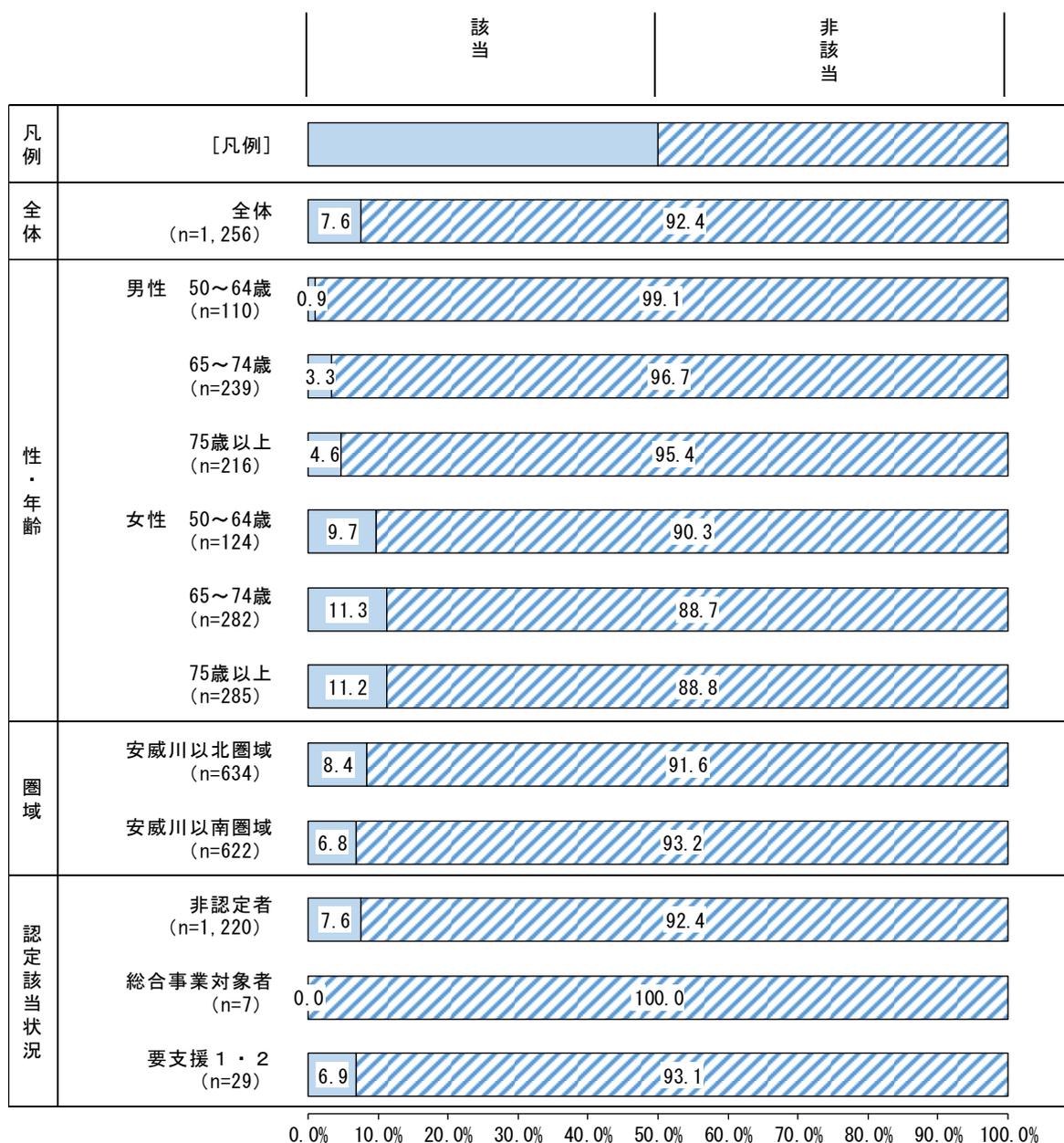
【全体】

○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が7.6%となっています。

【性・年齢】

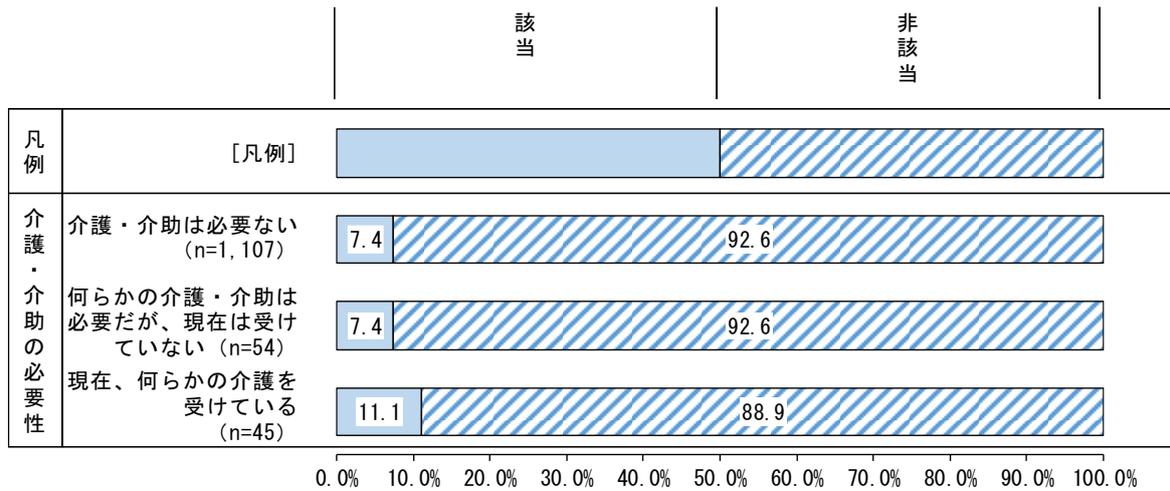
○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。

【栄養改善のリスク】



【介護・介助の必要性】

○ 現在、何らかの介護を受けている人では、「該当」が11.1%となっています。



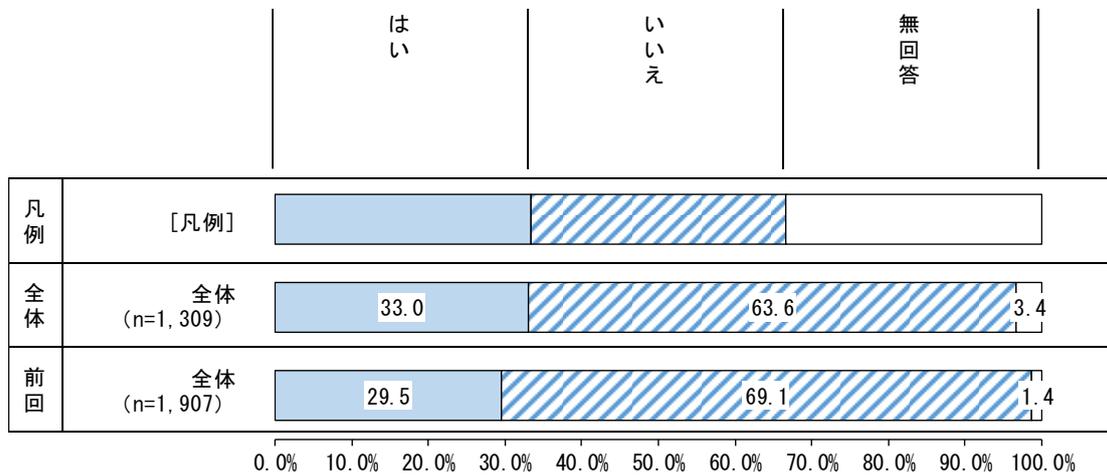
(2) 口腔

●問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)

【全体】

○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が33.0%、「いいえ」が63.6%となっています。

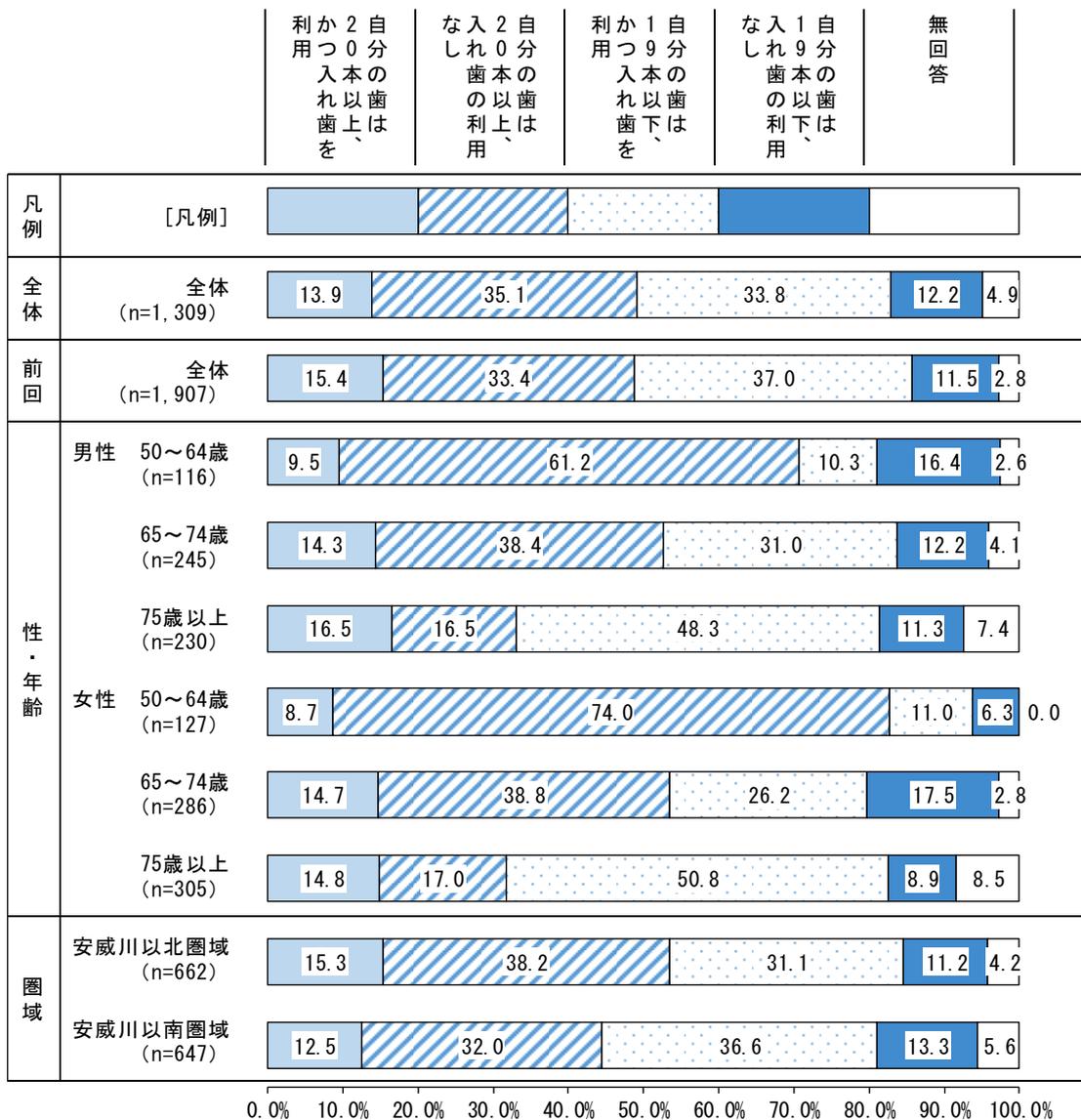
【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



●問3.3 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ)

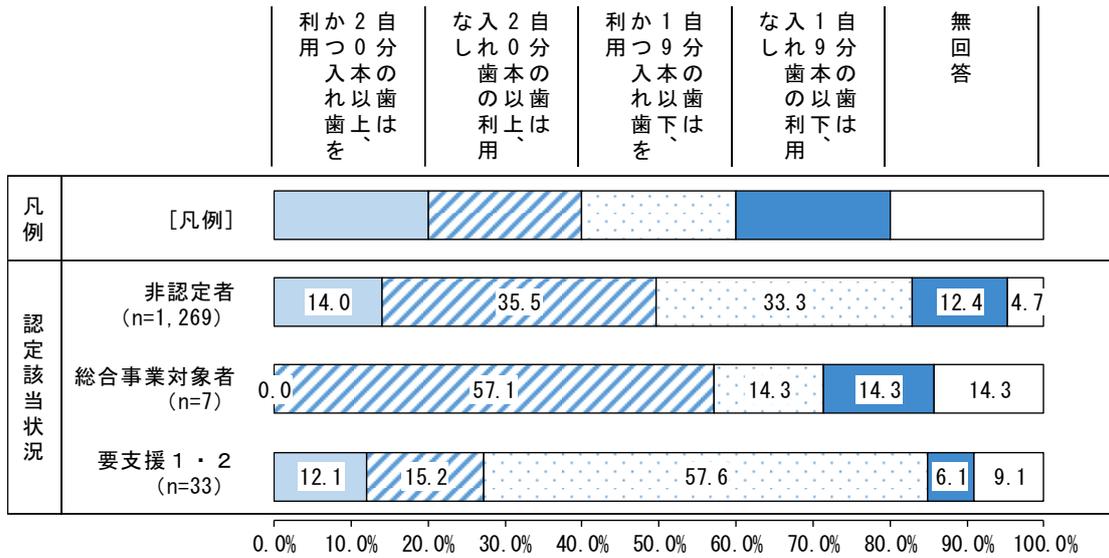
- 【全体】**
- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 35.1%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 33.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.9%となっています。
 - 「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた“自分の歯は 20 本以上”は 49.0%となっています。
- 【性・年齢】**
- 男性（50～64 歳）では、“自分の歯は 20 本以上”が 70.7%と女性（50～64 歳）に比べて少なくなっています。
 - 男女ともに 75 歳以上では、“自分の歯は 20 本以上”は約 3 割となっています。
- 【圏域】**
- 安威川以南圏域では、“自分の歯は 20 本以上”が 44.5%と安威川以北圏域に比べて少なくなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】



【認定該当状況】

○ 非認定者、総合事業対象者では、“自分の歯は 20 本以上” が約 5～6 割であるのに対し、要支援 1・2 では 27.3%と少なくなっています。



(3) 共食の状況

●問3.4 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ)

【全体】

- 共食の有無について、「毎日ある」が55.8%で最も多く、次いで「ほとんどない」が11.6%、「月に何度かある」が11.0%となっています。
- 前回調査に比べて、「毎日ある」が3.6ポイント多くなっていますが、「ほとんどない」も3.5ポイント多くなっています。

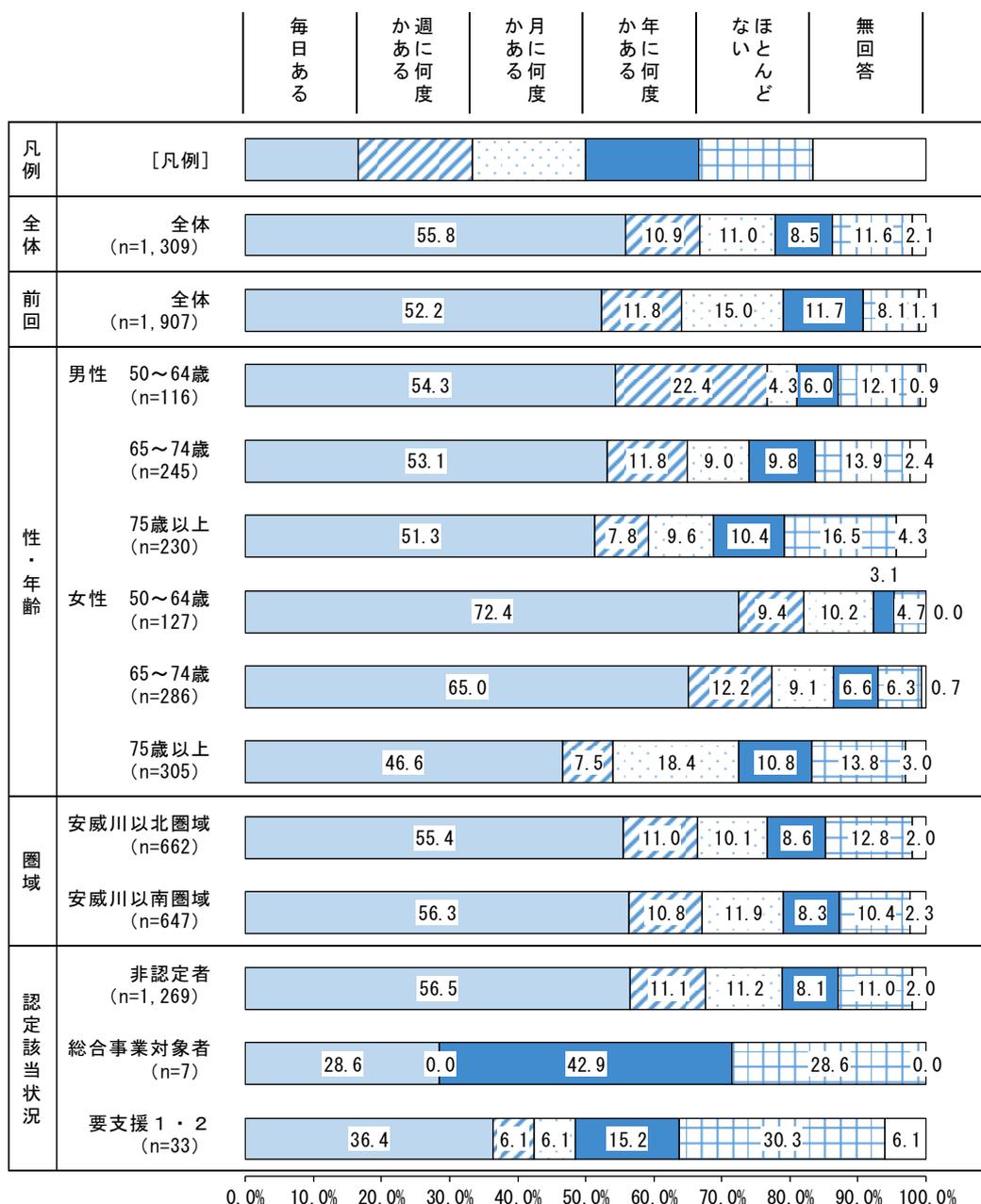
【性・年齢】

- 男性ではいずれの年代でも「毎日ある」は約5割となっています。
- 女性では年代が上がるほど「毎日ある」が少なくなる傾向がみられ、75歳以上では男性に比べても少ない46.6%となっています。

【認定該当状況】

- 「ほとんどない」は、非認定者では11.0%であるのに対し、総合事業対象者では28.6%、要支援1・2では30.3%となっています。

【共食の有無】



【家族構成】

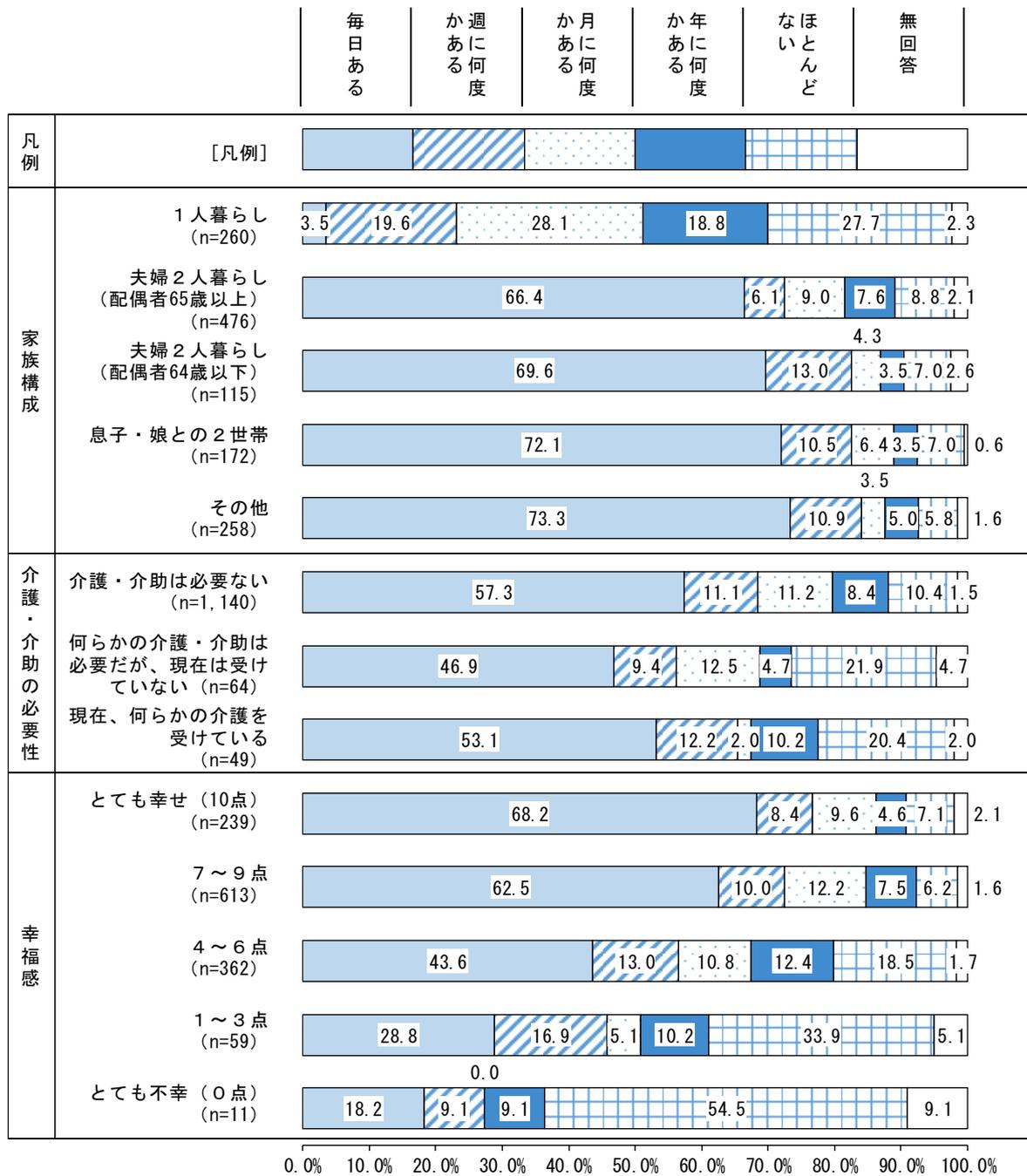
○ 1人暮らしでは、他の家族構成区分に比べて「毎日ある」が3.5%と少なく、「ほとんどない」が27.7%と多くなっています。

【介護・介助の必要性】

○ 「ほとんどない」は、介護・介助は必要ない人では10.4%であるのに対し、介護・介助が必要な人では約2割となっています。

【幸福感】

○ 幸福感が高いほど「毎日ある」が多く、「ほとんどない」が少なくなる傾向がみられます。



6. 毎日の生活について

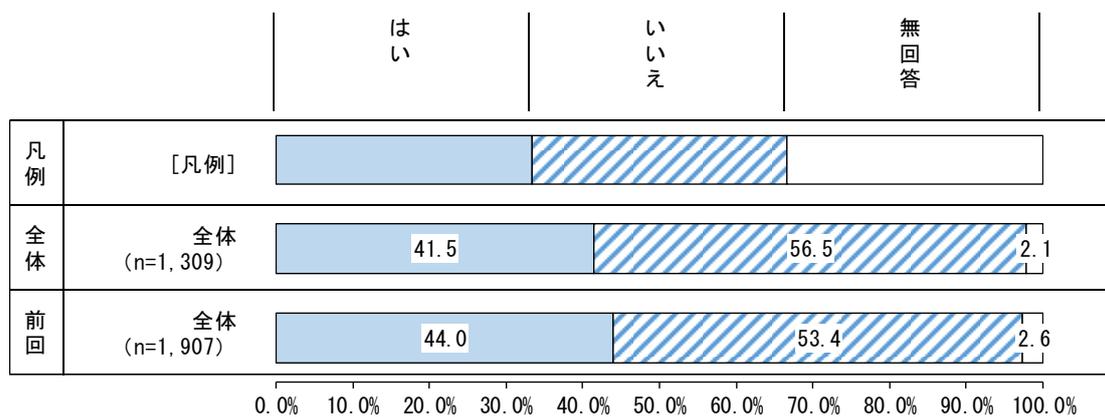
(1) 物忘れ

●問4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

【全体】

- 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 41.5%、「いいえ」が 56.5%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】



◆認知機能の低下リスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「認知機能が低下している」と判定しました。

	判定設問	該当する選択肢
4.1	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【全体】

○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が42.4%となっています。

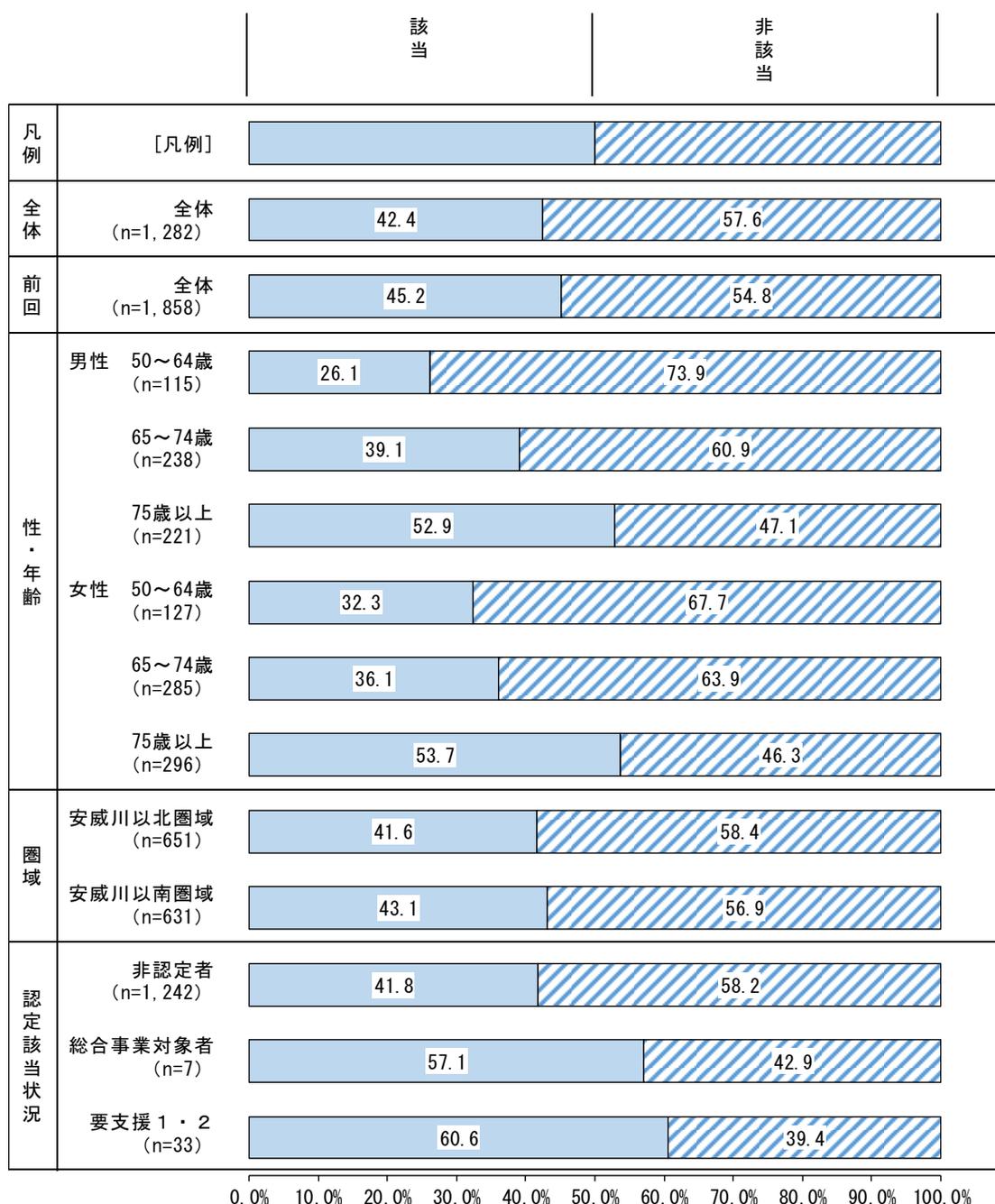
【性・年齢】

○ 男女ともに年代が上がるほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【認定該当状況】

○ 「該当」は、非認定者では41.8%であるのに対し、総合事業対象者では57.1%、要支援1・2では60.6%となっています。

【認知機能の低下リスク】

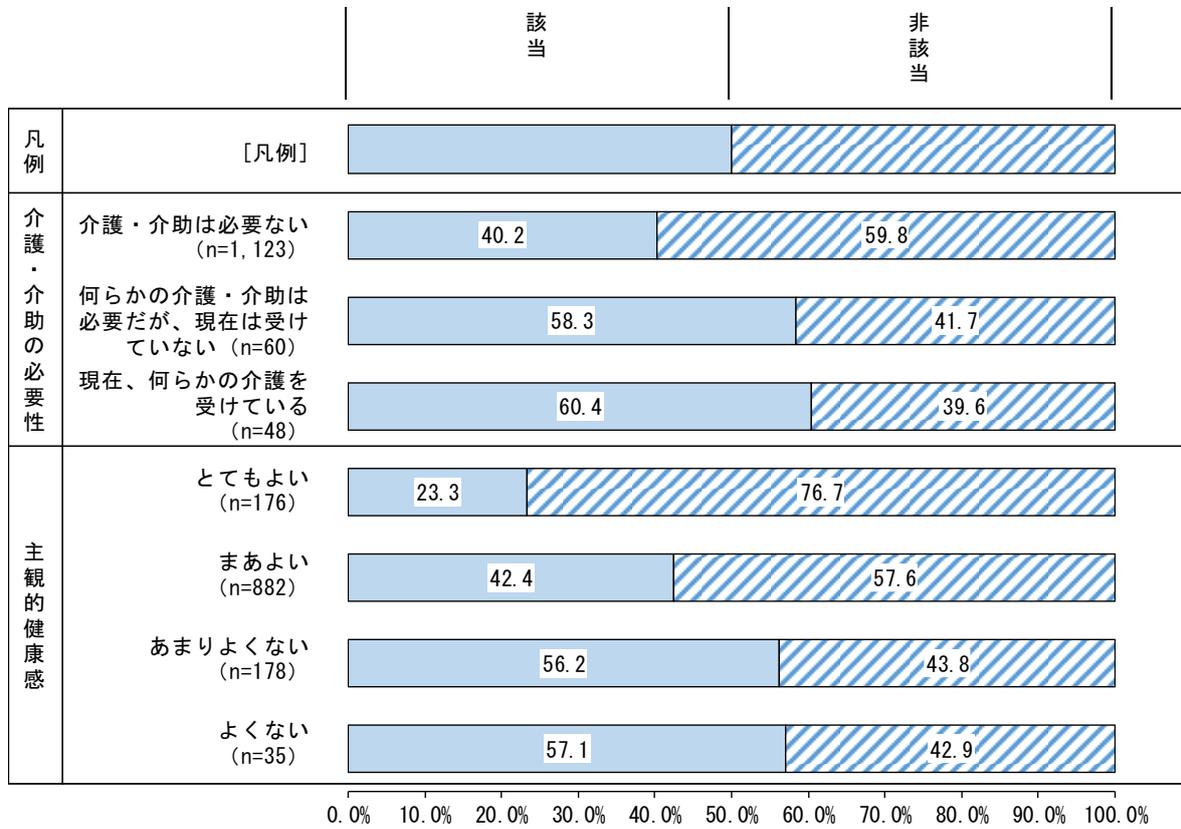


【介護・介助の必要性】

- 介護・介助は必要ない人では、「該当」が40.2%となっています。
- 何らかの介護・介助が必要な人では、「該当」が約5～6割となっています。

【主観的健康感】

- とてもよいと感じている人では、「該当」が23.3%と他の主観的健康感区分に比べて少なくなっています。



(2) IADLの状況

●問4.2 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ）

【全体】

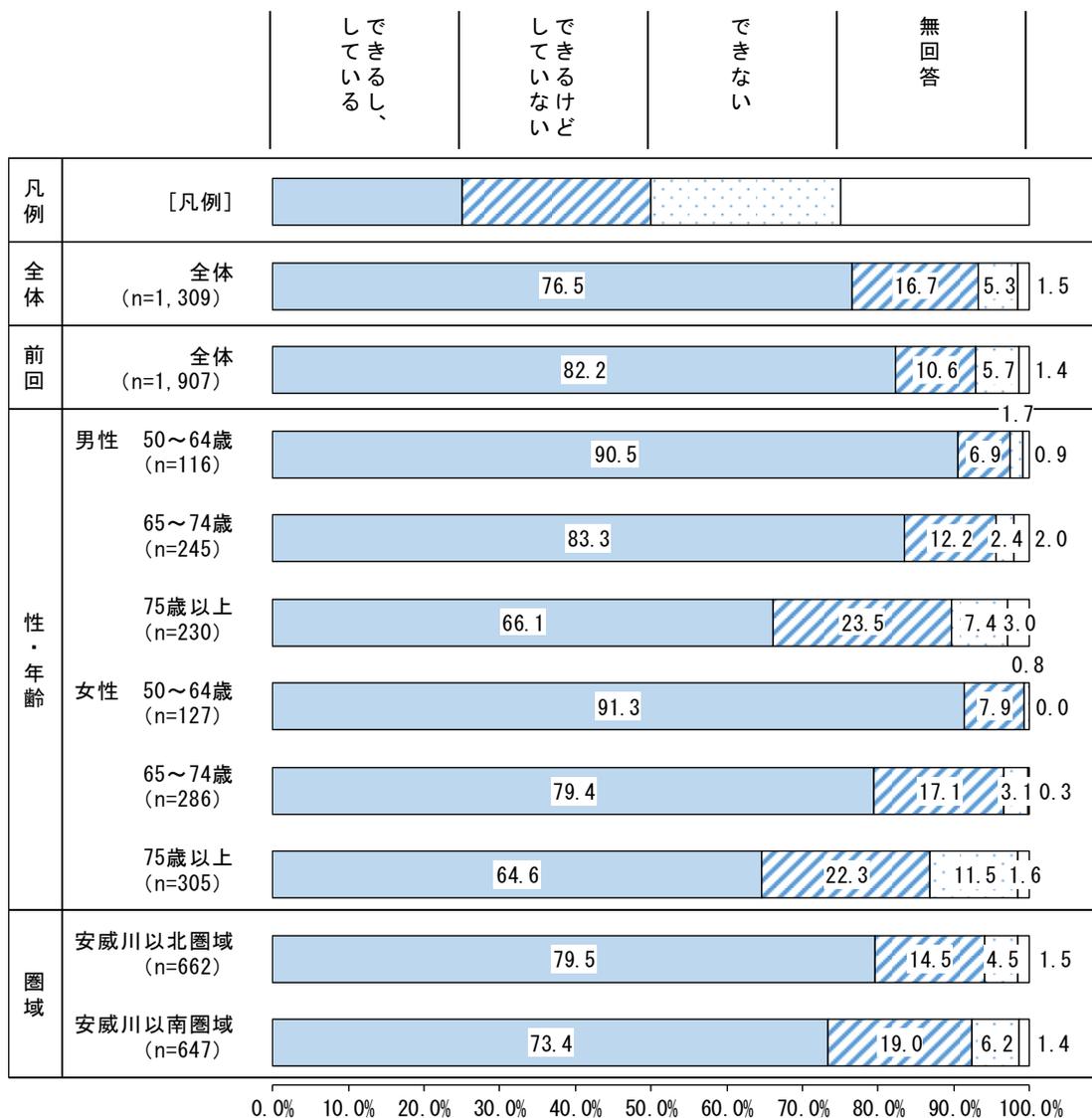
○ バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が76.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.7%、「できない」が5.3%となっています。

○ 前回調査に比べて、「できるけどしていない」が6.1ポイント多くなっています。

【性・年齢】

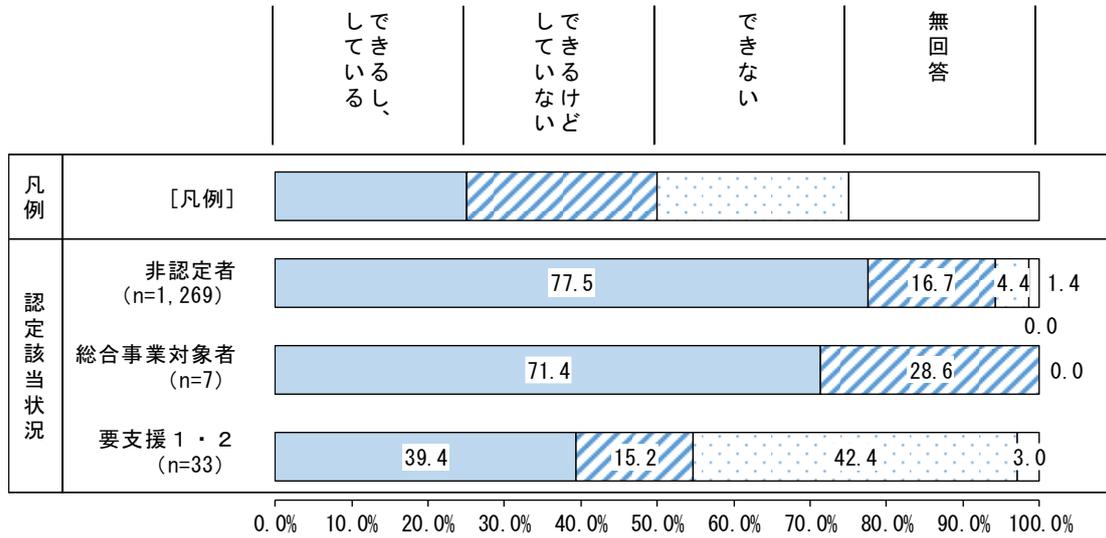
○ 男女ともに年代が上がるほど「できるけどしていない」が多くなる傾向がみられ、75歳以上では2割以上となっています。

【バスや電車を使った1人での外出】



【認定該当状況】

- 非認定者では、「できるし、している」が 77.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 16.7%、「できない」が 4.4%となっています。
- 総合事業対象者では、「できるし、している」が 71.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 28.6%となっています。
- 要支援 1・2 では、「できない」が 42.4%となっています。



●問4.3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

【全体】

○ 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が86.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が8.2%、「できない」が3.9%となっています。

○ 前回調査に比べて、「できるし、している」が4.1ポイント多くなっています。

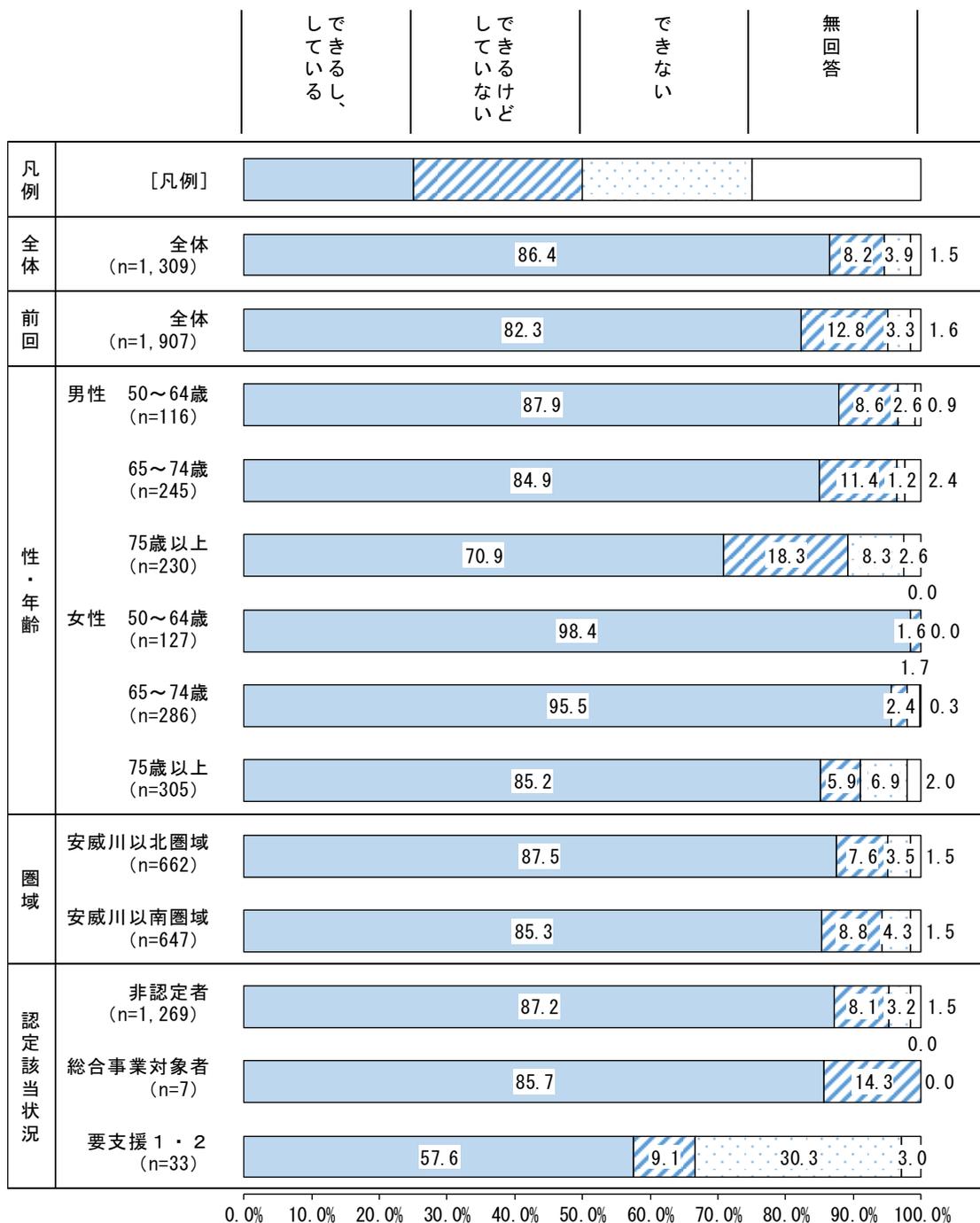
【性・年齢】

○ いずれの年代でも男性では女性に比べて「できるけどしていない」が多くなっています。特に、男性（75歳以上）では18.3%となっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「できない」が30.3%となっています。

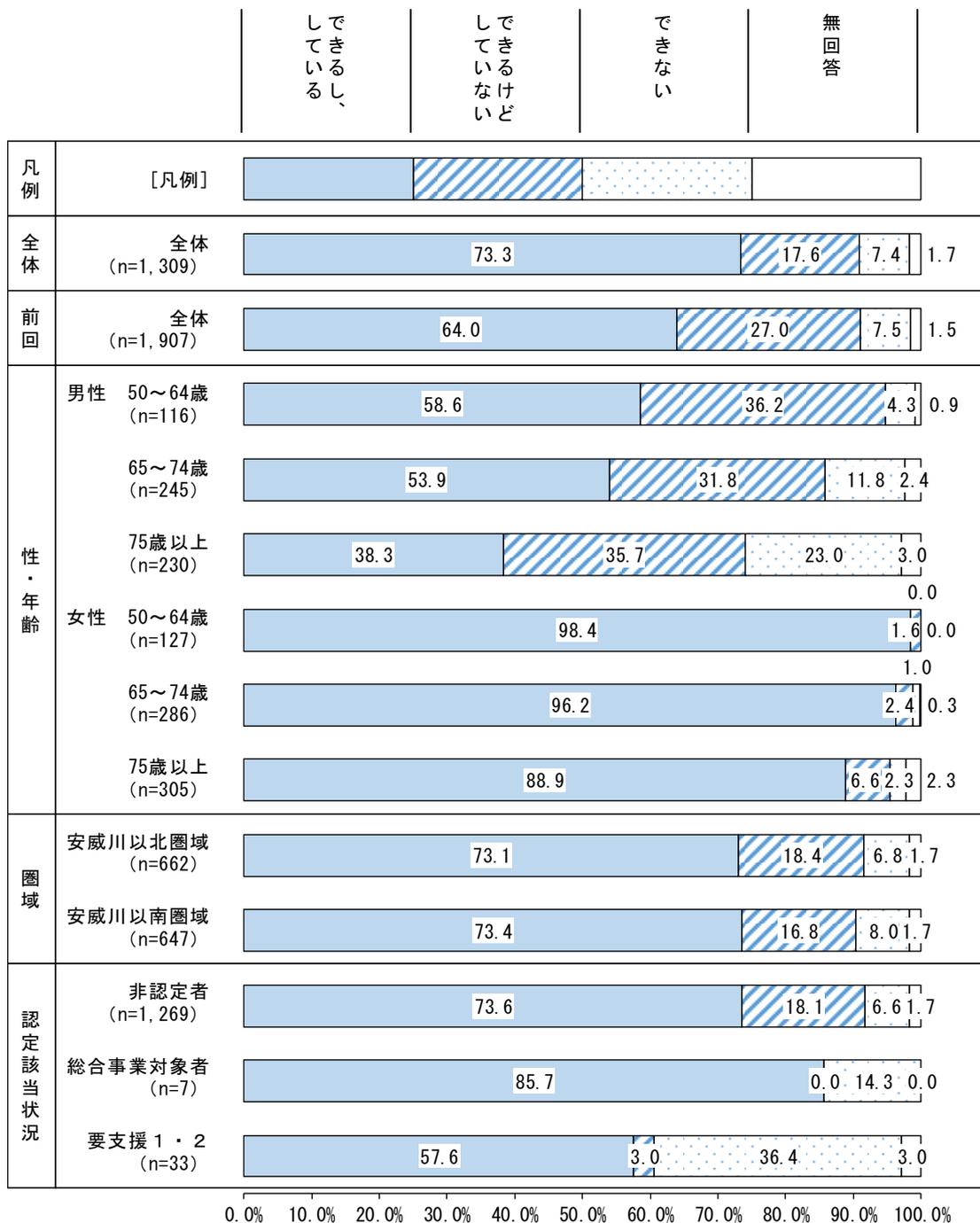
【食品・日用品の買物】



●問4.4 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 食事の用意について、「できるし、している」が73.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.6%、「できない」が7.4%となっています。
 - 前回調査に比べて、「できるし、している」が9.3ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも男性では女性に比べて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。特に、男性（75歳以上）では「できない」が23.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 要支援1・2では、「できない」が36.4%となっています。

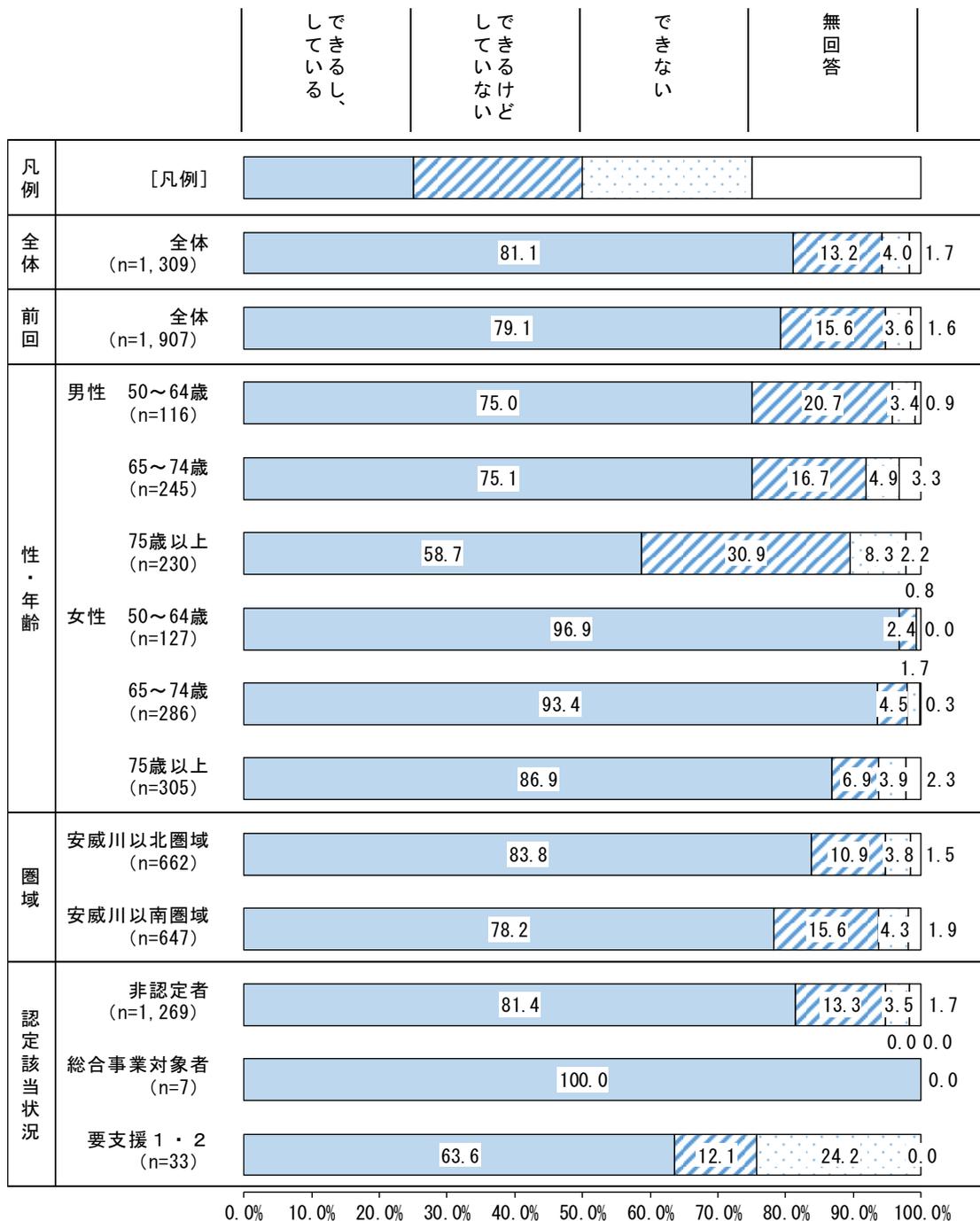
【食事の用意】



●問4.5 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 請求書の支払いについて、「できるし、している」が81.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が4.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ いずれの年代でも男性では女性に比べて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。特に、男性（75歳以上）では「できるけどしていない」が30.9%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 要支援1・2では、「できない」が24.2%となっています。

【請求書の支払い】



●問4.6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

【全体】

- 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が 83.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 10.8%、「できない」が 4.5%となっています。
- 前回調査に比べて、「できるし、している」が 4.5ポイント多くなっています。

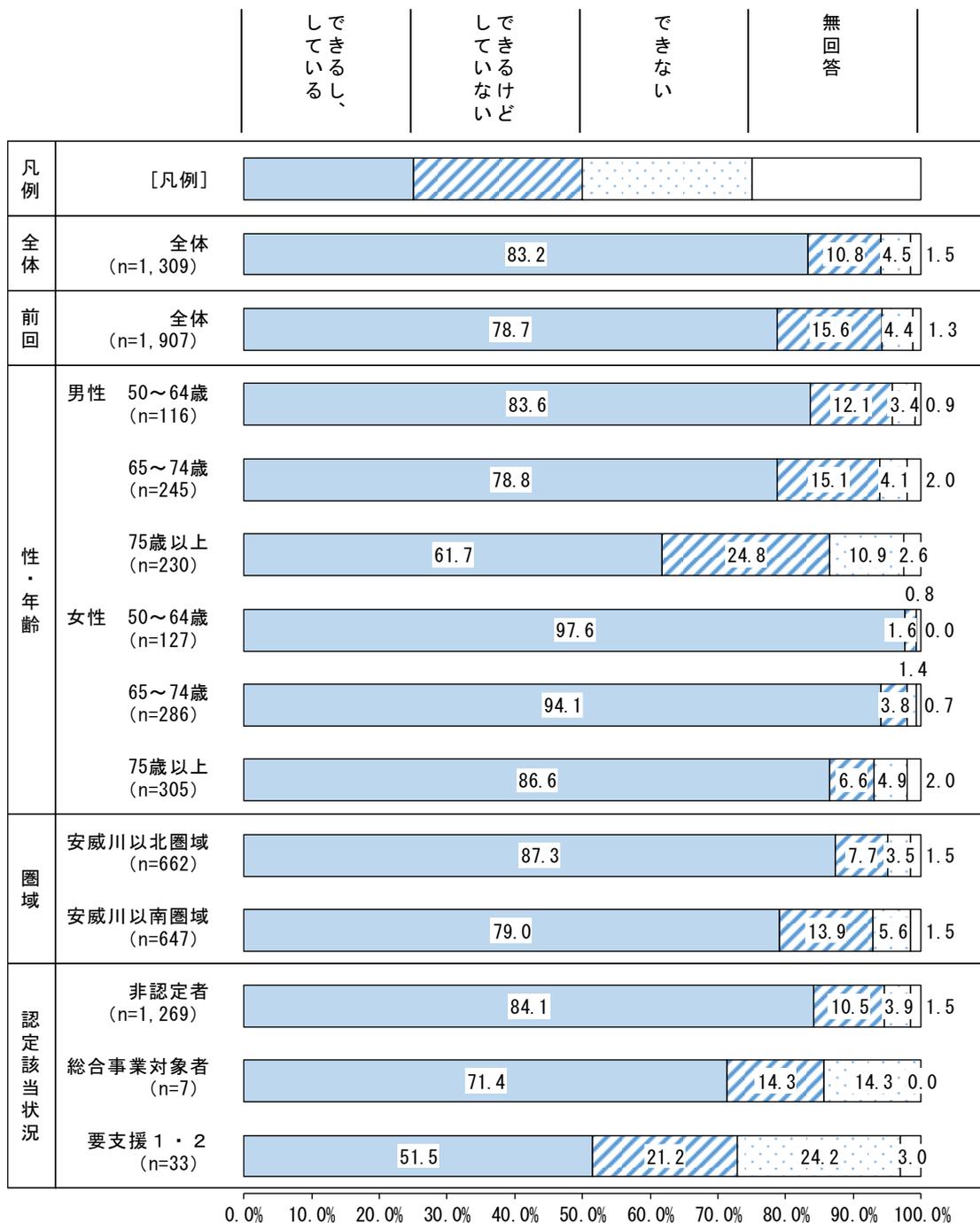
【性・年齢】

- いずれの年代でも男性では女性に比べて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。特に、男性（75歳以上）では「できるけどしていない」が 24.8%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では、「できない」が 24.2%となっています。

【預貯金の出し入れ】



(3) 趣味・生きがい

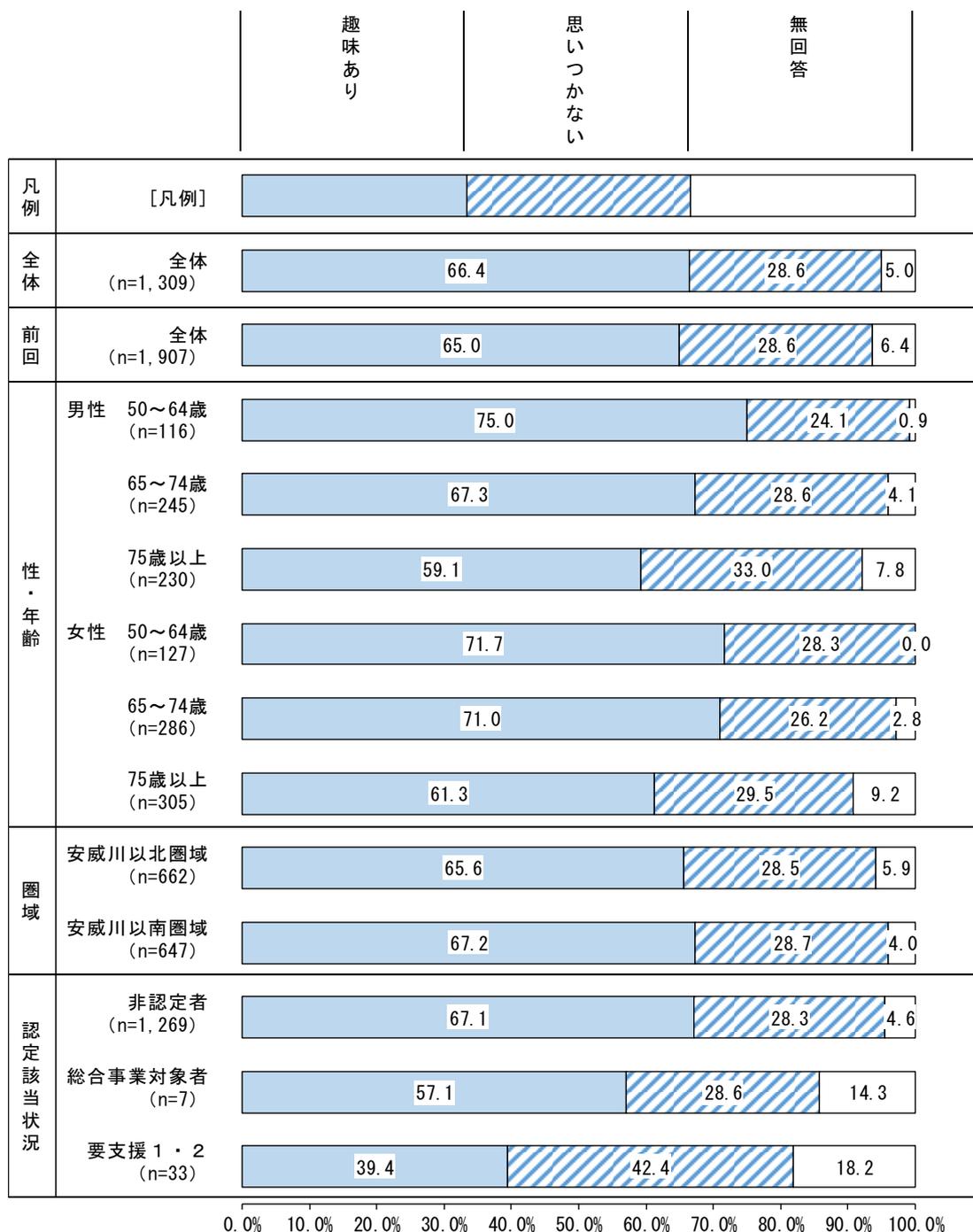
●問4.7 趣味はありますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 趣味の有無について、「趣味あり」が 66.4%、「思いつかない」が 28.6%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男性では年代が上がるほど、女性では 75 歳以上で「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。

【認定該当状況】
 ○ 「趣味あり」は、総合事業対象者では 57.1%、要支援 1・2 では 39.4%となっています。

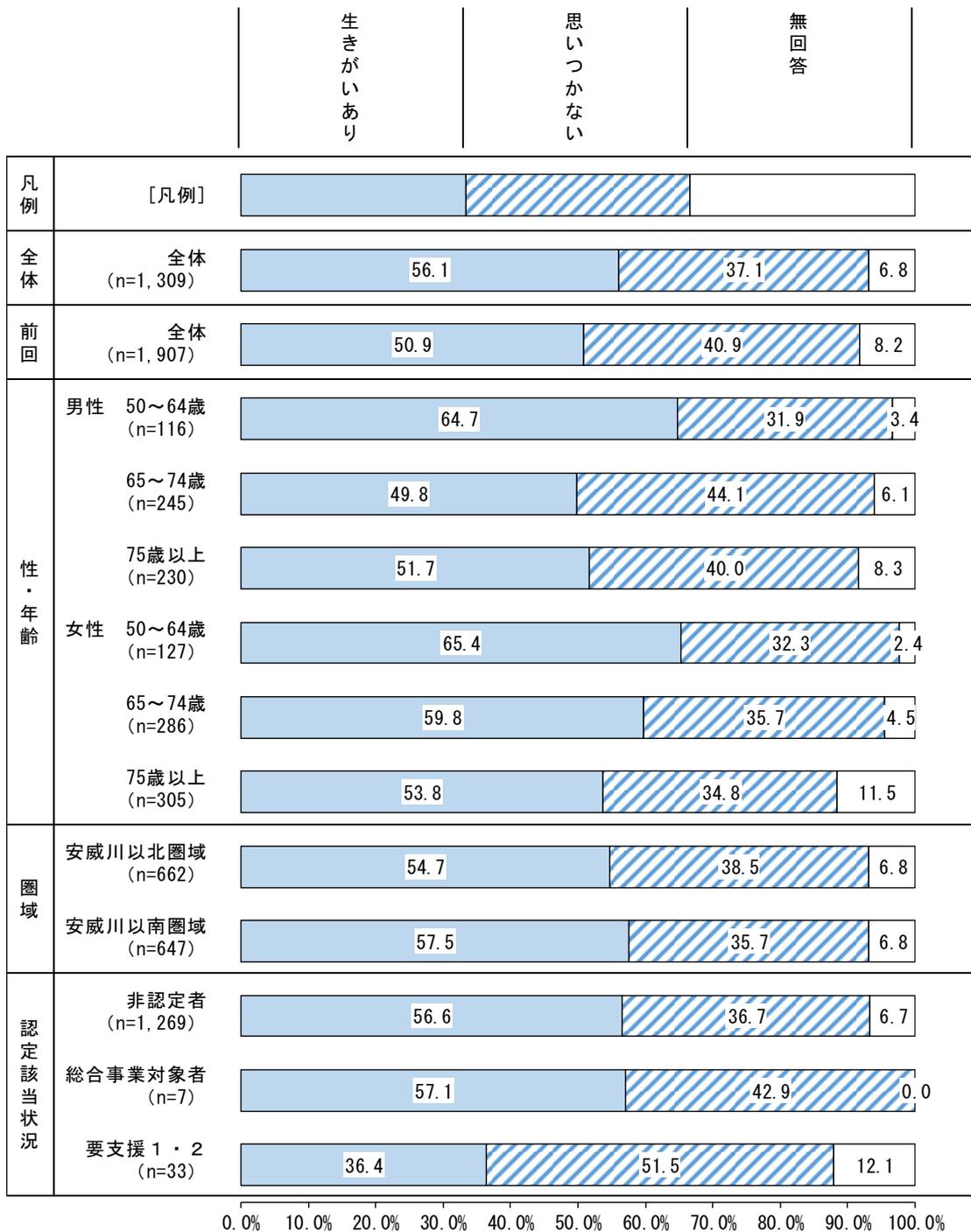
【趣味の有無】



●問4.8 生きがいがありますか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 56.1%、「思いつかない」が 37.1%となっています。
 - 前回調査に比べて、「生きがいあり」が 5.2 ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男性では 65 歳以上で、女性では年代が上がるほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。
- 【認定該当状況】**
- 「生きがいあり」は、非認定者では 56.6%、総合事業対象者では 57.1%であるのに対し、要支援 1・2 では 36.4%と少なくなっています。

【生きがいの有無】



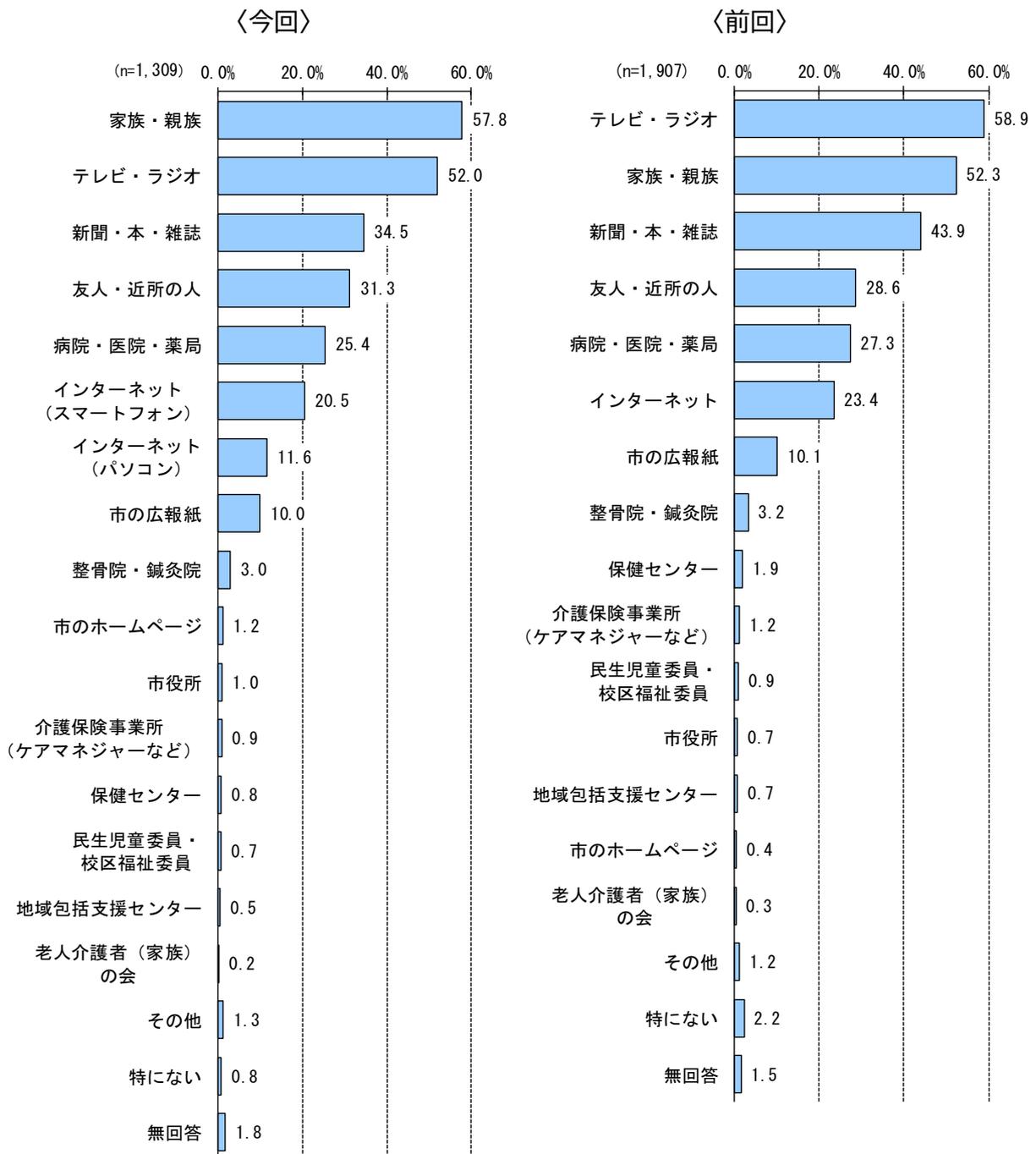
(4) 情報収集

●問4.9 あなたは、健康や日常生活の情報を、主に何（誰）から得ていますか。
（3つまで）

【全体】

- 健康や日常生活の情報源について、「家族・親族」が 57.8%で最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が 52.0%、「新聞・本・雑誌」が 34.5%となっています。
- 前回調査に比べて、「テレビ・ラジオ」「新聞・本・雑誌」が少なく、「家族・親族」が多くなっています。

【健康や日常生活の情報源(3LA)】



【性・年齢】

- いずれの年代でも女性では男性に比べて「友人・近所の人」が多くなっています。一方で、男性では女性に比べて「病院・医院・薬局」が多くなっています。
- 女性（75歳以上）では「テレビ・ラジオ」が最も多く、次いで「家族・親族」が多くなっています。
- 男女ともに75歳以上では「インターネット」が他の性・年齢区分に比べて少なくなっています。

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
			家族・親族	友人・近所の	薬局・医院・	整骨院・鍼灸	市役所	保健センター	民生児童福祉委員・校区福祉
全体		1,309	57.8	31.3	25.4	3.0	1.0	0.8	0.7
性・年齢	男性 50～64歳	116	64.7	19.0	23.3	0.9	1.7	0.9	-
	65～74歳	245	53.5	18.4	33.5	1.2	2.0	2.4	-
	75歳以上	230	59.6	19.1	33.5	4.3	0.9	0.4	0.4
	女性 50～64歳	127	57.5	40.9	13.4	3.1	-	1.6	-
	65～74歳	286	60.1	44.4	19.2	1.4	-	0.3	0.3
75歳以上	305	55.1	39.3	24.6	5.6	1.3	-	2.3	

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
			地域包括センター	介護保険事業所（ケアマネジャーなど）	（老人介護者の会）	市の広報紙	市のホームページ	新聞・本・雑誌	テレビ・ラジオ
全体		1,309	0.5	0.9	0.2	10.0	1.2	34.5	52.0
性・年齢	男性 50～64歳	116	-	-	0.9	6.9	0.9	19.0	33.6
	65～74歳	245	-	0.8	-	7.8	1.6	31.8	51.8
	75歳以上	230	0.4	0.4	-	7.4	1.7	46.5	53.5
	女性 50～64歳	127	-	-	-	9.4	0.8	14.2	45.7
	65～74歳	286	0.3	0.3	-	13.3	0.7	36.7	53.5
75歳以上	305	1.3	2.6	0.3	12.1	1.3	40.0	59.3	

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)				
			インターネット（パソコン）	スマートフォン（スマートフォン）	その他	特にない	無回答
全体		1,309	11.6	20.5	1.3	0.8	1.8
性・年齢	男性 50～64歳	116	23.3	37.1	2.6	1.7	0.9
	65～74歳	245	21.6	19.6	0.4	-	2.4
	75歳以上	230	8.3	6.1	0.4	0.9	3.9
	女性 50～64歳	127	21.3	52.0	5.5	0.8	-
	65～74歳	286	7.0	26.2	0.7	1.7	0.3
75歳以上	305	2.0	7.2	1.0	0.3	2.0	

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
			家族・ 親族	友人・ 近所の 人	薬局・ 病院・ 医院・	整骨院・ 鍼灸	市役所	保健セ ンター	民生 児童 委員 ・校 区福 祉 社
全体		1,309	57.8	31.3	25.4	3.0	1.0	0.8	0.7
圏 域	安威川以北圏域	662	56.5	29.5	25.1	2.9	1.4	1.4	0.9
	安威川以南圏域	647	59.0	33.2	25.8	3.1	0.6	0.3	0.5
当 認 状 定 況 該	非認定者	1,269	58.5	31.6	25.0	3.1	1.0	0.9	0.6
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	28.6	-	-	-	-
	要支援1・2	33	39.4	21.2	42.4	-	-	-	3.0

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)						
			地域 センター 包括 支援	介護 施設 （ケ ア マ ネ ジャ ー など）	老人 介護 者 の 会 （家 族）	市 の 広 報 紙	市 の ホ ー ム ペ ー ジ	誌 新 聞 ・ 本 ・ 雑	オ テ レ ビ ・ ラ ジ
全体		1,309	0.5	0.9	0.2	10.0	1.2	34.5	52.0
圏 域	安威川以北圏域	662	0.3	1.2	0.2	10.0	1.5	36.1	50.5
	安威川以南圏域	647	0.6	0.6	0.2	10.0	0.9	32.9	53.6
当 認 状 定 況 該	非認定者	1,269	0.2	-	0.2	10.1	1.3	34.4	51.9
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	-	28.6	57.1
	要支援1・2	33	9.1	36.4	-	9.1	-	42.4	57.6

単位：％

		母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)				
			イン ター ネ ッ ト （ パ ソ ン コ ネ ッ ト）	フ ォ ン （ ス マ ー ト ネ ッ ト）	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		1,309	11.6	20.5	1.3	0.8	1.8
圏 域	安威川以北圏域	662	13.9	20.8	1.4	0.8	1.8
	安威川以南圏域	647	9.3	20.1	1.2	0.9	1.7
当 認 状 定 況 該	非認定者	1,269	11.8	21.1	1.3	0.9	1.6
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	28.6
	要支援1・2	33	6.1	-	3.0	-	3.0

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「テレビ・ラジオ」が60.4%で最も多く、次いで「友人・近所の人」が38.5%となっています。また、「家族・親族」が他の家族構成区分と比べて少なく、「病院・医院・薬局」と同数になっています。

単位：%

	母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)							
		家族・親族	友人・近所の	薬局・医院・	整骨院・鍼灸	市役所	保健センター	民生児童福祉委員・校区福祉社	
全体	1,309	57.8	31.3	25.4	3.0	1.0	0.8	0.7	
家族構成	1人暮らし	260	30.4	38.5	30.4	2.7	2.7	0.8	3.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	67.0	31.5	27.1	2.9	0.6	1.3	-
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	53.0	17.4	24.3	1.7	1.7	0.9	-
	息子・娘との2世帯	172	69.2	30.2	25.0	4.7	-	0.6	-
	その他	258	62.8	32.2	19.0	3.1	0.4	0.4	0.4

単位：%

	母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)							
		地域包括支援センター	介護保険事業所(ケアマネなど)	老人介護者の会(家族)	市の広報紙	市のホームページ	新聞・本・雑誌	テレビ・ラジオ	
全体	1,309	0.5	0.9	0.2	10.0	1.2	34.5	52.0	
家族構成	1人暮らし	260	0.4	1.9	0.8	12.7	1.9	26.5	60.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	0.4	1.1	-	9.0	0.8	42.4	52.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	0.9	-	-	9.6	1.7	33.0	47.0
	息子・娘との2世帯	172	0.6	1.2	-	11.0	2.3	27.3	51.2
	その他	258	-	-	-	8.1	-	33.7	45.7

単位：%

	母数 (n)	健康や日常生活の情報源(3LA)					
		インターネット	スマートフォン	その他	特にない	無回答	
全体	1,309	11.6	20.5	1.3	0.8	1.8	
家族構成	1人暮らし	260	10.0	17.7	1.2	-	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	8.0	16.0	0.4	0.8	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	25.2	29.6	1.7	0.9	2.6
	息子・娘との2世帯	172	11.0	22.1	-	1.2	1.2
	その他	258	15.5	28.3	3.5	1.6	1.6

7. 地域での活動について

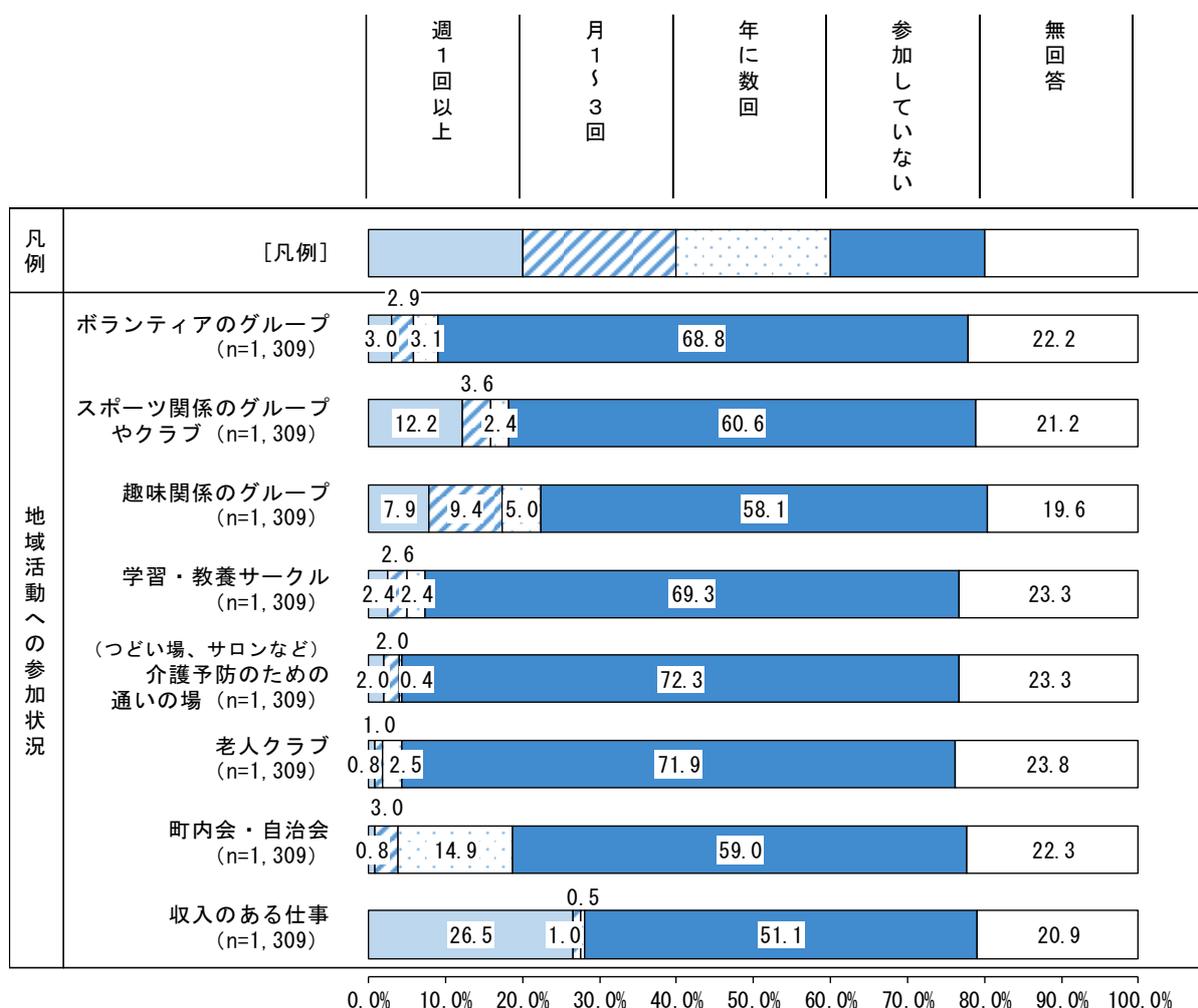
(1) 地域活動への参加状況

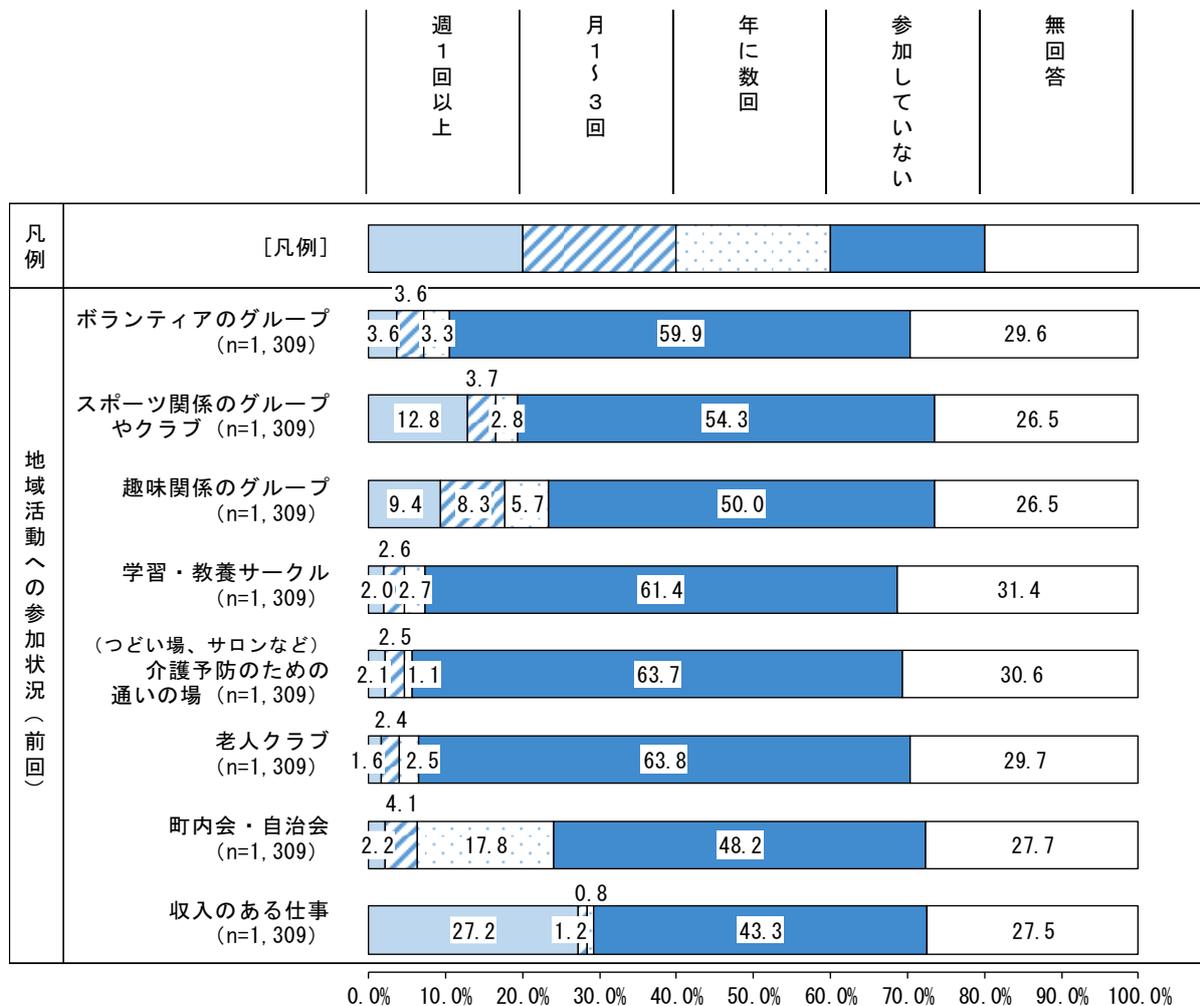
- 問5.1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ1つだけ)

【全体】

- 地域活動への参加頻度について、「週1回以上」「月1～3回」「年に数回」を合わせた“参加している”は、収入のある仕事に次いで、趣味関係のグループ、町内会・自治会、スポーツ関係のグループやクラブとなっています。
- 「週1回以上」は、収入のある仕事が26.5%で最も多く、次いで、スポーツ関係のグループやクラブが12.2%となっています。
- ボランティアのグループ、学習・教養サークル、(つどい場、サロンなど)介護予防のための通いの場、老人クラブでは、「参加していない」が約7割と他の活動に比べて多くなっています。

【地域活動への参加頻度】





【性・年齢】

- 男女ともに年代が下がるほど「収入のある仕事」が多くなる傾向がみられます。特に、男性（50～64歳）では63.8%となっています。
- 男性（75歳以上）では、「スポーツ関係のグループやクラブ」が13.4%で最も多く、次いで「収入のある仕事」が13.1%となっています。
- 女性（75歳以上）では、「趣味関係のグループ」が19.0%で最も多く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」が13.9%となっています。また、「(つどい場、サロンなど) 介護予防のための通いの場」が他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 女性（65～74歳）では、「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」で他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者では、「スポーツ関係のグループやクラブ」が28.6%で最も多く、次いで「ボランティアのグループ」「趣味関係のグループ」「(つどい場、サロンなど) 介護予防のための通いの場」がいずれも14.3%となっています。
- 要支援1・2では、「趣味関係のグループ」「(つどい場、サロンなど) 介護予防のための通いの場」がともに12.1%で最も多くなっています。

単位：%

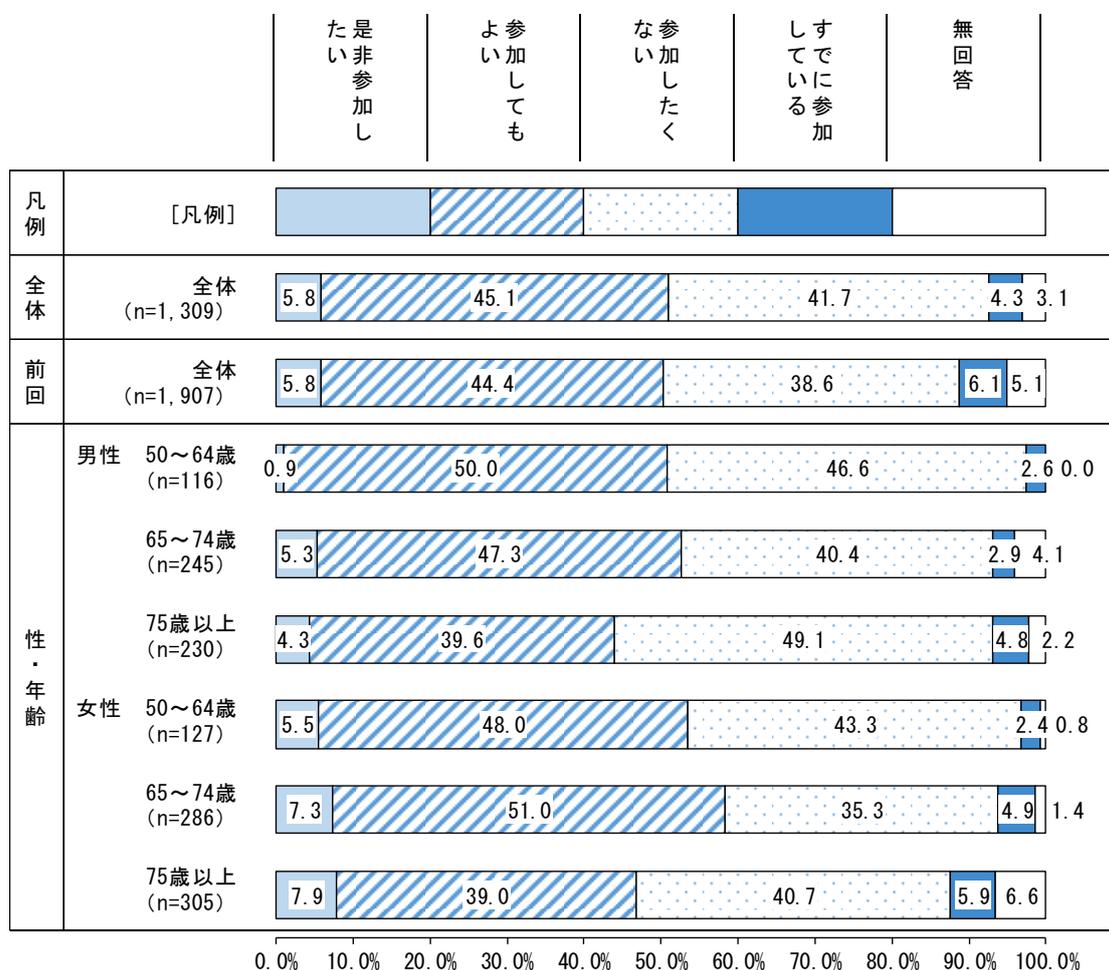
		母数 (n)	月1回以上参加							
			ボ ラ ン テ ィ ア の グ ル ー プ	ス ポ ー ツ 関 係 の グ ル ー プ や ク ラ ブ	趣 味 関 係 の グ ル ー プ	学 習 ・ 教 養 サ ー クル	予 防 の た め の 通 いの 場	ロ ン の な ど の 介 護 サ ー クル	老 人 ク ラ ブ	町 内 会 ・ 自 治 会
全体		1,309	5.9	15.8	17.3	5.0	4.0	1.8	3.8	27.5
性・年齢	男性 50～64歳	116	4.3	14.7	13.8	0.9	2.6	0.9	2.6	63.8
	65～74歳	245	6.5	13.1	15.9	3.7	1.2	0.8	5.3	37.5
	75歳以上	230	4.7	13.4	10.8	1.3	3.5	0.4	5.7	13.1
	女性 50～64歳	127	3.2	16.5	17.4	5.6	1.6	0.8	2.4	55.9
	65～74歳	286	10.0	22.2	23.3	9.4	3.8	1.3	3.8	24.8
	75歳以上	305	3.9	13.9	19.0	5.9	8.2	4.6	2.2	7.6
圏域	安威川以北圏域	662	7.3	15.9	16.7	5.9	3.8	1.5	3.5	28.9
	安威川以南圏域	647	4.5	15.8	18.1	4.1	4.2	2.2	4.3	26.3
当認定状況	非認定者	1,269	5.9	16.0	17.5	5.0	3.7	1.8	3.9	28.3
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-
	要支援1・2	33	3.0	3.0	12.1	3.0	12.1	3.0	-	3.0

(2) 地域づくりへの参加意向

- 問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

【全体】
○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が45.1%で最も多く、次いで「参加したくない」が41.7%、「是非参加したい」が5.8%となっています。
○ 「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向あり”は50.9%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに65～74歳で他の性・年齢区分に比べて“参加意向あり”が多くなっています。特に、女性では58.3%となっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】

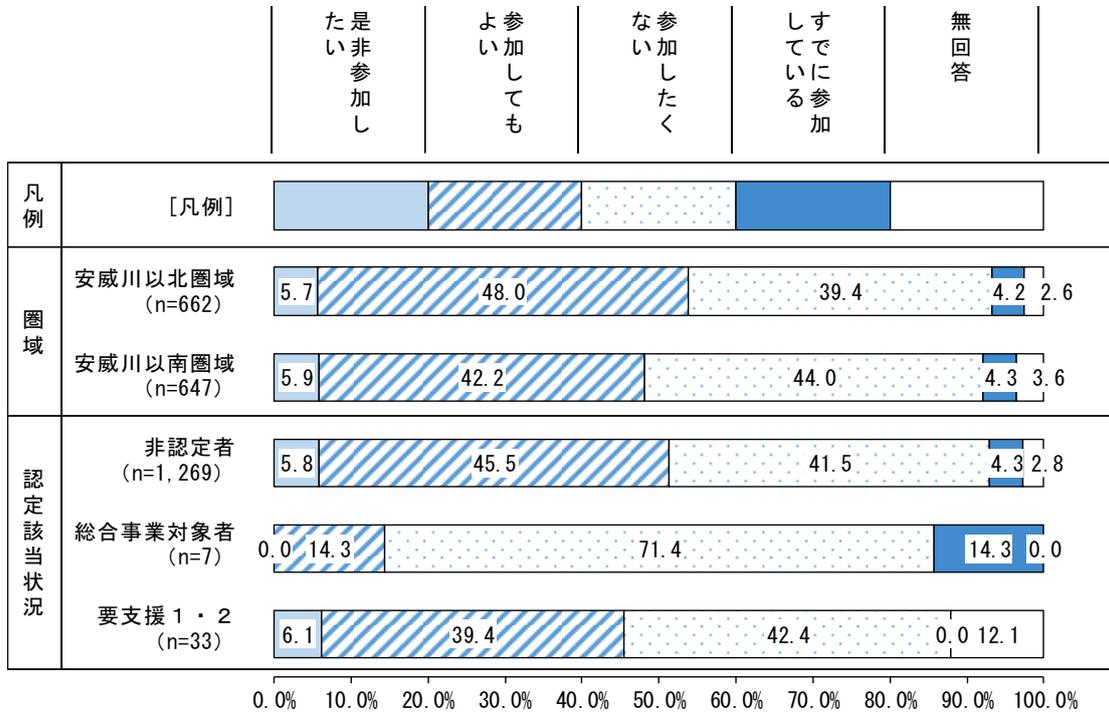


【圏域】

○ “参加意向あり”は、安威川以北圏域では 53.7%、安威川以南圏域では 48.1%となっています。

【認定該当状況】

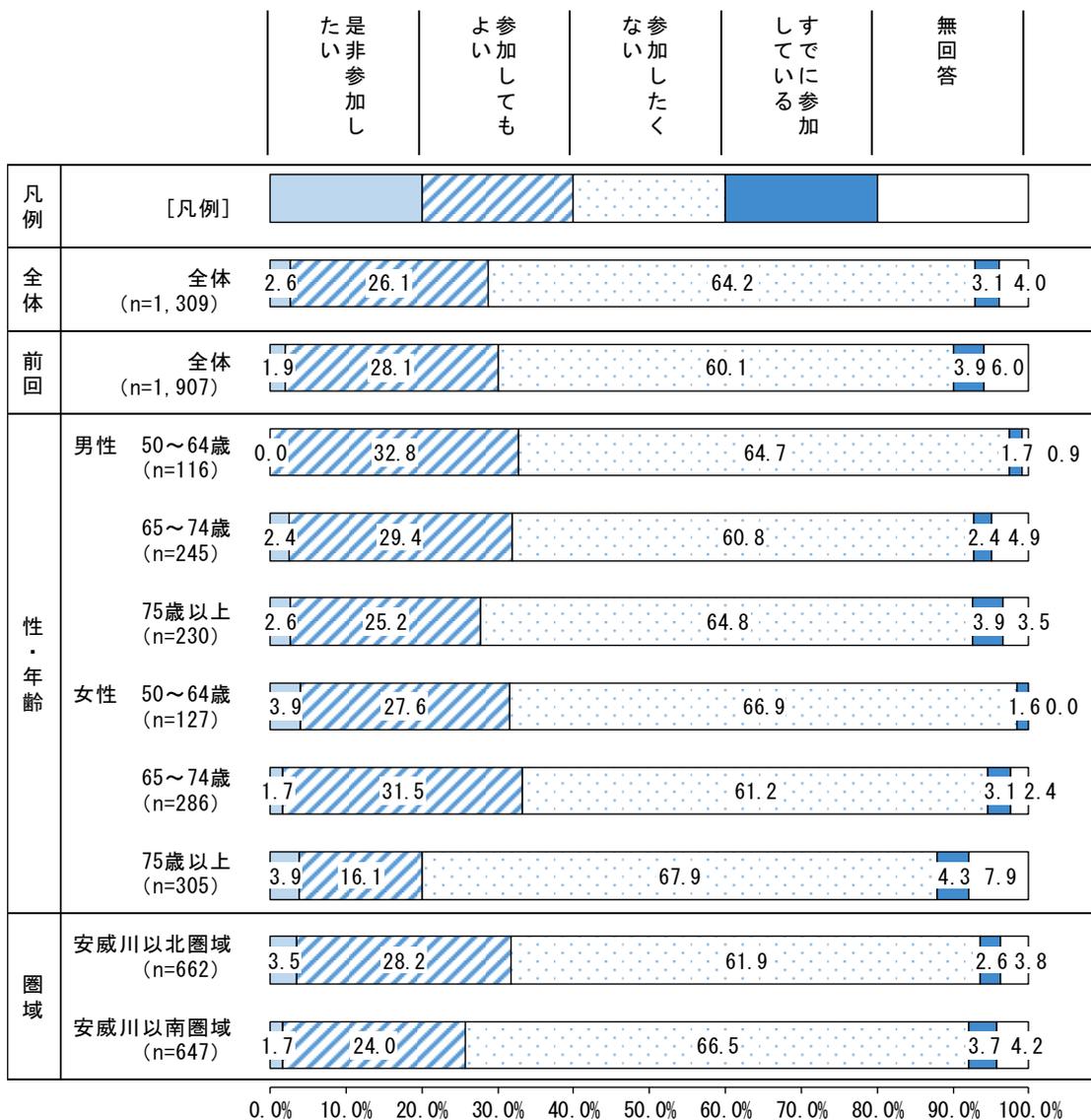
○ “参加意向あり”は、非認定者では51.3%、総合事業対象者では14.3%、要支援1・2では45.5%となっています。



●問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

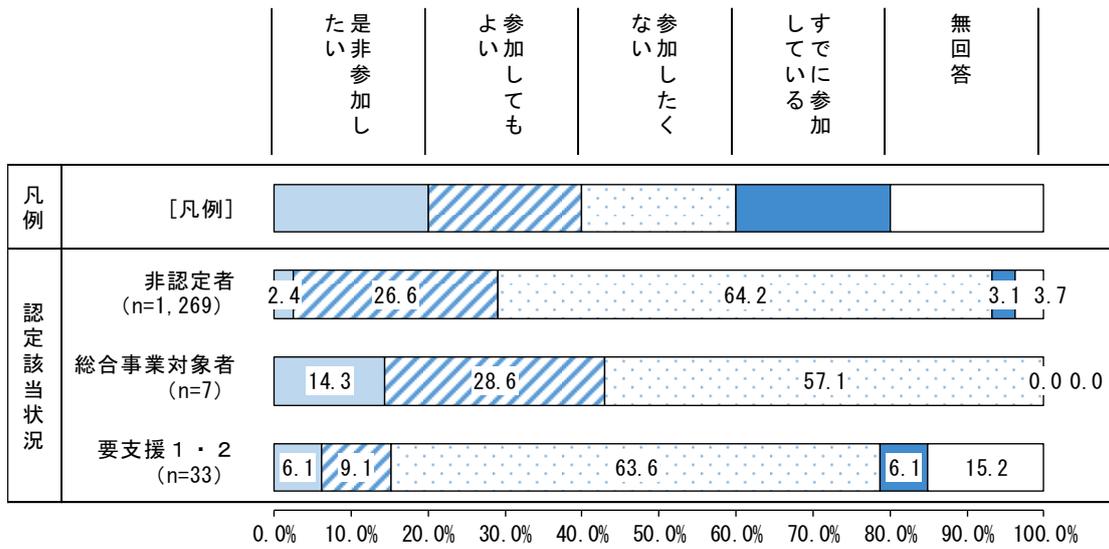
- 【全体】**
- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が64.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が26.1%、「すでに参加している」が3.1%となっています。
 - 「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向あり”は28.7%となっています。
- 【性・年齢】**
- 男性（75歳以上）では女性（75歳以上）に比べて“参加意向あり”が多くなっています。
- 【圏域】**
- “参加意向あり”は、安威川以北圏域では31.7%、安威川以南圏域では25.7%となっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



【認定該当状況】

○ “参加意向あり”は、非認定者では29.0%、総合事業対象者では42.9%、要支援1・2では15.2%となっています。

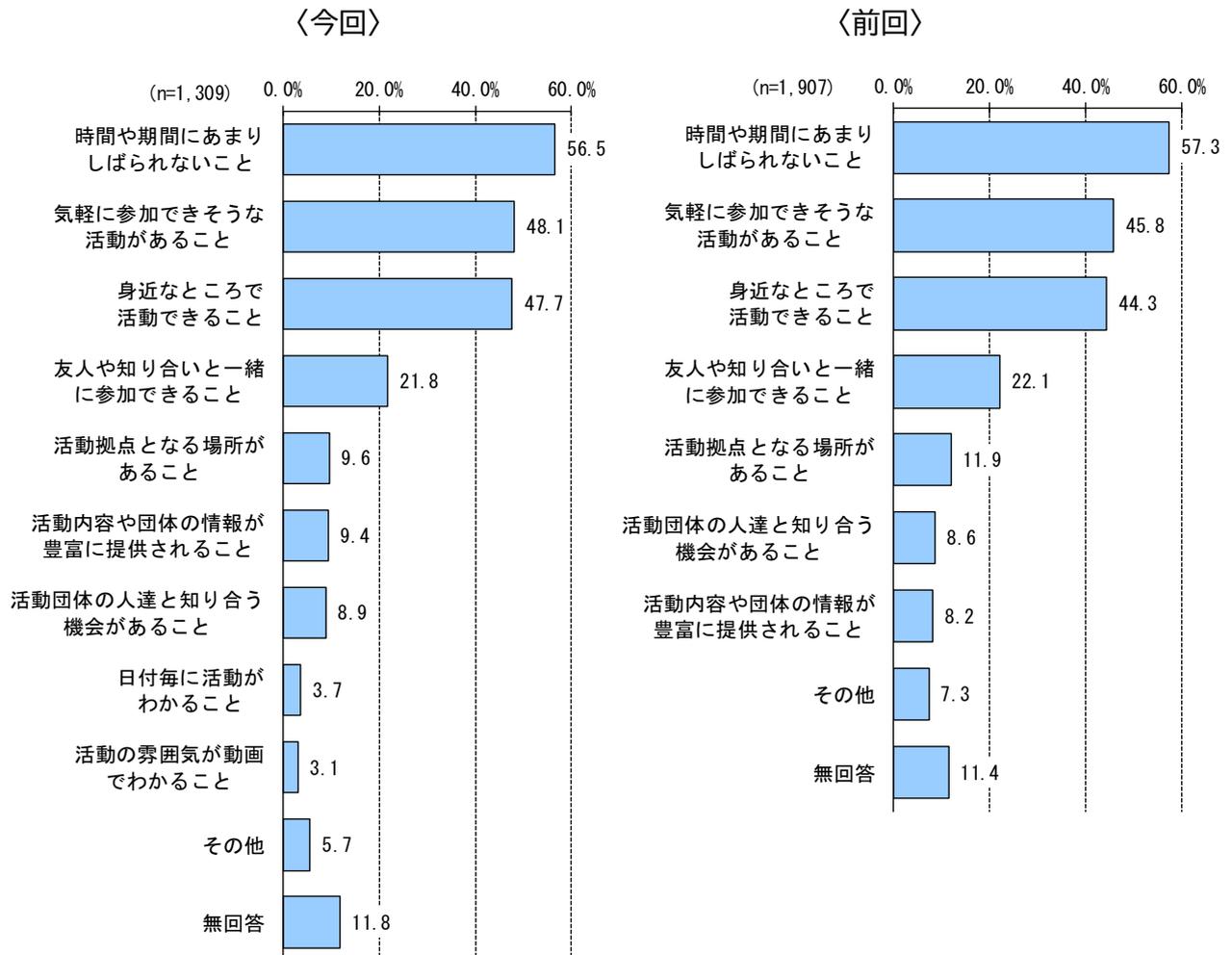


●問5.4 今後、あなたが社会的活動に参加する場合、どのような条件や環境があれば参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも)

【全体】

- 社会的活動への参加のための条件や環境について、「時間や期間にあまりしぼられないこと」が 56.5%で最も多く、次いで「気軽に参加できそうな活動があること」が 48.1%、「身近なところで活動できること」が 47.7%となっています。
- 前回調査に比べて、「身近なところで活動できること」が 3.4 ポイント多くなっています。

【社会的活動への参加のための条件や環境(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに 74 歳以下では 75 歳以上に比べて「時間や期間にあまりしばられないこと」が約 6～7 割と多くなっています。一方で、75 歳以上では「時間や期間にあまりしばられないこと」「身近なところで活動できること」「気軽に参加できそうな活動があること」がいずれも約 4～5 割となっています。
- いずれの年代でも女性では男性に比べて「友人や知り合いと一緒に参加できること」が多くなっています。
- 男性（50～64 歳）では、「活動内容や団体の情報が豊富に提供されること」が 20.7% と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 安威川以北圏域では安威川以南圏域に比べて「時間や期間にあまりしばられないこと」「気軽に参加できそうな活動があること」が多くなっています。
- 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「友人や知り合いと一緒に参加できること」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者、要支援 1・2 では「身近なところで活動できること」「気軽に参加できそうな活動があること」が多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	社会的活動への参加のための条件や環境(MA)					がと活 あ知動 るり団 こ合の うの機 人達 会
			いま時 こり間 としや ば期 ら間 れに なあ	活身 動近 でな きと ころ とで	るそ気 こう軽 となに 活参 動加 がで あき	きと友 る一人 こ緒や とに知 とに参 り加 合い	提の活 供情動 さ報内 れが容 や豊や こ富団 とに体	
全体		1,309	56.5	47.7	48.1	21.8	9.4	8.9
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	68.1	41.4	44.8	14.7	20.7	8.6
	65～74歳	245	64.1	47.3	53.5	11.4	9.4	8.6
	75歳以上	230	48.7	43.5	39.6	18.7	4.3	8.3
	女性 50～64歳	127	68.5	53.5	60.6	22.8	12.6	8.7
	65～74歳	286	62.9	57.3	54.9	26.9	11.5	10.1
	75歳以上	305	40.7	42.0	40.0	30.2	5.6	8.9
圏 域	安威川以北圏域	662	59.5	49.7	51.2	19.3	10.0	11.0
	安威川以南圏域	647	53.3	45.6	45.0	24.4	8.8	6.8
当認 状定 況該	非認定者	1,269	57.4	48.1	48.7	22.0	9.6	9.0
	総合事業対象者	7	28.6	42.9	42.9	14.3	14.3	28.6
	要支援 1・2	33	24.2	30.3	27.3	18.2	-	3.0

単位：%

		母数 (n)	社会的活動への参加のための条件や環境(MA)				無 回 答
			場活 所動 が拠 あ点 ると こな とる	と動活 画動 での わ雰 か困 る気 こが	わ日 か付 る毎 こに と活 動が	そ の 他	
全体		1,309	9.6	3.1	3.7	5.7	11.8
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	13.8	4.3	3.4	3.4	2.6
	65～74歳	245	9.8	4.5	1.6	6.5	9.8
	75歳以上	230	11.3	2.2	4.3	7.8	17.8
	女性 50～64歳	127	9.4	7.1	3.9	4.7	3.9
	65～74歳	286	8.7	1.4	3.5	4.5	5.9
	75歳以上	305	7.5	2.0	4.9	5.6	21.0
圏 域	安威川以北圏域	662	10.3	3.6	3.8	5.6	9.5
	安威川以南圏域	647	9.0	2.5	3.6	5.7	14.1
当認 状定 況該	非認定者	1,269	9.7	3.2	3.7	5.3	11.2
	総合事業対象者	7	14.3	-	-	-	28.6
	要支援 1・2	33	6.1	-	3.0	21.2	30.3

8. たすけあいについて

(1) 周囲との関係

●問6.1 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(いくつでも)

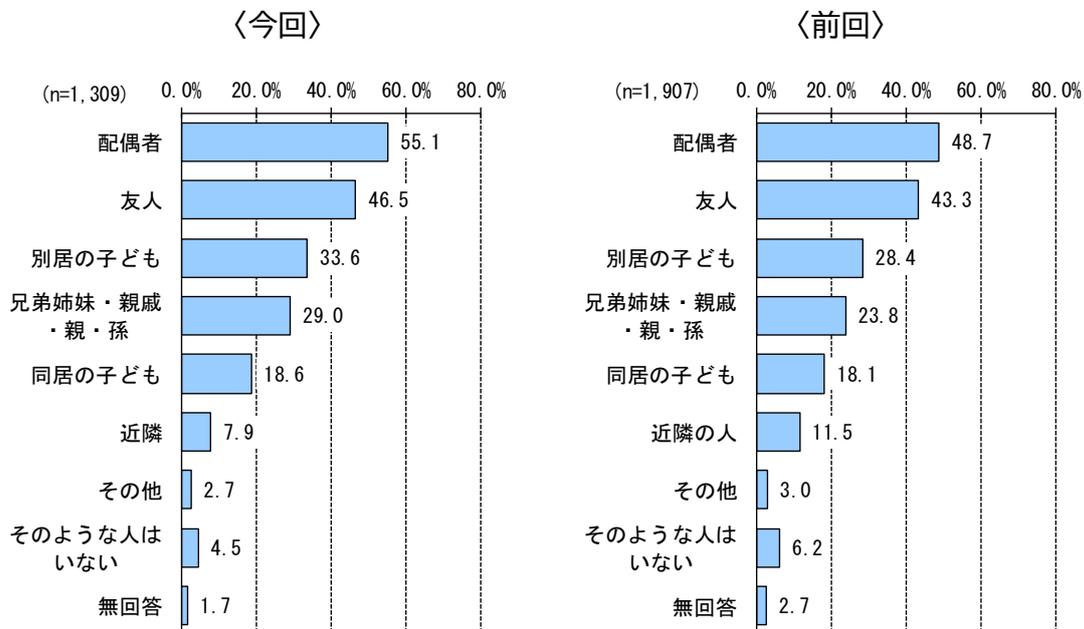
【全体】

- 心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が55.1%で最も多く、次いで「友人」が46.5%、「別居の子ども」が33.6%となっています。
- 前回調査に比べて、上位4項目の割合が多くなっています。

【性・年齢】

- 男性では、年代によらず「配偶者」が約7割で最も多くなっています。一方で、年代が上がるほど「同居の子ども」「友人」は少なくなる傾向がみられます。
- 女性では、74歳以下では「友人」が約6～7割、「配偶者」が約5割で多くなっていますが、75歳以上ではそれぞれ46.6%、31.1%と少なくなっています。また、75歳以上では、「近隣」を除くほとんどの項目で74歳以下に比べて少なくなっています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								無 回 答
			配 偶 者	も 同 居 の 子 ど	も 別 居 の 子 ど	孫 親 兄 弟 姉 妹 ・ 姉 妹 ・ ・	近 隣	友 人	そ の 他	人 そ の い よ う い な	
全体		1,309	55.1	18.6	33.6	29.0	7.9	46.5	2.7	4.5	1.7
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	70.7	15.5	17.2	26.7	0.9	41.4	5.2	4.3	0.9
	65～74歳	245	67.3	11.0	20.0	17.1	4.1	36.3	1.6	9.0	2.4
	75歳以上	230	71.3	10.9	31.3	19.6	5.2	29.1	2.6	4.3	0.9
	女性 50～64歳	127	50.4	37.0	29.1	42.5	5.5	67.7	4.7	6.3	0.8
	65～74歳	286	52.8	25.9	49.3	41.3	11.5	61.9	1.0	1.4	0.3
	75歳以上	305	31.1	17.4	39.7	29.5	13.1	46.6	3.3	3.3	3.6
圏 域	安威川以北圏域	662	56.6	15.6	31.4	29.3	5.6	46.4	3.2	5.6	1.8
	安威川以南圏域	647	53.5	21.8	35.9	28.7	10.2	46.7	2.2	3.4	1.5
当 認 状 定 該	非認定者	1,269	55.9	18.9	33.5	29.5	7.8	47.1	2.6	4.3	1.7
	総合事業対象者	7	28.6	14.3	28.6	-	-	57.1	14.3	-	-
	要支援1・2	33	27.3	9.1	39.4	18.2	12.1	21.2	3.0	12.1	3.0

【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が13.5%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								無回答
			配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・姉妹・親妹・・・	近隣	友人	その他	人そのいよういな	
全体		1,309	55.1	18.6	33.6	29.0	7.9	46.5	2.7	4.5	1.7
家族構成	1人暮らし	260	2.3	0.8	37.7	30.0	12.3	55.8	3.1	13.5	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	81.9	2.1	40.3	26.7	8.4	42.4	1.5	1.3	2.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	91.3	5.2	28.7	23.5	3.5	37.4	2.6	2.6	0.9
	息子・娘との2世帯	172	50.6	61.6	28.5	27.3	7.0	45.9	3.5	4.1	-
	その他	258	46.1	43.4	23.6	34.5	5.0	51.6	4.3	2.3	1.6

●問6.1 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (いくつでも)

【全体】

- 心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 52.6%で最も多く、次いで「友人」が 47.6%、「別居の子ども」が 31.5%となっています。
- 前回調査に比べて、上位 4 項目の割合が多く、「近隣」が少なくなっています。

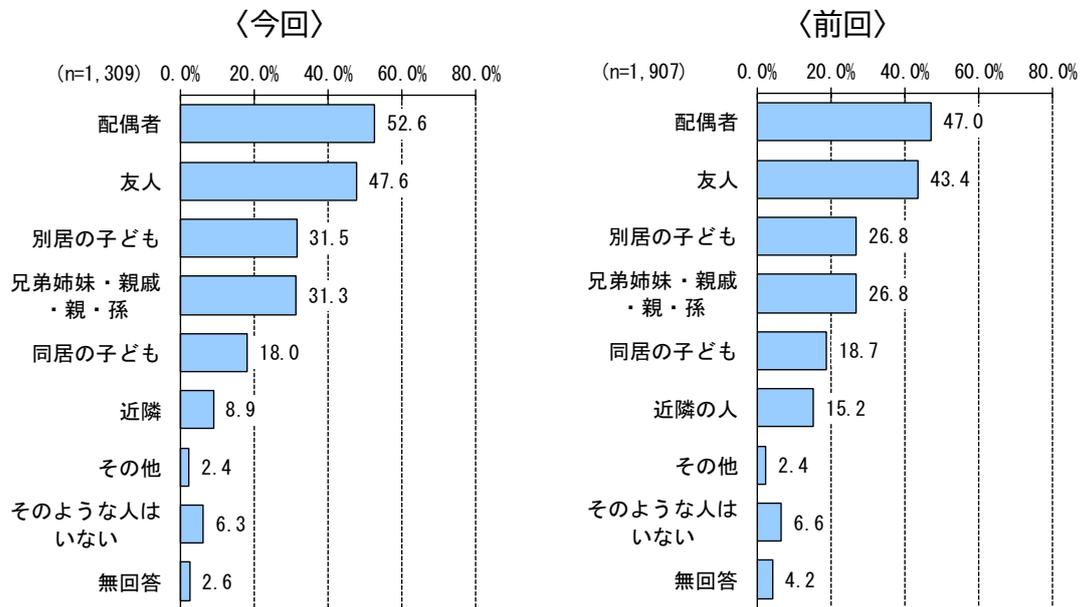
【性・年齢】

- 男性では、年代によらず「配偶者」が約 6～7 割で最も多くなっています。一方で、年代が上がるほど「同居の子ども」「友人」が少なくなる傾向がみられます。
- 女性では、74 歳以下では「友人」が約 6～7 割、「配偶者」が約 5 割で多くなっていますが、75 歳以上ではそれぞれ 47.9%、28.9%と少なくなっています。

【家族構成】

- 1 人暮らしでは、「そのような人はいない」が 15.4%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



単位: %

性・年齢	母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1,309	52.6	18.0	31.5	31.3	8.9	47.6	2.4	6.3	2.6	
性・年齢	男性 50～64歳	116	69.0	19.0	18.1	28.4	0.9	44.0	4.3	6.9	-
	65～74歳	245	67.8	12.7	24.5	18.4	4.1	35.1	2.0	10.2	3.7
	75歳以上	230	63.5	11.3	24.8	21.3	5.2	29.6	2.2	9.1	2.6
	女性 50～64歳	127	50.4	38.6	29.9	53.5	7.1	70.1	4.7	1.6	-
	65～74歳	286	50.3	23.4	47.6	43.7	14.7	64.0	0.7	1.4	1.4
75歳以上	305	28.9	13.4	32.8	29.5	14.1	47.9	2.6	7.2	4.9	
圏域	安威川以北圏域	662	53.9	15.9	30.5	31.4	7.4	46.5	2.9	6.3	2.9
	安威川以南圏域	647	51.2	20.2	32.5	31.2	10.5	48.7	1.9	6.2	2.3
当認状況	非認定者	1,269	53.8	18.4	31.9	31.8	8.8	48.2	2.4	5.8	2.2
	総合事業対象者	7	14.3	-	14.3	14.3	-	42.9	-	14.3	14.3
	要支援1・2	33	12.1	6.1	18.2	15.2	15.2	24.2	-	24.2	15.2
家族構成	1人暮らし	260	1.2	0.8	30.0	30.4	13.8	54.2	4.2	15.4	4.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	77.3	2.5	37.2	28.6	9.2	43.5	0.8	3.8	3.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	86.1	7.0	33.9	28.7	4.3	37.4	3.5	5.2	1.7
	息子・娘との2世帯	172	50.6	53.5	26.2	32.0	6.4	49.4	2.3	4.7	0.6
	その他	258	46.5	43.0	25.6	38.0	7.0	53.5	3.1	2.7	0.8

●問6.1 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(いくつでも)

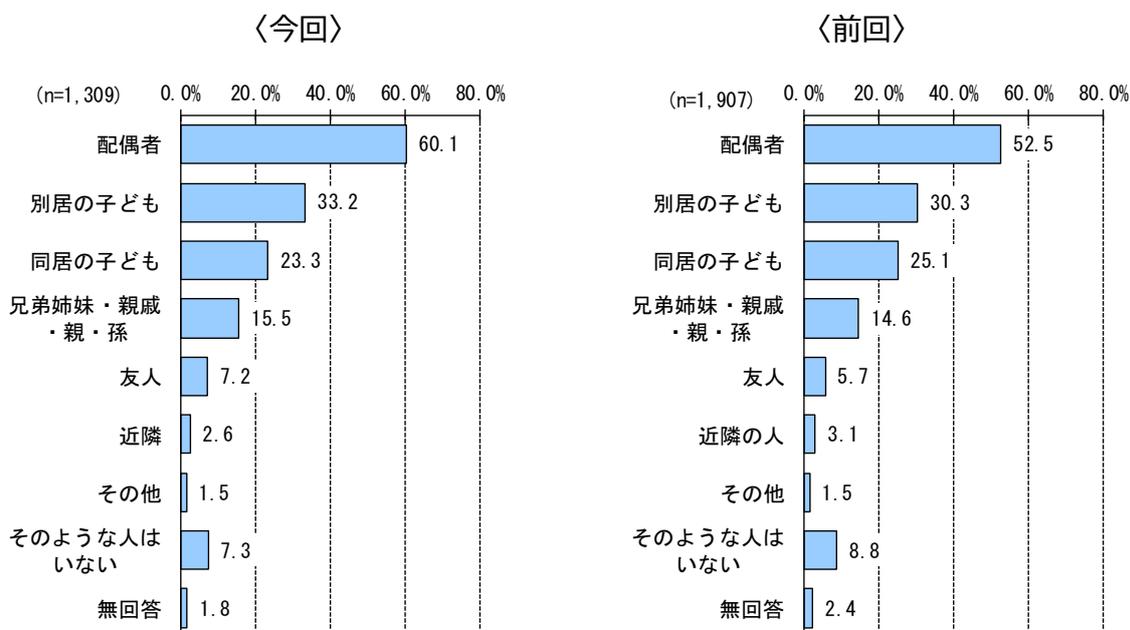
【全体】

- 看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が60.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が33.2%、「同居の子ども」が23.3%となっています。
- 前回調査に比べて、上位2項目の割合が多くなっています。

【性・年齢】

- 男性では、年代によらず「配偶者」が7割以上で最も多く、年代が上がるほど「別居の子ども」も多くなる傾向がみられます。一方で、「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」は少なくなる傾向がみられます。
- 女性では、74歳以下では「配偶者」が約6割で多くなっていますが、75歳以上では38.7%と少なくなっています。また、50～64歳では「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多く、65歳以上では代わって「別居の子ども」が多くなっています。
- 男性(50～64歳)では、「そのような人はいない」が10.3%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【看病や世話をしてくれる人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	看病や世話をしてくれる人(MA)								無回答
			配偶者	も同居の子ども	も別居の子ども	孫親兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	人そのいような	
全体		1,309	60.1	23.3	33.2	15.5	2.6	7.2	1.5	7.3	1.8
性・年齢	男性 50～64歳	116	70.7	22.4	13.8	15.5	-	5.2	2.6	10.3	-
	65～74歳	245	70.6	17.1	25.7	12.2	0.8	4.9	1.2	8.2	2.9
	75歳以上	230	75.7	13.9	33.5	9.6	1.7	2.6	1.3	7.4	1.7
	女性 50～64歳	127	58.3	43.3	19.7	29.1	3.1	8.7	-	7.1	-
	65～74歳	286	58.0	28.3	42.0	16.8	4.5	11.9	0.3	3.5	1.0
	75歳以上	305	38.7	22.6	43.9	15.7	3.6	8.2	3.3	8.9	3.0
圏域	安威川以北圏域	662	61.9	20.1	31.0	15.0	1.4	8.0	1.4	8.8	1.5
	安威川以南圏域	647	58.3	26.6	35.5	16.1	3.9	6.3	1.7	5.7	2.0
当認状況該	非認定者	1,269	61.1	23.5	32.9	15.8	2.5	7.2	1.5	7.1	1.7
	総合事業対象者	7	42.9	14.3	42.9	-	-	-	14.3	-	-
	要支援1・2	33	27.3	18.2	45.5	6.1	6.1	6.1	-	15.2	3.0

【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が 26.5%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	看病や世話をしてくれる人(MA)								無回答
			配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・姉妹・親妹・	近隣	友人	その他	人そのいようないな	
全体		1,309	60.1	23.3	33.2	15.5	2.6	7.2	1.5	7.3	1.8
家族構成	1人暮らし	260	1.2	0.8	42.3	23.5	6.5	15.0	3.8	26.5	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	90.5	3.2	39.9	8.4	2.3	6.3	0.4	1.1	2.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	94.8	9.6	25.2	8.7	-	1.7	0.9	0.9	0.9
	息子・娘との2世帯	172	55.8	75.0	24.4	15.7	1.2	4.1	-	2.9	0.6
	その他	258	51.9	53.1	22.1	23.6	1.2	5.8	2.3	4.3	1.2

●問6.1 (4) 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも)

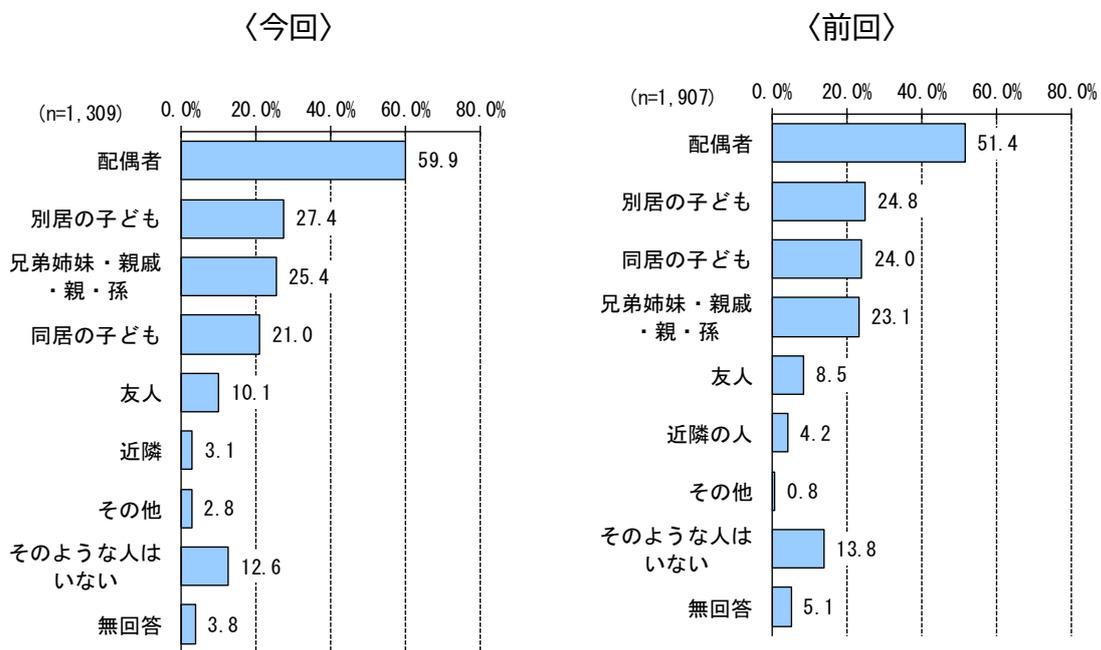
【全体】

- 看病や世話をしあける人について、「配偶者」が 59.9%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 27.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 25.4%となっています。
- 前回調査に比べて、「配偶者」が 8.5 ポイント多くなっています。

【性・年齢】

- 男性では、年代によらず「配偶者」が約7割で最も多くなっています。次いで、50～64歳では「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」となっている一方で、65歳以上ではそれらの割合は少なくなり、「別居の子ども」が多くなっています。
- 女性では、74歳以下では「配偶者」が約6割で多くなっていますが、75歳以上では 40.7%と少なくなっています。75歳以上では「そのような人はいない」が 16.7%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【看病や世話をしあける人(MA)】



単位：%

	母数 (n)	看病や世話をしあける人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫親兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	1,309	59.9	21.0	27.4	25.4	3.1	10.1	2.8	12.6	3.8	
性・年齢	男性 50～64歳	116	71.6	30.2	17.2	30.2	-	6.0	5.2	11.2	-
	65～74歳	245	66.5	15.9	23.3	19.2	0.4	5.7	0.4	14.3	3.7
	75歳以上	230	70.4	9.6	21.7	13.5	1.7	4.3	3.9	13.5	4.3
	女性 50～64歳	127	56.7	40.9	32.3	52.8	3.1	14.2	1.6	4.7	-
	65～74歳	286	62.9	27.3	41.6	33.6	5.2	16.4	1.0	10.1	1.7
75歳以上	305	40.7	16.1	23.6	18.7	5.6	11.8	4.9	16.7	8.5	
圏域	安威川以北圏域	662	60.4	18.6	25.8	25.8	2.7	9.7	3.0	13.3	3.9
	安威川以南圏域	647	59.4	23.5	29.1	25.0	3.6	10.5	2.5	11.9	3.7
当認 状定 況該	非認定者	1,269	60.8	21.6	28.1	26.0	3.2	10.3	2.3	12.1	3.4
	総合事業対象者	7	28.6	-	-	-	-	-	28.6	28.6	14.3
	要支援1・2	33	30.3	3.0	9.1	9.1	3.0	3.0	15.2	27.3	18.2

【家族構成】

○ 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が 35.4%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

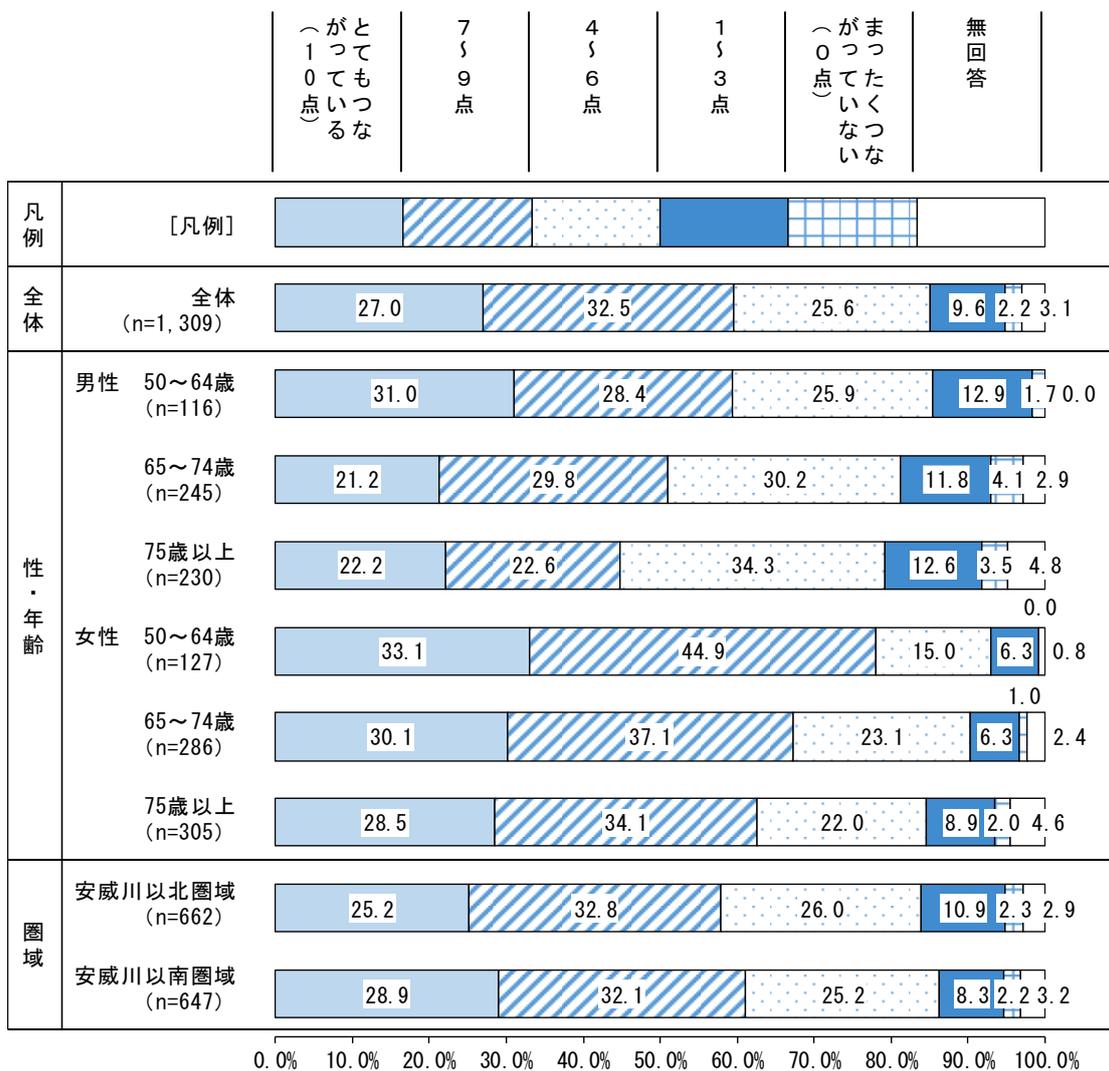
単位：%

		母数 (n)	看病や世話をしている人(MA)								無回答
			配偶者	も同居の子ど	も別居の子ど	孫親兄弟・姉妹・	近隣	友人	その他	人そのいようないな	
全体		1,309	59.9	21.0	27.4	25.4	3.1	10.1	2.8	12.6	3.8
家族構成	1人暮らし	260	1.2	0.4	24.6	26.2	6.2	18.8	5.8	35.4	7.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	89.1	2.7	33.0	20.2	3.6	8.2	1.5	4.6	2.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	93.9	11.3	33.9	21.7	-	3.5	1.7	2.6	1.7
	息子・娘との2世帯	172	55.2	62.8	19.8	24.4	2.3	7.0	0.6	14.0	4.7
	その他	258	54.3	50.4	23.3	36.8	1.6	9.7	4.3	7.4	2.3

●問6.2 あなたはまわりの人（家族を含む）と、どの程度つながっていると感じますか。
（1つだけ）

- 【全体】**
- まわりの人とのつながりについて、「7～9点」が32.5%で最も多く、次いで「とてもつながっている（10点）」が27.0%、「4～6点」が25.6%となっています。
 - 7点以上は59.5%となっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも女性では男性に比べて7点以上が多くなっています。特に、女性（50～64歳）では、他の性・年齢区分と比べて多くなっています。
 - 男女ともに年代が上がるほど7点以上が少なくなる傾向がみられます。特に、男性（75歳以上）では44.8%と他の性・年齢区分に比べて少なくなっています。

【まわりの人とのつながり】



【認定該当状況】

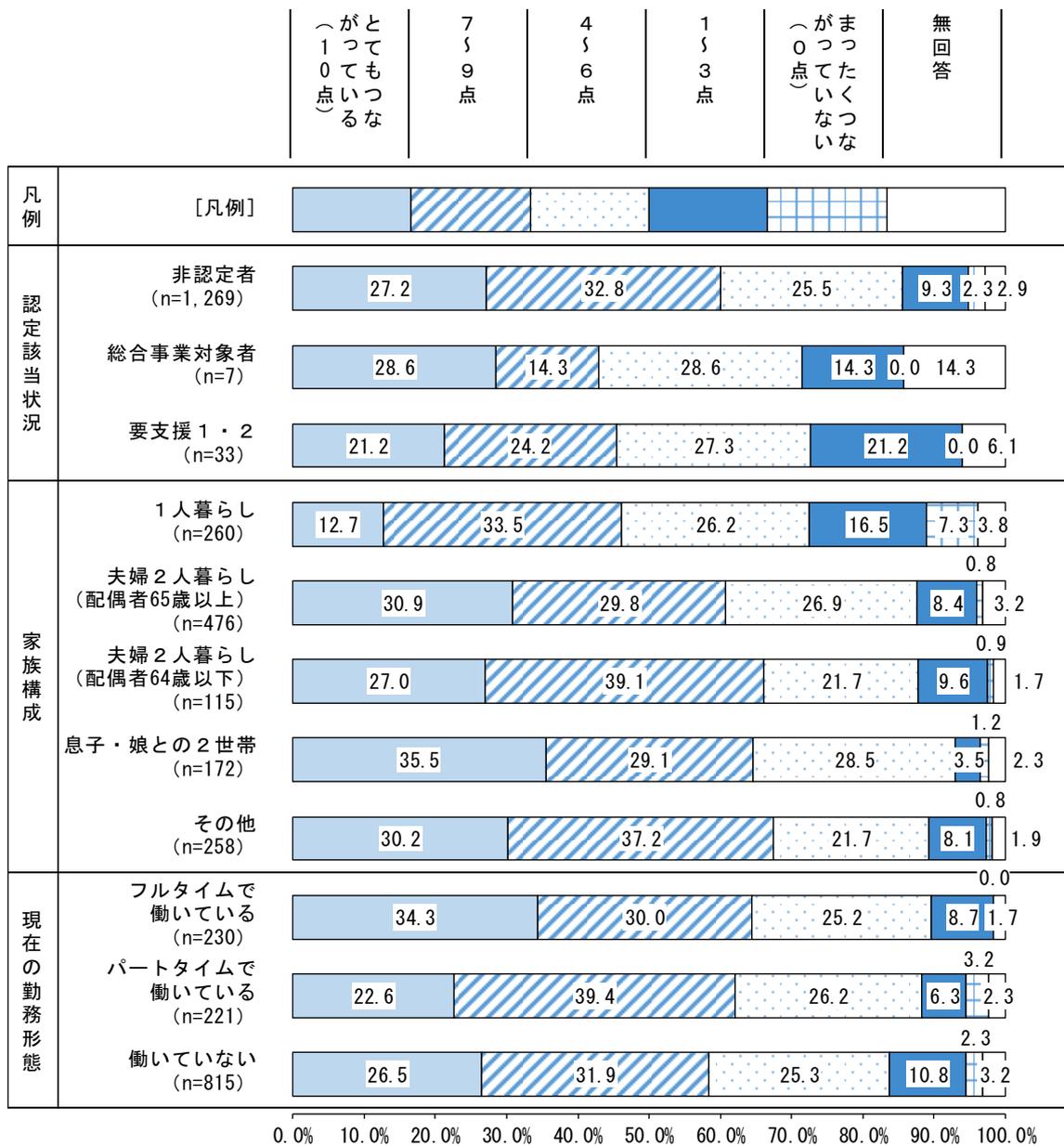
○ 7点以上は、非認定者では 60.0%であるのに対し、総合事業対象者では 42.9%、要支援1・2では 45.4%となっています。

【家族構成】

○ 1人暮らしでは7点以上が46.2%と他の家族構成区分に比べて少なくなっています。

【現在の勤務形態】

○ 働いている時間が長いほどまわりの人とつながっていると感じる傾向がみられます。

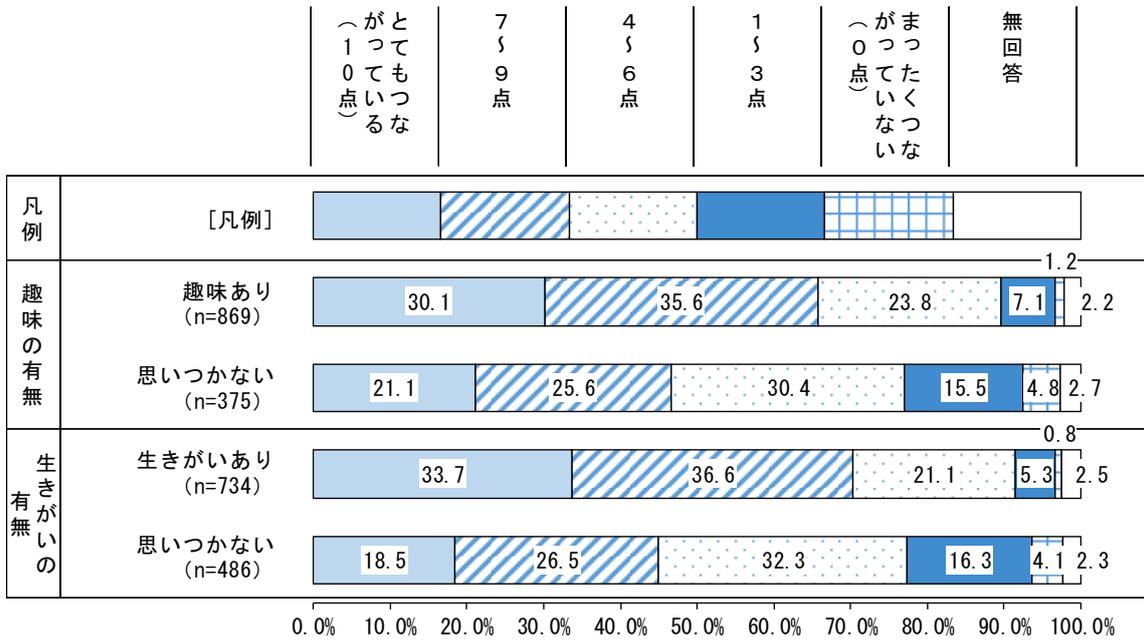


【趣味の有無】

○ 趣味がある人ではない人に比べて、7点以上が多くなっています。

【生きがいの有無】

○ 生きがいがある人ではない人に比べて、7点以上が多くなっています。



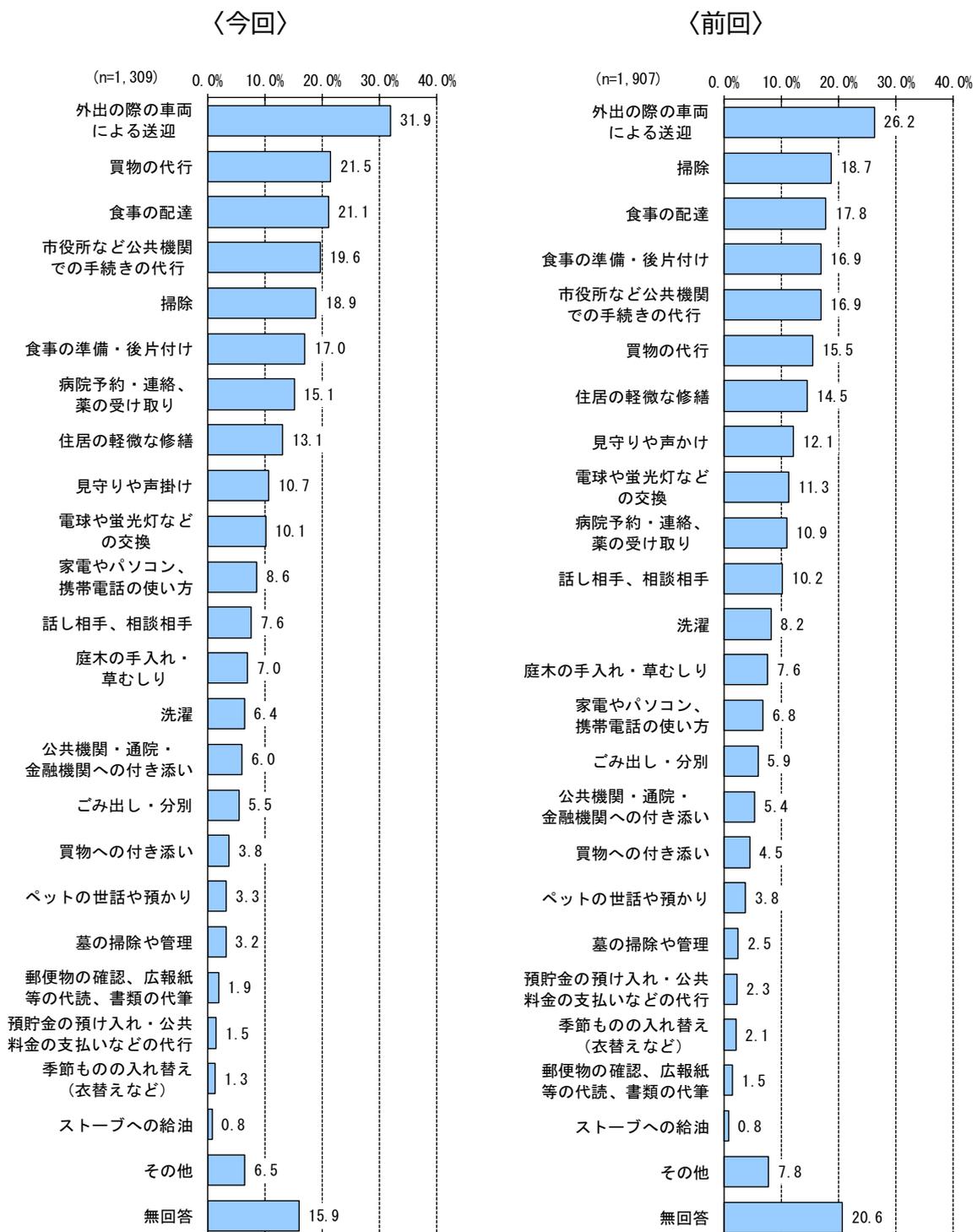
(2) 介護保険制度外の支援

- 問6.3 介護保険制度外の支援について、今後どのようなものがあれば、利用したいと思えますか。(5つまで○)

【全体】

- 介護保険制度外で利用したい支援について、「外出の際の車両による送迎」が31.9%で最も多く、次いで「買物の代行」が21.5%、「食事の配達」が21.1%となっています。
- 前回調査に比べて、「外出の際の車両による送迎」「買物の代行」「食事の配達」「病院予約・連絡、薬の受け取り」が3ポイント以上多くなっています。

【介護保険制度外で利用したい支援(5LA)】



【性・年齢】

- 50～64歳では、男性で「食事の配達」が31.0%で最も多く、次いで「掃除」が26.7%となっており、いずれも他の性・年齢区分に比べても多くなっています。
- 75歳以上では、男性で「食事の準備・後片付け」が28.7%で最も多く、他の性・年齢区分に比べても多くなっています。女性では、「電球や蛍光灯などの交換」が16.7%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)								
			片食 付け の 準備 ・ 後	食 事 の 配 達	買 物 の 代 行	に外 よ る 送 迎 の 車 両	り絡 病 院 薬 の 受 け 取	行支 れ 払 い 公 金 な 共 の 預 け 代	の機 代 行 で 所 な ど 手 続 き 共	掃 除	洗 濯
全体		1,309	17.0	21.1	21.5	31.9	15.1	1.5	19.6	18.9	6.4
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	21.6	31.0	22.4	21.6	18.1	0.9	16.4	26.7	9.5
	65～74歳	245	15.5	22.0	16.3	24.5	16.7	2.9	20.0	21.2	10.2
	75歳以上	230	28.7	19.1	20.4	27.0	15.7	2.6	21.7	19.6	10.4
	女性 50～64歳	127	12.6	21.3	29.1	35.4	20.5	0.8	14.2	18.9	2.4
	65～74歳	286	14.7	19.6	24.8	40.9	11.9	0.3	18.5	17.8	4.9
	75歳以上	305	11.5	19.3	20.0	35.4	13.1	1.3	22.3	14.8	2.3

単位：％

		母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)								
			ご み 出 し ・ 分 別	草 庭 木 の 手 入 れ ・ し り	使 い 方 携 帯 電 話 の	ン、 家 電 や パ ソ コ の	油 ス ト ー プ へ の 給	読 広 郵 便 物 の 確 認 、 書 類 の 代 筆	預 か り の 世 話 や	墓 の 掃 除 や 管 理	ど 電 球 や 蛍 光 灯 な の 交 換
全体		1,309	5.5	7.0	8.6	0.8	1.9	3.3	3.2	10.1	13.1
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	10.3	1.7	6.9	0.9	0.9	4.3	1.7	0.9	6.0
	65～74歳	245	4.9	5.7	8.2	0.4	1.2	3.7	4.5	6.5	8.6
	75歳以上	230	7.0	7.0	7.4	2.2	1.7	1.7	3.9	8.3	11.3
	女性 50～64歳	127	6.3	7.1	7.1	-	0.8	5.5	3.1	8.7	17.3
	65～74歳	286	4.2	7.0	10.1	0.3	1.4	4.2	1.0	11.9	17.5
	75歳以上	305	3.9	9.8	9.5	0.7	3.9	2.0	4.3	16.7	15.1

単位：％

		母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)						そ の 他	無 回 答
			い 買 物 へ の 付 き 添	の 院 公 機 関 ・ 通 へ	相 話 し 相 手 、 相 談	見 守 り や 声 掛 け	ど 替 え 節 も の 衣 替 え な れ	季 節 の 入 れ		
全体		1,309	3.8	6.0	7.6	10.7	1.3	6.5	15.9	
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	4.3	5.2	11.2	9.5	0.9	3.4	19.0	
	65～74歳	245	2.9	5.7	5.7	7.8	2.4	8.2	15.5	
	75歳以上	230	3.5	9.1	6.1	7.8	0.4	7.8	16.5	
	女性 50～64歳	127	4.7	5.5	9.4	13.4	0.8	7.9	11.8	
	65～74歳	286	2.8	5.6	7.0	13.6	-	4.2	14.3	
	75歳以上	305	5.2	4.6	8.9	11.8	2.6	6.9	17.7	

【中学校区】

- 中学校区別に回答の多い上位 6 項目とその割合は次ページのようになっています（その他、無回答は除きます）。
- 第二中学校区、第四中学校区、第五中学校区では、「外出の際の車両による送迎」が他の項目と比べて 1 割以上高くなっています。

単位：％

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)									
		片食 付け の 準備 ・ 後	食 事 の 配 達	買 物 の 代 行	に外 よ る の 送 迎 の 車 両	り絡 病 、 院 薬 予 約 受 ・ 連 取	行支 れ預 払・貯 い公 金共 の料 預 け代 の金 入	の機 代関 行役 所 の 手 続 公 共	掃 除	洗 濯	
全体	1,309	17.0	21.1	21.5	31.9	15.1	1.5	19.6	18.9	6.4	
圏 域	安威川以北圏域	662	16.6	22.8	24.2	27.9	16.0	1.8	18.1	21.5	7.4
	安威川以南圏域	647	17.3	19.3	18.9	35.9	14.2	1.2	21.2	16.4	5.4
中 学 校 区	第一中学校	353	15.0	24.9	22.9	27.2	15.9	1.7	17.6	21.2	6.5
	第二中学校	222	14.0	20.7	18.0	32.9	11.3	1.8	18.9	13.1	4.1
	第三中学校	317	18.3	20.5	24.9	29.0	16.1	1.9	18.6	21.5	8.8
	第四中学校	265	22.6	17.7	19.6	38.5	15.1	0.8	22.6	20.0	6.8
	第五中学校	152	13.2	19.7	19.7	35.5	17.1	1.3	22.4	15.1	3.9

単位：％

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)									
		ご み 出 し ・ 分 別	草 庭 木 の 手 入 れ ・ し り	使 い 方 携 帯 電 話 の コ	ン、 家 電 や パ ソ コ	油 ス ト ー ブ へ の 給	読 、 広 報 紙 等 の 代 筆	預 ベ ツ カ リ の 世 話 や	墓 の 掃 除 や 管 理	ど 電 球 や 蛍 光 灯 な	繕 住 居 の 軽 微 な 修
全体	1,309	5.5	7.0	8.6	0.8	1.9	3.3	3.2	10.1	13.1	
圏 域	安威川以北圏域	662	5.9	6.3	8.3	1.2	2.4	2.9	3.2	10.6	11.9
	安威川以南圏域	647	5.1	7.6	8.8	0.3	1.4	3.7	3.2	9.6	14.4
中 学 校 区	第一中学校	353	5.7	7.9	9.3	0.8	2.3	1.4	4.0	11.6	16.1
	第二中学校	222	5.9	7.2	9.0	0.5	2.3	4.5	4.1	8.6	13.1
	第三中学校	317	6.3	4.7	7.3	1.6	2.5	4.4	2.5	9.1	8.5
	第四中学校	265	4.9	7.9	8.7	-	-	3.0	3.0	12.1	14.0
	第五中学校	152	3.9	7.2	8.6	0.7	2.6	3.9	2.0	7.2	14.5

単位：％

	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)							
		い 買 物 へ の 付 き 添	の 院 公 機 関 ・ 通 へ	相 話 し 相 手 、 相 談	見 守 り や 声 掛 け	ど 替 え 節 目 の 衣 替 え な れ	そ の 他	無 回 答	
全体	1,309	3.8	6.0	7.6	10.7	1.3	6.5	15.9	
圏 域	安威川以北圏域	662	4.4	4.8	8.3	12.8	2.0	6.0	15.9
	安威川以南圏域	647	3.2	7.1	7.0	8.5	0.6	7.0	15.9
中 学 校 区	第一中学校	353	3.7	6.2	7.9	11.3	2.3	5.7	17.8
	第二中学校	222	1.8	6.8	6.8	10.4	0.5	7.7	15.8
	第三中学校	317	5.0	3.8	8.8	14.5	1.6	6.3	13.2
	第四中学校	265	4.5	7.9	7.2	8.3	1.1	6.8	12.1
	第五中学校	152	3.3	5.3	6.6	5.9	-	6.6	23.7

中学校区別上位6項目

単位：%

第一中学校		第二中学校		第三中学校		
1	外出の際の車両による送迎	27.2	外出の際の車両による送迎	32.9	外出の際の車両による送迎	29.0
2	食事の配達	24.9	食事の配達	20.7	買物の代行	24.9
3	買物の代行	22.9	市役所など公共機関での手続きの代行	18.9	掃除	21.5
4	掃除	21.2	買物の代行	18.0	食事の配達	20.5
5	市役所など公共機関での手続きの代行	17.6	食事の準備・後片付け	14.0	市役所など公共機関での手続きの代行	18.6
6	住居の軽微な修繕	16.1	掃除	13.1	食事の準備・後片付け	18.3

第四中学校		第五中学校		
1	外出の際の車両による送迎	38.5	外出の際の車両による送迎	35.5
2	食事の準備・後片付け	22.6	市役所など公共機関での手続きの代行	22.4
3	市役所など公共機関での手続きの代行	22.6	食事の配達	19.7
4	掃除	20.0	買物の代行	19.7
5	買物の代行	19.6	病院予約・連絡、薬の受け取り	17.1
6	食事の配達	17.7	掃除	15.1

【認定該当状況】

- 総合事業対象者では、「掃除」が42.9%で最も多く、次いで「外出の際の車両による送迎」「電球や蛍光灯などの交換」が28.6%となっています。
- 要支援1・2では、「外出の際の車両による送迎」が39.4%で最も多く、次いで「電球や蛍光灯などの交換」が18.2%、「病院予約・連絡、薬の受け取り」「掃除」が15.2%となっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは他の家族構成区分に比べて「話し相手、相談相手」「見守りや声掛け」が多くなっています。

単位：%

当認 状定 況該	家族 構 成	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)								
			片食 付事 けの 準備 ・後	食 事 の 配 達	買 物 の 代 行	に外 よる の 送 迎 の 車 両	り絡 病 院 薬 予 約 の 受 ・ 連 取	行支 れ預 払・貯 い公 金 の 預 け 代 入	の機 代関 行で 所 の 手 続 公 共	掃 除	洗 濯
	全体	1,309	17.0	21.1	21.5	31.9	15.1	1.5	19.6	18.9	6.4
当認 状定 況該	非認定者	1,269	17.2	21.6	21.8	31.7	15.1	1.5	20.0	18.9	6.5
	総合事業対象者	7	-	14.3	14.3	28.6	14.3	-	14.3	42.9	-
	要支援1・2	33	12.1	3.0	12.1	39.4	15.2	3.0	6.1	15.2	3.0
家族 構 成	1人暮らし	260	10.8	17.3	21.5	25.4	15.4	3.1	16.2	16.9	3.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	22.7	23.1	23.7	35.9	14.9	1.5	22.5	20.6	9.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	18.3	22.6	17.4	31.3	16.5	0.9	20.0	20.9	8.7
	息子・娘との2世帯	172	16.9	20.3	16.9	29.7	11.6	2.3	15.1	19.2	5.2
	その他	258	12.4	22.5	22.5	32.9	16.3	-	19.4	17.4	4.7

単位：%

当認 状定 況該	家族 構 成	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)								
			ごみ 出し ・分 別	草庭 む木 し り 手 入 れ ・	使 い 方 携 帯 電 話 の	油 ス ト ー プ へ の 給	読 書 類 の 代 筆	郵 便 物 の 確 認 、	預 ベ ツ ト の 世 話 や	墓 の 掃 除 や 管 理	電 球 や 蛍 光 灯 な
	全体	1,309	5.5	7.0	8.6	0.8	1.9	3.3	3.2	10.1	13.1
当認 状定 況該	非認定者	1,269	5.3	6.9	8.7	0.8	1.9	3.3	3.3	9.8	13.3
	総合事業対象者	7	14.3	-	-	-	-	-	-	28.6	-
	要支援1・2	33	12.1	12.1	6.1	-	3.0	3.0	-	18.2	9.1
家族 構 成	1人暮らし	260	4.6	4.6	12.7	1.5	2.3	2.3	1.9	18.1	15.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	5.3	8.2	10.5	0.6	1.9	2.5	4.4	11.3	11.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	8.7	5.2	7.8	-	-	8.7	6.1	5.2	13.9
	息子・娘との2世帯	172	7.0	8.1	2.9	-	2.3	2.9	3.5	4.1	14.0
	その他	258	4.3	7.4	5.0	0.8	1.6	3.9	0.8	5.8	13.2

単位：%

当認 状定 況該	家族 構 成	母数 (n)	介護保険制度外で利用したい支援(5LA)						
			い買 物 へ の 付 き 添	の院 付 き 金 添 い 機 関 通 へ	相 話 手 し 相 手 、 相 談	見 守 り や 声 掛 け	ど替 え 節 も の 替 え な れ	そ の 他	無 回 答
	全体	1,309	3.8	6.0	7.6	10.7	1.3	6.5	15.9
当認 状定 況該	非認定者	1,269	3.8	6.1	7.7	10.8	1.2	6.5	15.6
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	-	14.3	14.3
	要支援1・2	33	6.1	3.0	6.1	9.1	6.1	3.0	27.3
家族 構 成	1人暮らし	260	4.6	4.2	12.3	15.0	1.9	5.0	18.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	4.0	5.5	4.8	11.3	1.9	6.3	13.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	2.6	8.7	7.8	12.2	0.9	1.7	17.4
	息子・娘との2世帯	172	4.1	5.8	8.1	8.1	0.6	9.9	17.4
	その他	258	3.5	6.2	7.8	6.6	0.4	8.1	15.9

9. 健康について

(1) 健康状態

① 主観的な健康感

●問7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

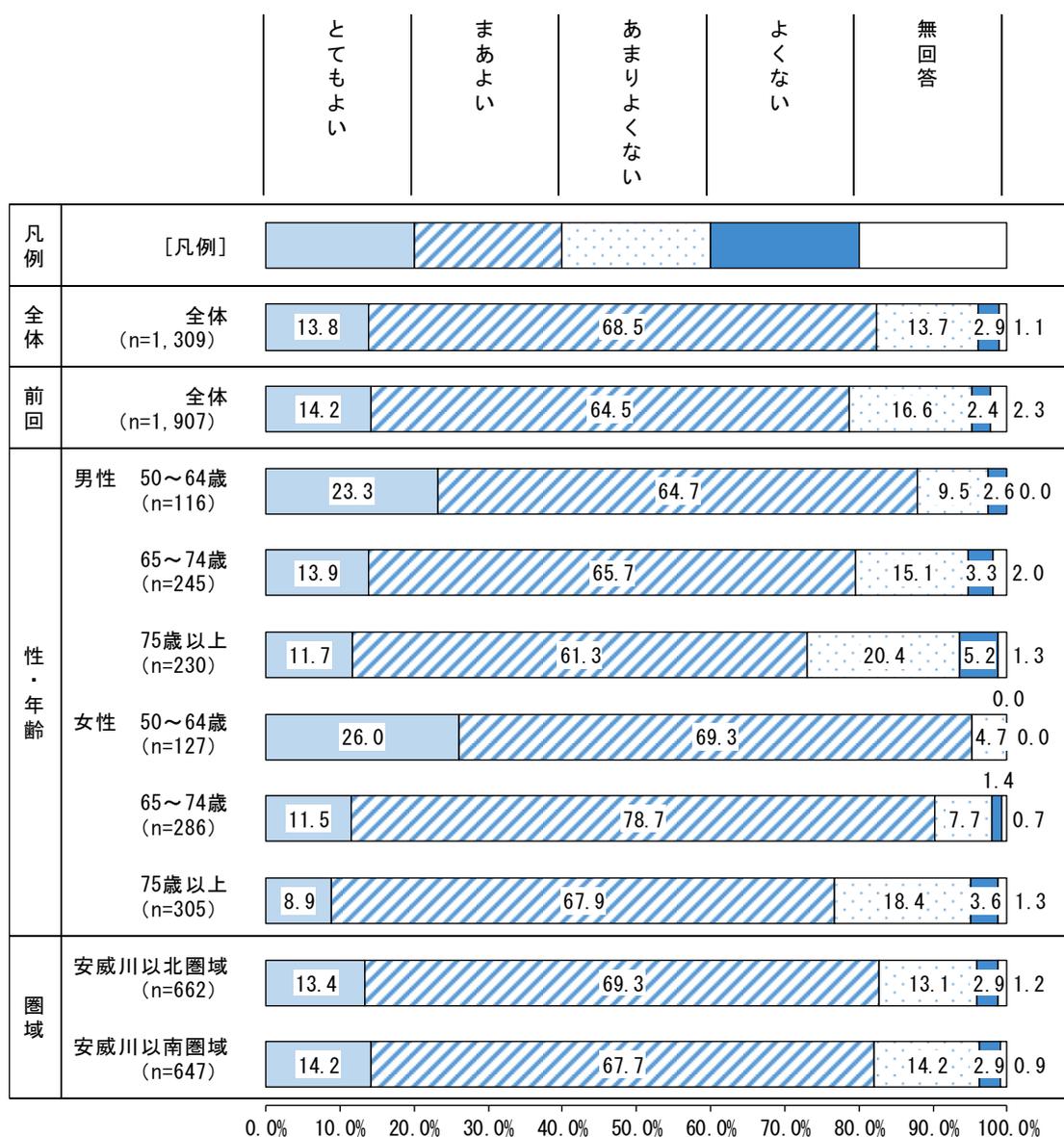
【全体】

- 主観的健康感について、「まあよい」が68.5%で最も多く、次いで「とてもよい」が13.8%、「あまりよくない」が13.7%となっています。
- 「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”は82.3%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”は16.6%となっています。
- 前回調査に比べて、“よい”が3.6ポイント多くなっています。

【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど“よい”が少なくなる傾向がみられます。75歳以上では、男性で25.6%、女性で22.0%が“よくない”と感じています。

【主観的健康感】

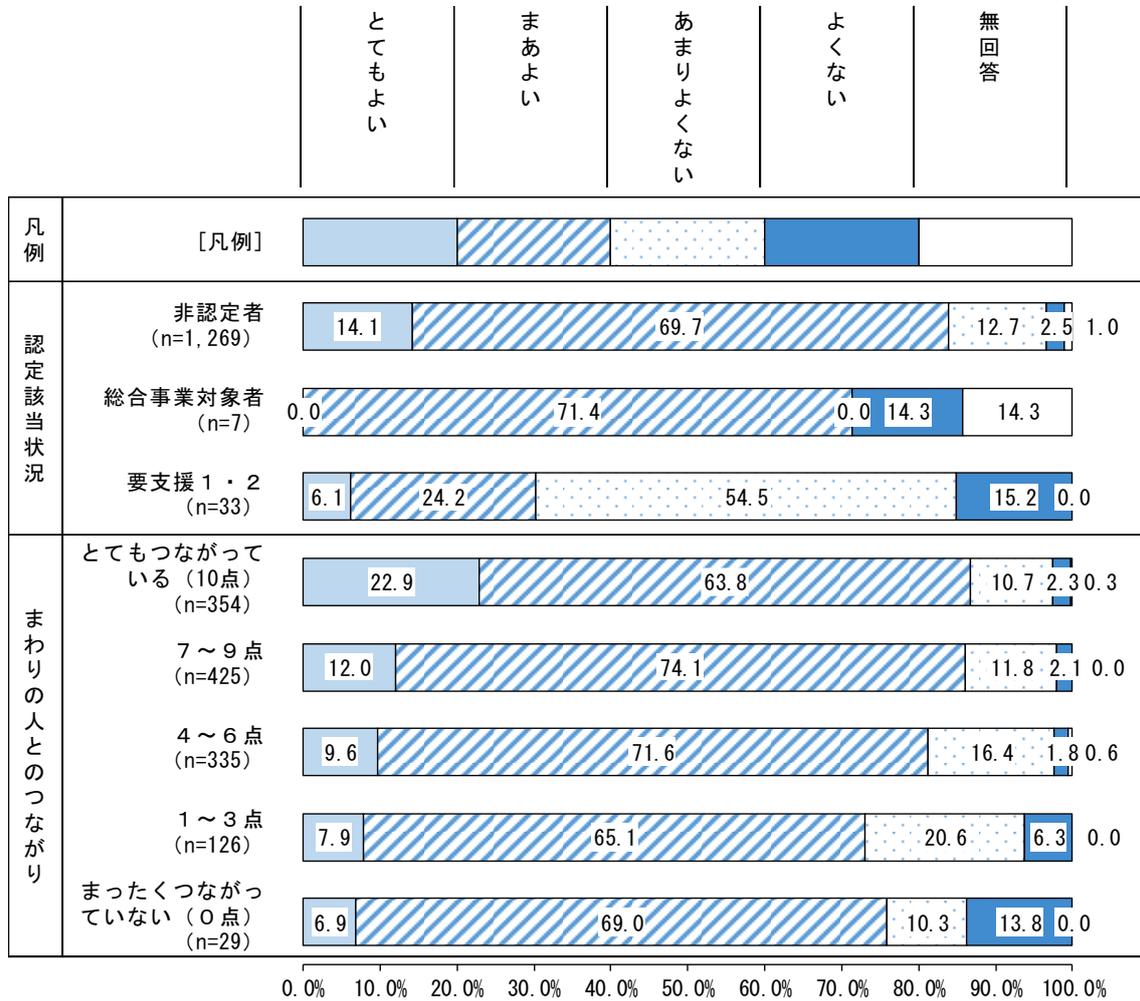


【認定該当状況】

- “よい”は、非認定者では 83.8%、総合事業対象者では 71.4%であるのに対し、要支援1・2では 30.3%となっています。

【まわりの人とのつながり】

- まわりの人とつながっていると感じている人ほど「とてもよい」が多くなる傾向がみられます。



② こころの健康

●問7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ)

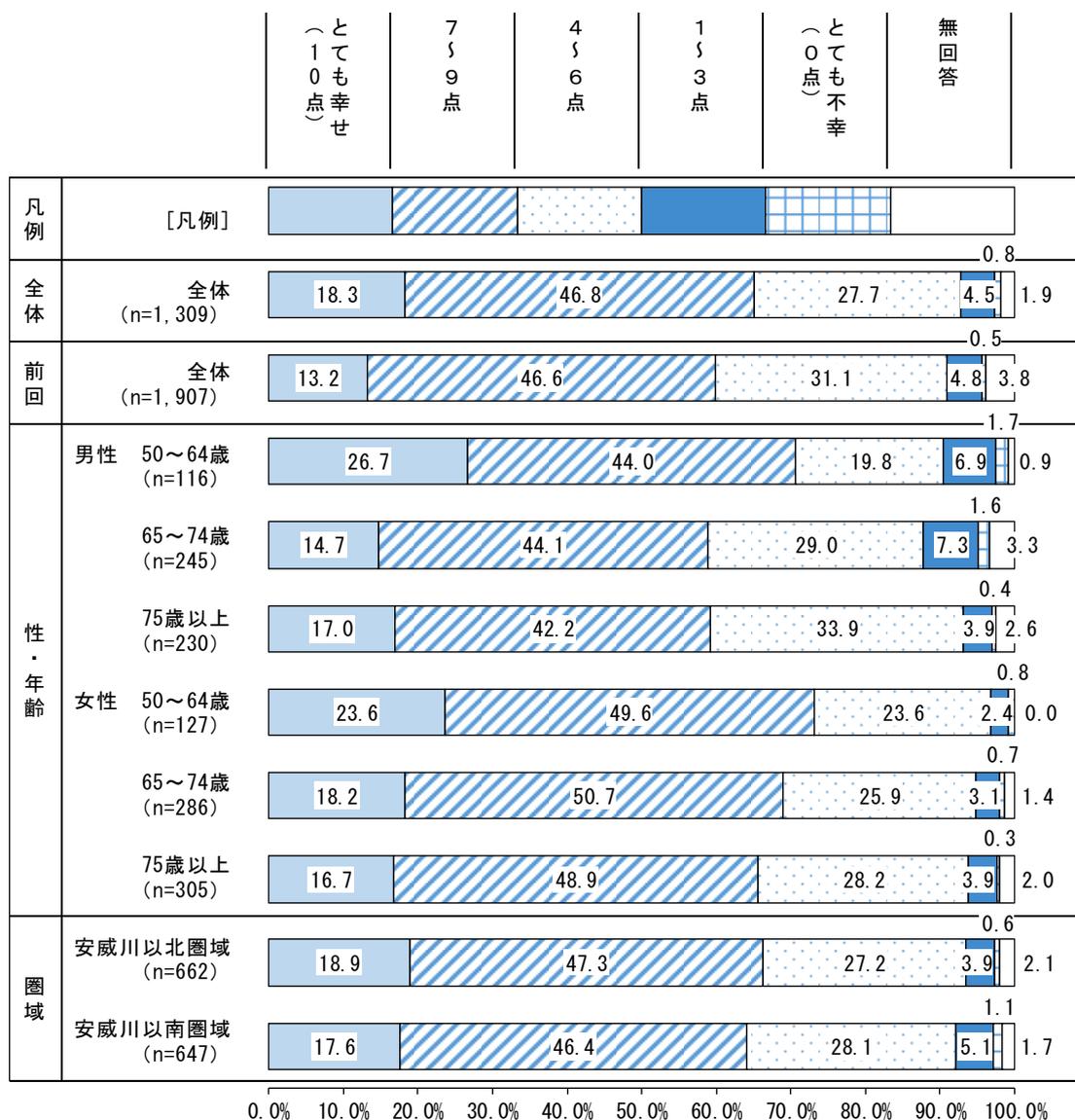
【全体】

- 幸福感について、「7～9点」が46.8%で最も多く、次いで「4～6点」が27.7%、「とても幸せ(10点)」が18.3%となっています。
- 7点以上は65.1%となっています。また、3点以下は5.3%となっています。
- 平均点は7.2点となっています。
- 前回調査に比べて、「とても幸せ(10点)」が5.1ポイント多くなっています。

【性・年齢】

- いずれの年代でも女性では男性に比べて7点以上が多くなっています。
- 男女ともに65歳以上では64歳以下に比べて7点以上が少なくなっています。
- 女性では年代が上がるほど徐々に7点以上が少なくなる傾向がみられるのに対し、男性では65～74歳で1割ほど低下し、その後は横ばいとなっています。

【幸福感】



【認定該当状況】

○ 7点以上は、非認定者では 65.9%であるのに対し、総合事業対象者では 42.9%、要支援1・2では 39.4%となっています。

【趣味の有無】

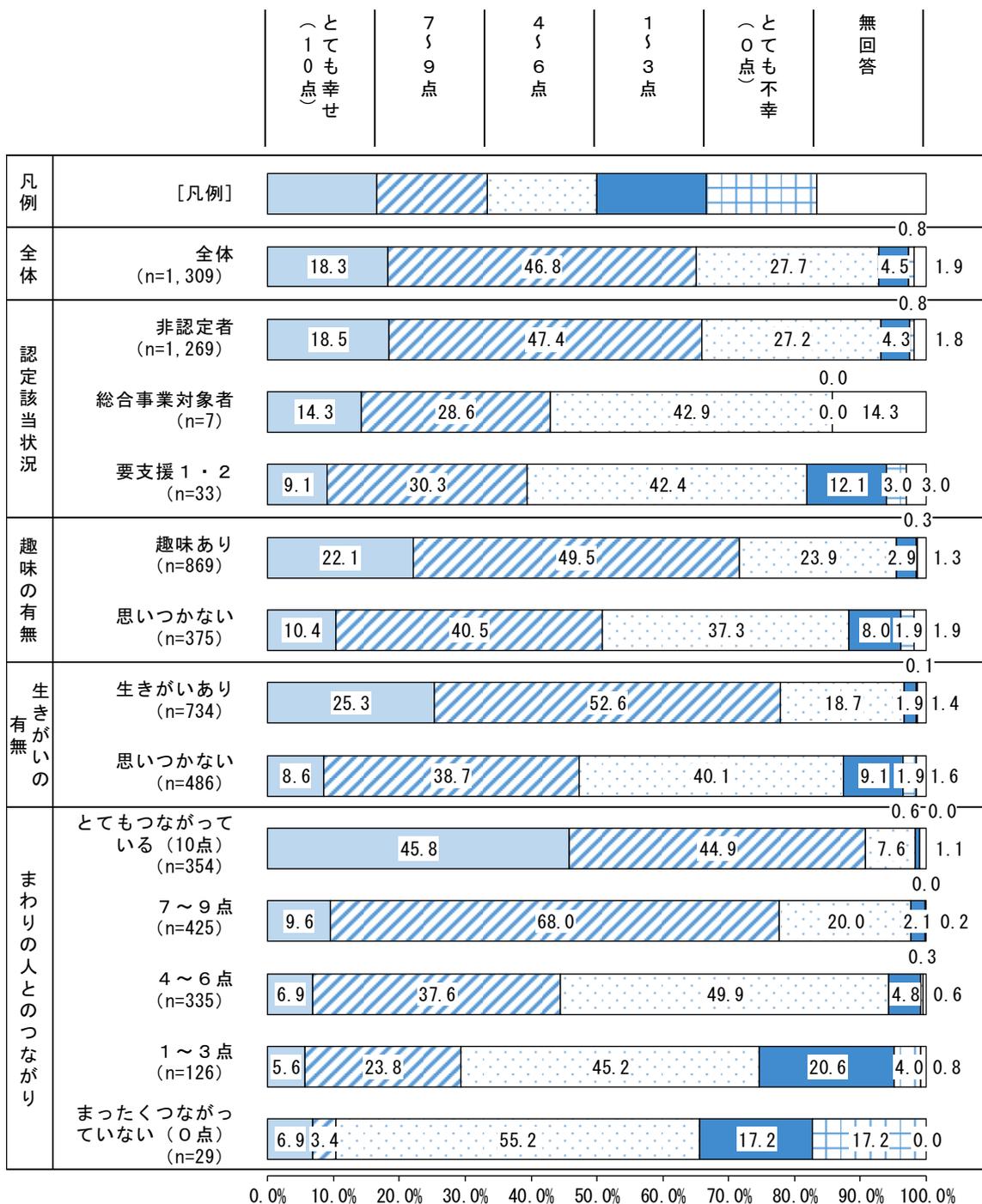
○ 趣味がある人では7点以上が 71.6%と、思いつかない人の 50.9%に比べて多くなっています。

【生きがいの有無】

○ 生きがいがある人では7点以上が 77.9%と、思いつかない人の 47.3%に比べて多くなっています。

【まわりの人とのつながり】

○ まわりの人とつながっていると感じている人ほど7点以上が多くなる傾向がみられます。特に、とてもつながっていると感じている人では、「とても幸せ」が 45.8%と多くなっています。

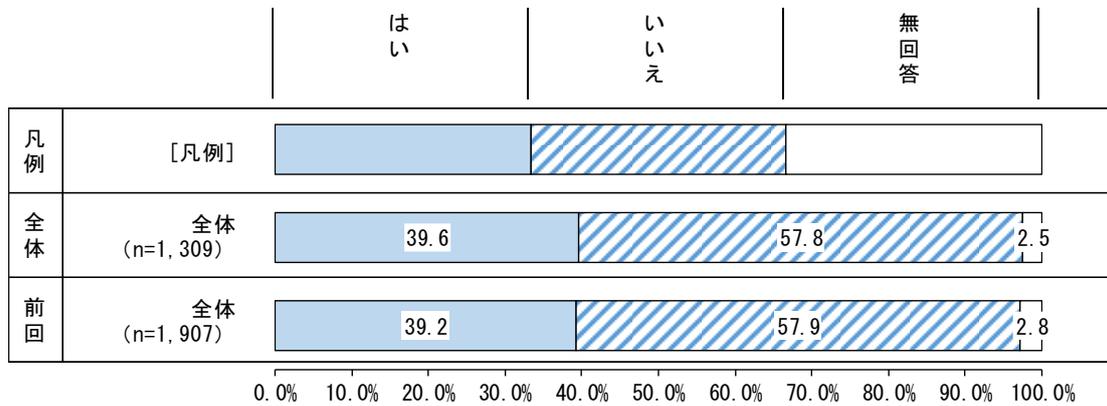


- 問7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

【全体】

○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が39.6%、「いいえ」が57.8%となっています。

【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】

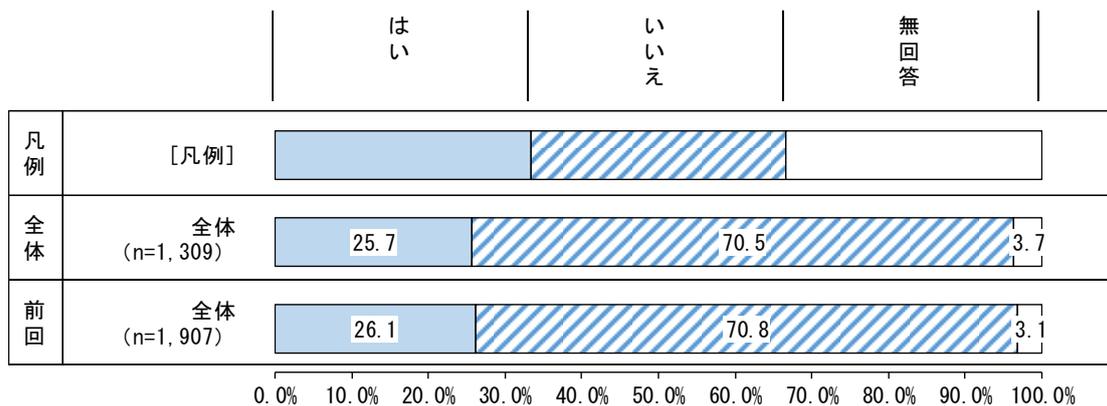


- 問7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

【全体】

○ どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が25.7%、「いいえ」が70.5%となっています。

【どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】



◆うつ病のリスクの判定

●リスク判定方法

2項目のうち1項目に該当する場合、「うつ傾向にある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
7.3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
7.4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

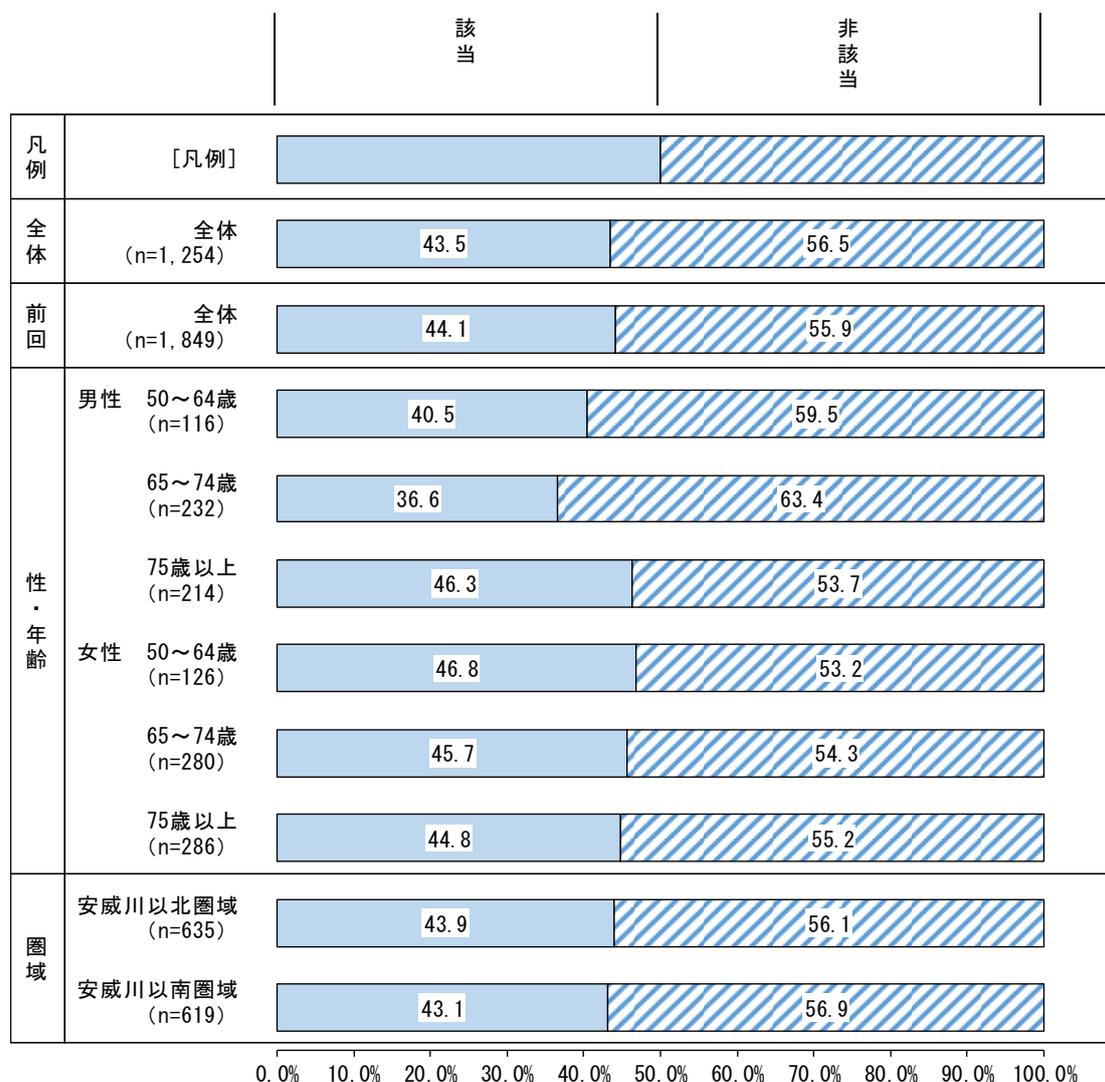
【全体】

○ うつ病のリスクについて、「該当」が43.5%となっています。

【性・年齢】

○ 男性（74歳以下）では女性（74歳以下）に比べて「該当」が少なくなっています。

【うつ病のリスク】



【認定該当状況】

○ 「該当」は、非認定者では 43.3%、総合事業対象者では 16.7%、要支援 1・2 では 61.5%となっています。

【介護・介助の必要性】

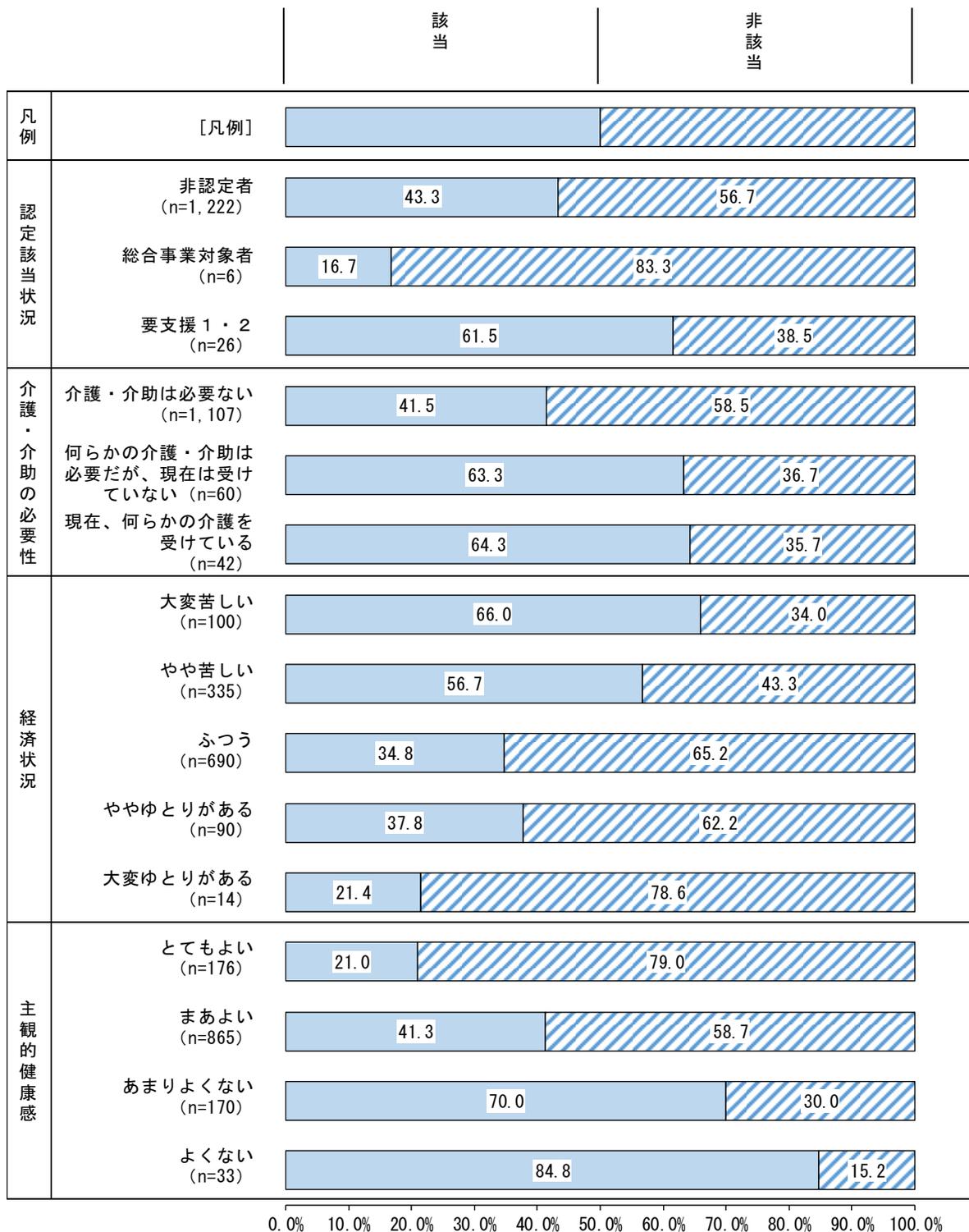
○ 「該当」は、介護・介助は必要ない人では 41.5%であるのに対し、何らかの介護・介助が必要な人では約 6 割となっています。

【経済状況】

○ 経済状況が苦しいほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【主観的健康感】

○ 健康感がよくないほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

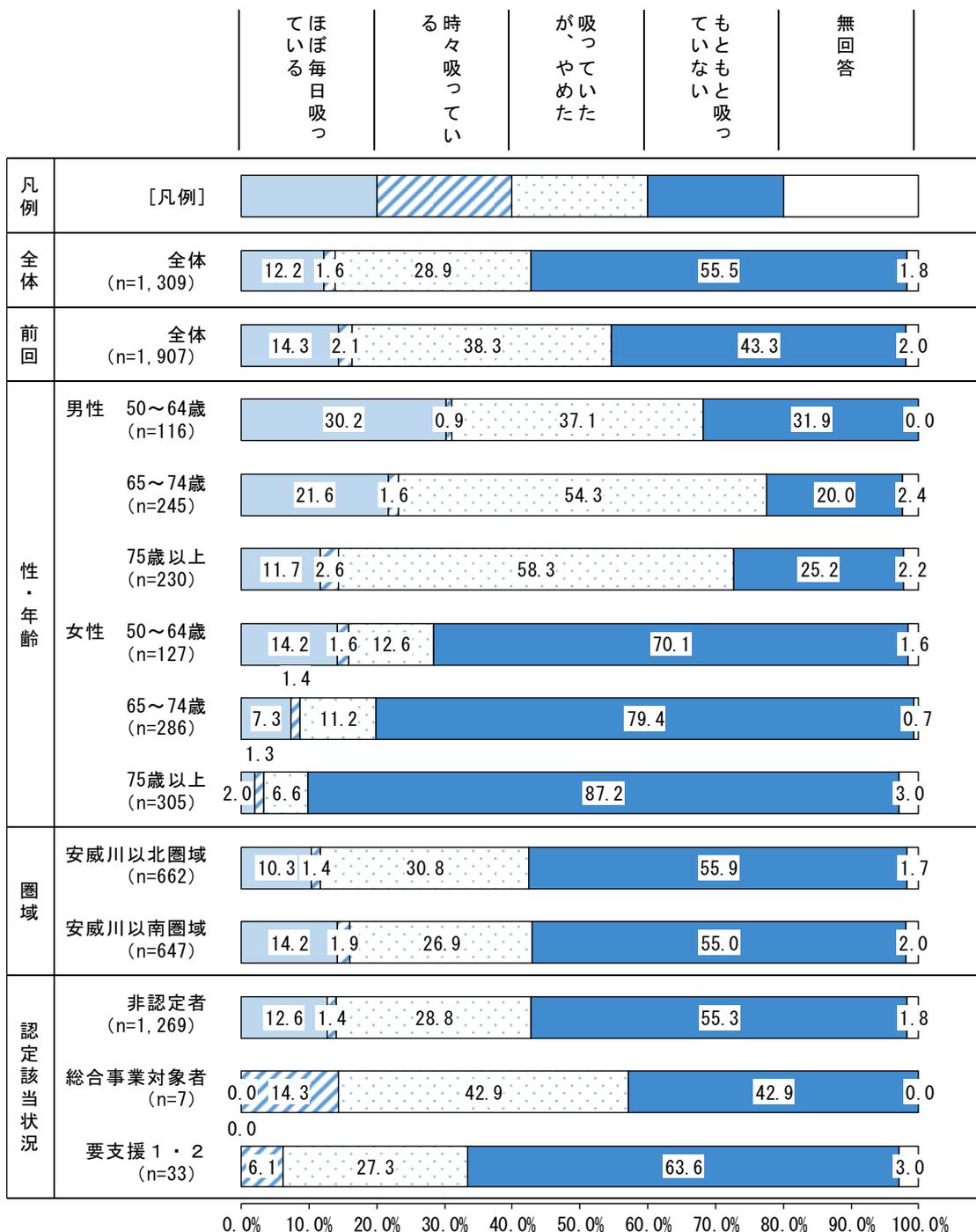


(2) 喫煙

●問7.5 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が55.5%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が28.9%、「ほぼ毎日吸っている」が12.2%となっています。
【性・年齢】
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「もともと吸っていない」が多くなっています。
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「ほぼ毎日吸っている」が少なくなる傾向がみられます。

【喫煙の状況】



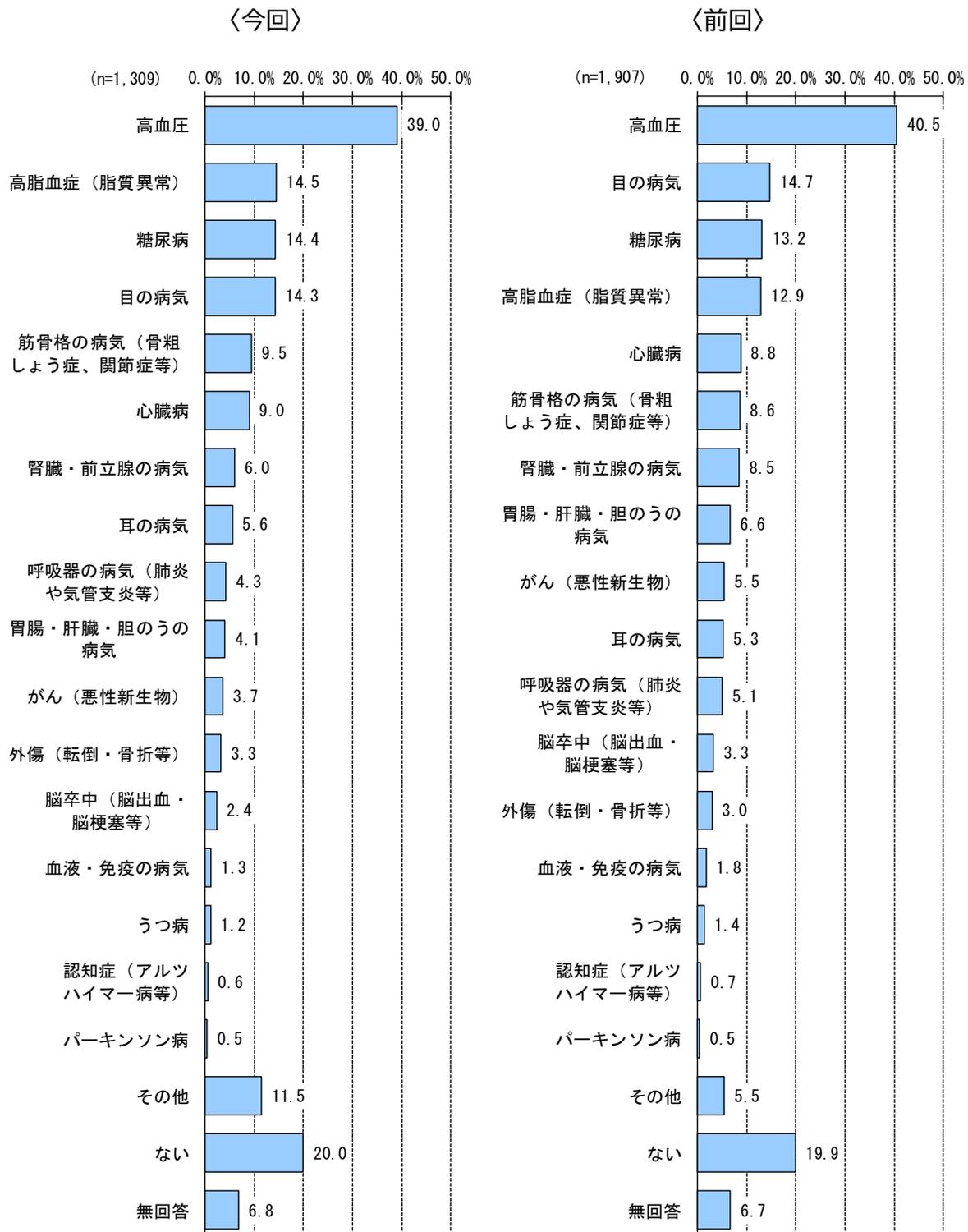
(3) 病気の状況

●問7.6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

【全体】

- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が39.0%で最も多く、次いで「ない」が20.0%、「高脂血症（脂質異常）」が14.5%となっています。
- なお、「その他」の内容としては、「腰痛・膝痛」「精神疾患」「湿疹」「歯科」等があります。

【現在治療中、または後遺症のある病気(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに 50～64 歳では「ない」が最も多くなっていますが、年代が上がるほど少なくなる傾向がみられ、75 歳以上では約 1 割となっています。
- いずれの年代でも男性では女性に比べて「糖尿病」、女性では男性に比べて「高脂血症」が多くなっています。
- 女性では、年代が上がるほど「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が多くなる傾向がみられ、75 歳以上では 19.3% と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 男性（75 歳以上）では、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」が 10.0% と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)						
			ない	高 血 圧	血 脳 ・ 卒 脳 中 （ 脳 出 ）	心 臓 病	糖 尿 病	異 常 （ 高 脂 血 症 （ 脂 質 ）	炎（呼 吸 器 の 病 気 支 ）
全体		1,309	20.0	39.0	2.4	9.0	14.4	14.5	4.3
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	37.1	29.3	0.9	8.6	11.2	6.9	1.7
	65～74歳	245	17.6	39.6	4.5	9.8	20.8	14.3	4.1
	75歳以上	230	10.9	49.1	6.1	15.7	20.9	11.3	10.0
	女性 50～64歳	127	48.8	10.2	-	1.6	4.7	12.6	1.6
	65～74歳	286	18.5	37.1	0.3	3.8	8.7	20.6	2.8
	75歳以上	305	11.8	48.5	1.6	11.5	14.8	15.1	3.6

単位：%

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)						
			の 胃 腸 の ・ 病 肝 臓 ・ 胆	病 腎 臓 ・ 前 立 腺 の	症、 （ 筋 骨 粗 しょう 症 等 ）	折 外 傷 （ 転 倒 ・ 骨	物） が ん （ 悪 性 新 生	気 血 液 ・ 免 疫 の 病	う つ 病
全体		1,309	4.1	6.0	9.5	3.3	3.7	1.3	1.2
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	1.7	1.7	4.3	-	0.9	1.7	-
	65～74歳	245	4.9	12.2	4.1	0.8	4.9	0.8	0.8
	75歳以上	230	6.1	16.1	5.2	3.9	6.1	2.6	0.9
	女性 50～64歳	127	-	0.8	4.7	1.6	4.7	-	3.1
	65～74歳	286	4.2	0.7	11.5	4.5	2.4	2.1	1.0
	75歳以上	305	4.6	2.3	19.3	5.6	3.0	0.3	1.6

単位：%

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)					
			ハ イ マ ー （ ア ル ツ ）	パ ー キ ン ソ ン 病	目 の 病 気	耳 の 病 気	そ の 他	無 回 答
全体		1,309	0.6	0.5	14.3	5.6	11.5	6.8
性・ 年 齢	男性 50～64歳	116	0.9	-	4.3	3.4	13.8	7.8
	65～74歳	245	-	0.4	15.1	4.1	10.6	6.5
	75歳以上	230	0.9	0.9	14.3	8.7	9.1	7.0
	女性 50～64歳	127	-	-	7.9	2.4	11.0	7.9
	65～74歳	286	0.3	0.3	16.4	3.5	11.9	7.0
	75歳以上	305	1.3	0.7	18.0	8.5	13.1	5.9

【圏域】

- 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「高血圧」「糖尿病」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2では「高血圧」に次いで「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「目の病気」が多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)							
		ない	高血圧	血脳・脳中 梗塞(脳出)	心臓病	糖尿病	異常 高脂血症 (脂質)	炎(呼吸器 の病気 支)	
全体	1,309	20.0	39.0	2.4	9.0	14.4	14.5	4.3	
圏域	安威川以北圏域	662	20.2	36.1	1.8	10.0	11.5	15.7	4.2
	安威川以南圏域	647	19.8	42.0	3.1	8.0	17.3	13.3	4.3
当認 状定 況該	非認定者	1,269	20.4	38.8	2.2	8.5	14.3	14.5	4.1
	総合事業対象者	7	28.6	57.1	-	28.6	-	28.6	-
	要支援1・2	33	3.0	45.5	12.1	24.2	18.2	12.1	12.1

単位：％

	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)							
		の胃腸 の・病 気肝臓 ・胆	病腎 気臓 ・前 立腺 の	症(筋骨格 の病気 粗しょう 症等)	折外傷 (転倒 ・骨)	物がん (悪性 新生)	気血液 ・免疫 の病	うつ病	
全体	1,309	4.1	6.0	9.5	3.3	3.7	1.3	1.2	
圏域	安威川以北圏域	662	4.7	5.7	8.9	2.9	3.5	1.2	1.2
	安威川以南圏域	647	3.6	6.3	10.2	3.7	4.0	1.4	1.2
当認 状定 況該	非認定者	1,269	4.2	5.8	9.1	2.9	3.7	1.3	1.0
	総合事業対象者	7	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	-
	要支援1・2	33	-	12.1	24.2	15.2	6.1	-	9.1

単位：％

	母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)					無回答	
		ハ認知 マ(アル ツ)	パー キン ソン 病	目の 病気	耳の 病気	その 他		
全体	1,309	0.6	0.5	14.3	5.6	11.5	6.8	
圏域	安威川以北圏域	662	0.8	0.3	16.6	4.1	11.8	8.5
	安威川以南圏域	647	0.5	0.6	11.9	7.1	11.3	5.1
当認 状定 況該	非認定者	1,269	0.6	0.4	14.1	5.4	11.4	6.9
	総合事業対象者	7	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	33	3.0	3.0	24.2	15.2	18.2	3.0

(4) 地域医療

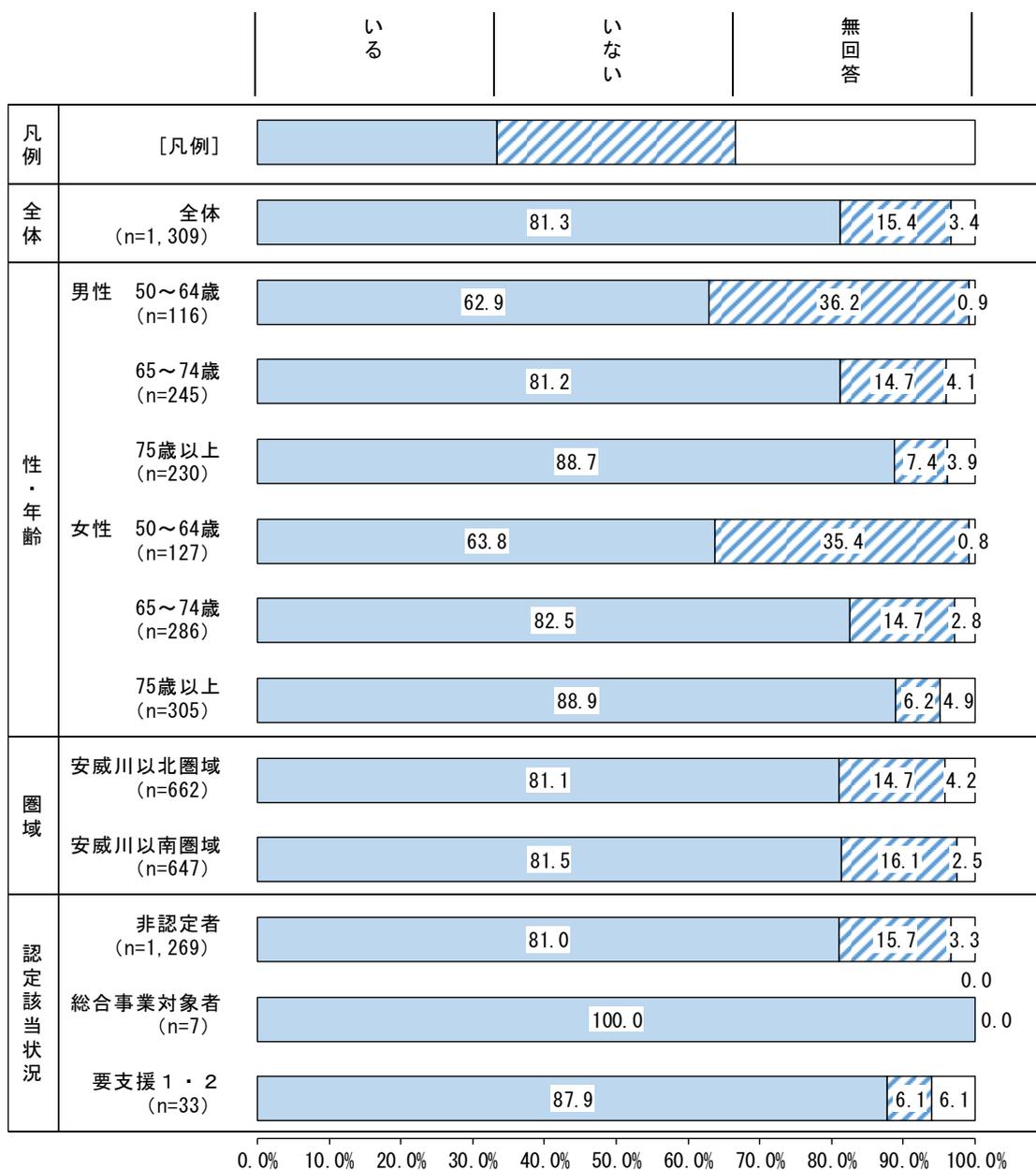
① かかりつけ医等の有無

●問7.7 (1) かかりつけ医がいますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ かかりつけ医の有無について、「いる」が81.3%、「いない」が15.4%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「いる」が多くなる傾向がみられ、75歳以上では約9割となっています。
 ○ 「いない」は男性(50~64歳)が36.2%、女性(50~64歳)が35.4%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【かかりつけ医の有無】

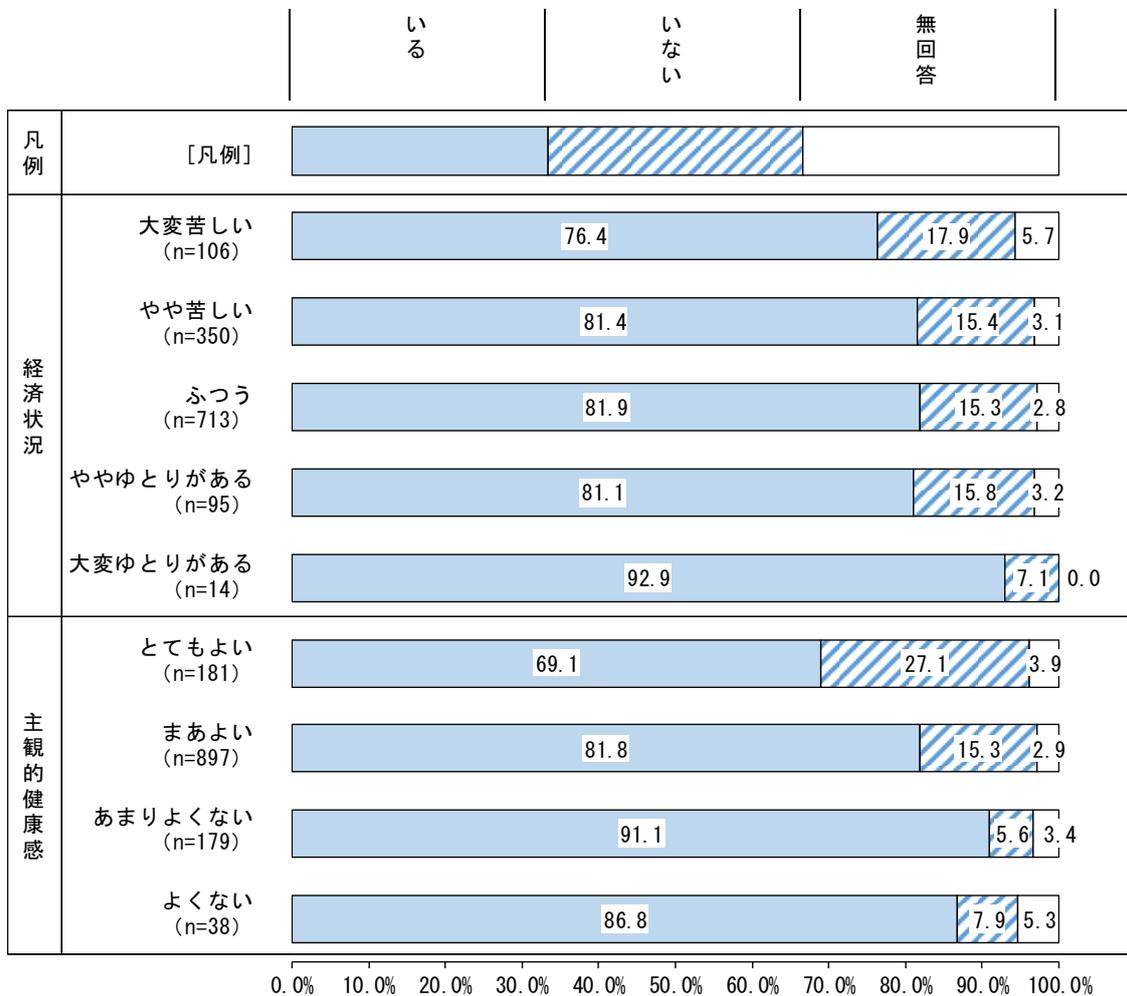


【経済状況】

- 大変苦しいと感じている人では「いる」が76.4%と他の経済状況区分に比べて少なくなっています。一方で、大変ゆとりがある人では「いる」が92.9%と他の経済状況区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がとてもよい人では「いる」が69.1%と他の主観的健康感区分に比べて少なくなっています。



●問7.7 (2) かかりつけ歯科医がいますか。(1つだけ)

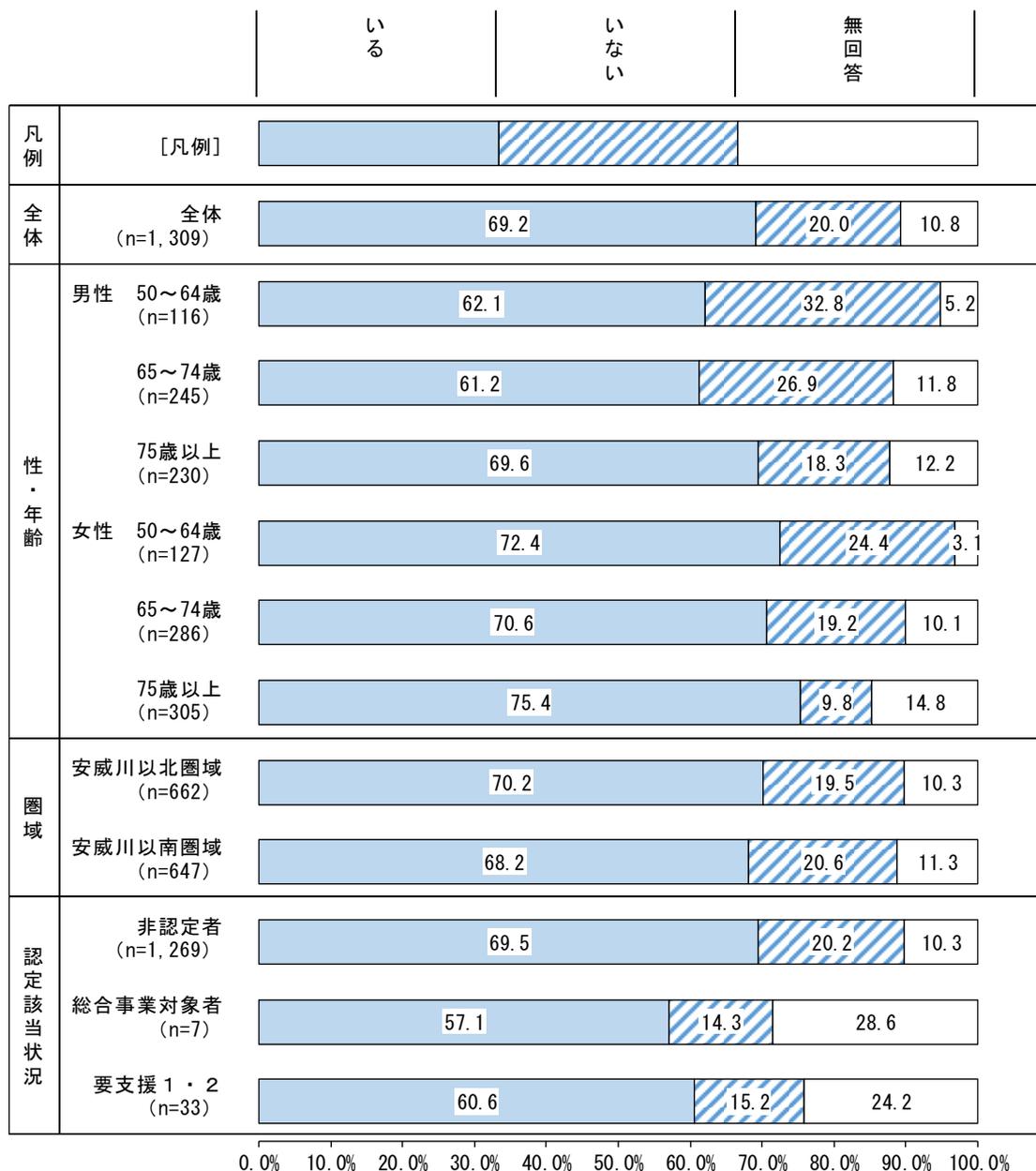
【全体】

○ かかりつけ歯科医の有無について、「いる」が69.2%、「いない」が20.0%となっています。

【性・年齢】

○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「いる」が多くなっています。

【かかりつけ歯科医の有無】

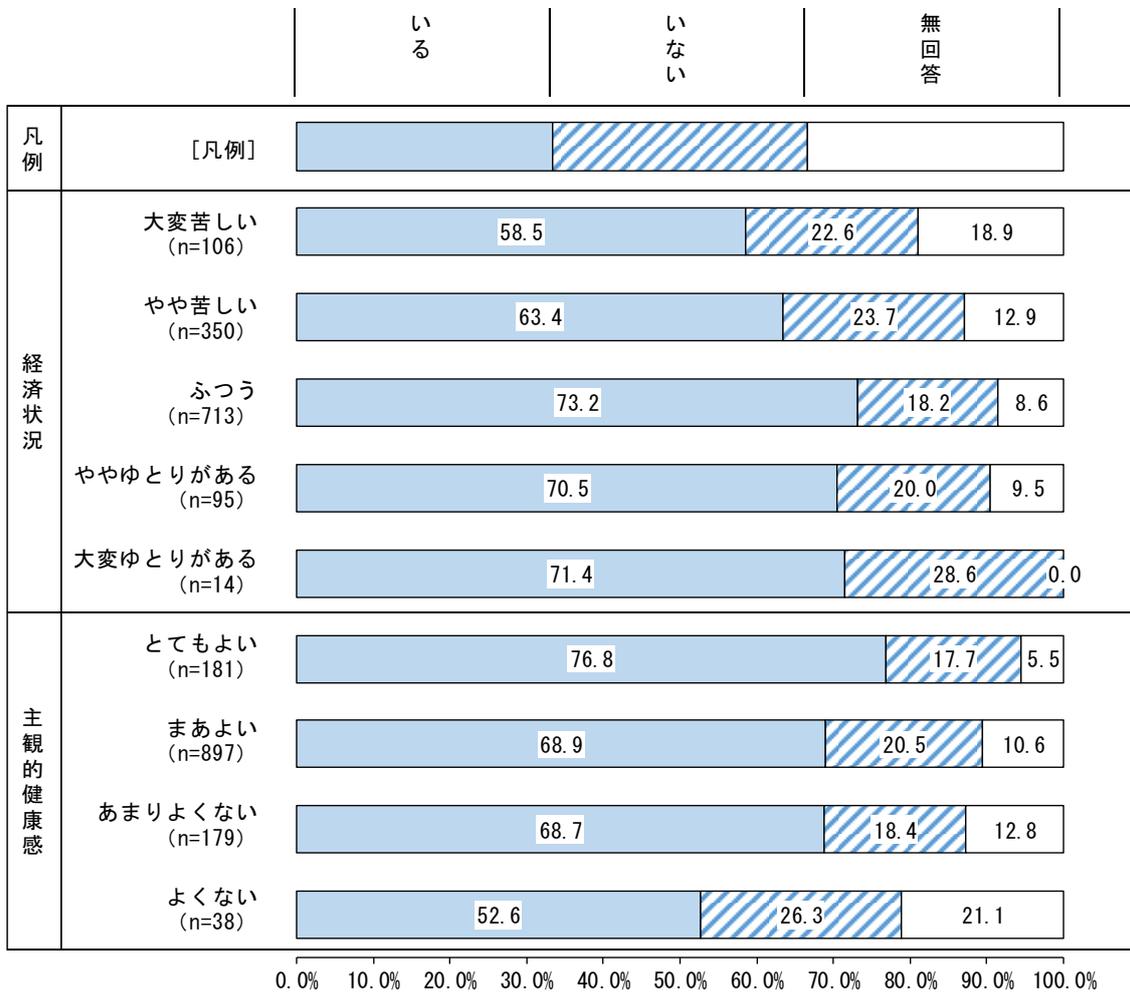


【経済状況】

- 大変苦しい、やや苦しいと感じている人では「いる」が約6割と他の経済状況区分に比べて少なくなっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくなるほど「いる」が多くなっています。



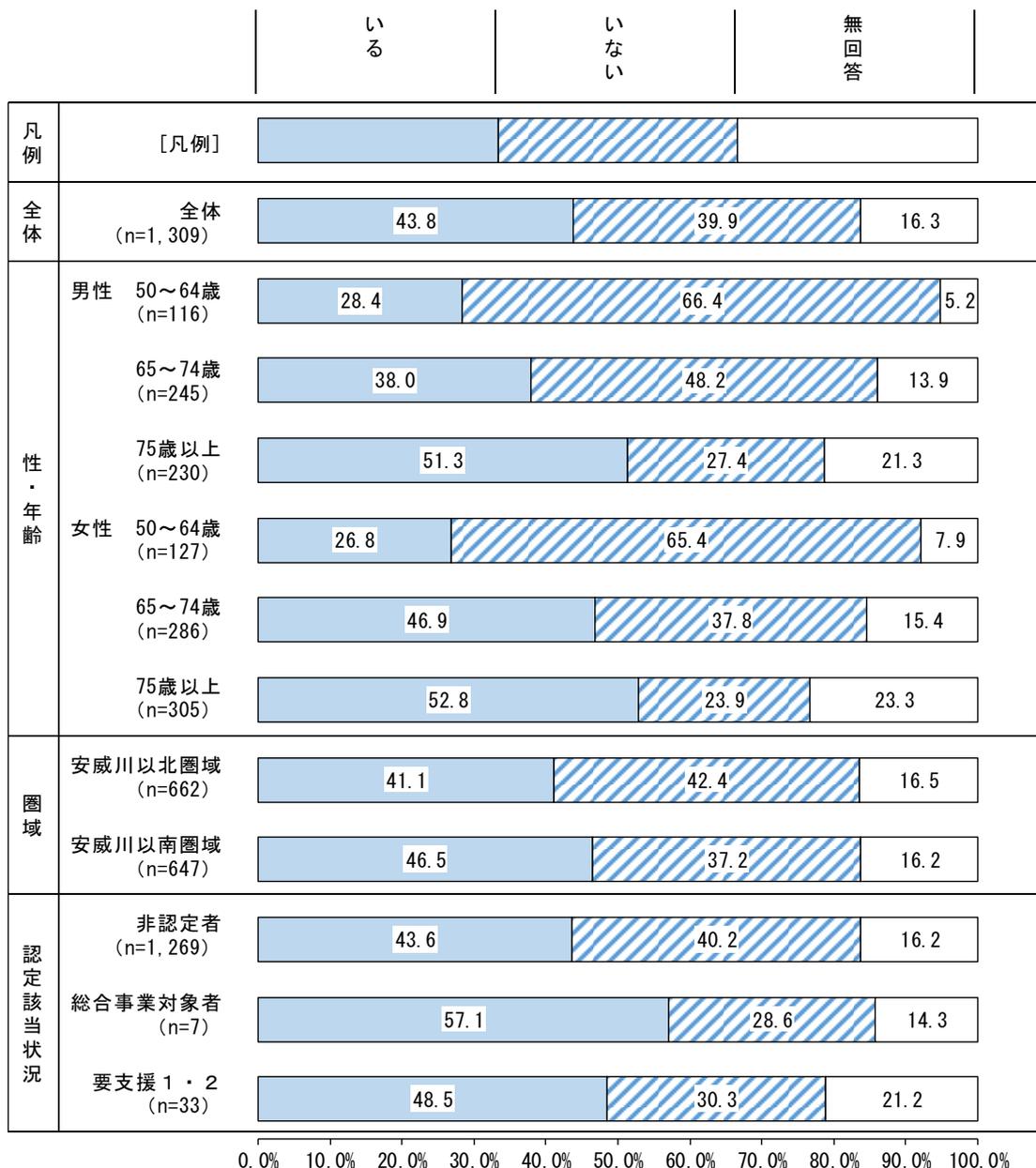
●問7.7 (3) かかりつけ薬剤師がいますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ かかりつけ薬剤師の有無について、「いる」が43.8%、「いない」が39.9%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「いる」が多くなる傾向がみられます。

【圏域】
 ○ 安威川以南圏域では安威川以北圏域に比べて「いる」が多くなっています。

【かかりつけ薬剤師の有無】

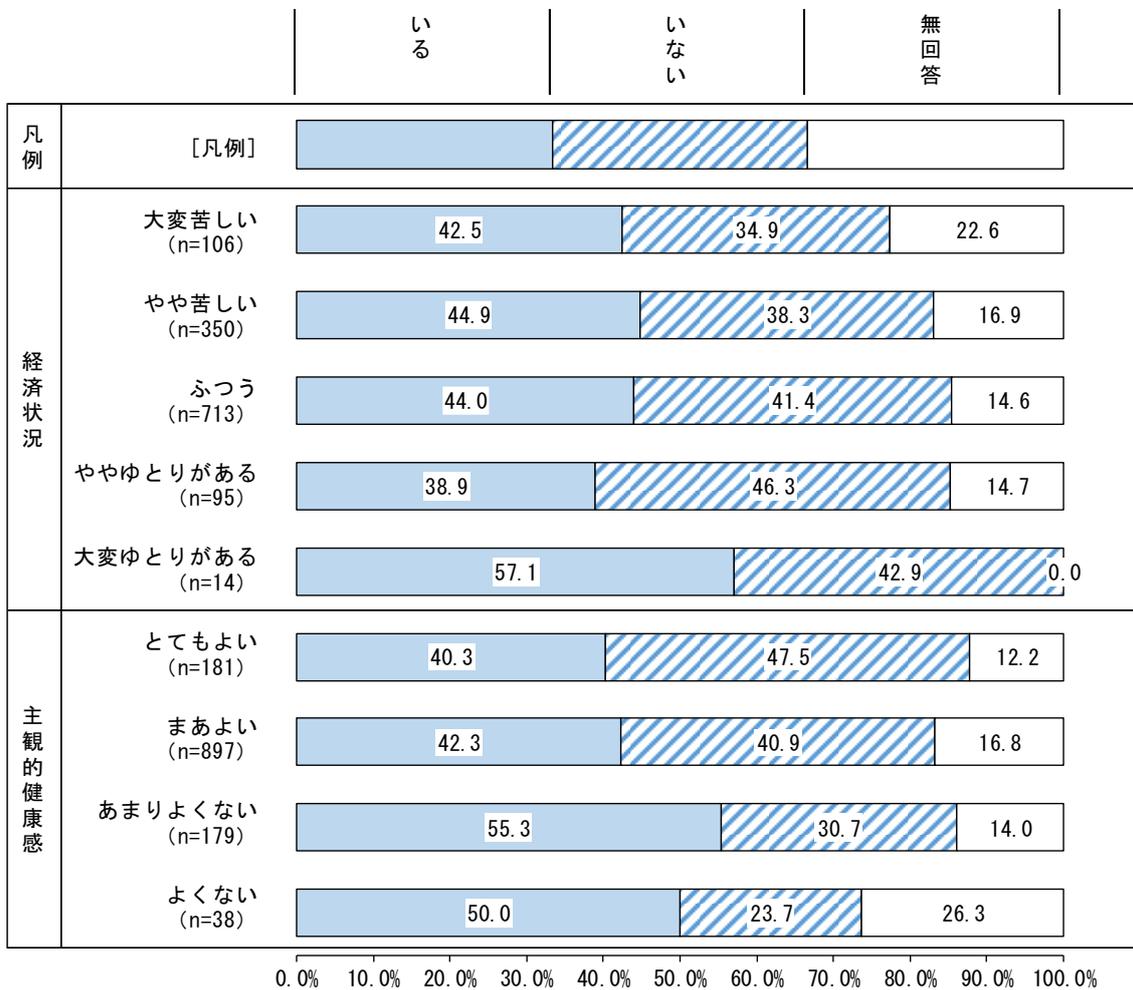


【経済状況】

○ 大変ゆとりがある人では「いる」が 57.1%と他の経済状況区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

○ 主観的健康感がよくない人ではよい人に比べて「いる」が多くなっています。



② お薬手帳

●問7.8 お薬手帳を使っていますか。(1つだけ)

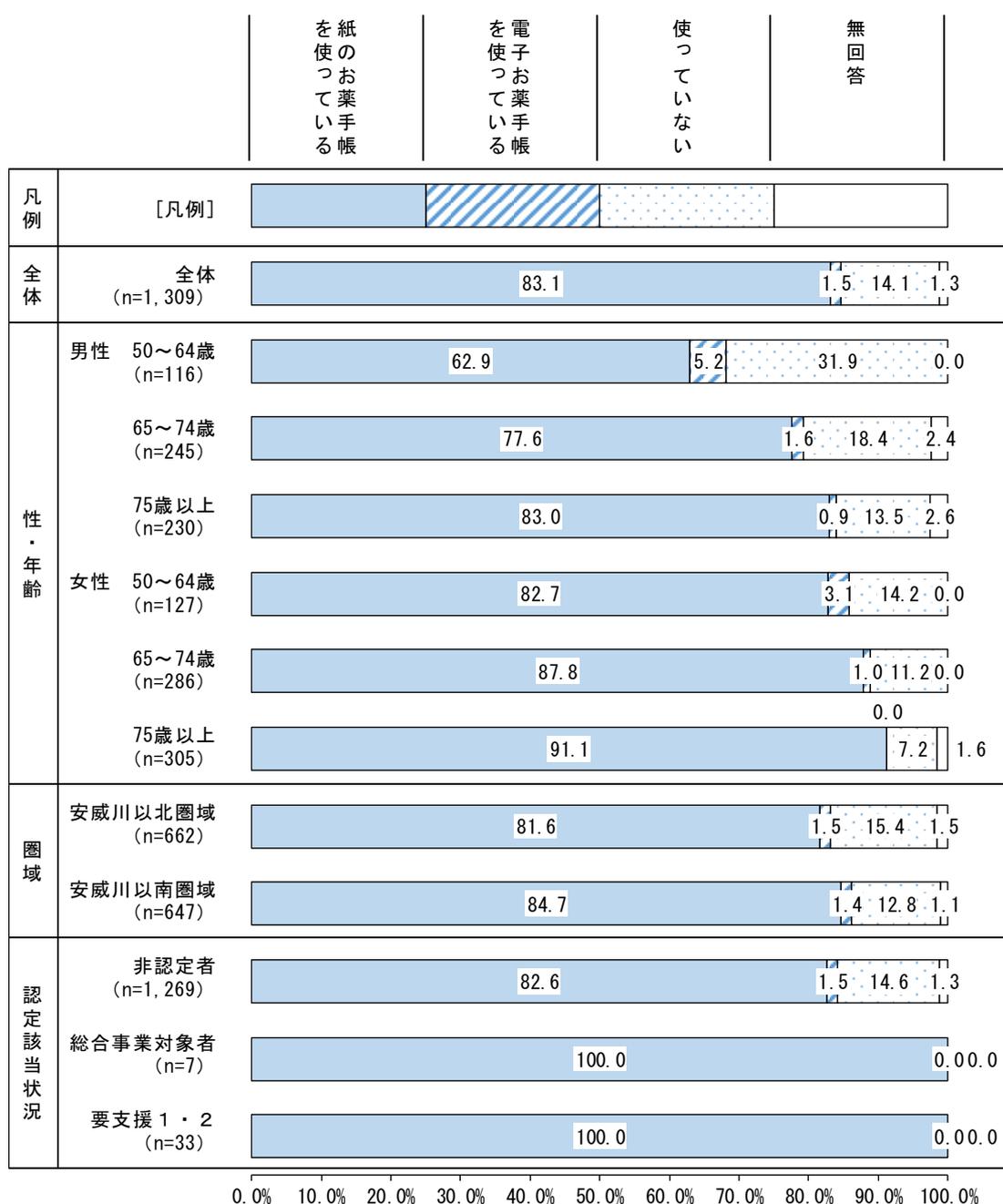
【全体】

- お薬手帳の活用状況について、「紙のお薬手帳を使っている」が83.1%で最も多く、次いで「使っていない」が14.1%、「電子お薬手帳を使っている」が1.5%となっています。
- 「紙のお薬手帳を使っている」「電子お薬手帳を使っている」を合わせた“使っている”は84.6%となっています。

【性・年齢】

- いずれの年代でも女性では男性に比べて“使っている”が多くなっています。
- 男性（50～64歳）では、「電子お薬手帳を使っている」が5.2%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【お薬手帳の活用状況】



(5)定期健診・検診

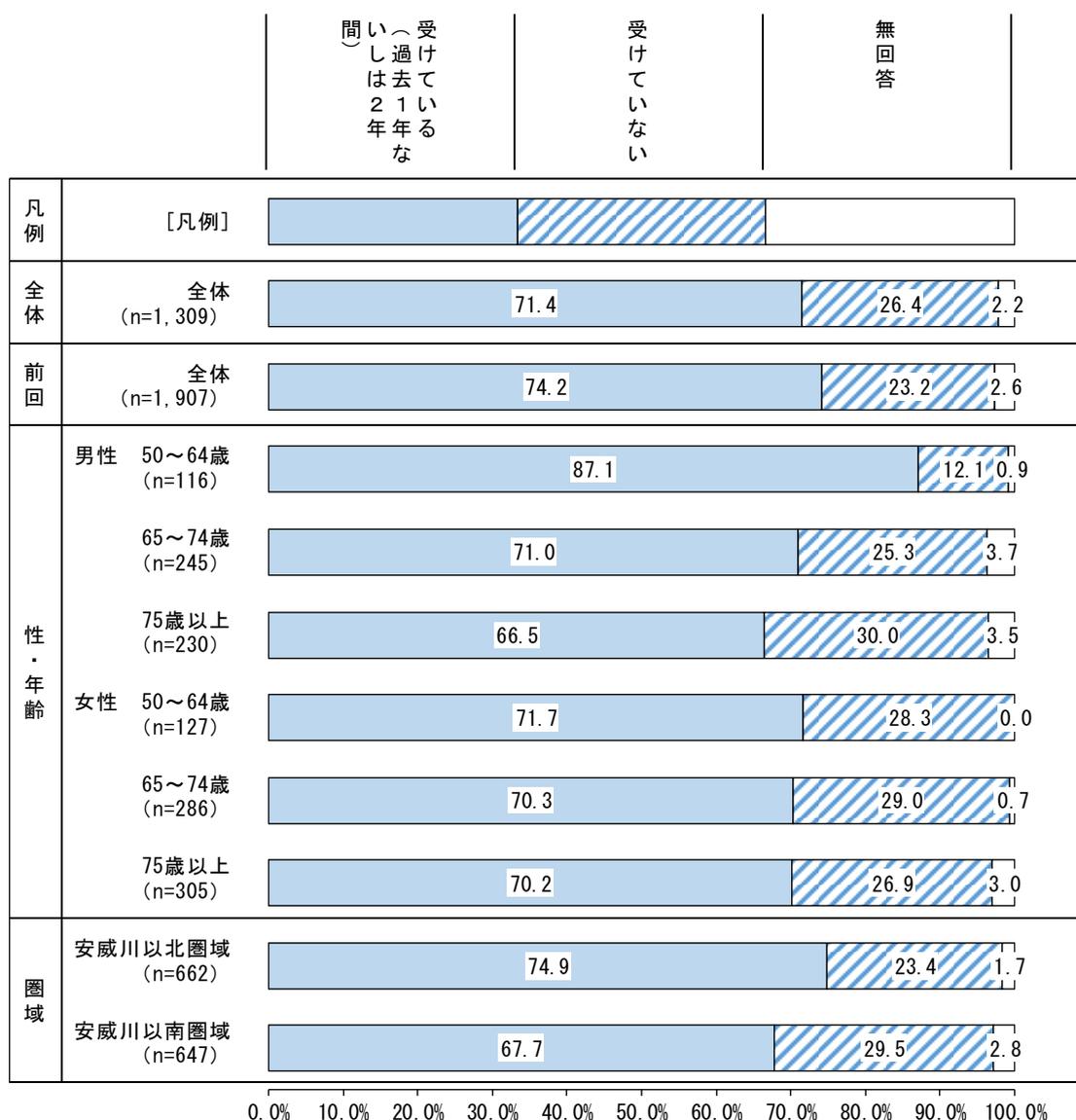
●問7.9 あなたは、定期健診・検診を受けていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 定期健診・検診の受診状況について、「受けている（過去1年ないしは2年間）」が71.4%、「受けていない」が26.4%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男性（50～64歳）では、「受けている（過去1年ないしは2年間）」が87.1%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。また、年代が上がるほど少なくなる傾向がみられます。

【圏域】
 ○ 安威川以北圏域では、「受けている（過去1年ないしは2年間）」が74.9%と安威川以南圏域の67.7%に比べて多くなっています。

【定期健診・検診の受診状況】



【認定該当状況】

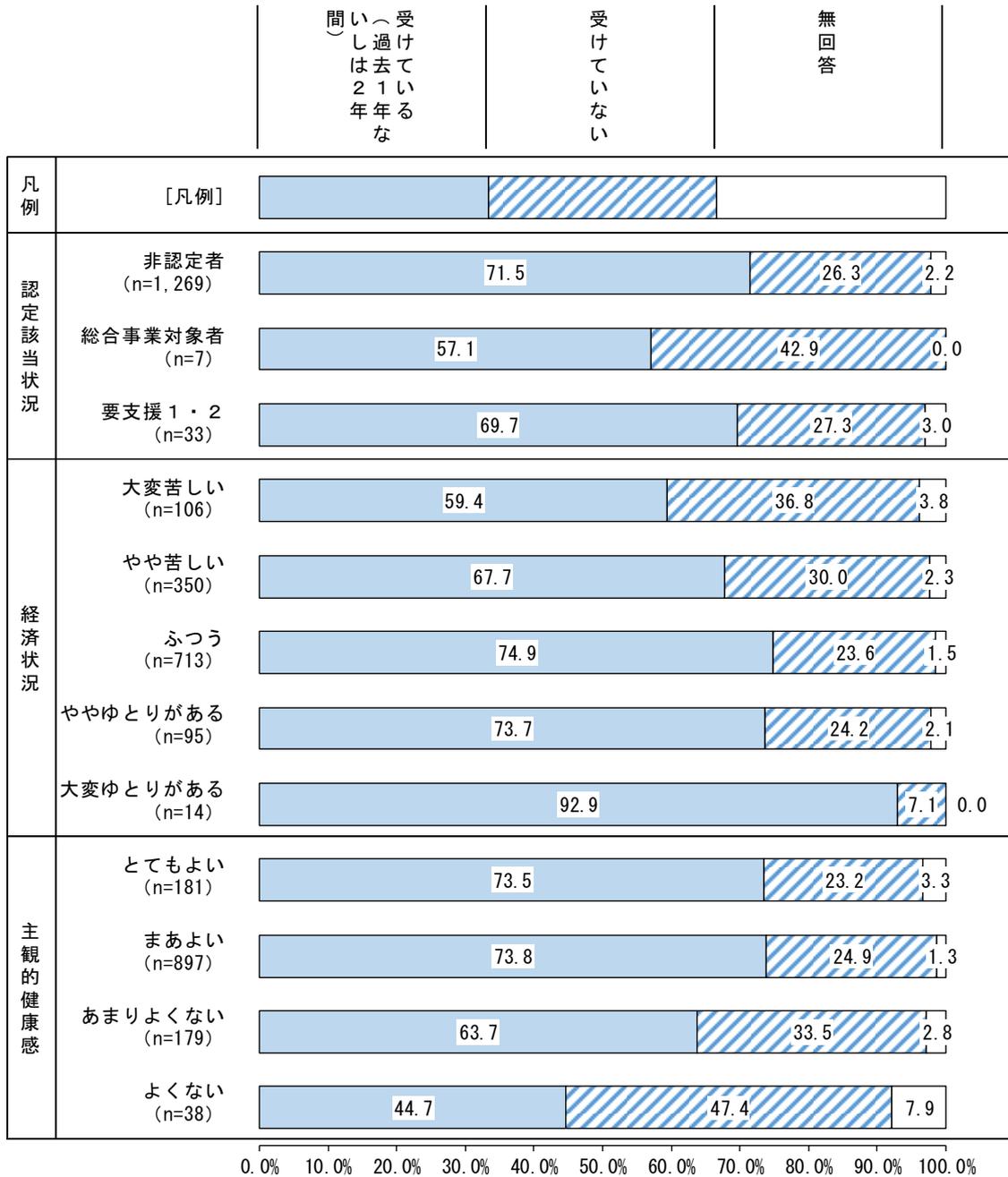
○ 「受けている（過去1年ないしは2年間）」は、非認定者では71.5%、総合事業対象者では57.1%、要支援1・2では69.7%となっています。

【経済状況】

○ 経済状況が苦しいほど「受けていない」が多くなる傾向がみられます。

【主観的健康感】

○ 主観的健康感がよいほど「受けている（過去1年ないしは2年間）」が多くなる傾向がみられます。

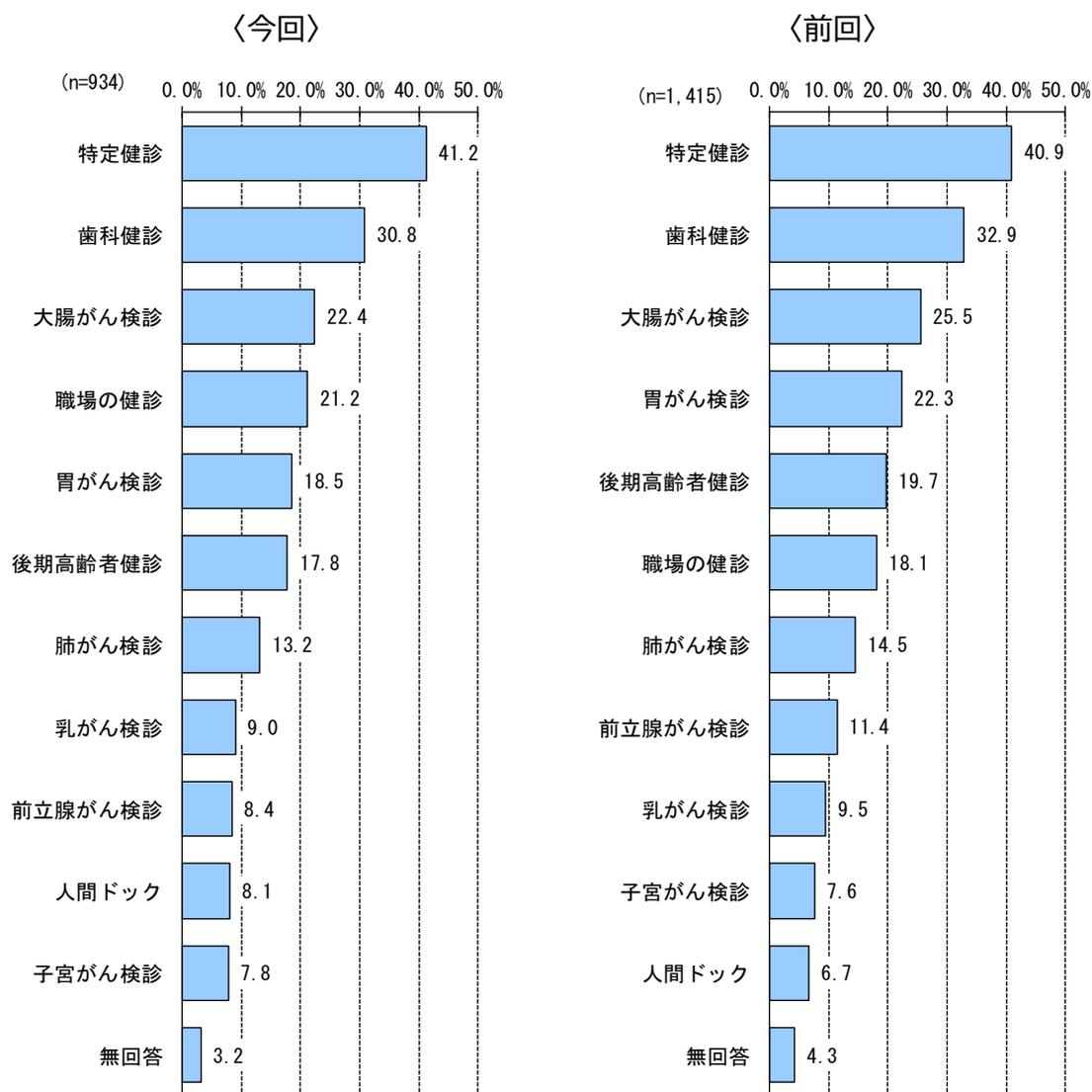


- 問7.9-1 [受けている方のみ] 受けている定期健診・検診の種類をお答えください。
(受けたものすべて)

【全体】

○ 受けている定期健診・検診の種類について、「特定健診」が41.2%で最も多く、次いで「歯科健診」が30.8%、「大腸がん検診」が22.4%となっています。

【受けている定期健診・検診の種類(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに 50～64 歳では、「職場の健診」が 5 割以上で最も多くなっています。また、75 歳以上では、「75 歳以上健診」が 4 割以上で最も多くなっています。
- 女性（65～74 歳）では、「特定健診」が 68.2% と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 男性（50～64 歳）では他の性・年齢区分に比べて「人間ドック」が多く、そのほかの各種がん検診や「歯科健診」が少なくなっています。
- 男性では、「前立腺がん検診」は 65 歳以上で約 2 割となっています。
- 女性では、「乳がん検診」「子宮がん検診」は 50～64 歳でそれぞれ 40.7%、30.8% であるのに対し、65 歳以上では 2 割未満となっています。

単位：%

	母数 (n)	受けている定期健診・検診の種類(MA)						
		特定 健診	健 7 診 5 歳 以 上	職 場 の 健 診	人 間 ド ッ ク	肺 が ん 検 診	胃 が ん 検 診	
全体	934	41.2	17.8	21.2	8.1	13.2	18.5	
性・ 年齢	男性 50～64歳	101	29.7	-	55.4	23.8	7.9	5.9
	65～74歳	174	46.6	-	33.3	12.1	16.1	16.1
	75歳以上	153	28.1	40.5	5.9	3.3	15.7	18.3
	女性 50～64歳	91	28.6	-	53.8	14.3	12.1	13.2
	65～74歳	201	68.2	-	11.9	5.5	16.9	25.9
	75歳以上	214	31.8	45.8	0.9	0.9	8.4	22.0
圏 域	安威川以北圏域	496	37.7	17.7	23.8	10.9	12.7	16.3
	安威川以南圏域	438	45.2	17.8	18.3	5.0	13.7	21.0
当認 状定 況該	非認定者	907	41.6	16.5	21.8	8.3	13.5	18.9
	総合事業対象者	4	75.0	50.0	-	-	25.0	25.0
	要支援1・2	23	21.7	60.9	-	4.3	-	4.3

単位：%

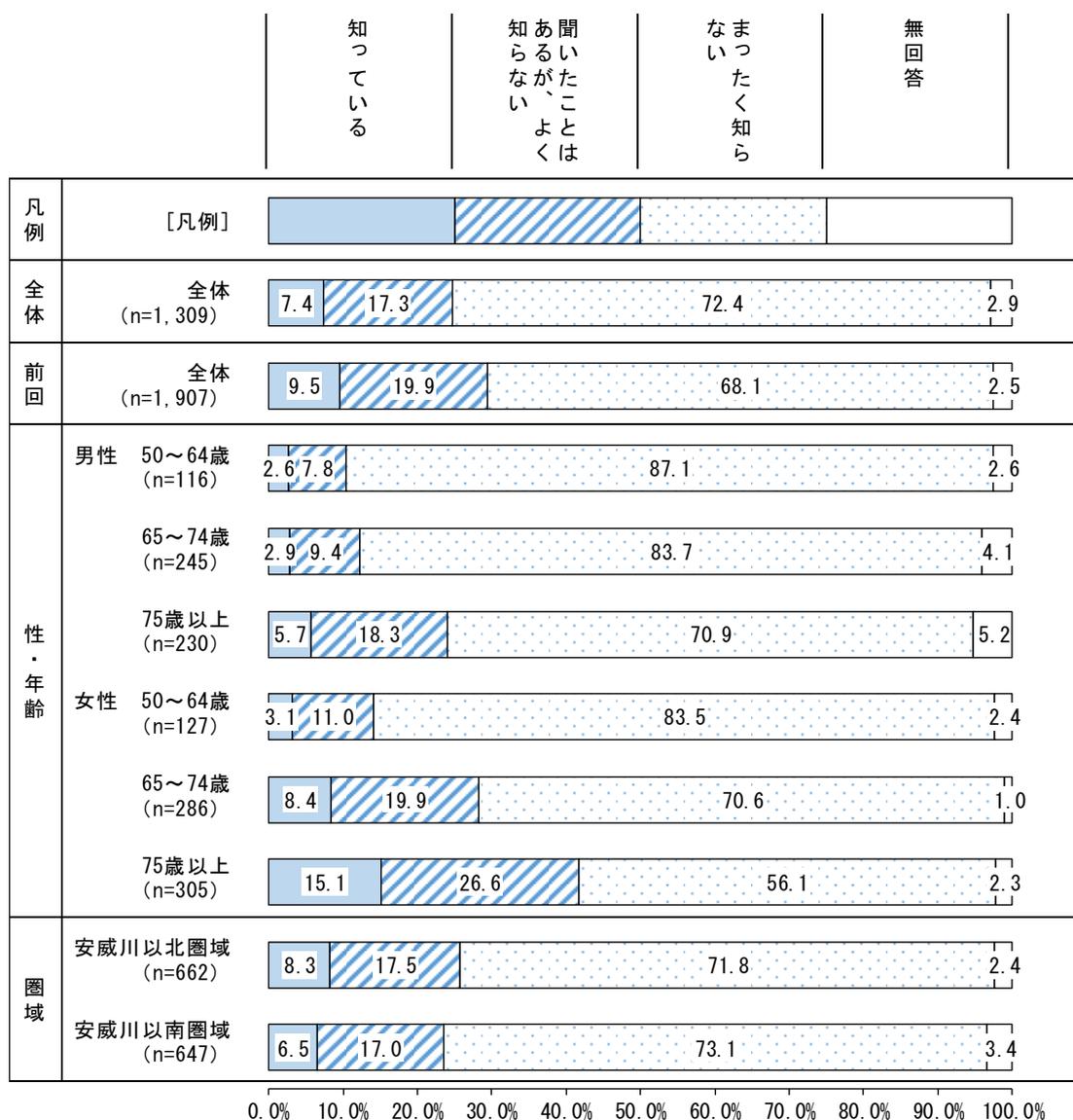
	母数 (n)	受けている定期健診・検診の種類(MA)						
		診大 腸 が ん 検	検前 立 腺 が ん	歯 科 健 診	乳 が ん 検 診	診子 宮 が ん 検	無 回 答	
全体	934	22.4	8.4	30.8	9.0	7.8	3.2	
性・ 年齢	男性 50～64歳	101	8.9	7.9	14.9	-	-	-
	65～74歳	174	25.3	18.4	26.4	-	-	2.9
	75歳以上	153	29.4	23.5	31.4	-	-	6.5
	女性 50～64歳	91	18.7	-	28.6	40.7	30.8	-
	65～74歳	201	29.9	-	32.8	14.9	14.9	3.0
	75歳以上	214	15.9	-	40.7	7.5	6.5	4.2
圏 域	安威川以北圏域	496	23.0	8.7	32.9	9.7	9.7	2.2
	安威川以南圏域	438	21.7	8.0	28.5	8.2	5.7	4.3
当認 状定 況該	非認定者	907	22.8	8.3	30.8	9.0	7.8	3.2
	総合事業対象者	4	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	要支援1・2	23	4.3	8.7	30.4	8.7	8.7	4.3

(6)健康維持・介護予防

●問7.10 「せつみんなで体操四部作」をご存知ですか。(1つだけ)

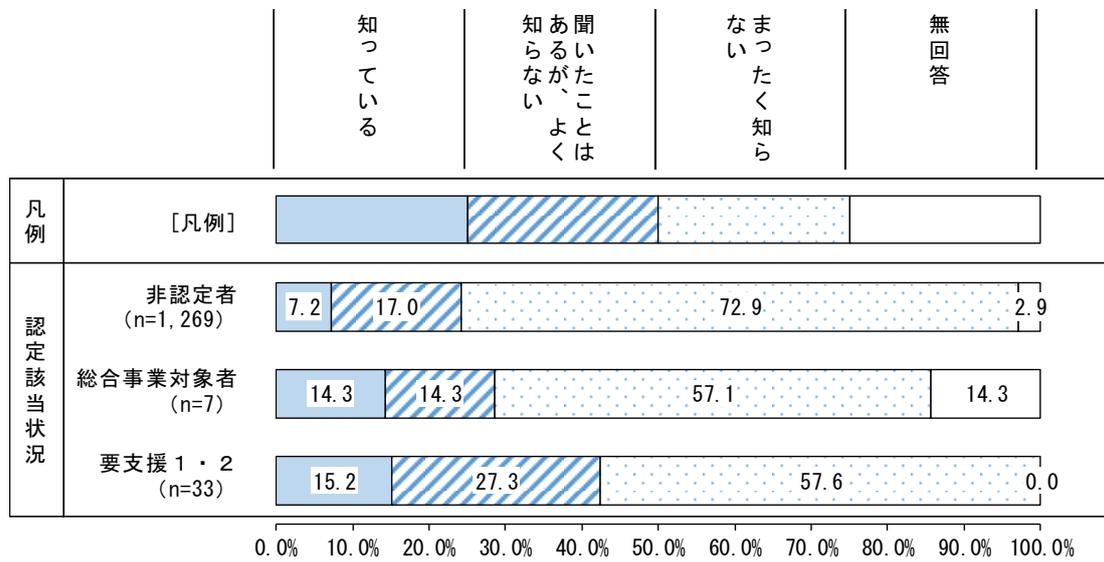
- 【全体】**
- 「せつみんなで体操四部作」の認知状況について、「まったく知らない」が72.4%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が17.3%、「知っている」が7.4%となっています。
 - 前回調査に比べて、「まったく知らない」が4.3ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。特に、75歳以上では15.1%となっています。
 - 男性では75歳以上、女性では65歳以上で、「聞いたことはあるが、よく知らない」が多くなっています。

【「せつみんなで体操四部作」の認知状況】



【認定該当状況】

- 「知っている」は、非認定者では 7.2%、総合事業対象者では 14.3%、要支援 1・2 では 15.2%となっています。
- 要支援 1・2 では、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 27.3%と他の認定該当区分に比べて多くなっています。



10. 認知症支援について

(1) 認知症の有無

●問8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

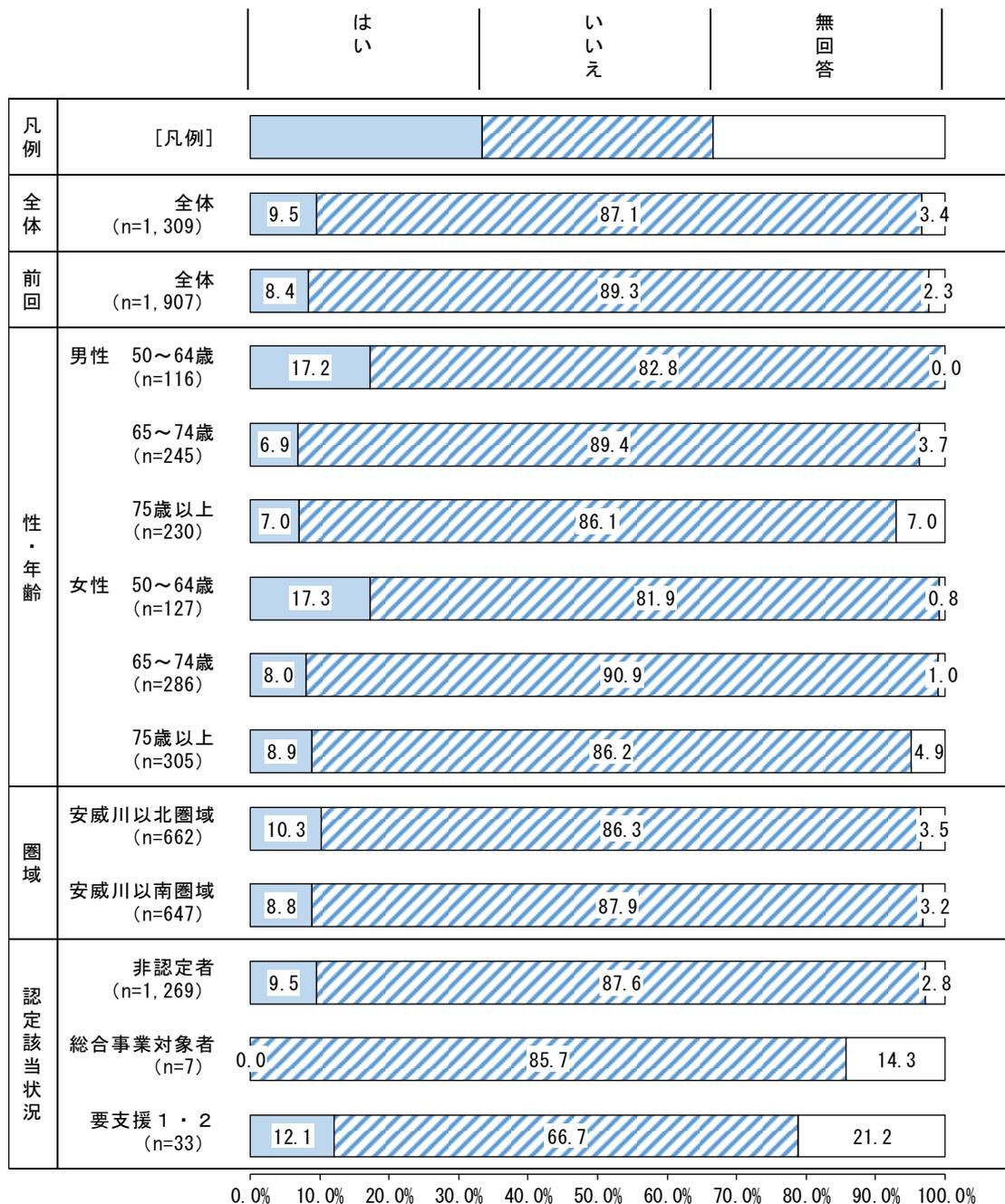
【全体】

○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が9.5%、「いいえ」が87.1%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに50～64歳で他の性・年齢区分に比べて「はい」が多くなっています。

【自身や家族の認知症の症状有無】



(2) 認知症に関する相談窓口の認知状況

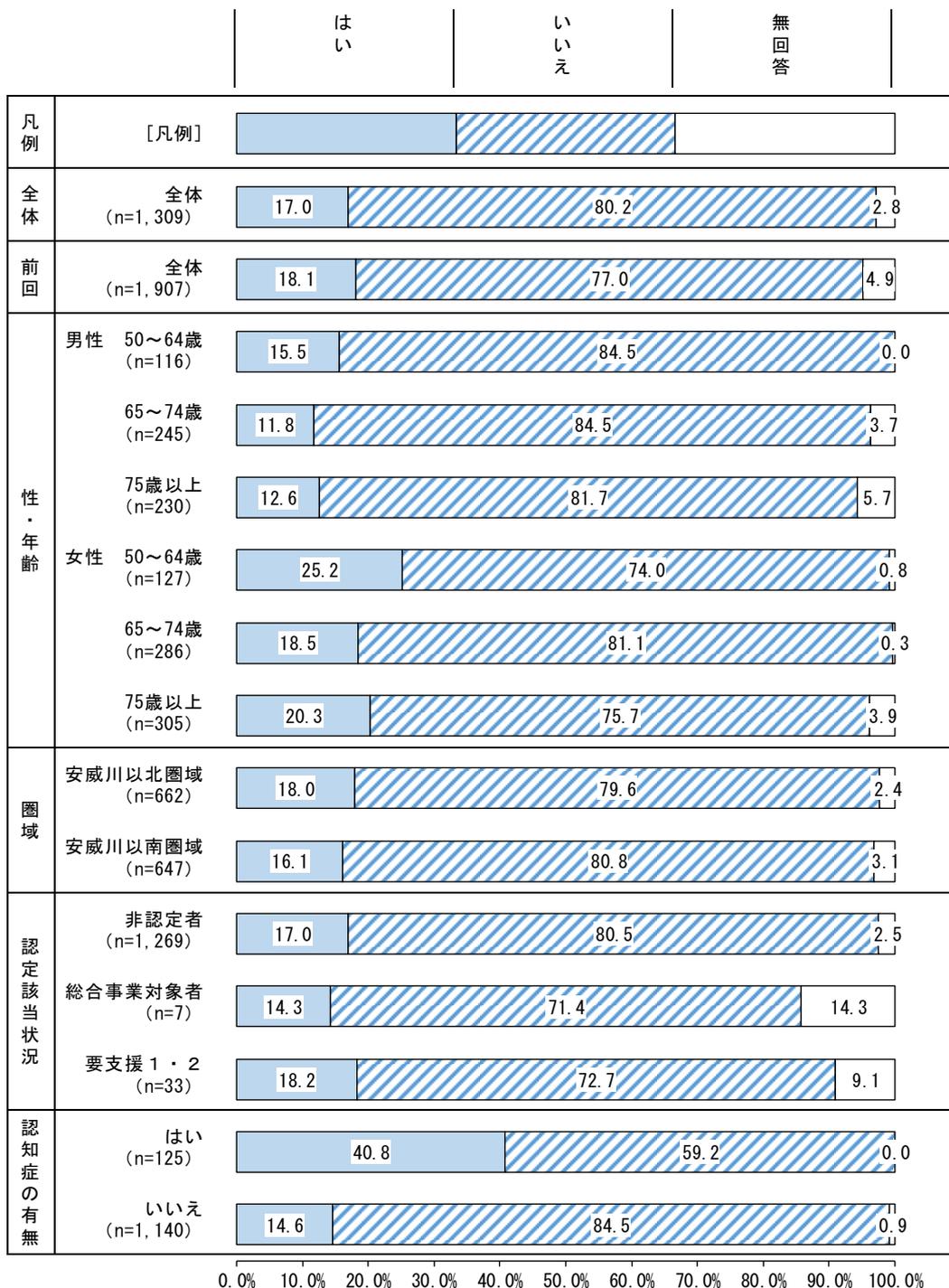
●問8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が17.0%、「いいえ」が80.2%となっています。

【性・年齢】
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。特に、女性(50~64歳)では、25.2%と多くなっています。

【認知症の有無】
 ○ 自身又は家族に認知症の症状がある人では、「いいえ」が59.2%となっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】

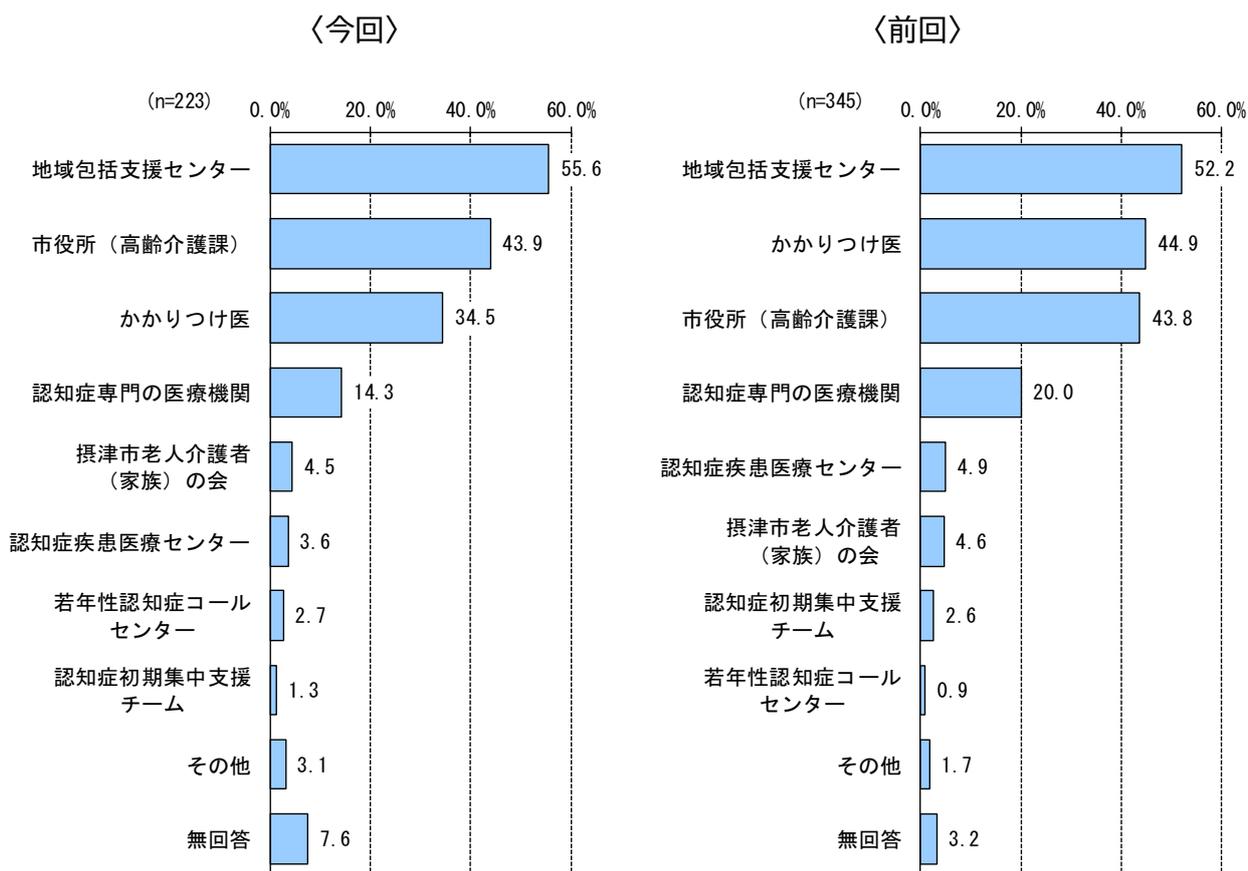


●問8.2-1 【知っている方のみ】それはどちらですか。(いくつでも)

【全体】

- 知っている認知症相談窓口について、「地域包括支援センター」が 55.6%で最も多く、次いで「市役所（高齢介護課）」が 43.9%、「かかりつけ医」が 34.5%となっています。
- 前回調査に比べて、「地域包括支援センター」が多く、「かかりつけ医」「認知症専門の医療機関」が少なくなっています。

【知っている認知症相談窓口】



【性・年齢】

- 男性（75歳以上）では74歳以下に比べて「地域包括支援センター」が少なく、「かかりつけ医」が多くなっています。
- 女性（75歳以上）では74歳以下に比べて「地域包括支援センター」「かかりつけ医」「認知症専門の医療機関」「認知症初期集中支援チーム」「市役所（高齢介護課）」が少なくなっています。
- 男性（74歳以下）では「認知症疾患医療センター」「摂津市老人介護者（家族）の会」「若年性認知症コールセンター」「認知症初期集中支援チーム」は、0.0%となっています。

【圏域】

- 「地域包括支援センター」は、安威川以北圏域では63.9%、安威川以南圏域では46.2%となっています。

単位：％

	母数 (n)	知っている認知症相談窓口					
		地域包括支援センター	かかりつけ医	療認知症専門の医療機関	認知症疾患医療センター	摂津市老人介護者（家族）の会	
全体	223	55.6	34.5	14.3	3.6	4.5	
性・年齢	男性 50～64歳	18	66.7	22.2	11.1	-	-
	65～74歳	29	62.1	24.1	27.6	-	-
	75歳以上	29	48.3	44.8	17.2	10.3	10.3
	女性 50～64歳	32	81.3	34.4	25.0	3.1	6.3
	65～74歳	53	62.3	43.4	9.4	1.9	3.8
	75歳以上	62	33.9	30.6	6.5	4.8	4.8
圏域	安威川以北圏域	119	63.9	31.9	12.6	3.4	5.9
	安威川以南圏域	104	46.2	37.5	16.3	3.8	2.9
当認定状況	非認定者	216	55.1	34.3	14.4	3.7	4.6
	総合事業対象者	1	100.0	100.0	-	-	-
	要支援1・2	6	66.7	33.3	16.7	-	-

単位：％

	母数 (n)	知っている認知症相談窓口					
		若年性認知症コールセンター	認知症初期集中支援チーム	市役所（高齢介護課）	その他	無回答	
全体	223	2.7	1.3	43.9	3.1	7.6	
性・年齢	男性 50～64歳	18	-	-	38.9	-	5.6
	65～74歳	29	-	-	44.8	3.4	3.4
	75歳以上	29	-	-	44.8	3.4	13.8
	女性 50～64歳	32	9.4	6.3	50.0	3.1	3.1
	65～74歳	53	1.9	1.9	54.7	1.9	3.8
	75歳以上	62	3.2	-	32.3	4.8	12.9
圏域	安威川以北圏域	119	2.5	1.7	45.4	4.2	8.4
	安威川以南圏域	104	2.9	1.0	42.3	1.9	6.7
当認定状況	非認定者	216	2.8	1.4	44.9	3.2	7.4
	総合事業対象者	1	-	-	-	-	-
	要支援1・2	6	-	-	16.7	-	16.7

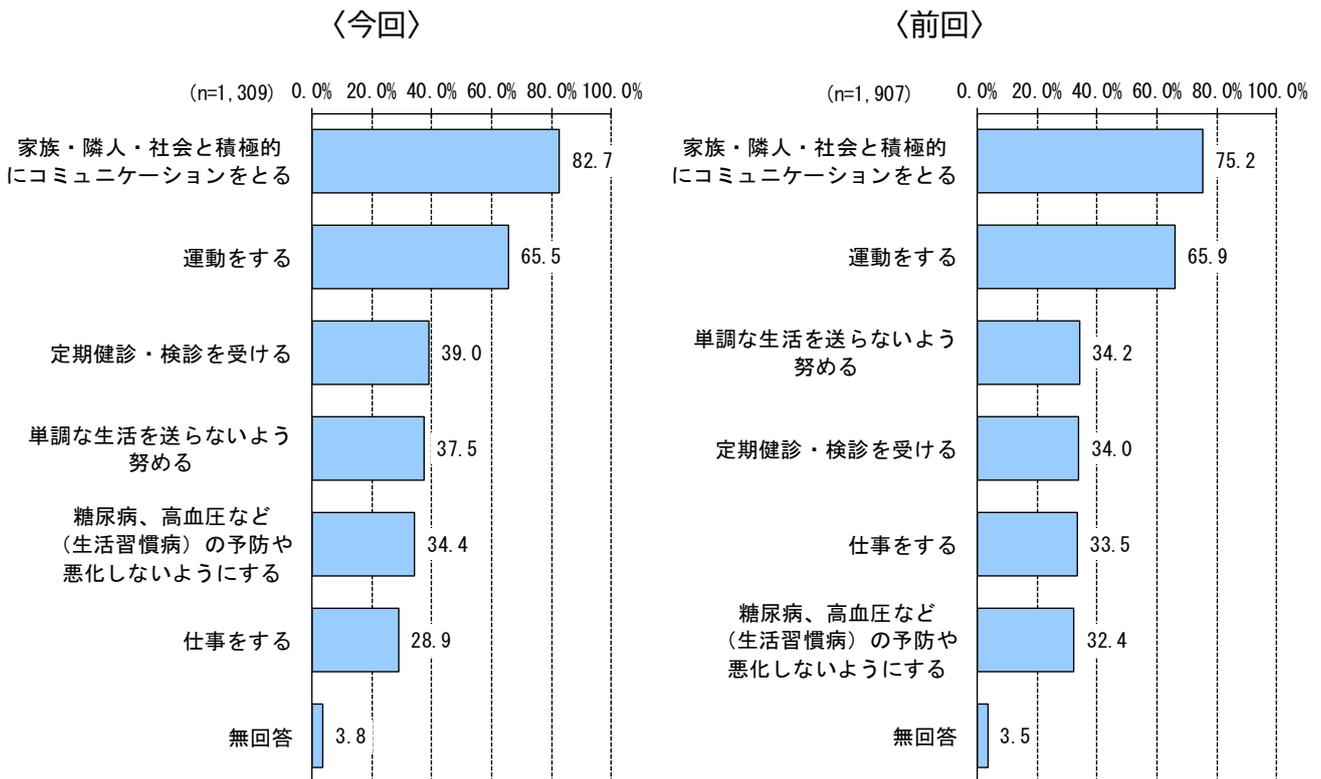
(3) 認知症予防の方法

- 問8.3 認知症予防の方法として重要なものは次のうちどれだと思いますか。
(いくつでも)

【全体】

○ 認知症予防の方法として重要だと思うものについて、「家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる」が82.7%で最も多く、次いで「運動をする」が65.5%、「定期健診・検診を受ける」が39.0%となっています。

【認知症予防の方法として重要だと思うもの(MA)】



単位：%

		母数 (n)	認知症予防の方法として重要だと思うもの(MA)						
			家族・隣人・社会と積極的にコミュニケーションをとる	運動をする	定期健診・検診を受ける	単調な生活を送らないよう努める	糖尿病、高血圧など(生活習慣病)の予防や悪化しないようにする	仕事をする	無回答
全体		1,309	82.7	65.5	39.0	37.5	34.4	28.9	3.8
性・年齢	男性 50~64歳	116	81.0	69.0	36.2	37.1	26.7	58.6	0.9
	65~74歳	245	75.9	60.8	34.7	38.0	35.5	37.1	4.5
	75歳以上	230	73.0	63.5	42.6	31.7	33.5	20.0	7.0
	女性 50~64歳	127	91.3	75.6	37.8	44.1	38.6	40.9	0.8
	65~74歳	286	94.1	69.2	37.4	40.2	31.8	23.1	1.0
	75歳以上	305	82.0	61.6	42.6	36.4	37.7	18.0	5.9
圏域	安威川以北圏域	662	82.8	66.8	39.7	38.8	33.1	29.3	3.5
	安威川以南圏域	647	82.7	64.1	38.2	36.2	35.7	28.4	4.2
当認定状況	非認定者	1,269	83.5	66.0	38.8	37.8	34.4	29.5	3.5
	総合事業対象者	7	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9	14.3	14.3
	要支援1・2	33	63.6	48.5	45.5	27.3	30.3	9.1	12.1

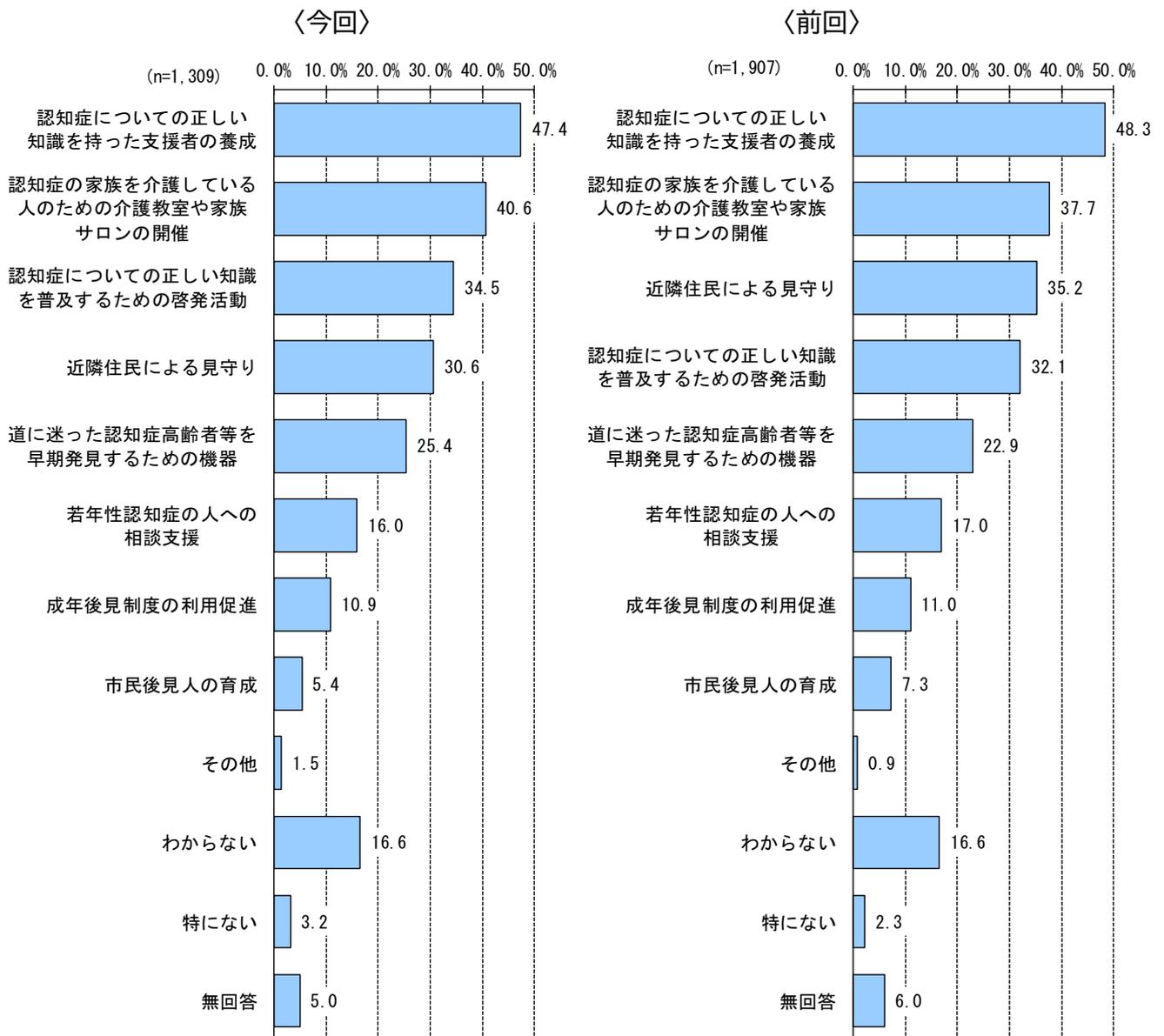
(4) 認知症の人への支援

●問8.4 認知症の人への支援に必要なことはどのようなことだと思いますか。
(いくつでも)

【全体】

○ 認知症の人への支援に必要だと思うことについて、「認知症についての正しい知識を持った支援者の養成」が47.4%で最も多く、次いで「認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催」が40.6%、「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が34.5%となっています。

【認知症の人への支援に必要だと思うこと(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど「わからない」が多くなる傾向がみられます。
- 男女ともに 50～64 歳では「若年性認知症の人への相談支援」が2割以上となっています。
- 男性（65 歳以上）では、女性（65 歳以上）に比べて「認知症についての正しい知識を普及するための啓発活動」が多くなっています。
- 女性（74 歳以下）では、男性（74 歳以下）に比べて「認知症の家族を介護している人のための介護教室や家族サロンの開催」が多くなっています。また、「近隣住民による見守り」が他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- また、女性（65 歳以上）では、「近隣住民による見守り」が他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	認知症の人への支援に必要だと思うこと (MA)					
			介護の 開催 や家 族た め介 護	認知 症の 家族 を介 護	認知 症の 知識 を持 つた 支	認知 症の 啓活 動及 すの 正	若 年性 認知 症の 人へ	近 隣住 民に よる 見守
全体		1,309	40.6	47.4	34.5	16.0	30.6	25.4
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	45.7	44.8	37.9	23.3	23.3	24.1
	65～74歳	245	41.6	53.5	42.4	11.8	26.9	24.1
	75歳以上	230	32.2	42.6	33.0	11.3	25.7	23.5
	女性 50～64歳	127	52.8	57.5	38.6	26.0	27.6	27.6
	65～74歳	286	46.9	51.4	32.2	19.2	36.4	29.0
	75歳以上	305	33.1	39.3	28.2	13.1	36.1	24.3
圏 域	安威川以北圏域	662	42.4	48.2	35.0	16.8	29.9	25.1
	安威川以南圏域	647	38.6	46.7	33.8	15.3	31.4	25.8
当認 状定 況該	非認定者	1,269	41.1	47.6	34.8	16.2	30.7	25.9
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	28.6	-	-	-
	要支援1・2	33	27.3	45.5	21.2	12.1	33.3	12.1

単位：％

		母数 (n)	認知症の人への支援に必要だと思うこと (MA)					無 回 答
			促 進 後 見 制 度 の 利 用	市 民 後 見 人 の 育 成	そ の 他	わ か ら な い	特 に な い	
全体		1,309	10.9	5.4	1.5	16.6	3.2	5.0
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	11.2	6.0	3.4	12.9	0.9	1.7
	65～74歳	245	11.0	6.9	1.6	14.3	4.1	4.9
	75歳以上	230	8.3	4.3	0.4	21.7	6.1	6.5
	女性 50～64歳	127	15.7	5.5	4.7	12.6	0.8	2.4
	65～74歳	286	12.2	3.8	-	15.4	1.4	2.8
	75歳以上	305	9.5	6.2	1.3	18.7	3.9	8.5
圏 域	安威川以北圏域	662	12.1	6.0	1.8	16.0	3.2	3.9
	安威川以南圏域	647	9.7	4.8	1.1	17.2	3.2	6.2
当認 状定 況該	非認定者	1,269	11.2	5.5	1.5	16.6	3.1	4.7
	総合事業対象者	7	-	-	-	14.3	28.6	-
	要支援1・2	33	3.0	3.0	-	15.2	3.0	18.2

●問8.5 認知症サポーター養成講座についてご存知ですか。(1つだけ)

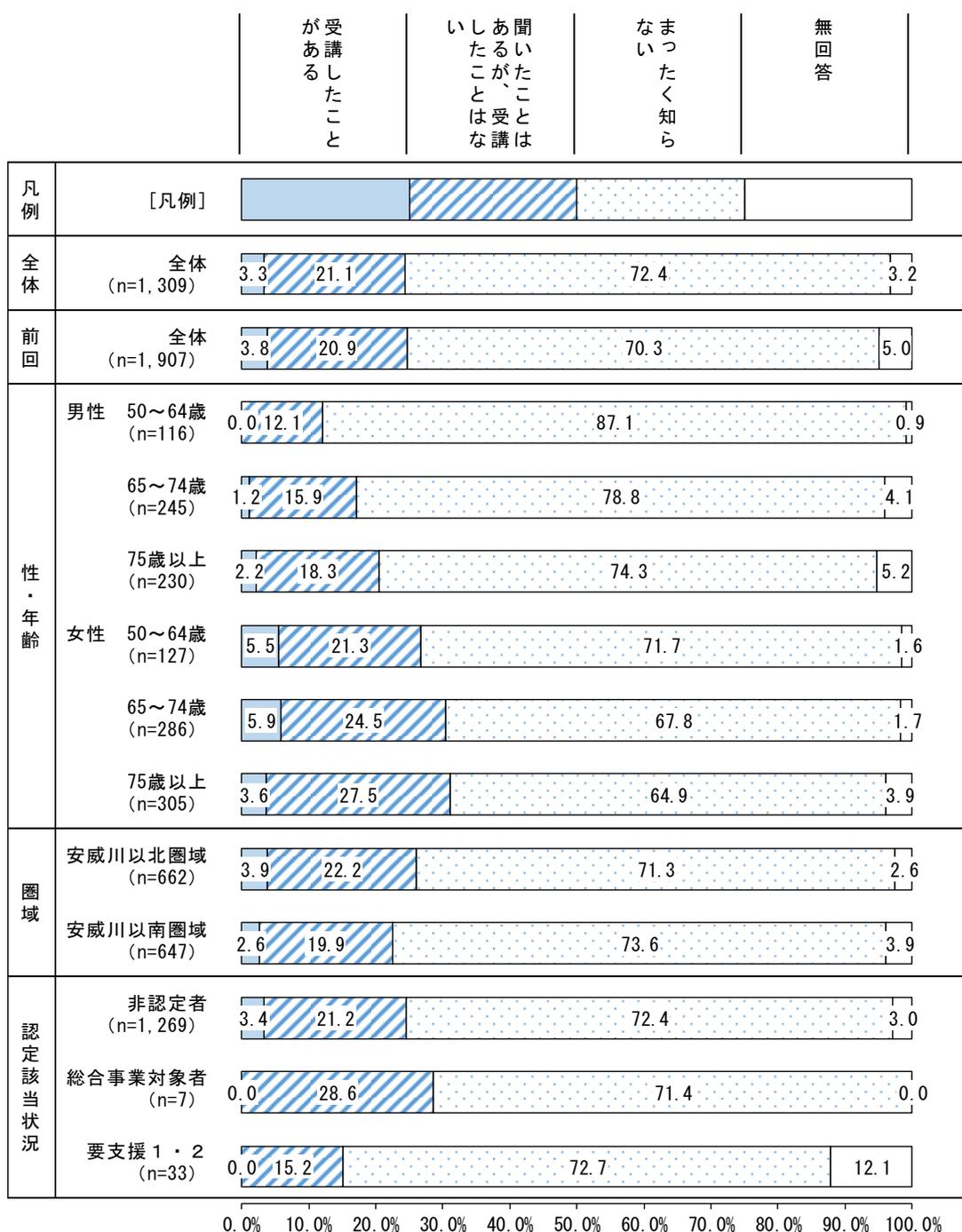
【全体】

- 認知症サポーター養成講座の認知状況について、「まったく知らない」が72.4%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、受講したことはない」が21.1%、「受講したことがある」が3.3%となっています。
- 「受講したことがある」「聞いたことはあるが、受講したことはない」を合わせた“知っている”は24.4%となっています。

【性・年齢】

- いずれの年代でも女性では男性に比べて“知っている”が多くなっています。特に、65歳以上では3割以上となっています。
- 女性(74歳以下)では他の性・年齢区分に比べて、「受講したことがある」が多くなっています。

【認知症サポーター養成講座の認知状況】



(5)「せつはつらつ脳トレ体操」

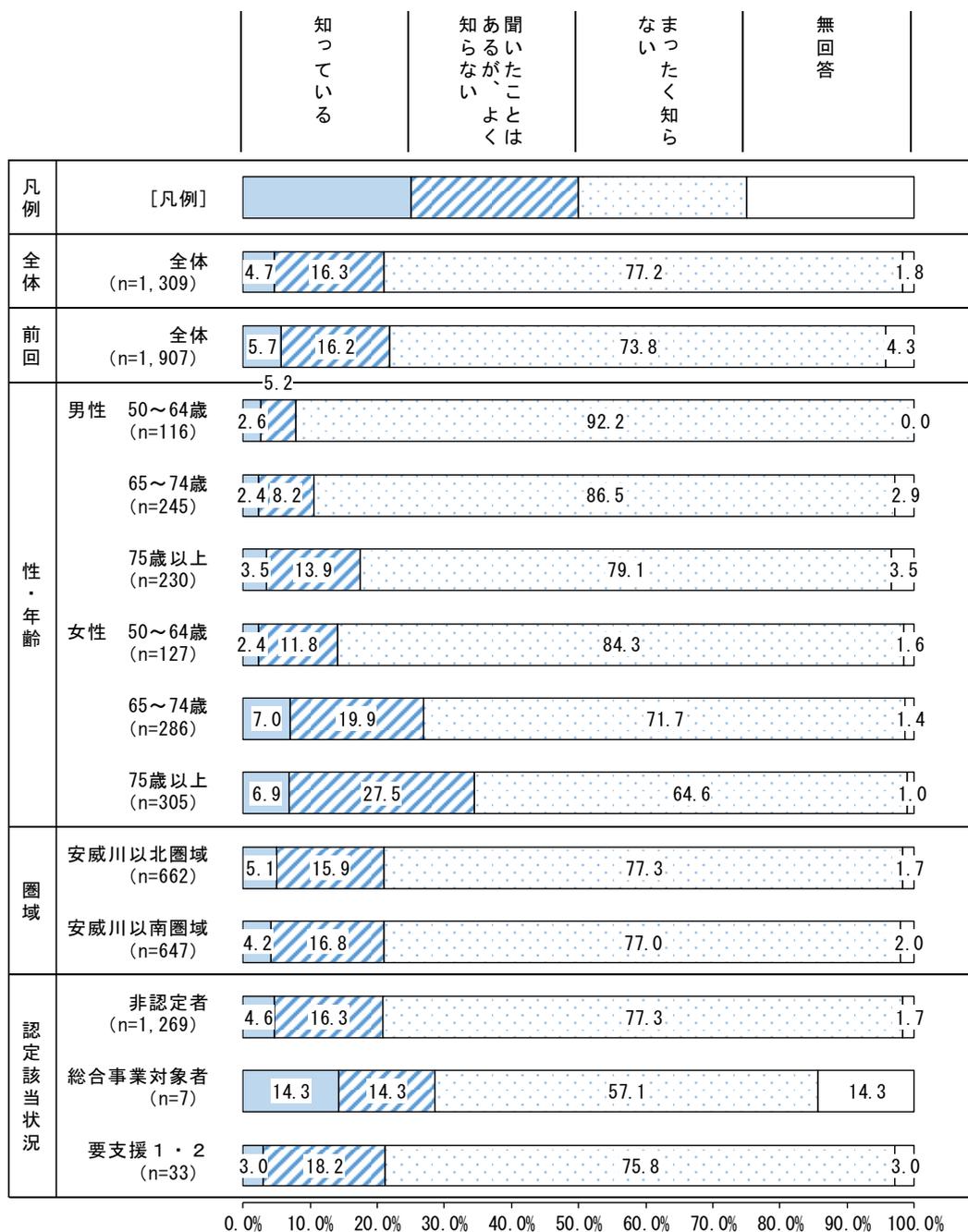
●問8.6 「せつはつらつ脳トレ体操」をご存知ですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 「せつはつらつ脳トレ体操」の認知状況について、「まったく知らない」が77.2%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.3%、「知っている」が4.7%となっています。

【性・年齢】
 ○ 65歳以上で、女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。また、「聞いたことはあるが、よく知らない」が約2～3割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「知っている」は、総合事業対象者では14.3%、非認定者では4.6%、要支援1・2では3.0%となっています。

【「せつはつらつ脳トレ体操」の認知状況】



11. 人生会議について

- 問9.1 あなたは介護が必要になったときの生活について考えることがありますか。
(1つだけ)

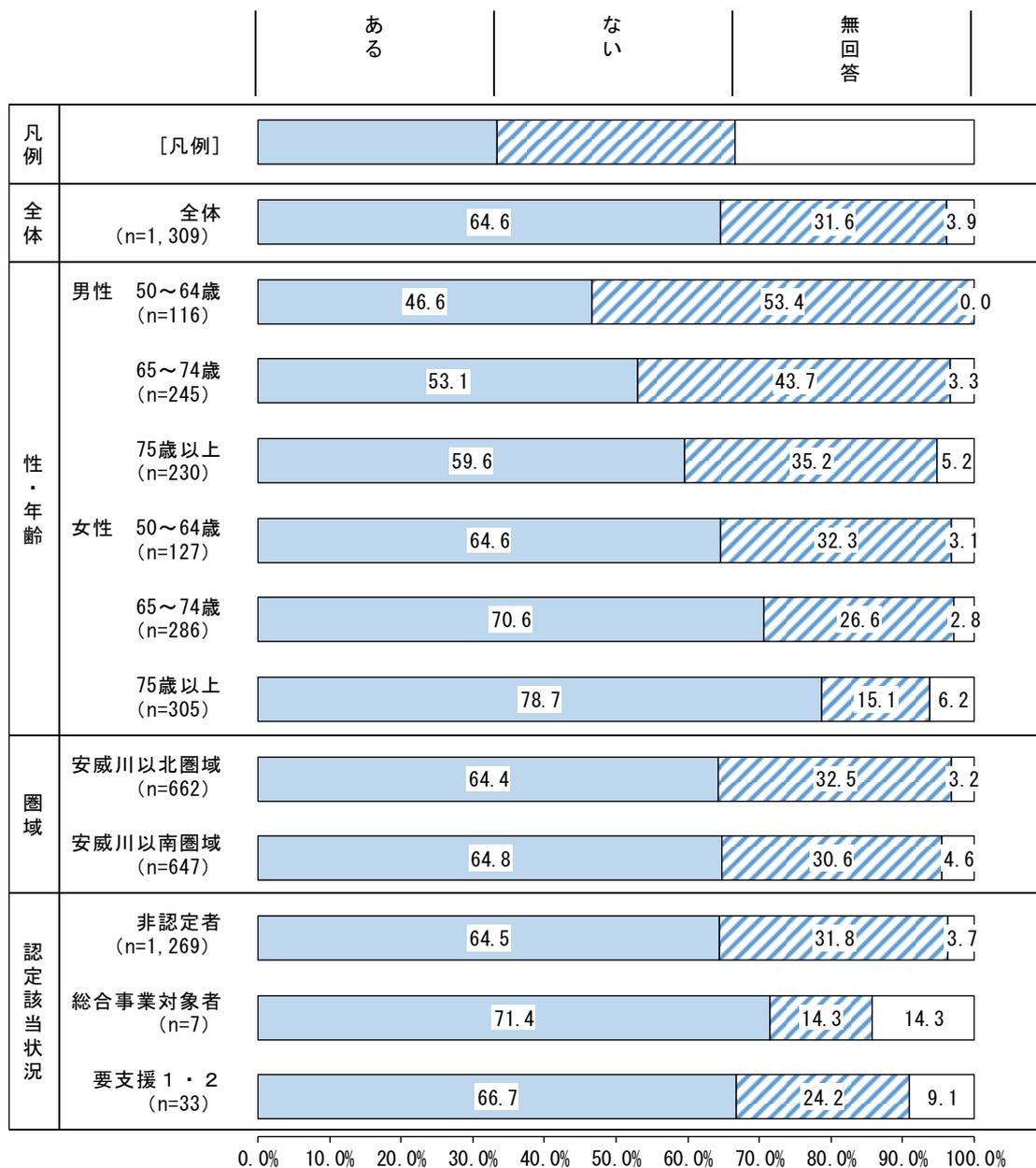
【全体】

- 介護が必要になったときの生活について考えることについて、「ある」が64.6%、「ない」が31.6%となっています。

【性・年齢】

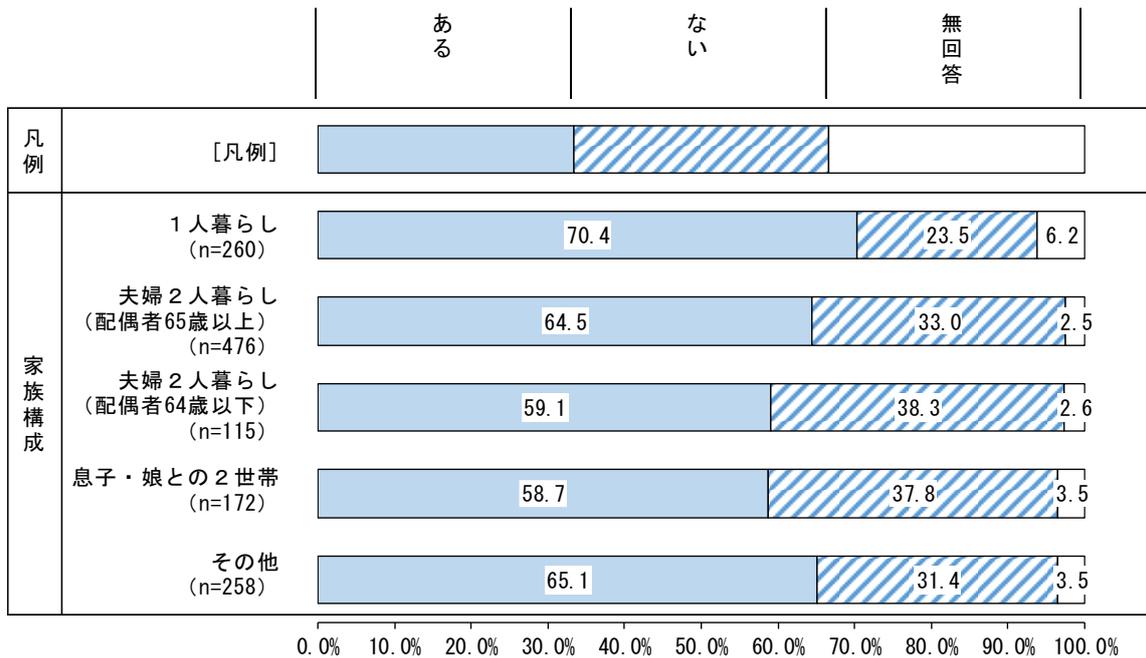
- 男女ともに年代が上がるほど「ある」が多くなる傾向がみられます。
○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「ある」が多くなっています。特に、女性（75歳以上）では78.7%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【介護が必要になったときの生活について考えること】



【家族構成】

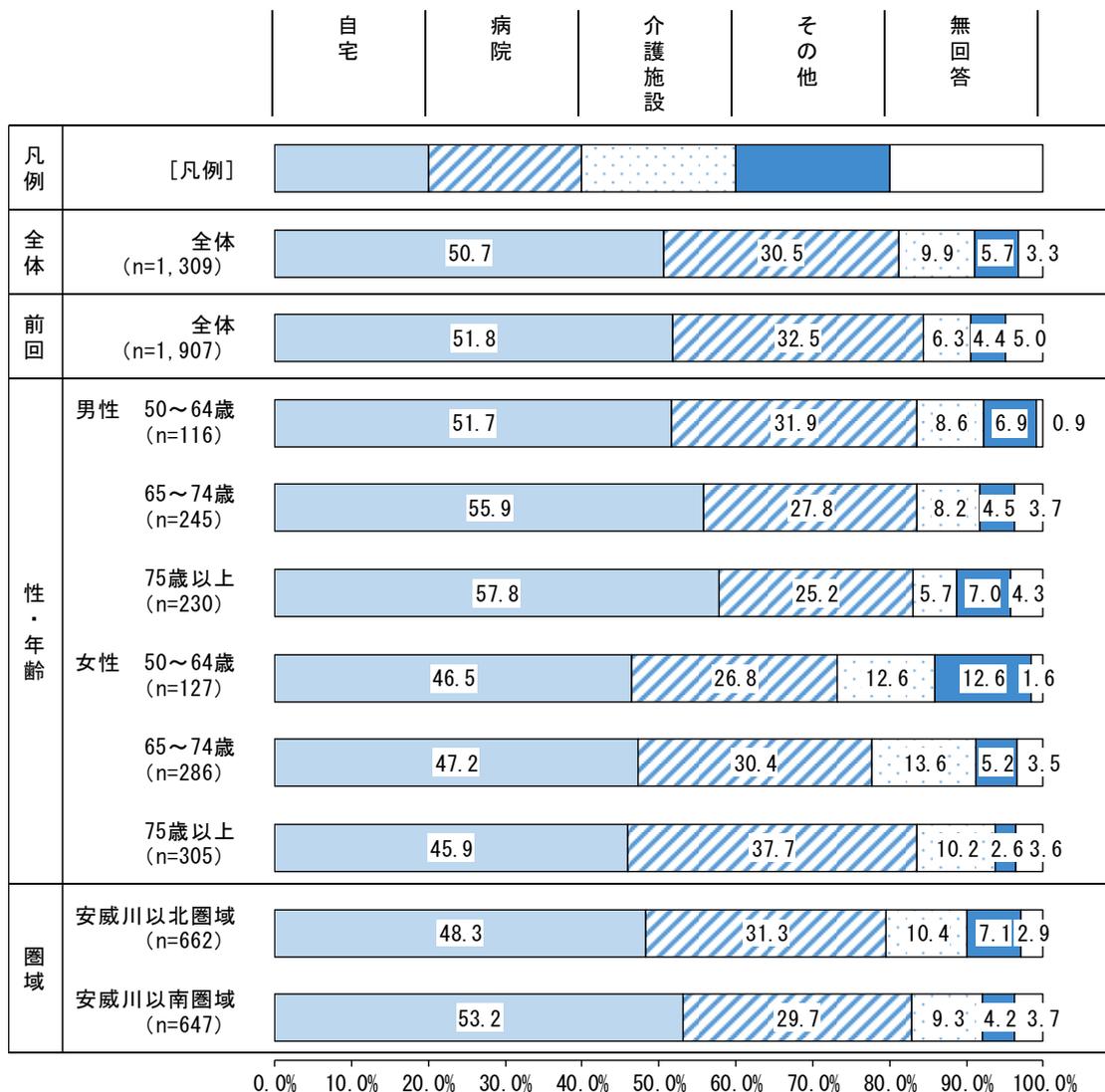
○ 1人暮らしでは、「ある」が70.4%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。一方で、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）、息子・娘との2世帯では、「ある」が他の家族構成区分に比べて少なくなっています。



●問9.2 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 人生の最期を迎えたい場所について、「自宅」が50.7%で最も多く、次いで「病院」が30.5%、「介護施設」が9.9%となっています。
 - 前回調査に比べて、「介護施設」が3.3ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- いずれの年代でも男性では女性に比べて「自宅」が多くなっており、年代が上がるほどその差は大きくなる傾向がみられます。
- 【圏域】**
- 「自宅」は、安威川以北圏域では48.3%、安威川以南圏域では53.2%となっています。

【人生の最期を迎えたい場所】



【中学校区】

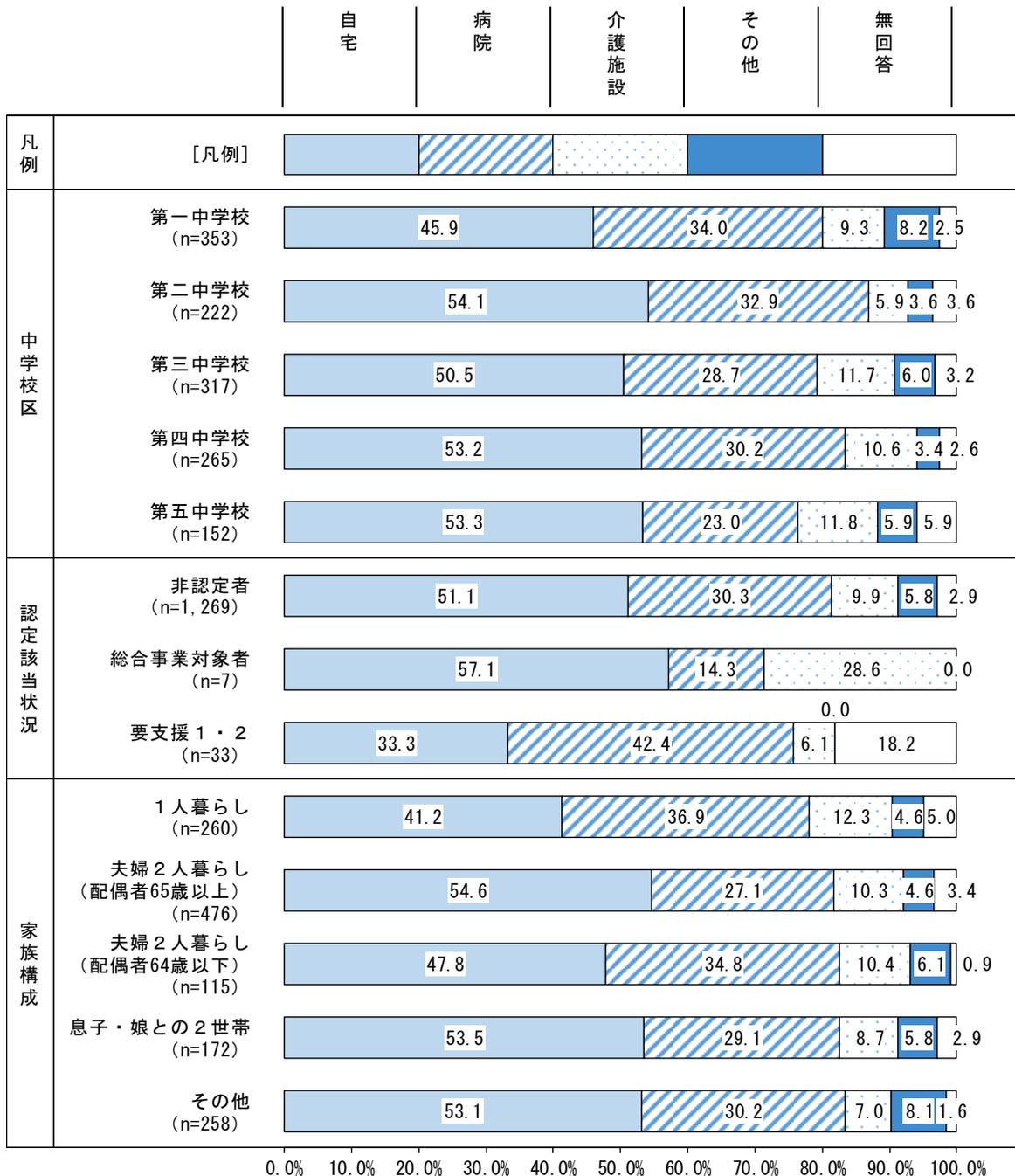
- すべての中学校区で「自宅」が最も多くなっています。
- 第一中学校区では、他の校区と比べて「自宅」がやや少なくなっています。

【認定該当状況】

- 非認定者、総合事業対象者では、「自宅」がそれぞれ 51.1%、57.1%で最も多いのに対し、要支援1・2では、「病院」が42.4%で最も多くなっています。

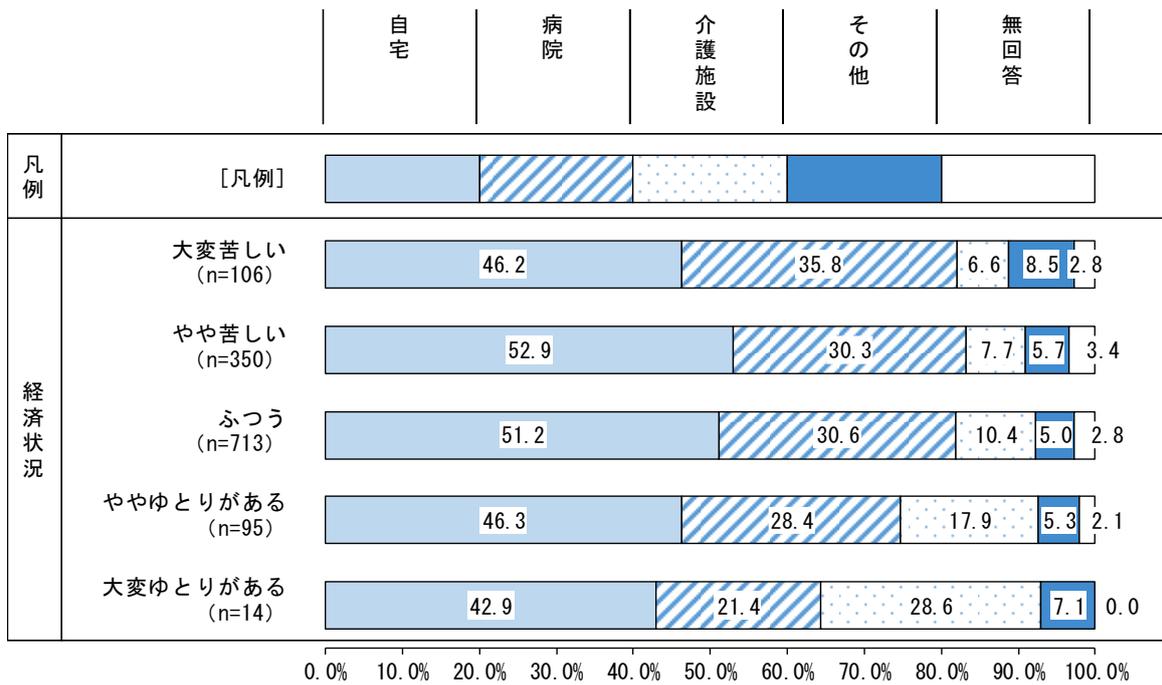
【家族構成】

- 1人暮らしでは他の家族構成区分に比べて「自宅」が少なく、「病院」「介護施設」が多くなっています。また、1人暮らしに次いで夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）も同様の傾向がみられます。



【経済状況】

○ 経済状況にゆとりがあるほど「介護施設」が多くなる傾向がみられます。

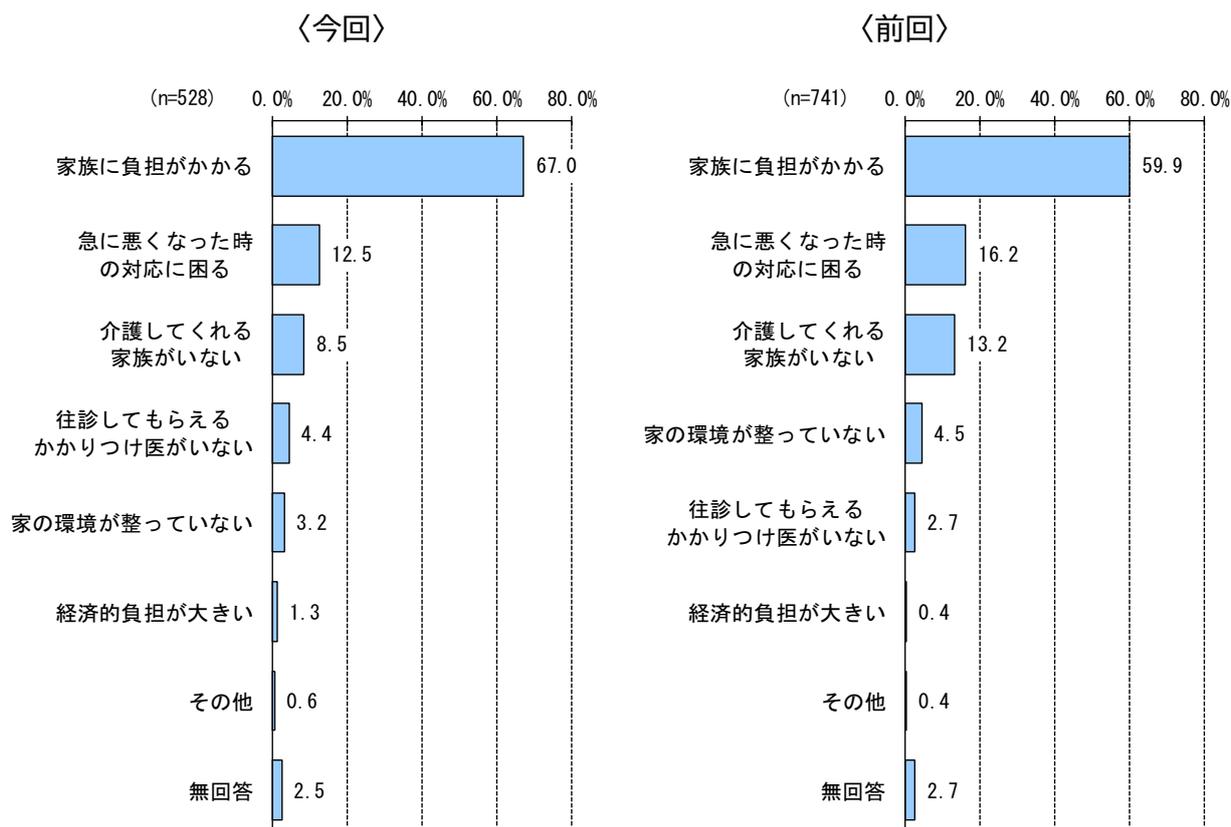


- 問9.2-1 【病院・介護施設の方のみ】病院あるいは施設を選んだ理由をお教えてください。
(1つだけ)

【全体】

- 病院あるいは施設を選んだ理由について、「家族に負担がかかる」が67.0%で最も多く、次いで「急に悪くなった時の対応に困る」が12.5%、「介護してくれる家族がない」が8.5%となっています。
- 前回調査に比べて、「家族に負担がかかる」が多く、「急に悪くなった時の対応に困る」「介護してくれる家族がない」が少なくなっています。

【病院あるいは施設を選んだ理由】



【性・年齢】

- 男女ともに50～64歳では「家族に負担がかかる」が8割以上と65歳以上に比べて多くなっています。一方で、65歳以上では64歳以下に比べて「急に悪くなった時の対応に困る」が多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは、他の家族構成区分に比べて「家族に負担がかかる」が少なく、「介護してくれる家族がない」「急に悪くなった時の対応に困る」が多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「家族に負担がかかる」が82.7%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	病院あるいは施設を選んだ理由								
		か家族に負担がかかる	が往診してもらえない	介護がいてくれない	急に悪くなった	て家の環境が整った	き経済的負担が大	その他	無回答	
全体	528	67.0	4.4	8.5	12.5	3.2	1.3	0.6	2.5	
性・年齢	男性 50～64歳	47	80.9	4.3	6.4	4.3	-	-	-	4.3
	65～74歳	88	56.8	5.7	11.4	15.9	4.5	2.3	1.1	2.3
	75歳以上	71	63.4	2.8	9.9	18.3	1.4	1.4	-	2.8
	女性 50～64歳	50	84.0	6.0	6.0	2.0	2.0	-	-	-
	65～74歳	126	69.8	2.4	6.3	11.1	3.2	0.8	1.6	4.8
	75歳以上	146	62.3	5.5	9.6	15.1	4.8	2.1	-	0.7
圏域	安威川以北圏域	276	67.8	4.0	10.9	11.2	3.3	0.7	0.4	1.8
	安威川以南圏域	252	66.3	4.8	6.0	13.9	3.2	2.0	0.8	3.2
当認 状況	非認定者	509	67.6	4.3	8.3	12.2	3.1	1.4	0.6	2.6
	総合事業対象者	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-	-
	要支援1・2	16	50.0	6.3	18.8	25.0	-	-	-	-
家族 構成	1人暮らし	128	44.5	5.5	25.0	19.5	1.6	-	-	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	178	70.8	3.9	2.2	12.9	4.5	2.8	-	2.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	52	82.7	7.7	1.9	5.8	-	-	-	1.9
	息子・娘との2世帯	65	72.3	3.1	3.1	13.8	3.1	1.5	1.5	1.5
	その他	96	79.2	3.1	4.2	5.2	4.2	1.0	2.1	1.0
経済 状況	大変苦しい	45	66.7	2.2	2.2	6.7	-	8.9	4.4	8.9
	やや苦しい	133	61.7	5.3	10.5	15.0	4.5	-	0.8	2.3
	ふつう	292	69.2	4.5	8.2	12.3	3.1	1.0	-	1.7
	ややゆとりがある	44	75.0	4.5	9.1	9.1	-	-	-	2.3
	大変ゆとりがある	7	42.9	-	14.3	28.6	14.3	-	-	-

●問9.3 あなたは、人生の最終段階における医療・療養についてこれまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1つだけ)

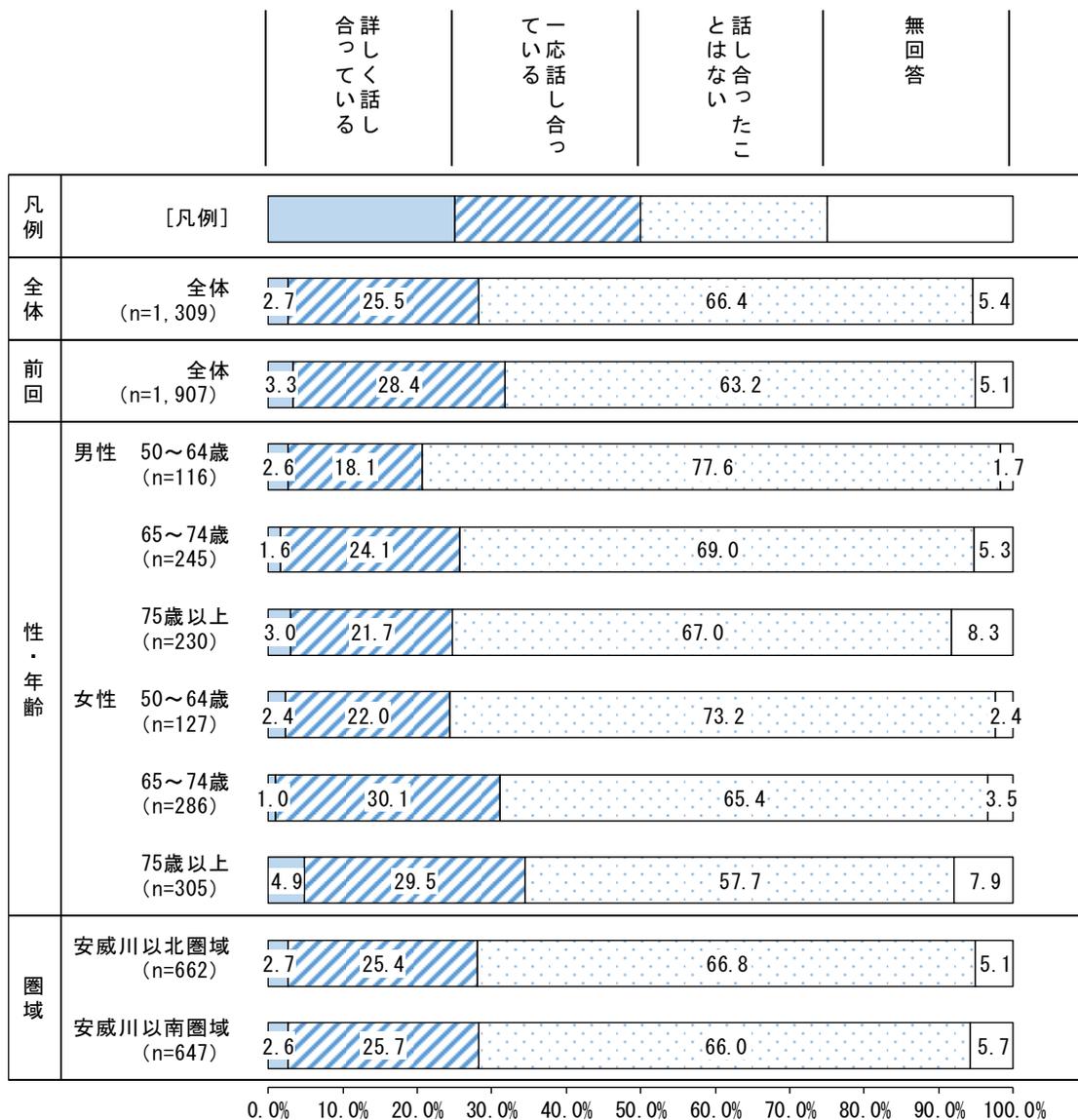
【全体】

- 人生の最終段階における医療・療養についての話し合いについて、「話し合ったことはない」が66.4%で最も多く、次いで「一応話し合っている」が25.5%、「詳しく話し合っている」が2.7%となっています。
- 「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」を合わせた“話し合っている”は28.2%となっています。
- 前回調査に比べて、“話し合っている”が3.5ポイント少なくなっています。

【性・年齢】

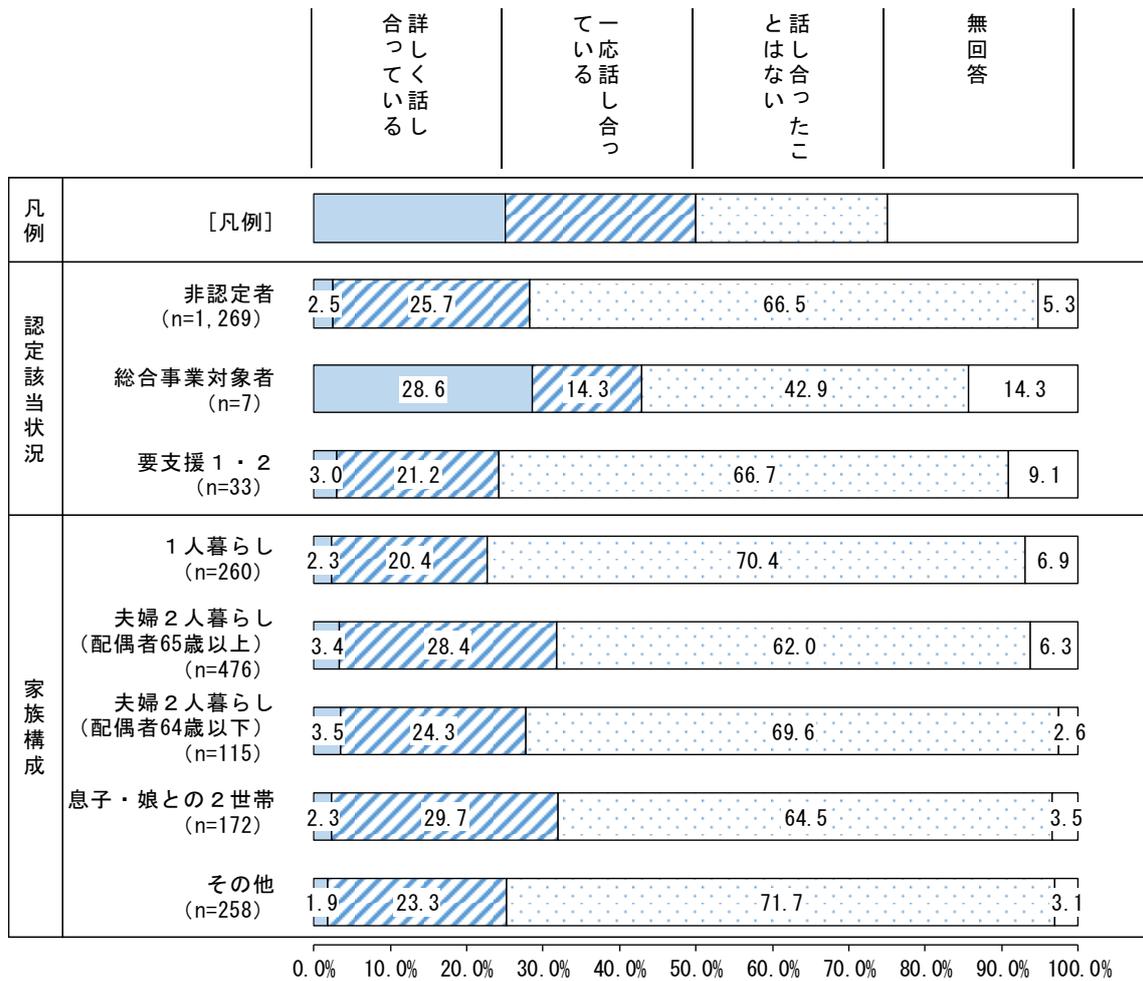
- 女性（65歳以上）で“話し合っている”が3割以上と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 男女ともに50～64歳では他の性・年齢区分に比べて「話し合ったことはない」が多くなっています。特に、男性（50～64歳）では77.6%となっています。

【人生の最終段階における医療・療養についての話し合い】



【家族構成】

○ 1人暮らしでは他の家族構成区分に比べて“話し合っている”が少なくなっています。



●問9.3-1 【話し合ったことがある方のみ】それはどなたと話し合いましたか。
(いくつでも)

【全体】

○ 話し合った相手について、「家族・親族」が94.6%で最も多く、次いで「友人・知人」が7.0%、「医療介護関係者」が3.8%となっています。

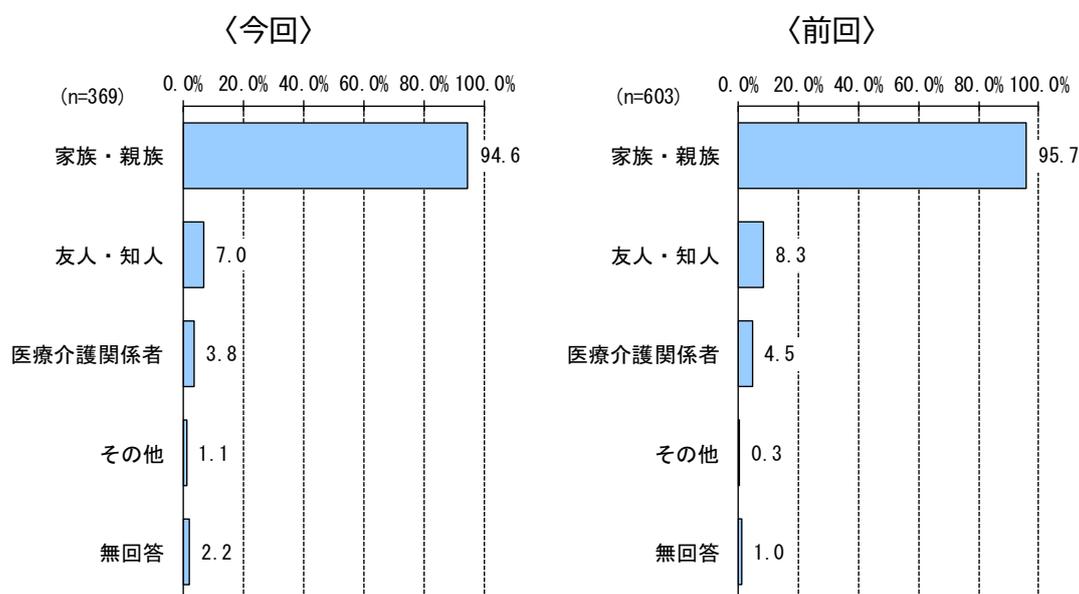
【性・年齢】

○ 男性（50～64歳）では女性（50～64歳）に比べて「家族・親族」が少なく、「医療介護関係者」が多くなっています。

【家族構成】

○ 1人暮らしでは他の家族構成区分に比べて「家族・親族」が少なく、「医療介護関係者」「友人・知人」が多くなっています。

【話し合った相手(MA)】



単位：%

	母数 (n)	話し合った相手(MA)					
		家族・親族	医療介護関係者	友人・知人	その他	無回答	
全体	369	94.6	3.8	7.0	1.1	2.2	
性・年齢	男性 50～64歳	24	91.7	8.3	-	4.2	-
	65～74歳	63	96.8	3.2	4.8	-	1.6
	75歳以上	57	93.0	5.3	5.3	-	3.5
	女性 50～64歳	31	96.8	-	9.7	-	3.2
	65～74歳	89	95.5	1.1	7.9	1.1	2.2
	75歳以上	105	93.3	5.7	9.5	1.9	1.9
圏域	安威川以北圏域	186	95.7	3.8	8.1	1.1	2.2
	安威川以南圏域	183	93.4	3.8	6.0	1.1	2.2
当認 状定 況該	非認定者	358	95.0	3.6	7.3	0.8	2.2
	総合事業対象者	3	66.7	33.3	-	-	-
	要支援1・2	8	87.5	-	-	12.5	-
家族 構 成	1人暮らし	59	88.1	8.5	13.6	3.4	3.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	151	95.4	4.6	5.3	-	2.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	32	93.8	6.3	3.1	-	3.1
	息子・娘との2世帯	55	98.2	-	9.1	-	1.8
	その他	65	96.9	-	6.2	3.1	-

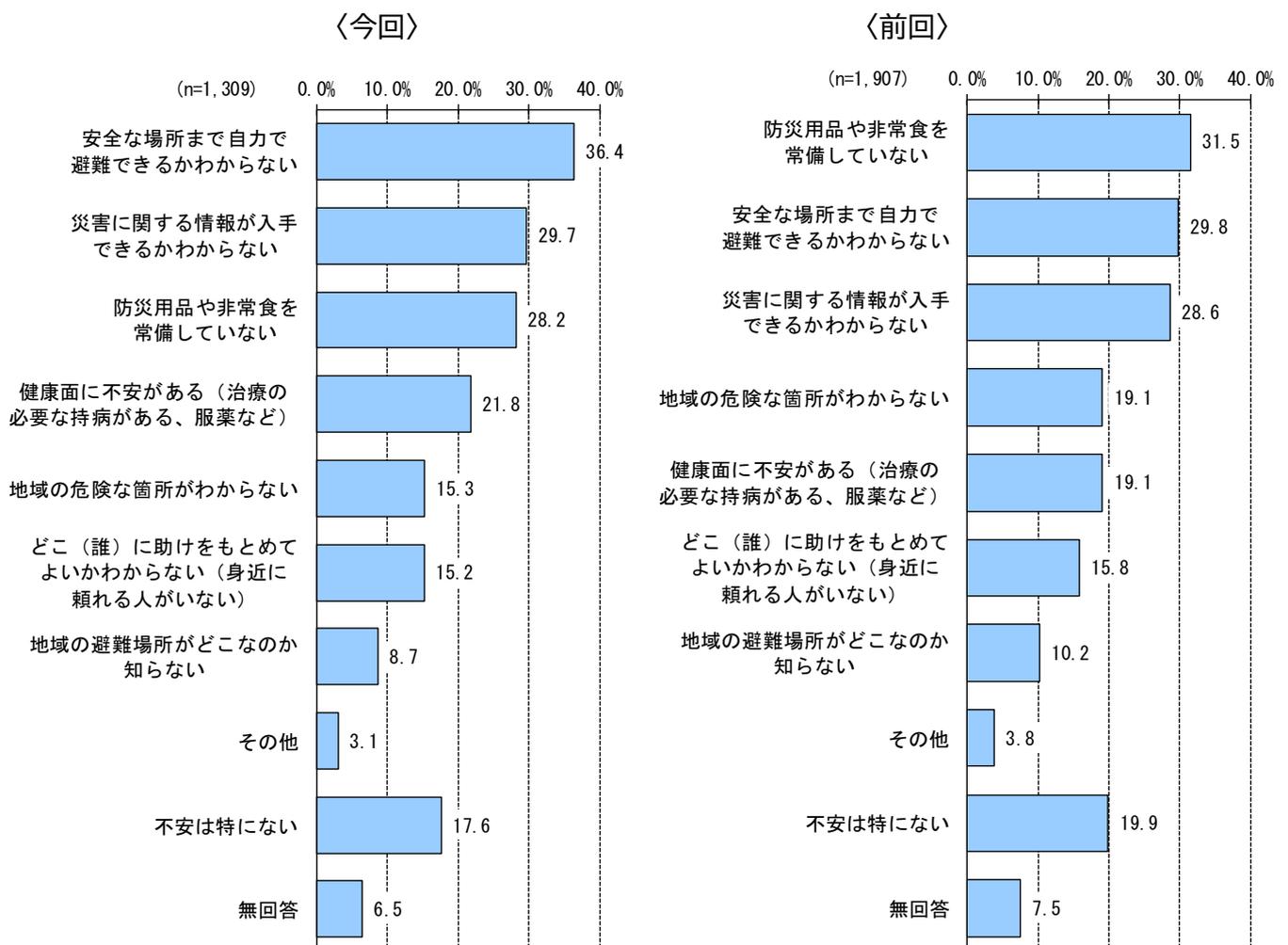
12. 災害時の対応について

●問10.1 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか。(いくつでも)

【全体】

- 地震や風水害などの災害時に対する不安について、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が36.4%で最も多く、次いで「災害に関する情報が入手できるかわからない」が29.7%、「防災用品や非常食を常備していない」が28.2%となっています。
- 前回調査に比べて、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が4.9ポイント多く、「防災用品や非常食を常備していない」「地域の危険な箇所がわからない」が3ポイント以上少なくなっています。

【地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)】



【性・年齢】

- いずれの年代でも男性では女性に比べて「不安は特にない」が多くなっていますが、男女ともに年代が上がるほど「不安は特にない」が少なくなる傾向がみられます。また、「健康面に不安がある（治療の必要な持病がある、服薬など）」が多くなる傾向がみられます。
- いずれの年代でも女性では男性に比べて「災害に関する情報が入手できるかわからない」が多くなっています。
- 男性（75歳以上）、女性（65歳以上）で「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が約4～5割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 男性（65歳以上）では「防災用品や非常食を常備していない」が3割以上となっています。

単位：％

		母数 (n)	地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)				
			な入災 い手害 でに き関 るす かる わ情 か報 らが	るらも 人なと がいめ い(誰 ない身 いよに にか助 頼わけ れかを	らで安 な避全 い難な で場 き所 るま かで わ自 か力	こ地 な域 のの か避 知難 ら場 な所 いが ど	わ地 か域 らの ない 危険 な箇 所が
全体		1,309	29.7	15.2	36.4	8.7	15.3
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	19.8	10.3	12.1	5.2	19.0
	65～74歳	245	26.1	16.7	26.9	13.9	17.1
	75歳以上	230	27.4	17.0	37.4	10.0	16.1
	女性 50～64歳	127	33.9	18.1	29.9	5.5	13.4
	65～74歳	286	32.2	12.6	42.7	7.0	14.3
	75歳以上	305	34.1	15.7	49.5	7.9	13.4

単位：％

		母数 (n)	地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)				
			常防 備災 し用 て品 いや ない 非常 食を	が(健 あ治康 る療面 、のに 服必不 薬要安 なが 持ある 病	そ の 他	不 安は 特に ない	無 回 答
全体		1,309	28.2	21.8	3.1	17.6	6.5
性・ 年齢	男性 50～64歳	116	22.4	8.6	1.7	31.9	4.3
	65～74歳	245	31.4	17.6	1.6	21.2	7.3
	75歳以上	230	30.9	27.8	2.2	19.1	6.5
	女性 50～64歳	127	26.0	13.4	8.7	18.1	4.7
	65～74歳	286	26.9	18.5	3.5	15.0	3.8
	75歳以上	305	27.9	32.5	2.6	10.5	9.8

【圏域】

- 安威川以南圏域では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が40.6%と安威川以北圏域の32.3%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者、要支援1・2では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」がそれぞれ57.1%、48.5%となっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「防災用品や非常食を常備していない」が33.1%で最も多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、息子・娘との2世帯では、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が約4割と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「災害に関する情報が入手できるかわからない」が38.3%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。また、「不安は特にない」も24.3%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)					
		な入災 い手害 でに き関 るす かる わ情 か報 らが	らもど らなと こい め(誰 よに 近いか 助 れか	らで安 な避全 い難な で場 き所 るま かで わ自 か力	こ地 な域 のの か避 知難 ら場 所が いど	わ地 か域 から の危 険な 箇所 が	
全体	1,309	29.7	15.2	36.4	8.7	15.3	
圏域	安威川以北圏域	662	28.1	15.4	32.3	8.8	14.0
	安威川以南圏域	647	31.4	15.0	40.6	8.7	16.5
当認 状定 況該	非認定者	1,269	29.9	15.2	36.0	8.6	15.4
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	57.1	-	-
	要支援1・2	33	24.2	12.1	48.5	15.2	15.2
家族 構 成	1人暮らし	260	27.3	21.5	31.9	11.5	13.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	30.7	14.5	39.9	8.6	15.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	38.3	11.3	27.0	6.1	14.8
	息子・娘との2世帯	172	29.1	8.7	41.9	8.1	16.9
	その他	258	27.9	15.9	35.3	7.0	15.1

単位：%

	母数 (n)	地震や風水害などの災害時に対する不安(MA)					
		常防 備災 用し て品 いや ない 非常 食を	が(健 あ治康 る療面 、のに 服必不 薬要安 など持 病有	そ の 他	不 安 は 特 に ない	無 回 答	
全体	1,309	28.2	21.8	3.1	17.6	6.5	
圏域	安威川以北圏域	662	26.0	20.5	3.2	20.1	6.8
	安威川以南圏域	647	30.4	23.2	2.9	15.1	6.2
当認 状定 況該	非認定者	1,269	28.4	20.8	3.2	18.0	6.2
	総合事業対象者	7	14.3	42.9	-	14.3	14.3
	要支援1・2	33	21.2	57.6	-	6.1	15.2
家族 構 成	1人暮らし	260	33.1	20.4	1.9	19.2	4.6
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	28.6	25.6	2.7	16.4	5.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	18.3	15.7	4.3	24.3	7.0
	息子・娘との2世帯	172	29.7	23.3	3.5	14.5	6.4
	その他	258	26.7	17.8	3.9	17.4	8.5

●問10.2 災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。(いくつでも)

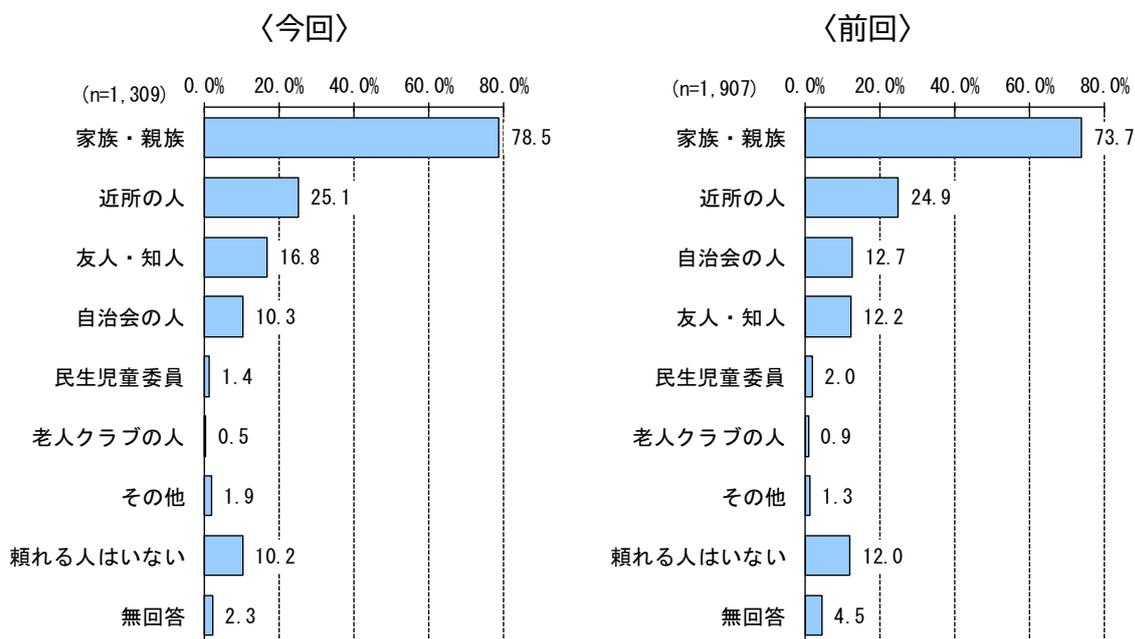
【全体】

- 災害等で避難が必要な際に頼れる人について、「家族・親族」が78.5%で最も多く、次いで「近所の人」が25.1%、「友人・知人」が16.8%となっています。
- 前回調査に比べて、「家族・親族」が4.8ポイント、「友人・知人」が4.6ポイント多くなっています。

【性・年齢】

- 男女ともに50～64歳では他の性・年齢区分に比べて「友人・知人」が多くなっています。
- 男性(65～74歳)では女性(65～74歳)に比べて「近所の人」が少なくなっています。

【災害等で避難が必要な際に頼れる人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	災害等で避難が必要な際に頼れる人(MA)								
			家族・親族	近所の人	友人・知人	自治会の人	民生児童委員	老人クラブの人	その他	頼れる人はいない	無回答
全体		1,309	78.5	25.1	16.8	10.3	1.4	0.5	1.9	10.2	2.3
性・年齢	男性 50～64歳	116	75.9	19.8	21.6	2.6	-	-	3.4	14.7	-
	65～74歳	245	73.5	16.3	11.4	9.0	1.2	-	0.4	15.9	3.7
	75歳以上	230	73.0	29.1	13.5	16.1	0.9	0.4	1.7	10.0	4.3
	女性 50～64歳	127	87.4	17.3	26.8	6.3	1.6	-	0.8	8.7	-
	65～74歳	286	87.8	26.6	17.8	9.8	0.7	0.7	0.7	4.2	1.4
	75歳以上	305	75.4	33.1	16.7	12.1	3.0	1.3	4.3	10.2	2.3

【圏域】

- 安威川以南圏域では、「近所の人」が 28.9%と安威川以北圏域の 21.5%に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援 1・2 では、「頼れる人はいない」が 18.2%となっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「頼れる人はいない」が 25.0%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	災害等で避難が必要な際に頼れる人(MA)								無回答
			家族・親族	近所の人	友人・知人	自治会の人	民生児童委員	人老人クラブの	その他	な頼れる人はい	
全体		1,309	78.5	25.1	16.8	10.3	1.4	0.5	1.9	10.2	2.3
圏域	安威川以北圏域	662	76.3	21.5	16.6	8.9	1.8	0.6	2.6	11.9	2.0
	安威川以南圏域	647	80.8	28.9	17.0	11.7	0.9	0.5	1.2	8.3	2.6
当認 状定 況該	非認定者	1,269	79.4	25.1	17.1	10.2	1.4	0.6	1.9	9.9	2.0
	総合事業対象者	7	57.1	14.3	14.3	14.3	-	-	-	14.3	14.3
	要支援 1・2	33	51.5	30.3	6.1	12.1	-	-	3.0	18.2	9.1
	1人暮らし	260	46.5	26.9	19.2	12.7	4.2	1.5	3.5	25.0	2.3
家 族 構 成	夫婦 2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	85.7	27.5	14.7	12.6	0.6	0.4	1.5	6.5	2.3
	夫婦 2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	88.7	21.7	16.5	7.8	1.7	-	-	7.8	1.7
	息子・娘との 2世帯	172	91.9	26.2	16.3	8.7	-	0.6	0.6	2.3	2.3
	その他	258	87.6	20.5	19.4	6.2	0.8	-	3.1	6.2	1.2

- 問10.3 市では、災害時の支援体制づくりとして、支援が必要な方（災害時要援護者）を対象に市への登録申請を受け付けています（摂津市災害時要援護者支援制度）。将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要援護者として登録したいと思いますか。（1つだけ）

【全体】

- 要援護者の登録意向について、「登録したい（検討したい）」が66.7%で最も多く、次いで「登録したいとは思わない」が23.1%、「すでに登録している」が1.1%となっています。
- 前回調査に比べて、「登録したい（検討したい）」が5.9ポイント多くなっています。

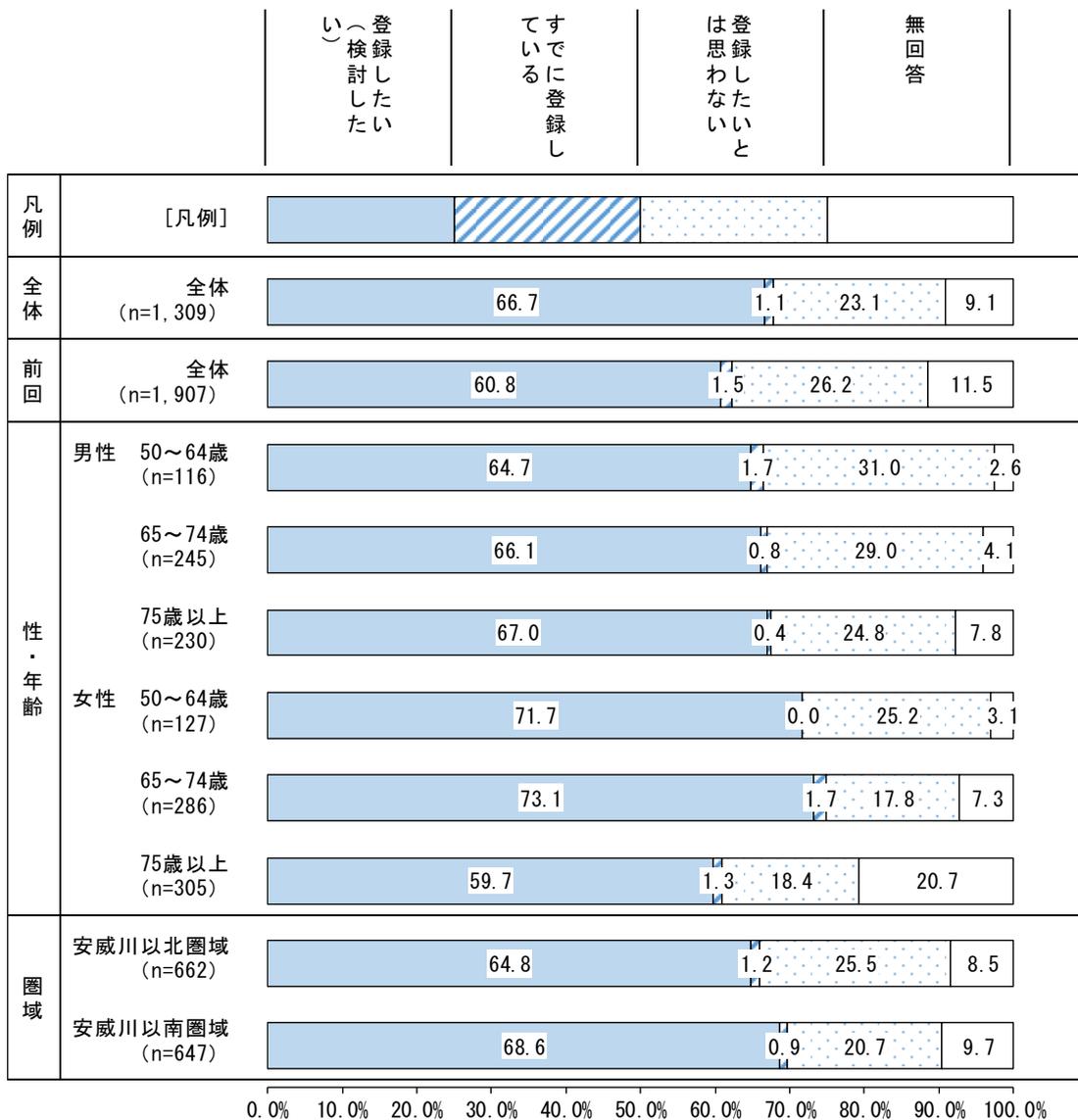
【性・年齢】

- 女性（74歳以下）で「登録したい（検討したい）」が7割以上と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。一方で、女性（75歳以上）では59.7%と他の性・年齢区分に比べて少なくなっています。

【圏域】

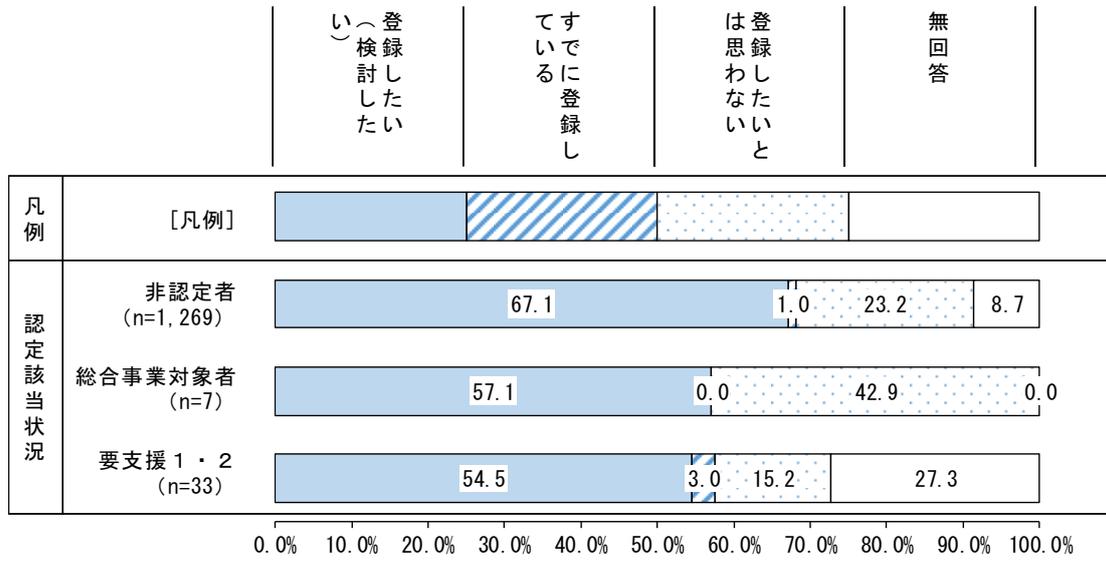
- 「登録したい（検討したい）」は、安威川以北圏域では64.8%、安威川以南圏域では68.6%となっています。

【要援護者の登録意向】



【認定該当状況】

○ 「登録したい（検討したい）」は、非認定者では 67.1%であるのに対し、総合事業対象者では 57.1%、要支援 1・2 では 54.5%となっています。



13. ICTの活用について

●問11.1 携帯電話・スマートフォンを持っていますか。(1つだけ)

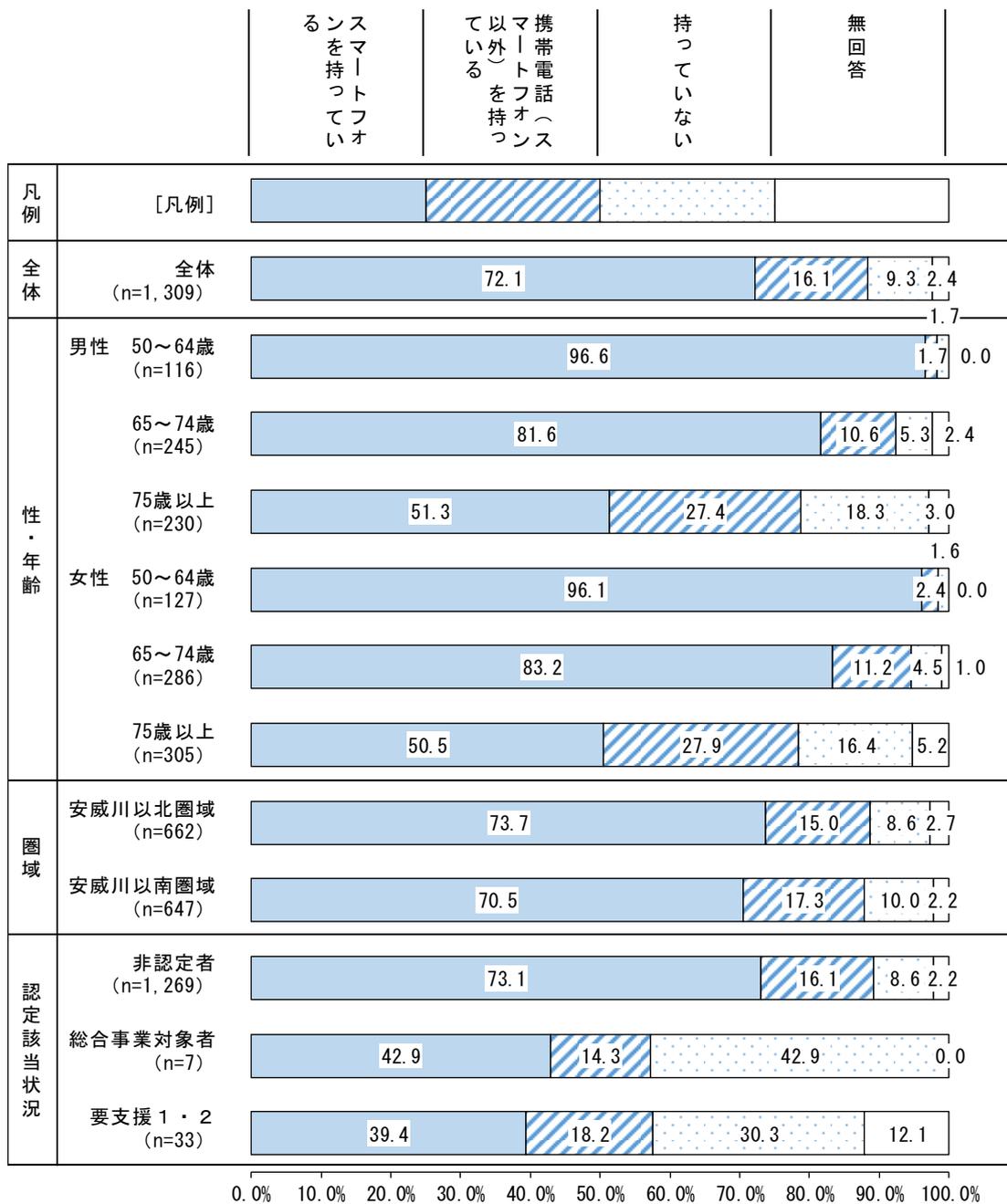
【全体】

○ 携帯電話・スマートフォンの所持状況について、「スマートフォンを持っている」が72.1%で最も多く、次いで「携帯電話（スマートフォン以外）を持っている」が16.1%、「持っていない」が9.3%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに年代が上がるほど「持っていない」が多くなる傾向がみられます。75歳以上では、「スマートフォンを持っている」は約5割となっています。

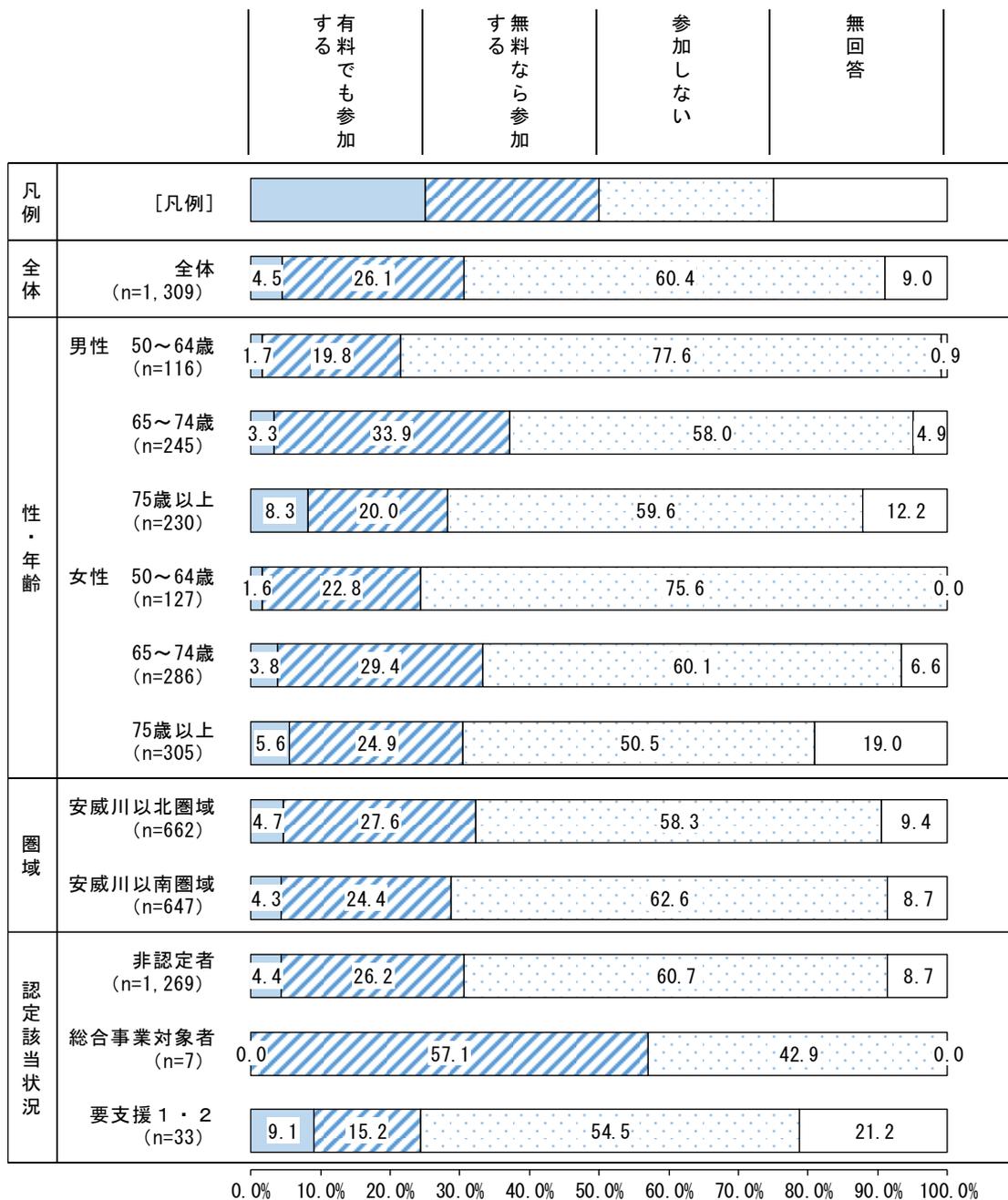
【携帯電話・スマートフォンの所持状況】



●問11.2 スマートフォンの利用に関する講座があれば参加しますか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ スマートフォンの利用に関する講座への参加意向について、「参加しない」が60.4%で最も多く、次いで「無料なら参加する」が26.1%、「有料でも参加する」が4.5%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 男女ともに年代が上がるほど「有料でも参加する」が多くなる傾向がみられます。また、65～74歳では「無料なら参加する」が約3割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【スマートフォンの利用に関する講座への参加意向】

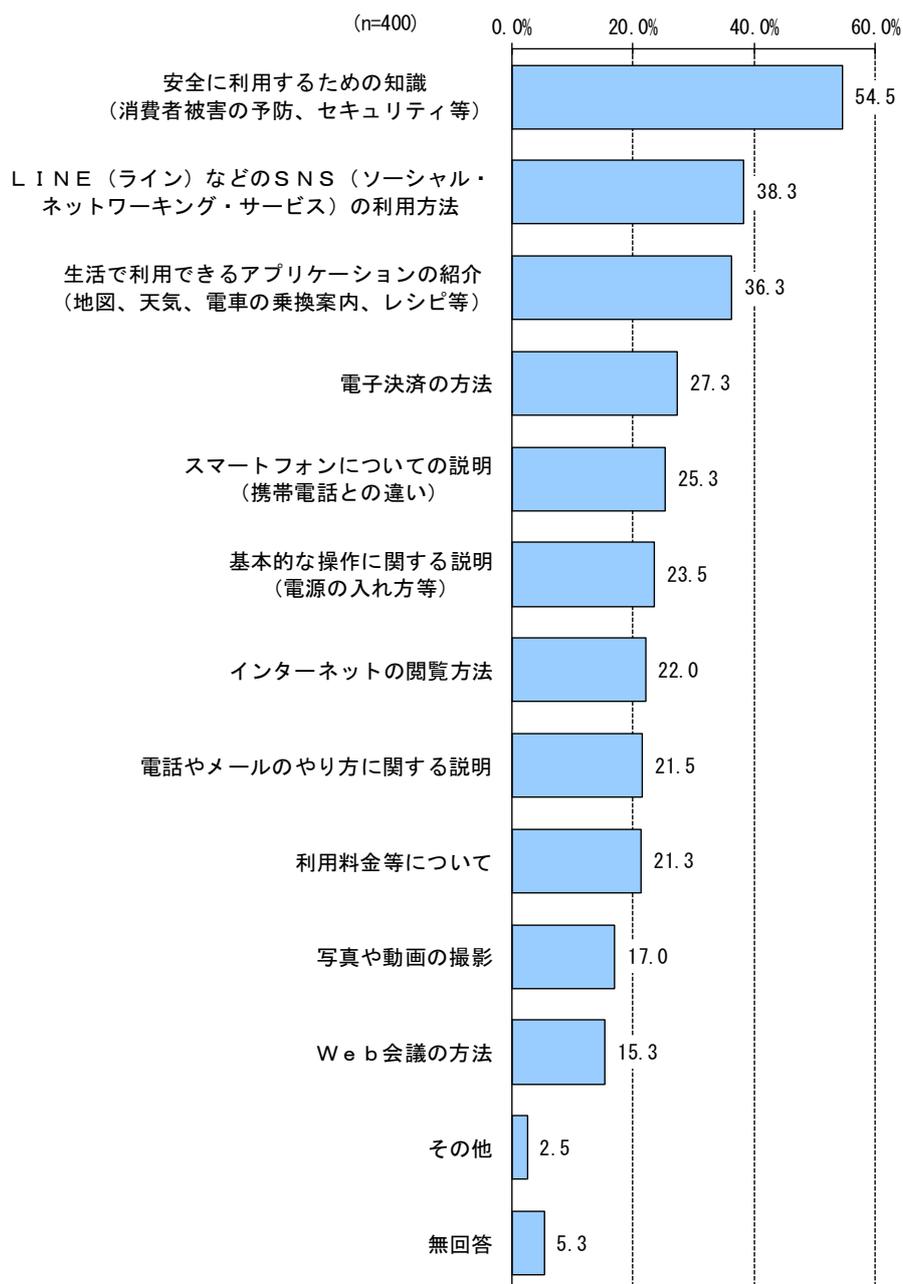


●問11.2-1 【参加意向がある方のみ】どのような内容を希望しますか。(いくつでも)

【全体】

- 希望する講座内容について、「安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）」が 54.5%で最も多く、次いで「LINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用方法」が 38.3%、「生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシピ等）」が 36.3%となっています。

【希望する講座内容(MA)】



【性・年齢】

- 男性（50～64歳）では、他の性・年齢区分に比べて「安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）」や基本的な操作に関することは少なく、「LINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用方法」「Web会議の方法」が多くなっています。「Web会議の方法」は、女性（50～64歳）でも多くなっています。
- 女性（65歳以上）では、「生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシビ等）」が多くなっています。また、65～74歳では、「安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）」が65.3%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。75歳以上では、他の性・年齢区分に比べて「スマートフォンについての説明（携帯電話との違い）」が多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	希望する講座内容(MA)							
		説明にマ ット てフ のオ	つ い 用 て 料 金 等 に	に基 関本 す的 るな 説操 明作	すの電 るや話 説りや 明方メ に 関ル	撮 写 真 や 動 画 の	トイ のン 閲タ 覧 方ネ ツ	用のL 方S I 法N N S E のな 利ど	
全体	400	25.3	21.3	23.5	21.5	17.0	22.0	38.3	
性・ 年齢	男性 50～64歳	25	12.0	8.0	8.0	8.0	-	40.0	
	65～74歳	91	30.8	26.4	23.1	20.9	17.6	41.8	
	75歳以上	65	29.2	16.9	27.7	29.2	15.4	38.5	
	女性 50～64歳	31	12.9	12.9	12.9	6.5	6.5	48.4	
	65～74歳	95	15.8	20.0	21.1	20.0	13.7	34.7	
75歳以上	93	34.4	26.9	31.2	26.9	26.9	30.1	34.4	
圏 域	安威川以北圏域	214	22.9	21.0	23.8	18.2	19.2	21.0	36.4
	安威川以南圏域	186	28.0	21.5	23.1	25.3	14.5	23.1	40.3

単位：％

	母数 (n)	希望する講座内容(MA)						
		方W 法e b 会 議 の	紹 介 生 活 で ヨ ブ ン リ 用 で	法電 子 決 済 の 方	る安 た全 めに の利 知用 識す	そ の 他	無 回 答	
全体	400	15.3	36.3	27.3	54.5	2.5	5.3	
性・ 年齢	男性 50～64歳	25	36.0	32.0	20.0	36.0	8.0	4.0
	65～74歳	91	25.3	29.7	36.3	53.8	1.1	4.4
	75歳以上	65	9.2	35.4	20.0	52.3	3.1	6.2
	女性 50～64歳	31	25.8	25.8	25.8	58.1	6.5	6.5
	65～74歳	95	9.5	37.9	31.6	65.3	-	5.3
75歳以上	93	6.5	46.2	21.5	49.5	3.2	5.4	
圏 域	安威川以北圏域	214	14.0	35.0	25.7	57.5	3.3	7.0
	安威川以南圏域	186	16.7	37.6	29.0	51.1	1.6	3.2

【中学校区】

- いずれの中学校区でも「安全に利用するための知識（消費者被害の予防、セキュリティ等）」が最も多くなっていますが、特に第一中学校では61.2%と他の校区に比べて多くなっています。
- 次に、第一中学校、第五中学校では、「生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシピ等）」、第二中学校、第三中学校、第四中学校では、「LINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用方法」が多くなっています。
- そのほか、第二中学校では、「インターネットの閲覧方法」「Web会議の方法」、第三中学校では、「写真や動画の撮影」、第四中学校では、「生活で利用できるアプリケーションの紹介（地図、天気、電車の乗換案内、レシピ等）」、第五中学校では、「スマートフォンについての説明（携帯電話との違い）」「利用料金等について」「基本的な操作に関する説明（電源の入れ方等）」「電子決済の方法」が他の校区に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	希望する講座内容(MA)							
		SNS について のオ	利用 料金 等に	基 本 的 な 操 作	電 話 や メ ー ル	写 真 や 動 画 の	ト イ ン タ ー ネ ッ ト の 方 法	方 法 な ど	
全体	400	25.3	21.3	23.5	21.5	17.0	22.0	38.3	
中学校区	第一中学校	116	19.8	16.4	21.6	12.9	16.4	18.1	32.8
	第二中学校	66	22.7	19.7	21.2	31.8	13.6	28.8	39.4
	第三中学校	100	26.0	26.0	26.0	25.0	22.0	25.0	41.0
	第四中学校	73	28.8	20.5	20.5	24.7	17.8	20.5	43.8
	第五中学校	45	35.6	26.7	31.1	15.6	11.1	17.8	35.6
当該状況	非認定者	388	24.7	20.6	23.2	20.6	16.0	21.4	37.9
	総合事業対象者	4	50.0	75.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	要支援1・2	8	37.5	25.0	37.5	50.0	50.0	37.5	50.0

単位：%

	母数 (n)	希望する講座内容(MA)						無 回 答
		Web 会議 の	紹介 シ ョ ン の	生活 で 利 用 す る	電 子 決 済 の 方 法	安 全 に 利 用 す る	そ の 他	
全体	400	15.3	36.3	27.3	54.5	2.5	5.3	
中学校区	第一中学校	116	13.8	33.6	26.7	61.2	4.3	8.6
	第二中学校	66	22.7	34.8	27.3	50.0	1.5	4.5
	第三中学校	100	14.0	36.0	25.0	53.0	2.0	5.0
	第四中学校	73	13.7	41.1	28.8	52.1	2.7	1.4
	第五中学校	45	13.3	37.8	31.1	51.1	-	4.4
当該状況	非認定者	388	15.5	35.8	27.6	54.9	2.6	5.4
	総合事業対象者	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-
	要支援1・2	8	12.5	50.0	12.5	50.0	-	-

14. その他について

(1) 新型コロナウイルスの影響

- 問12.1① 新型コロナウイルスの感染拡大を契機に周辺の人とのつながりに変化はありましたか。(1つだけ)

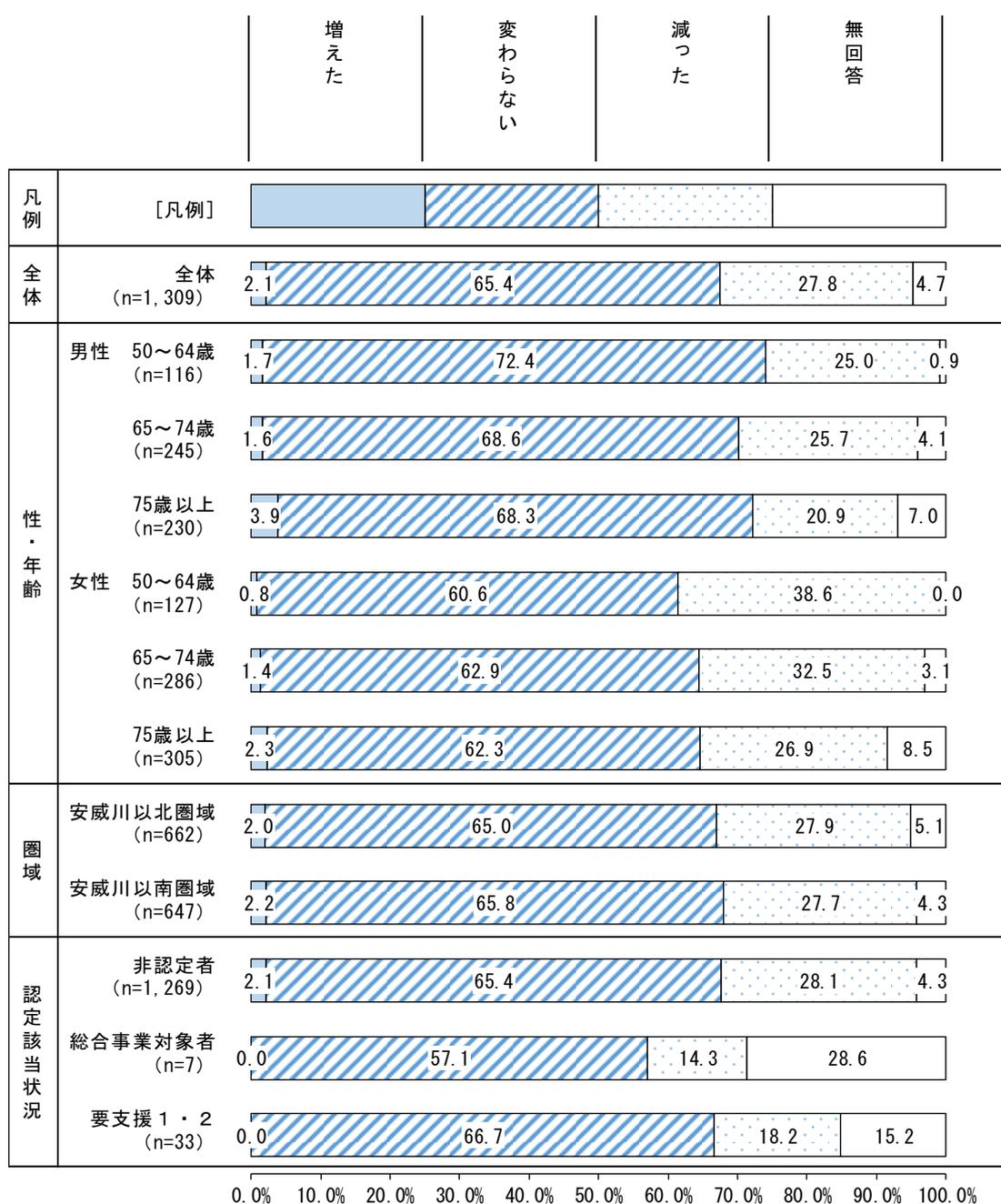
【全体】

- 新型コロナウイルス感染拡大による周辺の人とのつながりの変化について、「変わらない」が65.4%で最も多く、次いで「減った」が27.8%、「増えた」が2.1%となっています。

【性・年齢】

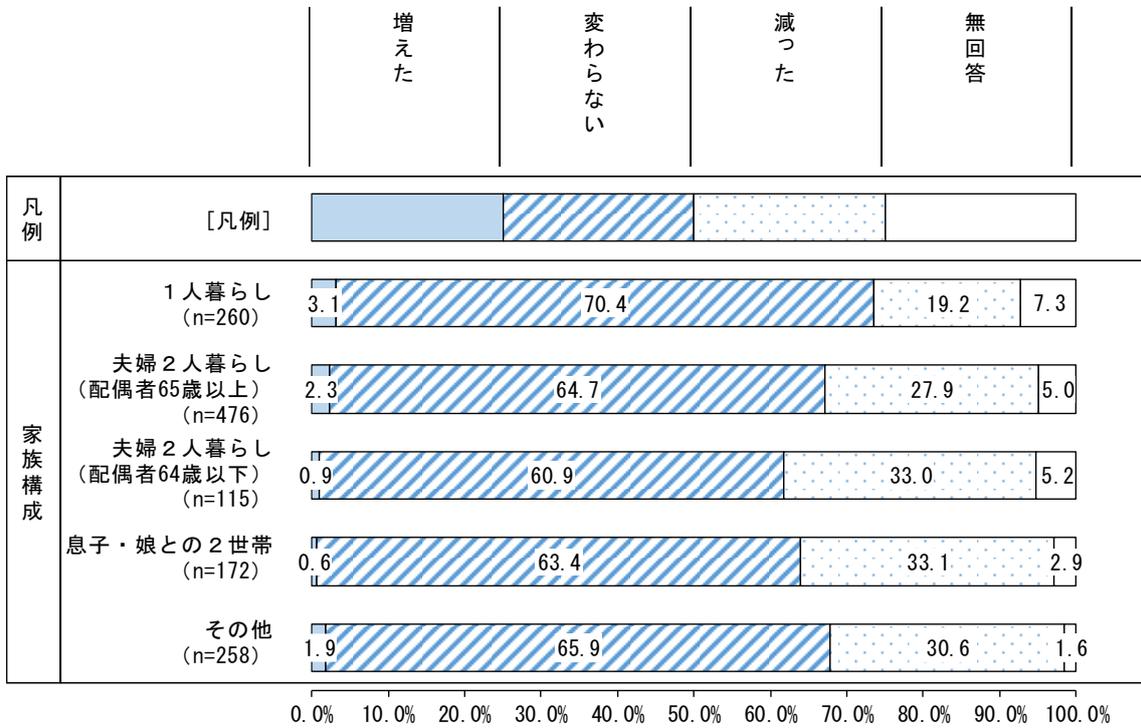
- いずれの年代でも女性では男性に比べて「減った」が多くなっています。特に、女性(50～64歳)では38.6%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【新型コロナウイルス感染拡大による周辺の人とのつながりの変化】



【家族構成】

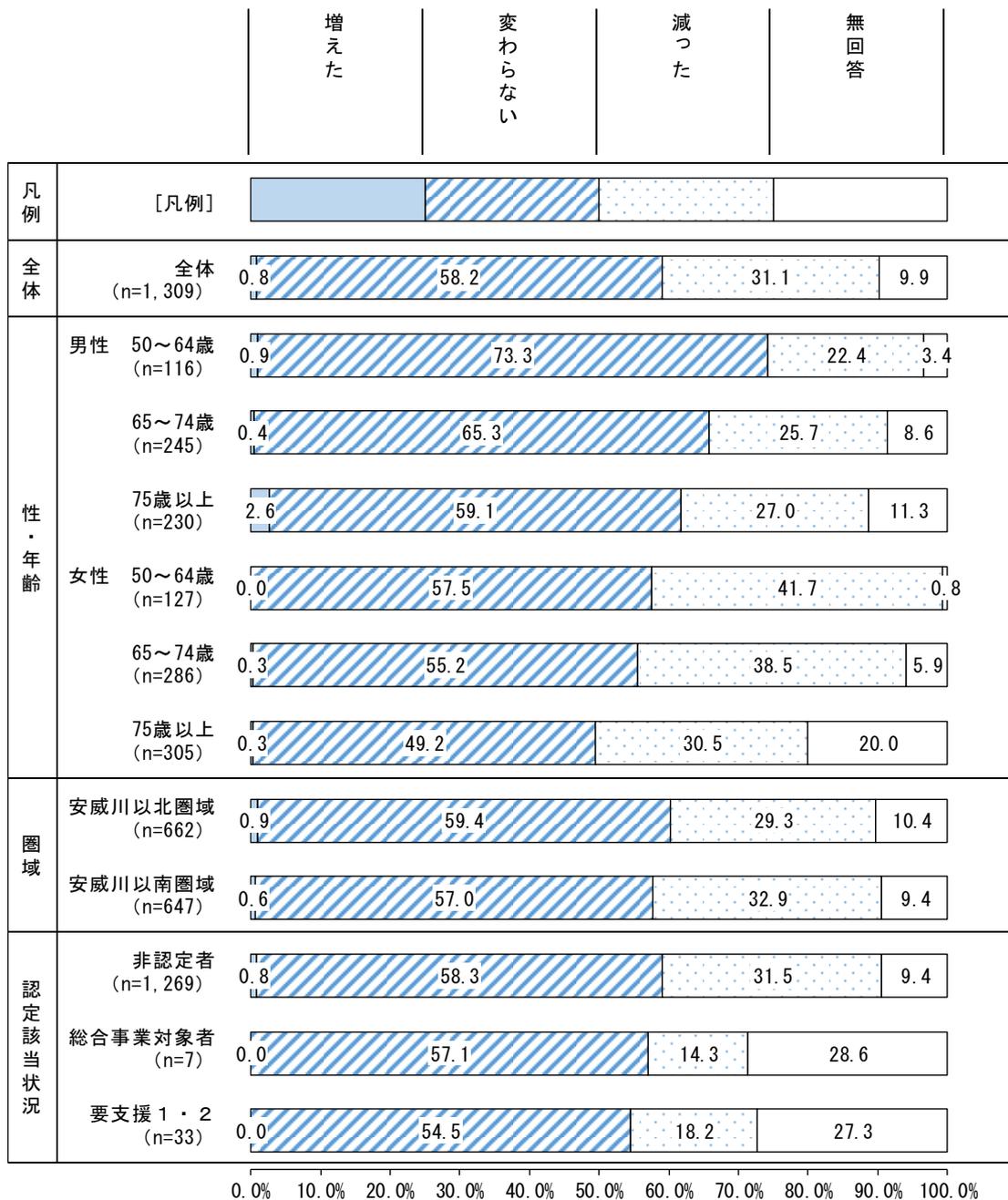
- 1人暮らしでは、「変わらない」が70.4%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）、息子・娘との2世帯では、「減った」が3割以上と他の家族構成区分に比べて多くなっています。



●問12.1② 新型コロナウイルスの感染拡大を契機に地域活動への参加に変化はありましたか。(1つだけ)

- 【全体】**
 ○ 新型コロナウイルス感染拡大による地域活動への参加の変化について、「変わらない」が58.2%で最も多く、次いで「減った」が31.1%、「増えた」が0.8%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ いずれの年代でも女性では男性に比べて「減った」が多くなっています。特に、女性(74歳以下)で約4割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【新型コロナウイルス感染拡大による地域活動への参加の変化】



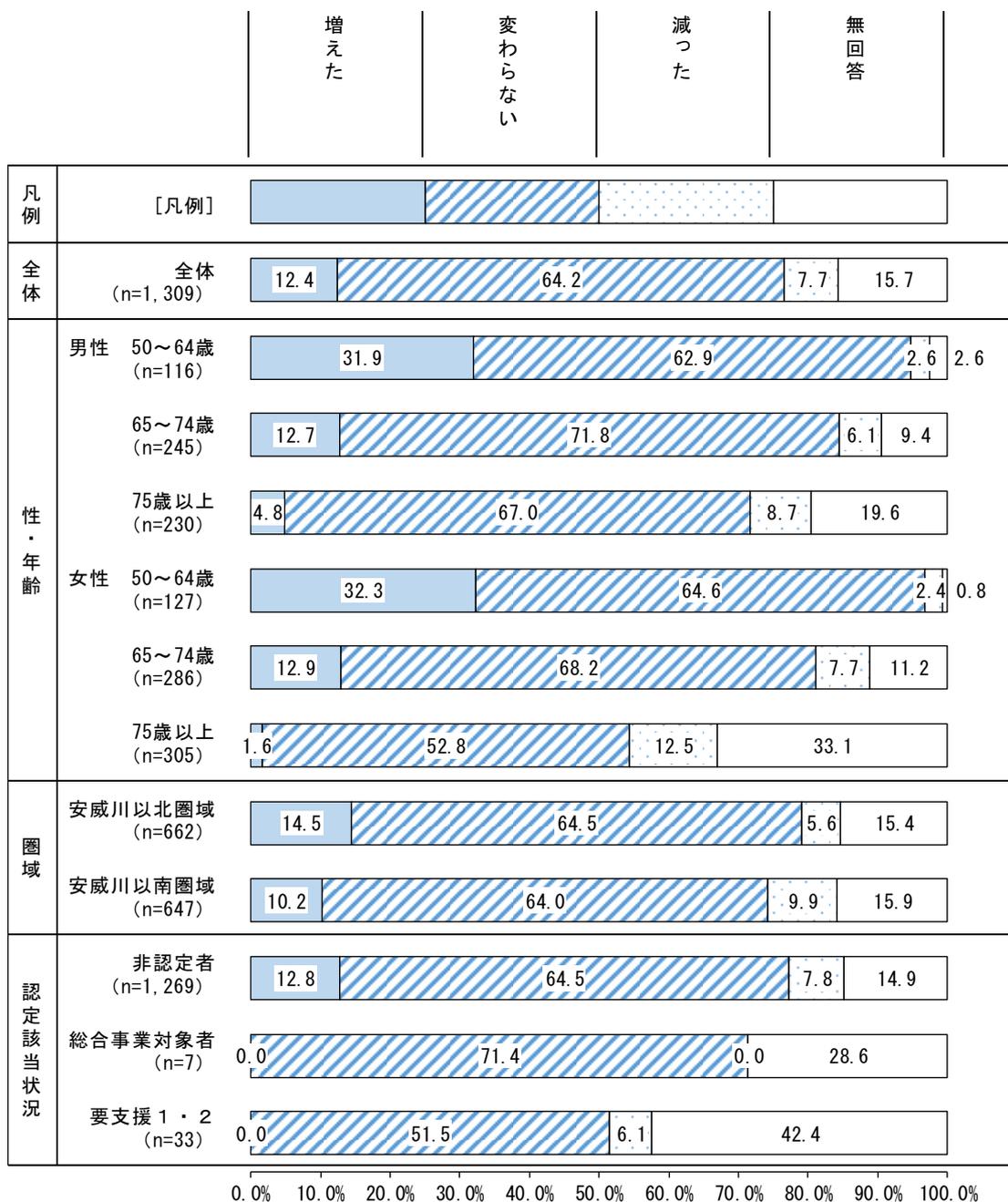
●問12.1③ 新型コロナウイルスの感染拡大を契機にIT機器の活用に変化はありましたか。
(1つだけ)

【全体】
○ 新型コロナウイルス感染拡大による IT 機器の活用の変化について、「変わらない」が64.2%で最も多く、次いで「増えた」が12.4%、「減った」が7.7%となっています。

【性・年齢】
○ 男女ともに年代が下がるほど「増えた」が多くなる傾向がみられ、50～64歳では3割以上となっています。

【圏域】
○ 安威川以北圏域では、「増えた」が14.5%、「減った」が5.6%であるのに対し、安威川以南圏域では、「増えた」が10.2%、「減った」が9.9%となっています。

【新型コロナウイルス感染拡大による IT 機器の活用の変化】



(2) 地域包括支援センター

●問12.2 地域包括支援センターについてご存知ですか。(1つだけ)

【全体】

- 地域包括支援センターの認知状況について、「まったく知らない」が42.6%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が32.2%、「知っている」が22.0%となっています。
- 前回調査に比べて、「知っている」「聞いたことはあるが、内容までは知らない」を合わせた“聞いたことがある”が3.5ポイント多くなっています。

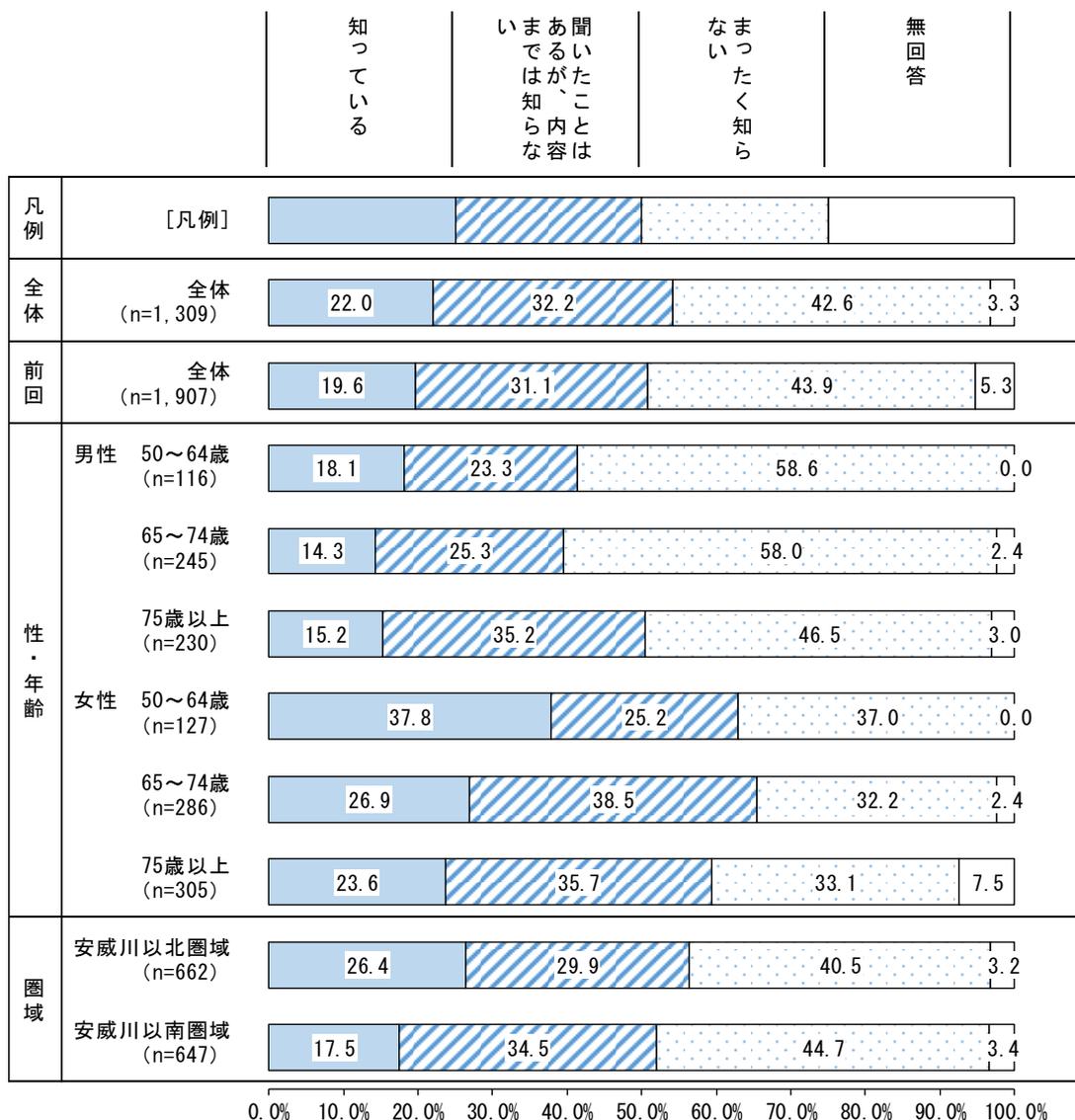
【性・年齢】

- いずれの年代でも女性では男性に比べて「知っている」が多くなっていますが、年代が上がるほど少なくなる傾向がみられます。
- 男性（74歳以下）では、「まったく知らない」が約6割と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

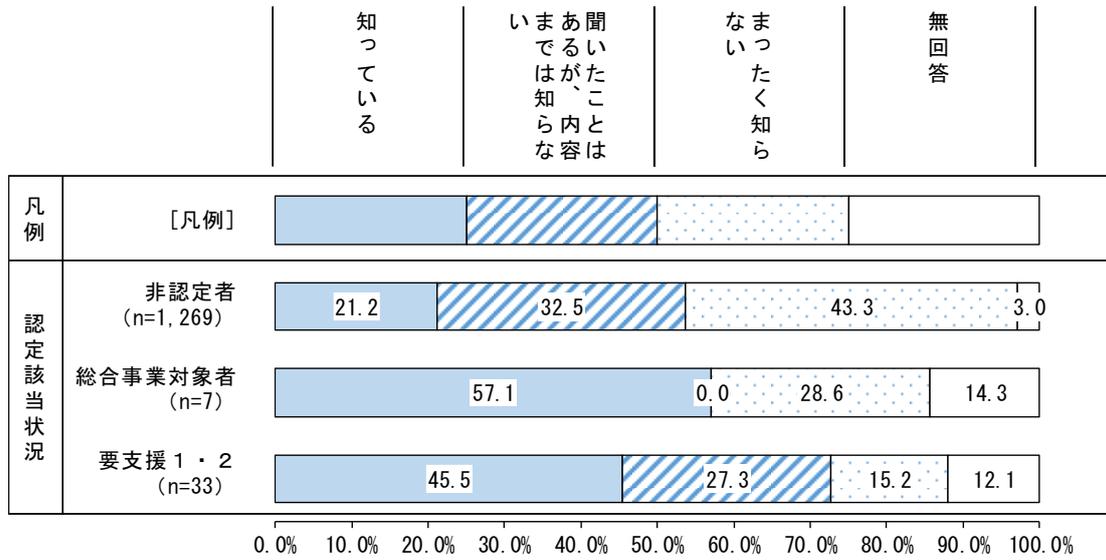
- 安威川以北圏域では、「知っている」が26.4%と安威川以南圏域の17.5%に比べて多くなっています。安威川以南圏域では、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が34.5%となっています。

【地域包括支援センターの認知状況】



【認定該当状況】

○ 要支援1・2では、「知っている」が45.5%と非認定者に比べて多くなっていますが、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が27.3%となっています。



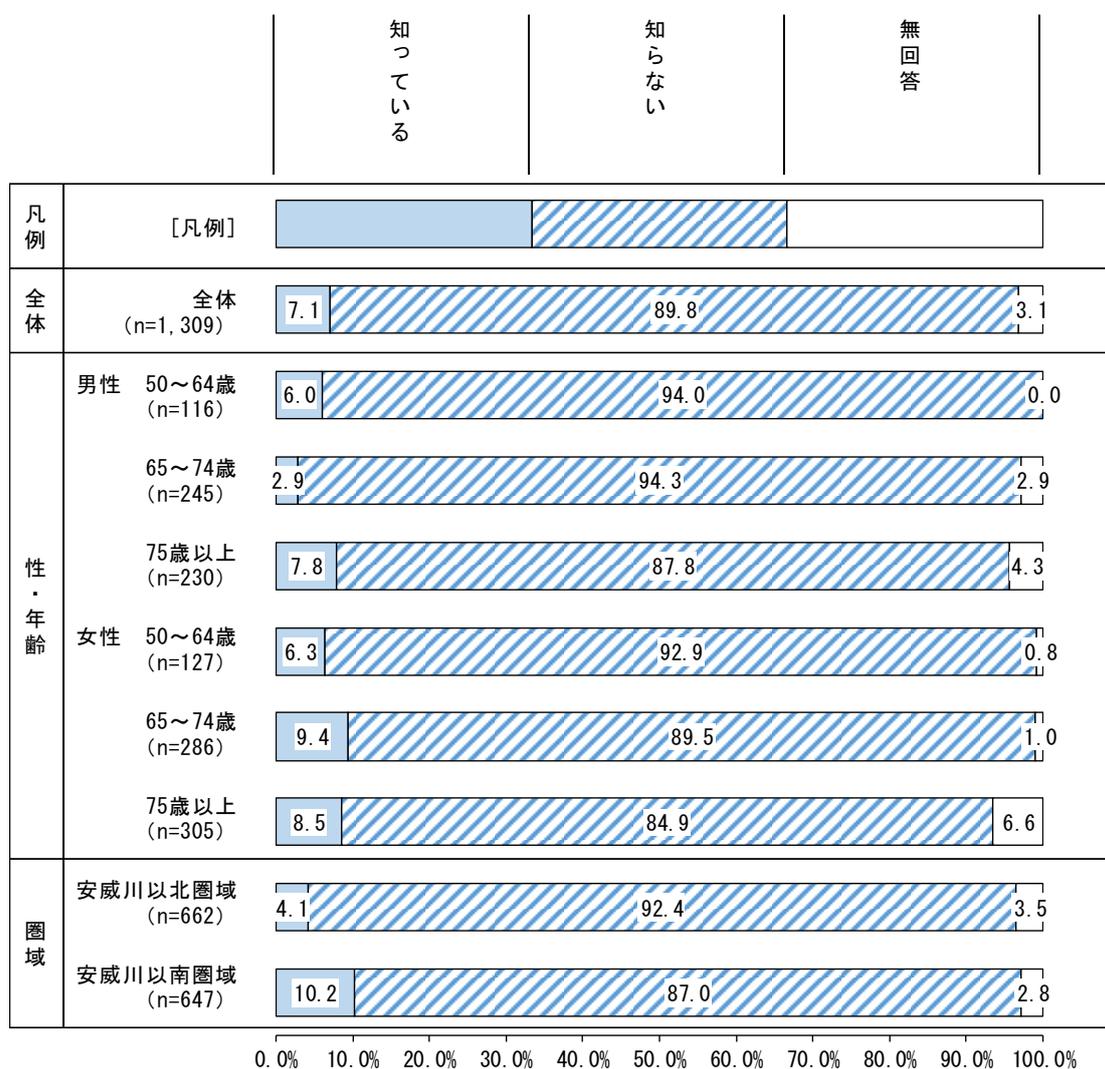
●問12.3 新鳥飼公民館内に「地域包括支援センター鳥飼分室」があることを知っていますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 「地域包括支援センター鳥飼分室」の認知状況について、「知っている」が7.1%、「知らない」が89.8%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「知っている」は男性（65～74歳）が2.9%と他の性・年齢区分に比べて少なくなっています。

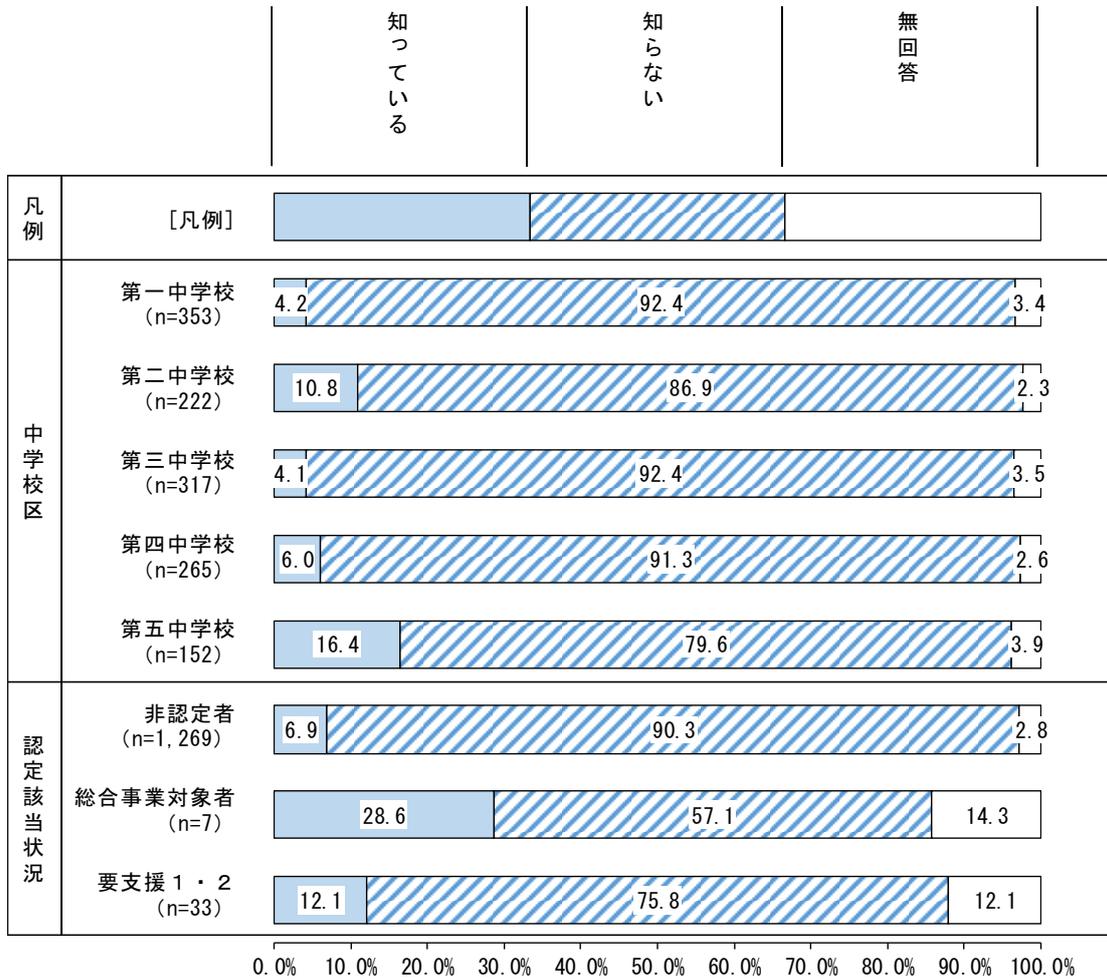
【圏域】
 ○ 「地域包括支援センター鳥飼分室」がある安威川以南圏域では、「知っている」が10.2%となっています。

【「地域包括支援センター鳥飼分室」の認知状況】



【中学校区】

○ 「知っている」は、第二中学校で 10.8%、第五中学校で 16.4%と他の校区に比べて多くなっています。



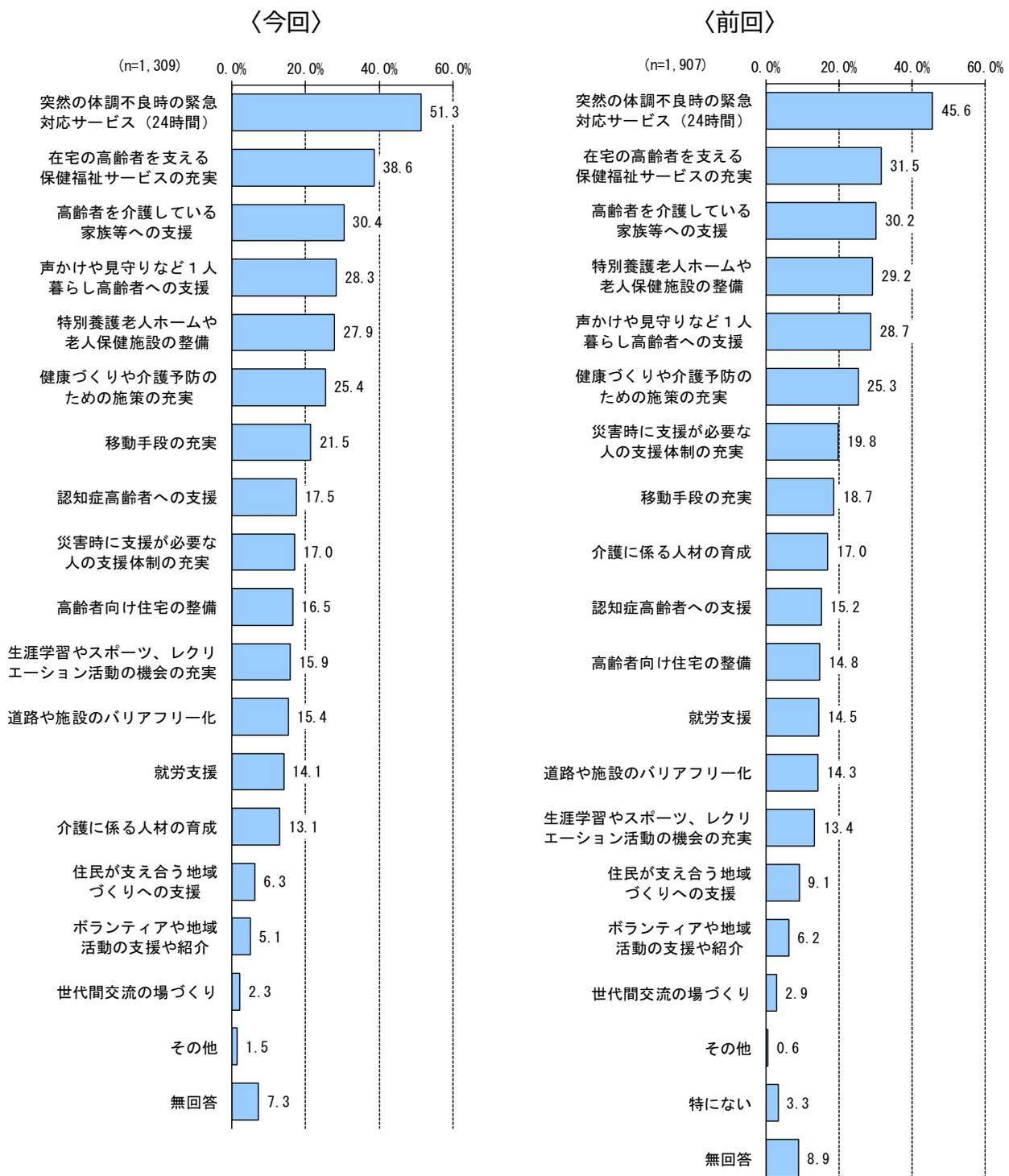
(3) 高齢者施策

●問12.4 市が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実してほしいことは何ですか。(5つまで)

【全体】

- 特に充実してほしい市の高齢者施策について、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）」が51.3%で最も多く、次いで「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」が38.6%、「高齢者を介護している家族等への支援」が30.4%となっています。
- 前回調査に比べて、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）」「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」が3ポイント以上多くなっています。

【特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)】



【性・年齢】

- 男女ともに 50～64 歳では「高齢者を介護している家族等への支援」が4割以上と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。また、年代が下がるほど「就労支援」が多くなる傾向がみられ、特に、男性（50～64 歳）では 40.5%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。
- 男性（65～74 歳）では、「生涯学習やスポーツ、レクリエーション活動の機会の充実」が 22.0%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)									
			施 策 の 充 実 の 充 実 の 充 実	健 康 の 充 実 の 充 実	エ ホ シ ョ ン 活 動	ポ ー ツ 学 習 の 充 実	生 涯 学 習 の 充 実	就 労 支 援	サ ー ビ ス の 充 実	在 宅 保 福 の 充 実	高 齢 者 へ の 支 援	声 か け の 見 守 り
全体		1,309	25.4	15.9	14.1	38.6	28.3	51.3	17.5			
性・年齢	男性 50～64歳	116	19.8	15.5	40.5	36.2	20.7	48.3	21.6			
	65～74歳	245	30.6	22.0	20.4	35.9	24.9	49.4	15.9			
	75歳以上	230	26.1	14.3	7.0	40.4	29.6	50.9	17.4			
	女性 50～64歳	127	24.4	14.2	23.6	40.2	29.9	48.8	23.6			
	65～74歳	286	22.4	16.8	10.8	39.5	30.8	57.3	17.5			
	75歳以上	305	26.2	12.1	3.3	38.7	30.2	49.5	14.8			

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)							
			の 支 援 の 充 実	高 齢 者 を 介 護 し て の 充 実	健 施 設 の 充 実	ホ ー ム レ ー ド の 充 実	特 別 養 老 人 の 充 実	移 動 手 段 の 充 実	リ 道 路 や 施 設 の 充 実	の 高 齢 者 向 け 住 宅
全体		1,309	30.4	27.9	21.5	15.4	16.5	5.1	6.3	
性・年齢	男性 50～64歳	116	44.8	21.6	15.5	18.1	25.0	2.6	2.6	
	65～74歳	245	31.4	32.7	17.6	9.8	19.6	6.5	6.9	
	75歳以上	230	31.3	23.9	23.9	10.0	13.9	5.7	8.7	
	女性 50～64歳	127	43.3	32.3	22.8	22.0	19.7	5.5	3.1	
	65～74歳	286	26.6	33.9	24.5	20.3	13.6	4.5	5.6	
	75歳以上	305	21.6	22.0	21.6	15.7	14.1	4.9	7.2	

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)				
			づ 世 代 間 交 流 の 場	の 介 護 成 に 係 る 人 材	体 制 の 充 実	災 害 時 に 人 の 支 援 が	そ の 他
全体		1,309	2.3	13.1	17.0	1.5	7.3
性・年齢	男性 50～64歳	116	-	10.3	14.7	2.6	4.3
	65～74歳	245	2.9	12.7	19.6	2.0	4.9
	75歳以上	230	1.3	13.0	20.0	1.3	7.8
	女性 50～64歳	127	3.9	15.0	13.4	0.8	3.9
	65～74歳	286	3.5	14.7	17.1	1.0	3.5
	75歳以上	305	1.6	12.1	15.1	1.3	14.8

【圏域】

- 安威川以北圏域では、「高齢者向け住宅の整備」が19.0%と安威川以南圏域の13.9%に比べて多くなっています。
- 安威川以南圏域では、「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）」が54.9%、「移動手段の充実」が24.3%と安威川以北圏域に比べて多くなっています。

【中学校区】

- 中学校区別に回答の多い上位7項目とその割合は次ページのようになっています。

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)									
			施 策 の 充 実 の 充 実 の 充 実	健 康 の 充 実 の 充 実	の 機 会 の 充 実 の 充 実	エ レ ク ト ニ ク ス の 充 実 の 充 実	生 涯 学 習 の 充 実 の 充 実	就 業 支 援 の 充 実 の 充 実	サ ブ シ ズ の 充 実 の 充 実	在 宅 の 充 実 の 充 実	高 齢 者 の 支 援 の 充 実	声 かけ の 支 援 の 充 実
全体		1,309	25.4	15.9	14.1	38.6	28.3	51.3	17.5			
圏域	安威川以北圏域	662	26.0	17.5	14.4	39.3	26.7	47.7	18.3			
	安威川以南圏域	647	24.9	14.2	13.8	37.9	30.0	54.9	16.7			
中学校区	第一中学校	353	28.6	18.4	11.3	41.1	27.8	47.9	17.8			
	第二中学校	222	23.4	13.1	16.7	36.5	32.0	55.4	18.0			
	第三中学校	317	23.3	16.7	17.4	37.9	25.9	47.9	19.2			
	第四中学校	265	28.3	13.6	12.8	40.0	30.6	52.5	15.8			
	第五中学校	152	20.4	16.4	11.8	34.9	25.7	57.9	15.1			

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)									
			の 支 援 の 充 実 の 充 実	高 齢 者 の 支 援 の 充 実	健 康 の 支 援 の 充 実	ホ ム レ ン グ の 支 援 の 充 実	特 別 養 護 の 支 援 の 充 実	移 動 手 段 の 支 援 の 充 実	リ モ ー ト の 支 援 の 充 実	道 路 の 支 援 の 充 実	高 齢 者 の 支 援 の 充 実	や 地 域 の 支 援 の 充 実
全体		1,309	30.4	27.9	21.5	15.4	16.5	5.1	6.3			
圏域	安威川以北圏域	662	31.0	29.3	18.7	15.1	19.0	5.9	6.0			
	安威川以南圏域	647	29.8	26.4	24.3	15.8	13.9	4.3	6.5			
中学校区	第一中学校	353	29.2	26.9	19.5	16.4	17.8	5.7	6.8			
	第二中学校	222	30.6	19.8	24.3	15.3	14.0	4.5	5.4			
	第三中学校	317	33.1	32.2	17.4	13.2	19.9	6.0	5.4			
	第四中学校	265	27.9	31.7	24.5	14.7	14.0	4.9	7.9			
	第五中学校	152	31.6	26.3	25.0	19.1	14.5	3.3	5.3			

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)				無 回 答
			づ く 代 り 間 交 流 の 場	の 介 育 に 係 る 人 材	体 制 の 充 実 の 支 援 が	必 要 な 人 の 支 援 が	
全体		1,309	2.3	13.1	17.0	1.5	7.3
圏域	安威川以北圏域	662	2.3	14.2	15.3	2.0	6.3
	安威川以南圏域	647	2.3	11.9	18.9	0.9	8.2
中学校区	第一中学校	353	2.0	13.9	17.6	2.5	5.4
	第二中学校	222	1.4	12.2	17.1	0.9	9.5
	第三中学校	317	2.5	14.8	13.2	1.3	7.3
	第四中学校	265	1.5	10.9	19.2	0.8	7.5
	第五中学校	152	5.3	12.5	19.7	1.3	7.9

中学校区別上位7項目

単位：%

第一中学校			第二中学校			第三中学校		
1	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	47.9	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	55.4	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	47.9		
2	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	41.1	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	36.5	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	37.9		
3	高齢者を介護している家族等への支援	29.2	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	32.0	高齢者を介護している家族等への支援	33.1		
4	健康づくりや介護予防のための施策の充実	28.6	高齢者を介護している家族等への支援	30.6	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	32.2		
5	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	27.8	移動手段の充実	24.3	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	25.9		
6	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	26.9	健康づくりや介護予防のための施策の充実	23.4	健康づくりや介護予防のための施策の充実	23.3		
7	移動手段の充実	19.5	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	19.8	高齢者向け住宅の整備	19.9		

第四中学校			第五中学校		
1	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	52.5	突然の体調不良時の緊急対応サービス（24時間）	57.9	
2	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	40.0	在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実	34.9	
3	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	31.7	高齢者を介護している家族等への支援	31.6	
4	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	30.6	特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	26.3	
5	健康づくりや介護予防のための施策の充実	28.3	声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援	25.7	
6	高齢者を介護している家族等への支援	27.9	移動手段の充実	25.0	
7	移動手段の充実	24.5	健康づくりや介護予防のための施策の充実	20.4	

【家族構成】

- 1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）では、「声かけや見守りなど1人暮らし高齢者への支援」が3割以上と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らしでは、「在宅の高齢者を支える保健福祉サービスの充実」が 43.5%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）では、「就労支援」が 22.6%、「高齢者を介護している家族等への支援」が 40.9%と他の家族構成区分に比べて多くなっています。
- 「突然の体調不良時の緊急対応サービス（24 時間）」は、1人暮らし、夫婦2人暮らしでは5割以上、息子・娘との2世帯では 44.2%となっています。

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)												
			施 策 の 充 実	健 康 防 ぐ の 充 実	の 機 会 充 実	エ ー ジ ン グ の 充 実	生 涯 学 習 の 充 実	就 労 支 援	サ 支 え の 充 実	在 宅 の 健 福 祉 を	高 齢 者 へ の 支 援	声 か け や 見 守 り	時 間 の 充 実	サ の 緊 急 対 応	突 然 の 体 調 不 良
全体		1,309	25.4	15.9	14.1	38.6	28.3	51.3	17.5						
当 認 状 定 該	非認定者	1,269	25.8	16.2	14.5	38.8	28.8	51.7	17.7						
	総合事業対象者	7	14.3	28.6	-	28.6	28.6	28.6	14.3						
要支援1・2		33	12.1	3.0	-	33.3	12.1	39.4	12.1						
家 族 構 成	1人暮らし	260	21.9	11.5	14.6	31.2	32.3	52.3	15.4						
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	29.0	18.5	7.4	43.5	32.6	54.6	19.3						
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	25.2	16.5	22.6	43.5	20.9	52.2	16.5						
	息子・娘との2世帯	172	25.0	14.5	16.3	37.2	23.8	44.2	18.6						
	その他	258	22.9	16.7	20.5	37.2	23.3	48.4	16.3						

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)												
			の 支 援	高 齢 者 を 介 護 し て く れ る 場 所	健 康 支 援 の 充 実	ホ ム レ ー ン の 充 実	特 別 養 老 人 保 護	移 動 手 段 の 充 実	リ モ ー ト バ イ ス の 充 実	道 路 の 整 備	高 齢 者 向 け 住 宅	の 整 備	地 域 活 動 の 支 援	ポ ラ ン テ ィ ア の 支 援	支 援
全体		1,309	30.4	27.9	21.5	15.4	16.5	5.1	6.3						
当 認 状 定 該	非認定者	1,269	30.9	27.9	21.4	15.1	16.8	5.0	6.4						
	総合事業対象者	7	-	42.9	28.6	42.9	-	-	-						
要支援1・2		33	18.2	24.2	24.2	21.2	9.1	9.1	3.0						
家 族 構 成	1人暮らし	260	18.8	19.6	15.4	9.2	17.3	5.8	6.5						
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	28.2	33.2	22.7	12.6	15.8	5.5	7.1						
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	40.9	29.6	19.1	19.1	20.0	7.0	3.5						
	息子・娘との2世帯	172	32.6	25.0	26.7	23.3	17.4	5.8	7.0						
	その他	258	39.1	28.3	23.6	19.8	15.9	2.7	5.0						

単位：%

		母数 (n)	特に充実してほしい市の高齢者施策(5LA)					
			づ 世 代 間 交 流 の 場	の 介 護 に 係 る 人 材	体 制 の 充 実	必 要 な 支 援	災 害 時 に の 支 援	そ の 他
全体		1,309	2.3	13.1	17.0	1.5	7.3	
当 認 状 定 該	非認定者	1,269	2.4	13.3	16.9	1.4	7.0	
	総合事業対象者	7	-	14.3	28.6	-	14.3	
要支援1・2		33	-	3.0	18.2	3.0	15.2	
家 族 構 成	1人暮らし	260	0.8	12.7	17.7	0.8	12.3	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	2.1	13.9	18.3	1.3	5.0	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	3.5	9.6	18.3	1.7	7.0	
	息子・娘との2世帯	172	2.3	12.8	12.8	1.2	7.0	
	その他	258	3.9	14.0	16.7	2.3	5.8	

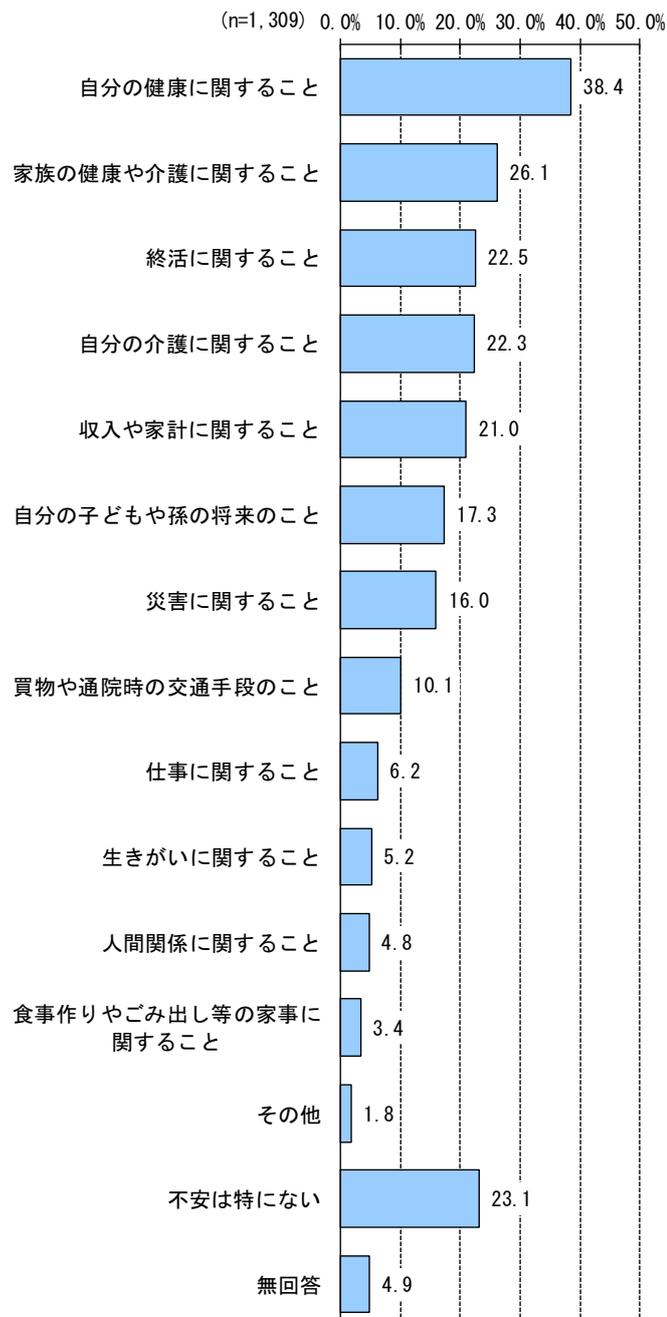
(4) 困っていることや不安なこと

●問12.5 現在困っていることや、不安なことはありますか。(いくつでも)

【全体】

- 現在困っていることや不安なことについて、「自分の健康に関すること」が 38.4%で最も多く、次いで「家族の健康や介護に関すること」が 26.1%、「不安は特にない」が 23.1%となっています。

【現在困っていることや不安なこと(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに年代が上がるほど「不安は特にない」が少なくなる傾向がみられます。50～64歳では、「不安は特にない」が3割以上で最も多く、女性では「家族の健康や介護に関すること」が31.5%と同じ割合で多くなっています。次いで、男女ともに「収入や家計に関すること」が多くなっています。
- いずれの年代でも女性では男性に比べて「災害に関すること」が多くなっています。
- 女性（75歳以上）では、「自分の介護に関すること」が34.4%と他の性・年齢区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 安威川以南圏域では、「買物や通院時の交通手段のこと」が13.3%と安威川以北圏域の6.9%に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと (MA)								
		す 自 分 の 健 康 に 関 す る こ と	す 自 分 の 介 護 に 関 す る こ と	護 家 に 族 の 関 す る 健 康 こ や 介 護 に 関 す る こ と	と 仕 事 に 関 す る こ と	る 人 間 関 係 に 関 す る こ と	る 生 き が い に 関 す る こ と	交 買 物 や 通 院 時 の 交 通 手 段 の こ と	す 収 入 こ と 家 計 に 関 す る こ と	
全体	1,309	38.4	22.3	26.1	6.2	4.8	5.2	10.1	21.0	
性・年齢	男性 50～64歳	116	23.3	11.2	22.4	19.8	3.4	5.2	0.9	29.3
	65～74歳	245	41.6	19.6	24.5	10.6	6.1	9.0	5.7	21.6
	75歳以上	230	49.6	23.9	30.4	4.3	2.2	5.7	13.5	17.8
	女性 50～64歳	127	27.6	14.2	31.5	8.7	4.7	6.3	3.9	28.3
	65～74歳	286	31.8	18.5	26.2	2.8	5.2	3.5	7.7	20.6
75歳以上	305	43.9	34.4	23.0	1.0	5.9	3.0	19.3	17.0	
圏域	安威川以北圏域	662	38.4	22.5	25.8	6.9	5.7	6.5	6.9	19.6
	安威川以南圏域	647	38.5	22.1	26.3	5.4	3.9	3.9	13.3	22.4

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと (MA)							無 回 答
		関 出 食 す し 事 等 作 り の こ と 家 事 に 関 す る こ と	孫 自 の 分 の 将 来 の こ も と や	と 災 害 に 関 す る こ と	と 終 活 に 関 す る こ と	そ の 他	不 安 は 特 に な い		
全体	1,309	3.4	17.3	16.0	22.5	1.8	23.1	4.9	
性・年齢	男性 50～64歳	116	-	12.1	7.8	11.2	2.6	36.2	2.6
	65～74歳	245	1.6	19.2	13.1	21.2	1.6	29.0	2.9
	75歳以上	230	7.0	15.2	15.7	22.6	1.3	20.0	7.0
	女性 50～64歳	127	1.6	25.2	13.4	17.3	3.9	31.5	0.8
	65～74歳	286	1.4	18.9	18.5	26.6	1.4	22.4	4.5
75歳以上	305	6.2	14.8	20.3	25.9	1.3	12.8	7.9	
圏域	安威川以北圏域	662	3.3	16.6	14.7	23.9	2.3	23.4	4.2
	安威川以南圏域	647	3.6	18.1	17.3	21.0	1.2	22.7	5.6

【中学校区】

- 中学校区別に回答の多い上位 6 項目とその割合は次ページのようになっています（「不安なことは特にない」は除きます）。
- 第一中学校、第三中学校では「終活に関すること」が他の校区と比べて順位がやや高くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援 1・2 では、「自分の介護に関すること」が 45.5% と他の認定該当区分に比べて多くなっています。
- 「買物や通院時の交通手段のこと」は、総合事業対象者では 42.9%、要支援 1・2 では 27.3% となっています。
- 「食事作りやごみ出し等の家事に関すること」は、総合事業対象者では 28.6%、要支援 1・2 では 12.1% となっています。

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと(MA)								
		自分の健康に関	自分の介護に関	家族の健康や介護	仕事に関するこ	人間関係に関する	生きがいに関する	買物や通院時の交通手段のこと	収入や家計に関	
全体	1,309	38.4	22.3	26.1	6.2	4.8	5.2	10.1	21.0	
中学校区	第一中学校	353	40.5	21.2	24.1	7.6	5.4	5.9	7.6	18.1
	第二中学校	222	41.0	22.1	30.6	6.8	2.3	4.5	9.0	25.2
	第三中学校	317	36.3	23.7	27.8	6.0	6.3	7.3	6.6	21.1
	第四中学校	265	37.7	23.4	23.0	4.2	4.5	3.4	15.8	23.0
	第五中学校	152	35.5	20.4	25.7	5.9	4.6	3.3	14.5	17.8
認定該当	非認定者	1,269	37.9	21.7	26.4	6.4	4.9	5.1	9.5	21.4
	総合事業対象者	7	42.9	28.6	-	-	-	14.3	42.9	14.3
	要支援 1・2	33	57.6	45.5	18.2	-	3.0	6.1	27.3	9.1

単位：%

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと(MA)						無回答	
		食事等のごみ	自分の子どもや孫	災害に関するこ	終活に関するこ	その他	不安は特にない		
全体	1,309	3.4	17.3	16.0	22.5	1.8	23.1	4.9	
中学校区	第一中学校	353	4.0	14.7	14.4	24.1	2.8	23.8	4.8
	第二中学校	222	3.2	18.5	17.1	20.7	0.5	23.0	6.3
	第三中学校	317	2.5	18.9	14.8	24.3	1.9	23.0	3.5
	第四中学校	265	4.5	18.1	15.5	21.5	0.8	23.4	4.9
	第五中学校	152	2.6	17.1	21.1	19.1	2.6	21.1	5.9
認定該当	非認定者	1,269	3.1	17.7	16.2	22.2	1.7	23.5	4.6
	総合事業対象者	7	28.6	14.3	-	28.6	-	14.3	14.3
	要支援 1・2	33	12.1	6.1	12.1	30.3	3.0	9.1	12.1

中学校区別上位6項目

単位：%

第一中学校		第二中学校		第三中学校		
1	自分の健康に関すること	40.5	自分の健康に関すること	41.0	自分の健康に関すること	36.3
2	家族の健康や介護に関すること	24.1	家族の健康や介護に関すること	30.6	家族の健康や介護に関すること	27.8
3	終活に関すること	24.1	収入や家計に関すること	25.2	終活に関すること	24.3
4	自分の介護に関すること	21.2	自分の介護に関すること	22.1	自分の介護に関すること	23.7
5	収入や家計に関すること	18.1	終活に関すること	20.7	収入や家計に関すること	21.1
6	自分の子どもや孫の将来のこと	14.7	自分の子どもや孫の将来のこと	18.5	自分の子どもや孫の将来のこと	18.9

第四中学校		第五中学校		
1	自分の健康に関すること	37.7	自分の健康に関すること	35.5
2	自分の介護に関すること	23.4	家族の健康や介護に関すること	25.7
3	家族の健康や介護に関すること	23.0	災害に関すること	21.1
4	収入や家計に関すること	23.0	自分の介護に関すること	20.4
5	終活に関すること	21.5	終活に関すること	19.1
6	自分の子どもや孫の将来のこと	18.1	収入や家計に関すること	17.8

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「自分の介護に関すること」、夫婦2人暮らしでは、「家族の健康や介護に関すること」、息子・娘との2世帯では、「自分の子どもや孫の将来のこと」が他の家族構成区分に比べて多くなっています。

【介護・介助の必要性】

- 介護・介助は必要ない人では、「不安は特にない」が25.5%と何らかの介護・介助が必要な人に比べて多くなっています。
- 何らかの介護・介助が必要な人では、「自分の健康に関すること」「自分の介護に関すること」が約5～6割で多くなっています。そのほか、「家族の健康や介護に関すること」「買物や通院時の交通手段のこと」「食事作りやごみ出し等の家事に関すること」「終活に関すること」が他の介護・介助の必要性区分に比べて多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと(MA)								
		す自 分 の 健 康 に 関 る こ と	す自 分 の 介 護 に 関 る こ と	護家 族 に 関 する 健 康 こ と や 介	と仕 事 に 関 する こ	る人 こ 間 関 係 に 関 す	る生 き が い に 関 す	交買 通物 手や 段通 の院 時 のこ と	す収 入 こ と 家 計 に 関	
全体	1,309	38.4	22.3	26.1	6.2	4.8	5.2	10.1	21.0	
家族構成	1人暮らし	260	40.4	30.0	7.3	5.8	5.0	5.4	10.0	21.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	42.2	21.6	34.7	4.8	4.8	5.7	13.2	18.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	30.4	13.9	30.4	11.3	6.1	8.7	5.2	24.3
	息子・娘との2世帯	172	39.0	20.9	21.5	2.3	2.9	2.3	9.3	16.3
	その他	258	31.8	19.0	30.2	9.3	5.0	4.3	6.6	26.4
介護・介助の 必要性	介護・介助は必要ない	1,140	36.4	19.6	25.6	6.7	4.8	5.2	8.3	20.7
	何らかの介護・介助は 必要だが、現在は受けて いない	64	59.4	45.3	35.9	3.1	3.1	4.7	29.7	23.4
	現在、何らかの介護を 受けている	49	51.0	49.0	32.7	2.0	8.2	6.1	22.4	24.5

単位：％

	母数 (n)	現在困っていることや不安なこと(MA)							無 回 答
		関出 すし 事 作 る 等 の こ の り と 家 ご に み	孫自 の分 の将 来子 のこ も と や	と災 害 に 関 する こ	と終 活 に 関 する こ	そ の 他	不 安 は 特 に な い		
全体	1,309	3.4	17.3	16.0	22.5	1.8	23.1	4.9	
家族構成	1人暮らし	260	3.8	10.4	15.8	26.9	1.5	20.0	5.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	476	4.6	13.2	17.4	23.5	1.5	23.7	4.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	115	3.5	22.6	13.9	18.3	3.5	26.1	5.2
	息子・娘との2世帯	172	2.3	27.3	18.6	25.0	0.6	25.0	4.7
	その他	258	1.9	22.9	12.8	15.9	2.7	24.0	3.5
介護・介助の 必要性	介護・介助は必要ない	1,140	2.5	18.2	15.8	21.9	1.8	25.5	4.4
	何らかの介護・介助は 必要だが、現在は受けて いない	64	14.1	17.2	20.3	26.6	3.1	6.3	1.6
	現在、何らかの介護を 受けている	49	14.3	8.2	16.3	32.7	2.0	2.0	10.2

(5) ご意見

- 問12.6 高齢者福祉施策や介護保険事業について、記載したいことがあれば、ご記入ください。(自由記述)

